EPSON

CRYSTARIO

EPSON Professional Portrait Printing System

PPPS-1B
ユーザーズガイド



NPD0673-02

「ユーザーズガイド」の使い方

本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品は、写真の編集からプリントまでを一貫して行えるハードウェア、ソフトウェア一体型の写真スタジオ用に設計されたシステムです。本製品を十分に活用していただくため、この「ユーザーズガイド」をいつでも手に取れる場所に保管されるようお願いいたします。

● ユーザーズガイドの構成

「ユーザーズガイド」は「こんなことができます」、「基本操作の流れ」、「オペレーションガイド」、「困ったときには」、「オンラインヘルプについて」で構成されています。

「こんなことができます」

編集効果を適用した写真や、レイアウトした写真のサンプルと、操作の概略をご覧いただけます。

「基本操作の流れ」

EPPLayout による写真のレイアウトからプリントまでの操作の流れ、EPPWorks による写真の編集から保存までの操作の流れを修得していただけるように、チュートリアル形式で説明しています。

「オペレーションガイド」

ソフトウェアの使い方から本体などのハード面のメンテナンスまで、本システムに関する情報全般が記載されています。

「困ったときには」

作業中のトラブルを速やかに処理していただけるように、プリンタやソフトウェアのトラブルと対処方法が記載されています。

「オンラインヘルプについて」

本システムのソフトウェア EPPLayout、EPPWorks、EPPMonitor には、オンラインヘルプが用意されています。豊富な情報の中から知りたい項目をすぐに表示できるように、オンラインヘルプの使い方が記載されています。

● EPPServer の表記について

EPPServer はプリントやプリントジョブ管理などを扱うサーバです。オペレーションガイドに記載されている“サーバ”、“プリントサーバ”は EPPServer を示します。

● 本書で使用するマーク

	制限事項や本システムを正常に機能させるために守っていただきたいことを示しています。必ずお読みください。
	本システムについての大切な情報や操作のヒントです。よくお読みください。
【Macintosh】	Macintosh での操作です。
【Windows】	Windows での操作です。
【Macintosh のみ】	Macintosh でのみ操作できます。
【Windows のみ】	Windows でのみ操作できます。

● 画面イラストについて

本書に掲載する画面イラストは、基本的に Mac OS X の画面を使用しています。特に異なる場合は Windows の画面イラストを記載する場合もあります。なお、PPPS-1/PPPS-1J が接続されている場合の画面を掲載していますので、PPPS-1B ではプリンタ名の表示などが一部異なります。

もくじ

「ユーザーズガイド」の使い方 3

こんなことができます

こんなことができます 10
■写真の左右をトリミングする 10
■斜めになっている写真を垂直になるまで回転する 10
■部分的に明度を上げる 10
■部分的に明度を下げる 10
■部分的に彩度を上げる 11
■部分的に彩度を下げる 11
■部分的にぼかしを入れる 11
■部分的にシャープにする 11
■部分的に入ったノイズを目立たなくする 12
■写真を部分的にコピーする 12
■ポートレート風に仕上げる 12
■カラー写真をモノクロ写真にする 12
■写真を明るくする 13
■写真を暗くする 13
■写真をシャープにする 13
■写真をソフトにする 13
■異なる写真を 4 面付けする 14
■写真にトンボを付けてプリントする 14
■写真に写真枠を付けてプリントする 14
■写真にスタジオ名、顧客名などを付けてプリントする 14

基本操作の流れ

写真を割り付けてプリントする 16
■EPPLayout を起動する 17
■用紙を選択する 19
■テンプレートに写真を割り付ける 20
■プリントの準備をする 25
■プリントする 26
■EPPLayout を終了する 28

写真を編集して保存する 29
■EPPWorks を起動する 30
■編集する写真を選択する 31
■カラーマネージメントを設定する 33
■写真を編集する 34
■編集した写真を保存する 37

■EPPWorks を終了する 40

オペレーションガイド

はじめに 42
■ソフトウェアについて 43
■オペレーションガイドについて 45

画像ファイルを準備する 46
■使用できる画像ファイルについて 47
■ICC プロファイルを添付する 48
■写真編集の流れ 49
■EPPWorks を起動する 51
■編集する写真を選択する 52
■カラーマネージメントを設定する 58
■写真を回転させたり、トリミングする 60
■写真をレタッチする 65
■ツールバーを使う 68
■写真の色や色調を調整する 69
■編集した画像ファイルを保存する 80

テンプレートを作成し、管理する 83
■電源を入れる 84
■EPPTemplate を起動する 86
■テンプレートを選択する 89
■テンプレートを編集する 96
■テンプレートを整える 117
■テンプレートの新規作成または編集が終了したら 138
■テンプレートの名称を設定する 139
■テンプレートをローカルフォルダに保存する 142
■テンプレートをアップロードする 145
■パッケージを作成し、管理する 148
■テンプレートを管理する 158

写真をレイアウトしてプリントする 173
■電源を入れる 174
■EPPLayout を起動する 176
■用紙を選択する 180
■「テンプレート」モードと「フリーレイアウト」モードの違い 182
■「テンプレート」モードで写真をレイアウトする 183
■「フリーレイアウト」モードで写真をレイアウトする 202
■プリントの準備をする 211
■写真をプリントする 218

プリントジョブを管理する 222
■EPPMonitor を起動する 223
■プリントジョブを確認する 225
■プリントジョブを検索して、更新する 228
■プリントジョブの設定を変更する 231
■プリンタの状態を確認する 244
■プリンタの有効／無効を設定する 251

写真の取扱いと保管方法 252
■写真の取扱い 253
■写真を保管するときの注意 254
■写真を飾るときの注意 255
■写真の寿命について 256

メンテナンス 257
■システムの安定性を保つ（電源を切る） 258
■用紙をセットする 260
■EPPServer にログインする 269
■EPPServer で用紙設定を確認する 272
■EPPServer でロール紙を設定する 273
■EPPServer でロール紙の切断方法を設定する 278
■通紙経路をクリーニングする 280
■ノズルチェックする 285
■プリンタヘッドをクリーニングする 288
■プリンタヘッドを調整する 292
■インクカートリッジを交換する 295
■テストチャートをプリントする 298
■画質調整パターンをプリントする 302
■カラープロファイルを更新する 306
■プリントログをアップロードする 309
■再プリントデータを自動削除する 312
■プリントジョブを整理する 314
■自動用紙割付を設定する 316
■エラーメッセージを E メールで受信する 319
■表示する用紙サイズや用紙種類を設定する 323
■ネットワーク設定を保存する 325
■そのほかの設定をする 330
■本体を移動する 332
■モニタのカラー補正を行う 333
■EPPServer のバージョンを確認する 334
■EPPServer のソフトウェアを更新する 335
■カスタムファイルをダウンロードする 337
■共通ファイルをダウンロードする 339

ユーザーやクライアントコンピュータを追加する 341
■新しいユーザーを追加する 342
■Studiomaster のパスワードを登録する 350
■クライアントコンピュータを追加する 352

仕様 356

困ったときには

はじめに 360
■エラーや警告メッセージに対処する 360

プリンタのトラブルを解決する 361
■コントロールパネルのランプの状態と解決方法 361
■プリント画質に関するトラブルと解決方法 364

■用紙に関するトラブルと解決方法 367
■用紙が詰まったとき 368

ソフトウェアのトラブルを解決する 370
■EPPServer に関するトラブルと解決方法 370
■EPPLayout に関するトラブルと解決方法 371
■EPPTemplate に関するトラブルと解決方法 373
■EPPWorks に関するトラブルと解決方法 374
■EPPMonitor に関するトラブルと解決方法 375

オンラインヘルプについて

オンラインヘルプの使い方 378
■オンラインヘルプを起動する 379
■知りたい説明を表示する 381
■ページの構成 386

索引 387

商標およびご注意 396

お問い合わせ先 397

こんなことができます

EPPWorks を使うと、写真の編集ができます。EPPLayout では、さまざまな種類のテンプレートに写真を配置し、プリントできます。ここでは、EPPWorks を使って写真を編集する方法と、EPPLayout を使って写真をレイアウトしたりトンボを付ける方法などをサンプル写真とともに一覧できます。詳しくは、EPPWorks、EPPLayout オンラインヘルプで参照先をご覧ください。

こんなことができます

■写真の左右をトリミングする



1「トリミング」をクリック。
2 左のハンドルにポインタを合わせ、右にドラッグ。
3 右のハンドルにポインタを合わせ、左にドラッグ。

☞ オンラインヘルプ
D-3-4. マウスを使用してトリミングサイズを調節する

■斜めになっている写真を垂直になるまで回転する



1「トリミング」をクリック。
2「1▶」または「0.1▶」をクリックすると、写真が時計回りに回転。
3「◀1」または「◀0.1」をクリックすると、写真が反時計回りに回転。

☞ オンラインヘルプ
D-2. 写真を回転させる

■部分的に明度を上げる



1「レタッチ」をクリック。
2「覆い焼き（明るく）」ツールを選択。
3 レタッチする部分にブラシを合わせ、ドラッグ。

☞ オンラインヘルプ
E-2. ツールを選択する

■部分的に明度を下げる



1「レタッチ」をクリック。
2「焼き込み（暗く）」ツールを選択。
3 レタッチする部分にブラシを合わせ、ドラッグ。

☞ オンラインヘルプ
E-2. ツールを選択する

■部分的に彩度を上げる



1「レタッチ」をクリック。
2「あざやかに」ツールを選択。
3 レタッチする部分にブラシを合わせ、ドラッグ。

☞ オンラインヘルプ
E-2. ツールを選択する

■部分的に彩度を下げる



1「レタッチ」をクリック。
2「色を抜く」ツールを選択。
3 レタッチする部分にブラシを合わせ、ドラッグ。

☞ オンラインヘルプ
E-2. ツールを選択する

■部分的にぼかしを入れる



1「レタッチ」をクリック。
2「ぼかし」ツールを選択。
3 レタッチする部分にブラシを合わせ、ドラッグ。

☞ オンラインヘルプ
E-2. ツールを選択する

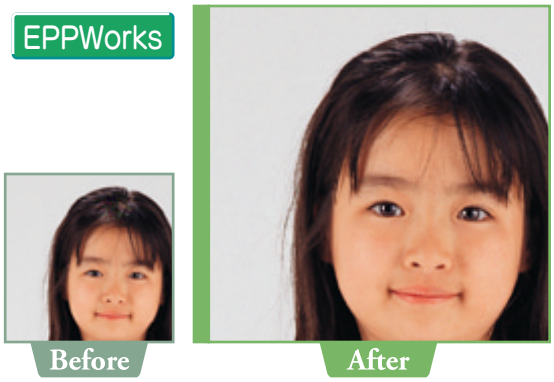
■部分的にシャープにする



1「レタッチ」をクリック。
2「シャープ」ツールを選択。
3 レタッチする部分にブラシを合わせ、ドラッグ。

☞ オンラインヘルプ
E-2. ツールを選択する

■部分的に入ったノイズを目立たなくする



1「レタッチ」をクリック。
2「ノイズ軽減」ツールを選択。
3 レタッチする部分にブラシを合わせ、クリック。

明るい髪の毛などに現れる、赤や緑色の“ノイズ”を目立たなくします。EPPWorks 画面では効果をより鮮明に確認できます。

☞ オンラインヘルプ
E-2. ツールを選択する

■写真を部分的にコピーする



1「レタッチ」をクリック。
2「コピー」ツールを選択。
3 コピーしたい部分にブラシを合わせ、Option キー /Alt キーを押しながらクリック。
4 コピー先の部分にブラシを合わせ、ドラッグ。

☞ オンラインヘルプ
E-2. ツールを選択する

■ポートレート風に仕上げる



1「カラー／トーン」をクリック。
2「プリセット」タブをクリック。
3「インテリチューン」フィルタから「ポートレート」を選択。

明るさやコントラストなどを調整して、人物がよりきれいに見えるように仕上げます。EPPWorks 画面では効果をより鮮明に確認できます。

☞ オンラインヘルプ
G-2-1.「インテリチューン」フィルタ／「ユーザ設定」フィルタを適用する

■カラー写真をモノクロ写真にする



1「カラー／トーン」をクリック。
2「プリセット」タブをクリック。
3「インテリチューン」フィルタから「モノクローム」を選択。

☞ オンラインヘルプ
G-2-1.「インテリチューン」フィルタ／「ユーザ設定」フィルタを適用する

■写真を明るくする



1「カラー／トーン」をクリック。
2「プリセット」タブをクリック。
3「インテリチューン」フィルタから「ライト」を選択。

☞ オンラインヘルプ
G-2-1.「インテリチューン」フィルタ／「ユーザ設定」フィルタを適用する

■写真を暗くする



1「カラー／トーン」をクリック。
2「プリセット」タブをクリック。
3「インテリチューン」フィルタから「ヘビー」を選択。

☞ オンラインヘルプ
G-2-1.「インテリチューン」フィルタ／「ユーザ設定」フィルタを適用する

■写真をシャープにする



1「カラー／トーン」をクリック。
2「プリセット」タブをクリック。
3「インテリチューン」フィルタから「シャープ」を選択。

☞ オンラインヘルプ
G-2-1.「インテリチューン」フィルタ／「ユーザ設定」フィルタを適用する

■写真をソフトにする



1「カラー／トーン」をクリック。
2「プリセット」タブをクリック。
3「インテリチューン」フィルタから「ソフト」を選択。

☞ オンラインヘルプ
G-2-1.「インテリチューン」フィルタ／「ユーザ設定」フィルタを適用する

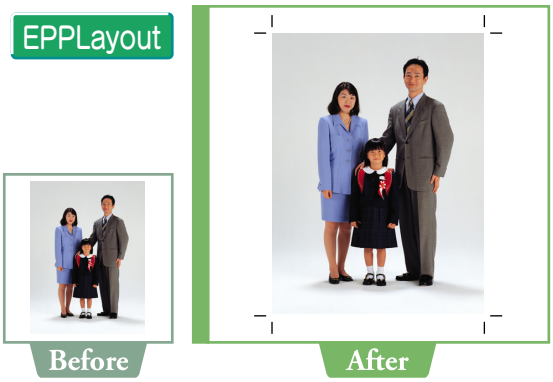
■異なる写真を 4 面付けする



1 テンプレートタブの「一覧」をクリック。
2 テンプレートを選択。
3 サムネイルをフレームにドラッグ。

☞ オンラインヘルプ
D-2. 用意されているテンプレートを使用する

■写真にトンボを付けてプリントする



1「プリントオプション」の「写真情報」ボックスにチェックを入れる。
2「トンボ」ボックスにチェックを入れ、[...]をクリック。
3「写真」を選択し、トンボの長さ、位置、線幅、色を設定。

☞ オンラインヘルプ
E-3-1. 写真情報をプリントする

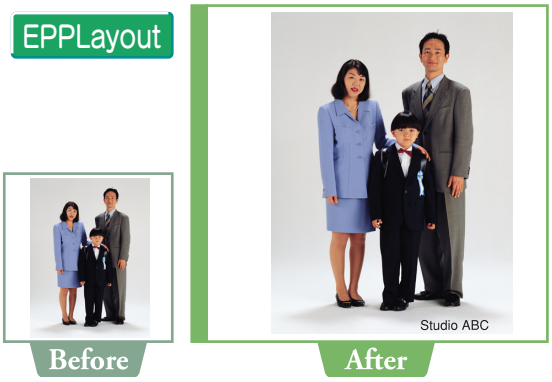
■写真に写真枠を付けてプリントする



1「プリントオプション」の「写真情報」ボックスにチェックを入れる。
2「写真枠」ボックスにチェックを入れ、[...]をクリック。
3「写真」を選択し、枠の線幅と色を設定。

☞ オンラインヘルプ
E-3-1. 写真情報をプリントする

■写真にスタジオ名、顧客名などを付けてプリントする



1「プリントオプション」の「ページ情報」ボックスにチェックを入れる。
2「スタジオ名」と「顧客名」のボックスにチェックを入れる。

☞ オンラインヘルプ
E-3-2. ページ情報をプリントする

基本操作の流れ

ここでは、EPPLayout を使って写真をレイアウトする方法と、EPPWorks を使って写真を編集する方法をチュートリアル形式で説明しています。ソフトウェアを実際に操作しながらお読みいただくと、操作の流れが修得できます。

写真を割り付けてプリントする

A4 サイズのテンプレートに、写真を 4 枚割り付けてプリントしてみましょう。ここでは Macintosh 用のアプリケーションを例に説明していますが、Windows 用アプリケーションでもほぼ同じ操作でプリントできます。

作業の前に

- オプションの EX-7000（接続時のみ）、内蔵プリンタ、LCD モニタ、本体の順番に電源を入れます。また、お使いのコンピュータの電源も入れます。本製品の電源の入れ方がわからない場合は、「電源を入れる」（174 ページ）をご覧ください。
- A4 サイズの用紙がプリンタにセットされているか確認します。
- プリントしたい JPEG や TIFF* の画像ファイルを、お使いのコンピュータのハードディスクにコピーします（任意のフォルダにコピーできますので、コピー先を忘れないでください）。
  * EPPLayout は LZW 圧縮された TIFF 画像ファイルを読み込むことができます。

作業の流れ

「EPPLayout を起動する」（17 ページ）

↓

「用紙を選択する」（19 ページ）

↓

「テンプレートに写真を割り付ける」（20 ページ）

↓

「プリントの準備をする」（25 ページ）

↓

「プリントする」（26 ページ）

↓

「EPPLayout を終了する」（28 ページ）

■ EPPLayout を起動する

❶ EPPLayout を起動します。

- 【Macintosh】
  ソフトウェアが入っているフォルダを開き、EPPLayout のアイコン（  ）をダブルクリックします。
- 【Windows】
  「スタート」をクリックし、「プログラム」（Windows 2000）または「すべてのプログラム」（Windows XP）から「EPSON Portrait Printer」の「EPP Layout」を選択します。

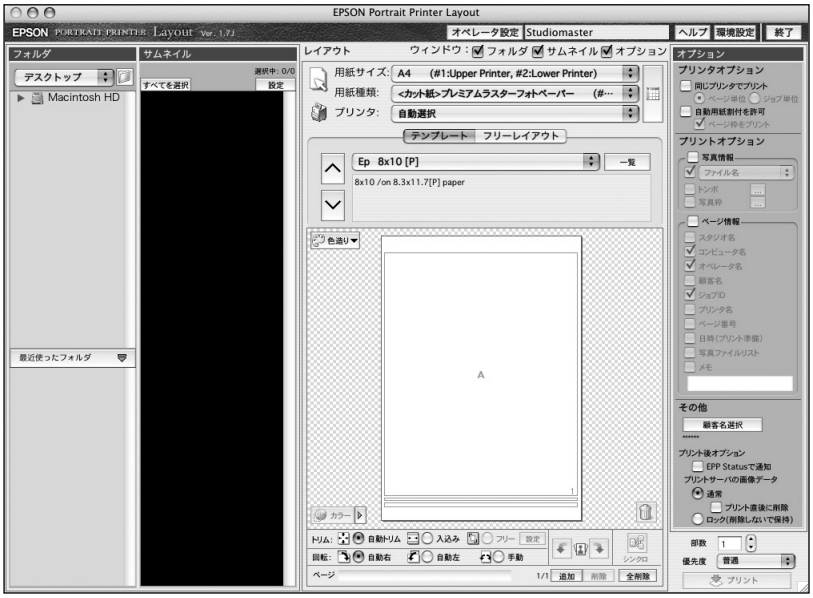
「ログイン」画面が表示されます。



❷ オペレータ名を「オペレータリスト」から選択し、パスワードを入力して「OK」をクリックします。

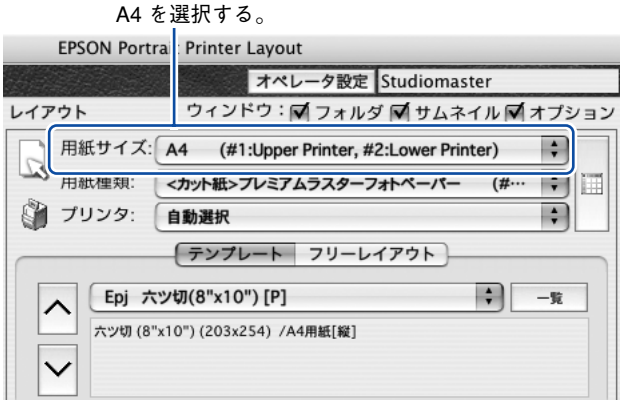


EPPLayout 画面が表示されます。

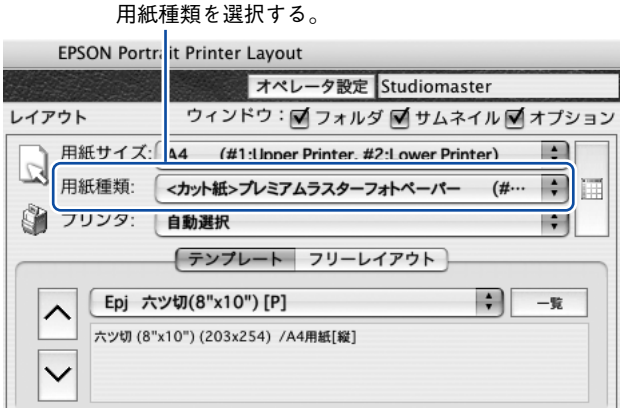


■ 用紙を選択する

3 「用紙サイズ」の ⇕ をクリックし、プルダウンメニューから A4 を選択します。

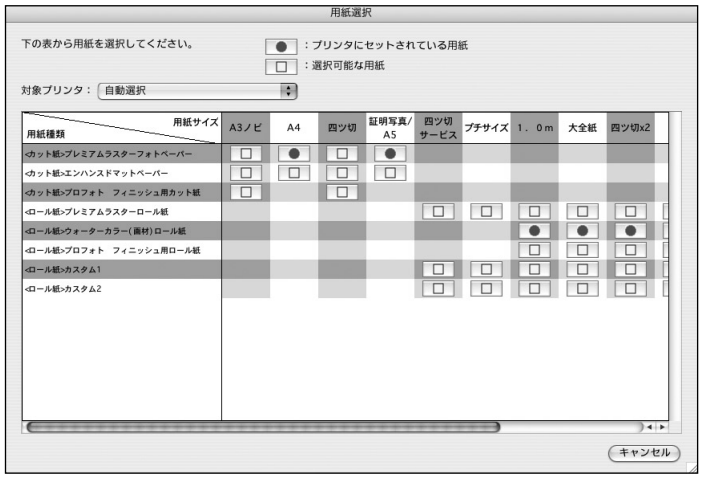


4 「用紙種類」の ⇕ をクリックし、プルダウンメニューからプリンタにセットされている用紙を選択します。



ポイント

▦ をクリックすると、以下の「用紙選択」画面が表示されます。使用するプリンタで使用できる用紙サイズと用紙種類の組み合わせを一覧表から一度に選択できます。



- ● をクリックした場合は、選択したサイズと種類の用紙がプリンタにセットされているので、そのまま印刷できます。
- □ をクリックした場合は、選択したサイズと種類の用紙をプリンタにセットしてから印刷を実行します。

■ テンプレートに写真を割り付ける

5 画面左にある「フォルダ」ウィンドウで、プリントしたい JPEG または TIFF* の画像ファイルが入っているフォルダをクリックして選択します。

* LZW 圧縮された TIFF 形式の画像ファイルも読み込めます。

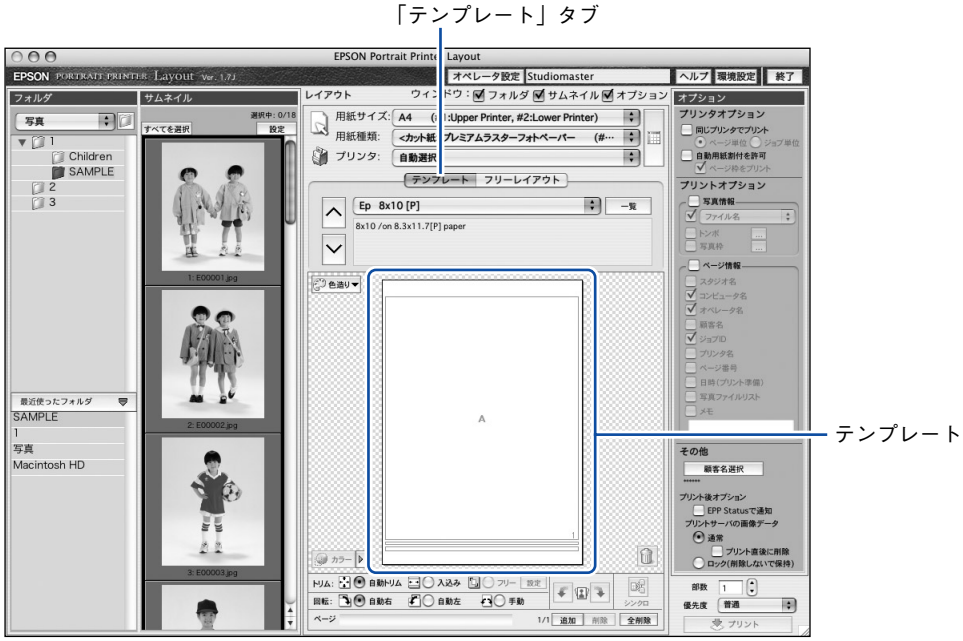
「サムネイル」ウィンドウにサムネイルが表示されます。



> **注意** 選択したフォルダ内に TIFF または JPEG の画像ファイルがないと、「サムネイル」ウィンドウには何も表示されません。詳しくは「使用できる画像ファイルについて」（47 ページ）をご覧ください。

6 「テンプレート」タブをクリックします。

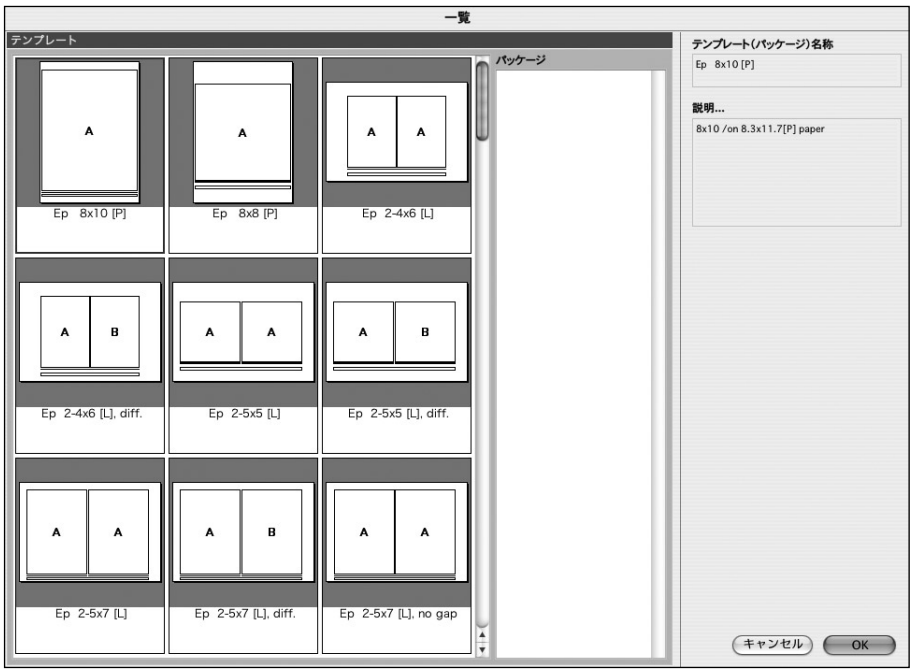
「レイアウト」ウィンドウの中央にテンプレートが表示されます。



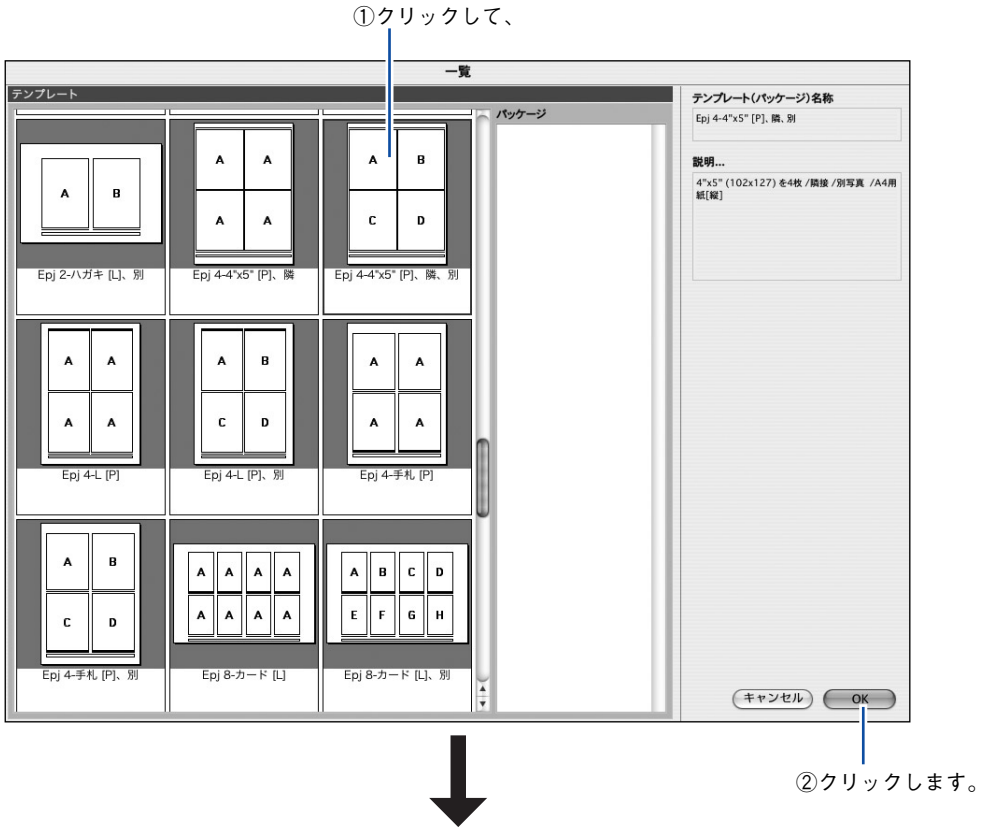
7「一覧」をクリックします。



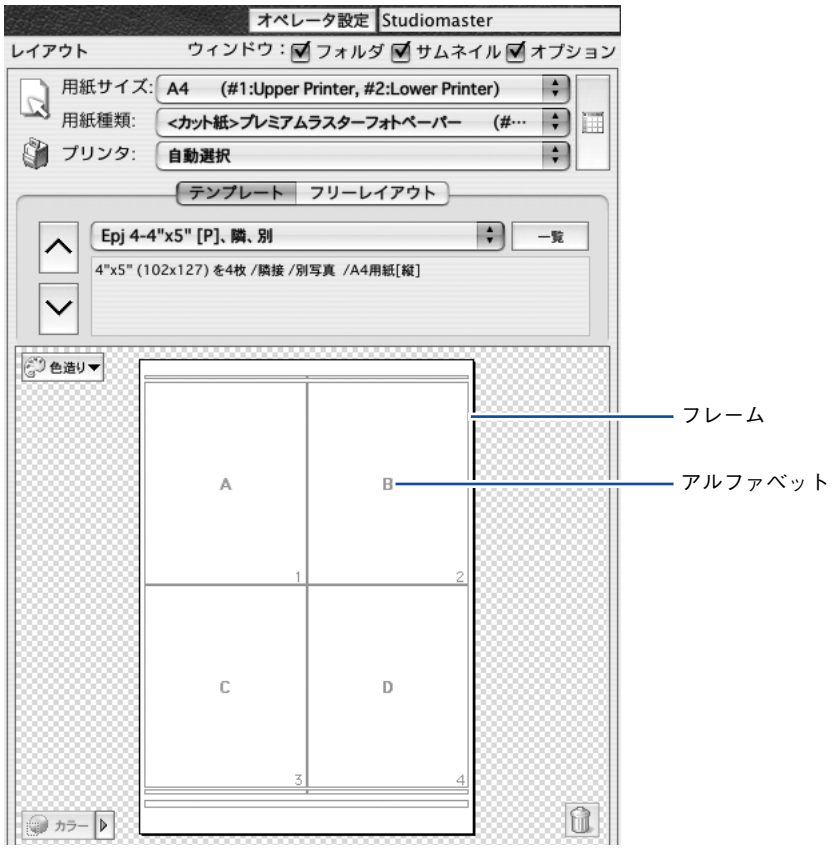
テンプレートの「一覧」画面が表示されます。



❽「一覧」画面から 4 面付け用のテンプレート（Epj 4-4” × 5”［P］、隣、別）を選択します。

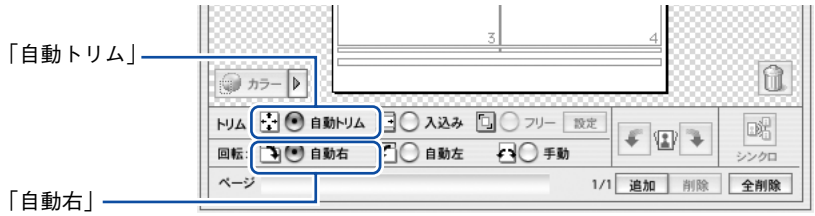


「一覧」画面で選択したテンプレートが、「レイアウト」ウィンドウに表示されます。



選択したテンプレートのフレームには A、B、C、D の異なるアルファベットが付いています。それぞれのフレームに異なる写真を割り付けることができます。

⑨「レイアウト」ウィンドウの下にある「トリム」、「回転」で、「自動トリム」、「自動右」を選択します。

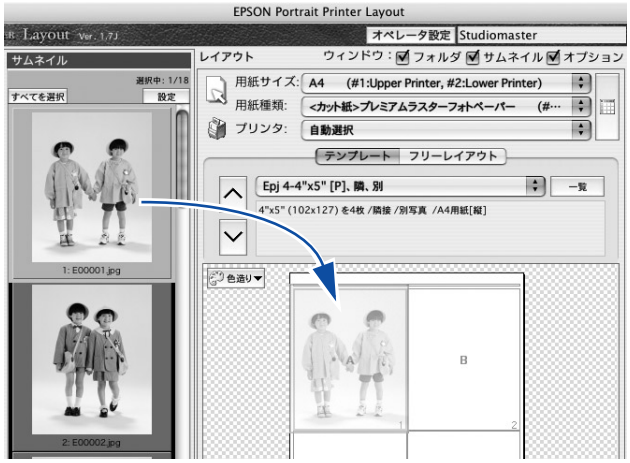


写真をフレームに割り付けると、「自動トリム」は写真の縦横比を固定したまま、写真の上下または左右を切り取って写真をフレームの中央に配置します。「自動右」は横長の写真を右回りに 90 度回転してフレームに収めます。

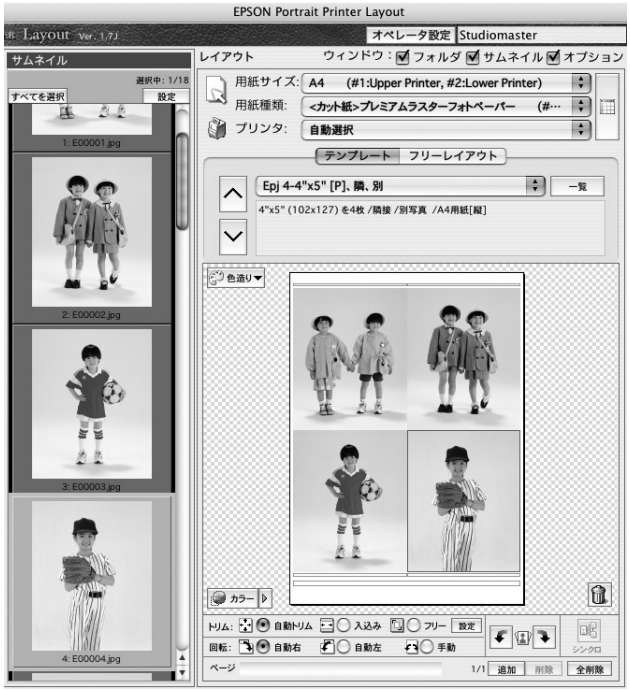
> ポイント
> 「トリム」の詳しい設定については「写真を切り取る」（195 ページ）、「回転」については「写真を回転させる」（197 ページ）をご覧ください。

⑩「サムネイル」ウィンドウの写真をテンプレートにドラッグします。

1 枚目の写真をクリックして A のフレームにドラッグし、2 枚目を B のフレームに、と、各フレームにプリントしたい写真をドラッグします。

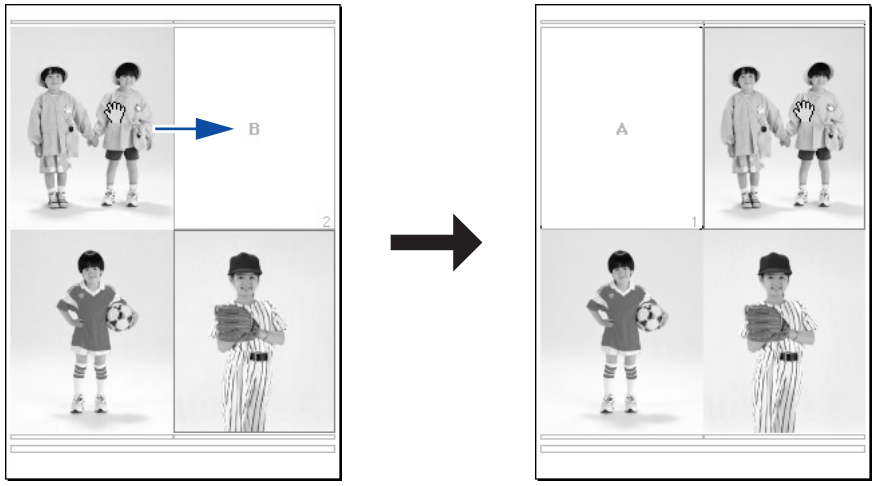


4 枚の写真がテンプレートに割り付けられました。

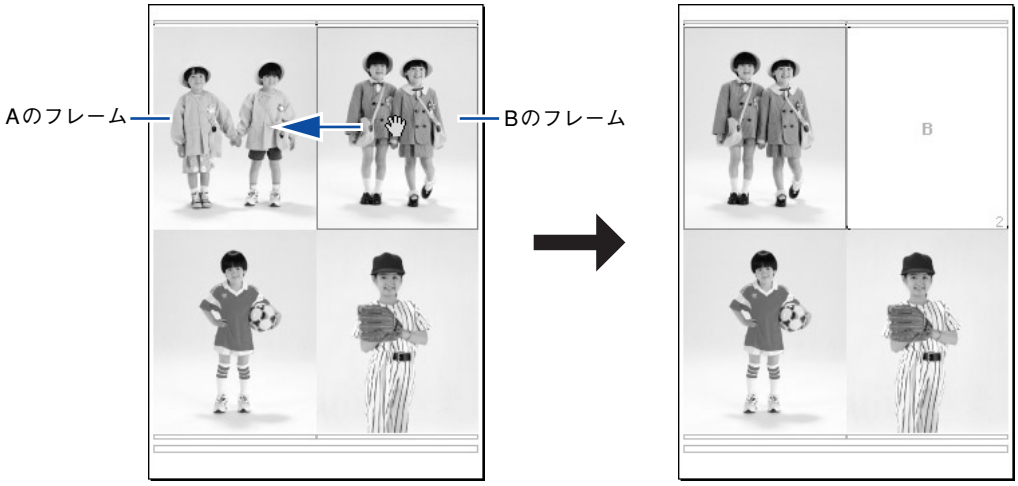


ワンポイントアドバイス

- **写真をほかのフレームに移動するには**
  割り付けられている写真を空いたフレームにドラッグすると移動できます。



- **ほかの写真と置き換えるには**
  「サムネイル」ウィンドウの写真をテンプレートに割り付けられている写真の上にドラッグすると置き換えることができます。また、割り付けられている写真をほかの写真の上にドラッグしても置き換えることができます。



Bのフレームの写真をAのフレームへドラッグすると、Aのフレームにの写真が置き換わる。
Aのフレームの写真はテンプレートから削除されます。

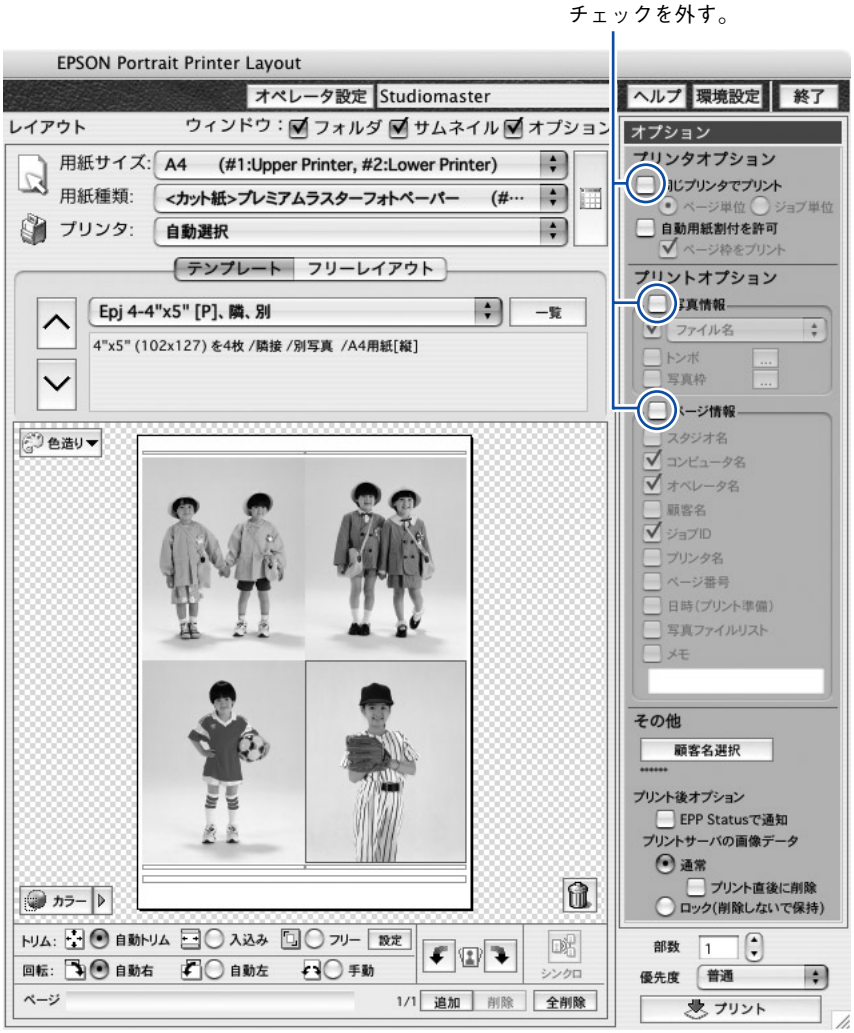
- **フレームから写真を削除するには**
  削除したい写真をクリックして選択し、 をクリックします。フレームから写真を削除しても、写真は「サムネイル」ウィンドウやフォルダからは削除されません。



削除した写真を選択してクリックする。

■ プリントの準備をする

⓫「オプション」ウィンドウのすべてのチェックボックスからチェック（✓ 印）を外します。

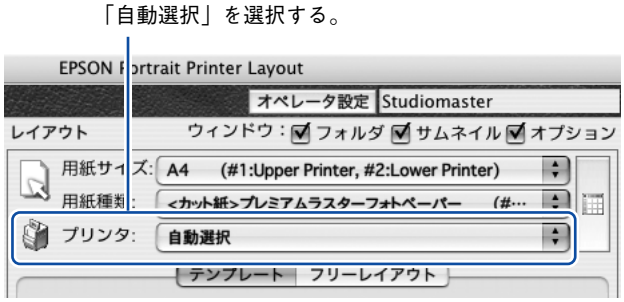


ポイント

「オプション」ウィンドウを設定すると、写真にトンボやファイル名、スタジオ名などを付けてプリントできます。詳しくは、「プリントの準備をする」（211 ページ）をご覧ください。

■ プリントする

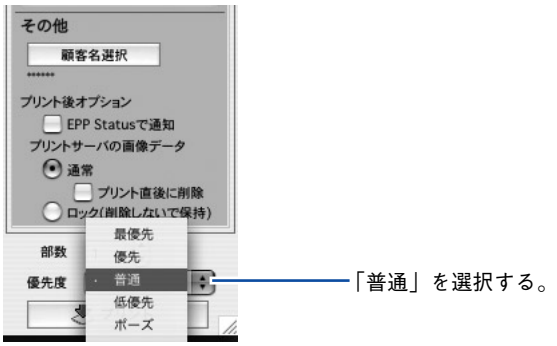
⑫「プリンタ」の ⇕ をクリックしプルダウンメニューから「自動選択」を選択します。



⑬「部数」の ⇕ をクリックしてプリント部数を「1」に設定します。



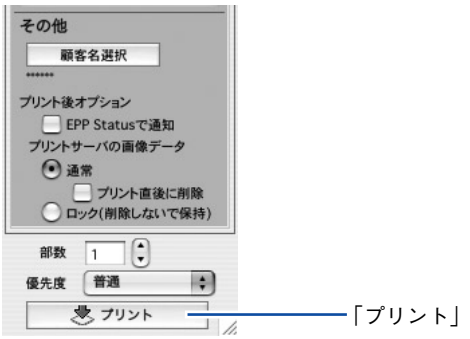
⑭「優先度」の ⇕ をクリックし、プルダウンメニューから「普通」を選択します。



ポイント

「優先度」ではプリントの優先順位を設定できます。詳しくは、「写真をプリントする」（218 ページ）をご覧ください。

⑮「プリント」をクリックします。



レイアウトした 4 枚の写真が A4 サイズの用紙にプリントされます。

■ EPPLayout を終了する

⑯ EPPLayout 画面右上の「終了」をクリックします。



Macintosh では「EPPLayout」メニューから「終了」を選択することもできます。

写真を編集して保存する

少し暗い色調の写真を明るい色調に調整し、保存してみましょう。

作業の前に

- お使いのコンピュータの電源を入れます。
- 編集したいJPEGやTIFF*の画像ファイルを、お使いのコンピュータのハードディスクにコピーします（任意のフォルダにコピーできますので、コピー先を忘れないでください）。

  * EPPWorksはLZW圧縮されたTIFF画像ファイルを読み込むことができます。

作業の流れ

「EPPWorksを起動する」（30ページ）

↓

「編集する写真を選択する」（31ページ）
（「一覧」モード）

↓

「カラーマネージメントを設定する」（33ページ）
（「レタッチ」、「カラー / トーン」モード*）

↓

「写真を編集する」（34ページ）
（書き出しモード）

↓

「編集した写真を保存する」（37ページ）

↓

「EPPWorksを終了する」（40ページ）

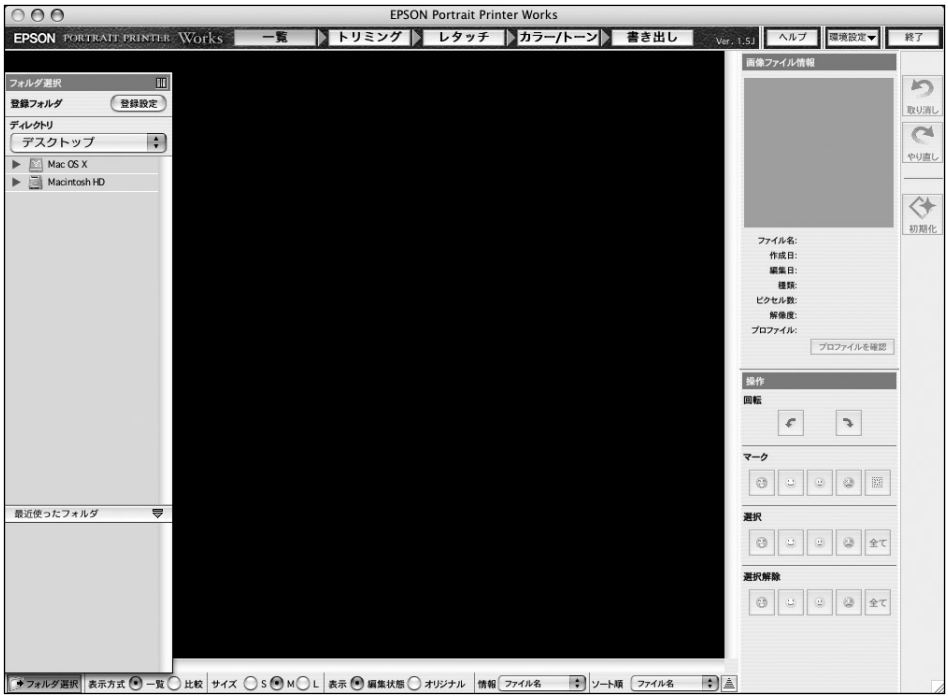
* ここでは「カラー / トーン」モードで写真を編集します。

■ EPPWorks を起動する

❶ EPPWorks を起動します。

- 【Macintosh】
  ソフトウェアが入っているフォルダを開き、EPPWorks のアイコン（  ）をダブルクリックします。
- 【Windows】
  「スタート」をクリックし、「プログラム」（Windows 2000）または「すべてのプログラム」（Windows XP）から「EPSON Portrait Printer」の「EPPWorks」を選択します。

「一覧」モードの画面が表示されます。



■ 編集する写真を選択する 一覧

「一覧」モードでは「サムネイル」ウィンドウに写真のサムネイルを表示させ、編集する写真を選択します。

2 「フォルダ選択」ウィンドウで、画像ファイルが入っているフォルダをクリックします。

サムネイルが画面に表示されます。

フォルダをクリックする。



サムネイルが表示される。

3 画面左下の「フォルダ選択」をクリックして「フォルダ選択」ウィンドウを閉じます。



「フォルダ選択」ウィンドウの背後に隠れていたサムネイルが表示されます。



「フォルダ選択」をもう一度クリックすると、再び「フォルダ選択」ウィンドウが開きます。

4 編集したいサムネイルをクリックします。



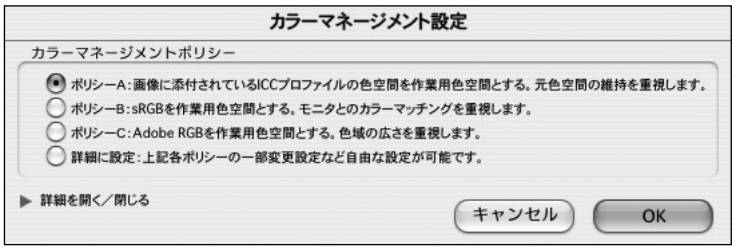
■ カラーマネージメントを設定する 一覧

写真の編集を始める前に、モニタに表示される写真の色をプリントされる色にできるだけ近づけるために、カラーマネージメントを設定します。

5 画面右上の「環境設定」をクリックし、プルダウンメニューから「カラーマネージメント設定」を選択します。



「カラーマネージメント設定」が表示されます。



6 「カラーマネージメントポリシー」を選択します。

あらかじめ用意されている「ポリシーA」、「ポリシーB」、「ポリシーC」から選択するだけで、カラーマネージメントを簡単に設定できます。詳しい設定については、「カラーマネージメントを設定する」（58 ページ）をご覧ください。

■ 写真を編集する トリミング レタッチ カラー/トーン

- 「**トリミング**」**モード**：写真をトリミングしたり回転させることができます。
- 「**レタッチ**」**モード**：ブラシを使って写真をレタッチできます。
- 「**カラー／トーン**」**モード**：写真の色調を調整できます。

ここでは、「カラー／トーン」モードの「プリセット」シートにある「インテリチューン（自動画像調整）」フィルタを使って写真の色調を調整します。

7 「カラー／トーン」をクリックします。

選択した写真がプレビューエリアに表示されます。



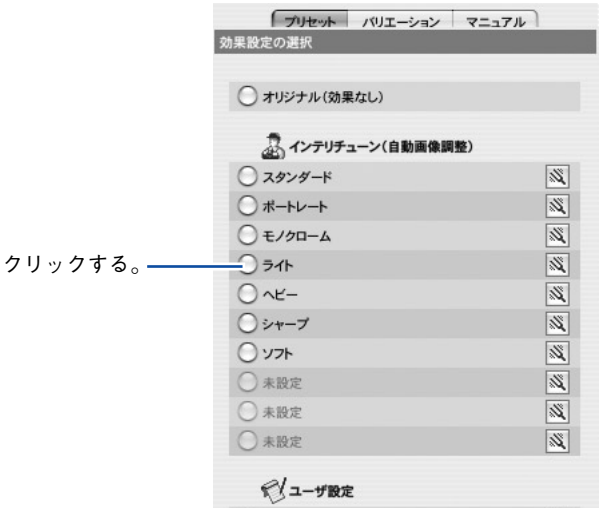
8 「プリセット」タブをクリックします。

「効果設定の選択」エリアが表示されます。



9 「インテリチューン（自動画像調整）」の一覧からフィルタを選択します。

「インテリチューン（自動画像調整）」フィルタには「スタンダード」、「ポートレート」、「モノクローム」、「ライト」、「ヘビー」、「シャープ」、「ソフト」が用意されています。
ここでは、少し暗い色調の写真を明るい色調に調整したいので、「ライト」をクリックします。
プレビューエリアの画像に「ライト」のフィルタが適用されます。画像の色調を確認してください。



ワンポイントアドバイス

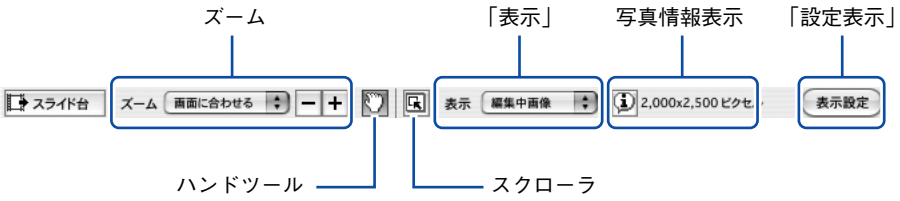
操作をやり直すには



EPPWorks 画面右上の「取り消し」、「やり直し」をクリックすると、行った操作を元に戻したりやり直すことができます。
「取り消し」をクリックすると、最後に行った操作を取り消します。
「やり直し」をクリックすると、最後に「取り消し」された操作を元に戻します。
「初期化」をクリックすると、現在のモードに切り替えたときの最初の画像の状態に戻します。
「トリミング」または「カラー／トーン」モードでは、「取り消し」と「やり直し」は 10 回まで行うことができます。「レタッチ」モードでは、ハードディスクに空き容量があれば何回でも繰り返すことができます。通常、100 回以上行えます。

写真の表示を変更するには

EPPWorks 画面下に、編集している写真の表示を変更するツールバーがあります。このツールを使って編集結果を詳細に確認したり、編集前と編集中の写真を比較することができます。
次に作業する「書き出し」モードでも、写真を保存する前にこれらのツールを使って写真を確認することができます。



「ズーム」

プレビュー画像を拡大したり、縮小します。
プルダウンメニューから倍率を選択するか、「ー」／「＋」をクリックします。

「ハンドツール」

プレビュー画像を拡大したときに、スクロールできます。

「スクローラ」

クリックすると「スクローラ」画面が表示され、拡大表示したプレビュー画像が、写真全体のどの部分なのかを赤い枠で示します。赤い枠内をドラッグすると、プレビュー画像をスクロールできます。

「表示」

プレビューエリアの画像表示を「編集中画像」、「編集前画像」、「比較表示」から選択します。
「比較表示」を選択すると、編集中と編集前の画像が 2 枚並んで表示されます。

写真情報表示（「トリミング」モードにも共通）

をクリックすると、マウスのボタンを押している間だけ写真サイズと解像度が表示されます。

「表示設定」（「トリミング」モードにも共通）

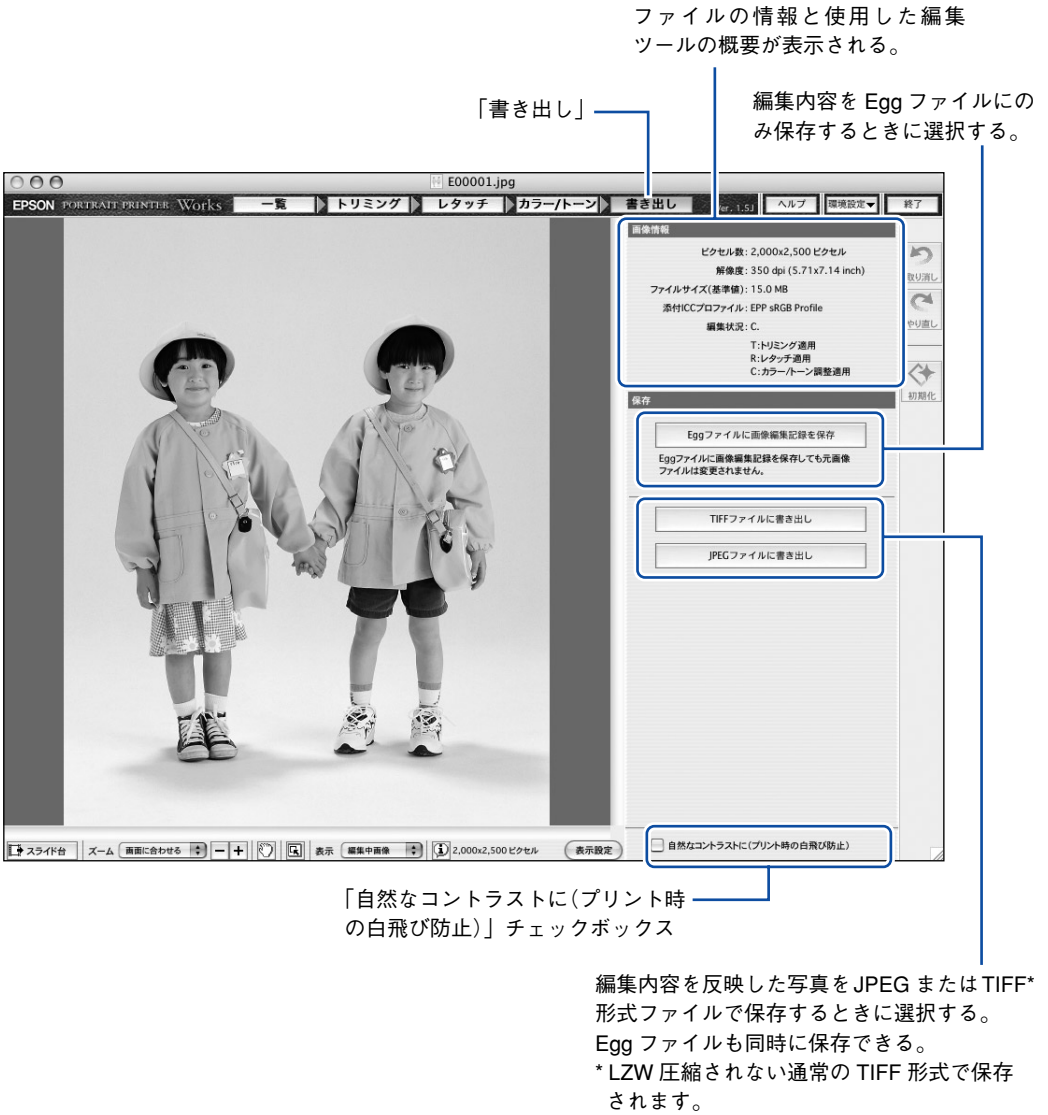
「モニタカラーマネージメント」、「背景表示色」、「単位」、「解像度」を設定します。

■ 編集した写真を保存する 書き出し

編集した写真を保存します。

⑩「書き出し」をクリックします。

編集内容を反映した写真がプレビューエリアに表示され、ファイルの情報と使用した編集ツールの概要が「画像情報」に表示されます。



ポイント

プリントされた写真の白飛びを防ぎたい場合は、「自然なコントラストに（プリント時の白飛び防止）」チェックボックスにチェック（✓ 印）を入れます。そのままのコントラストでよい場合は、チェック（✓ 印）を入れる必要はありません。

Egg ファイルとは

Egg ファイルには写真の編集内容が記録されます。Egg ファイルは 1 枚の写真につき 1 つだけ作成されますが、写真を編集すると編集記録が上書きされるので最新の編集内容を保存することができます。オリジナルの写真とは独立しているファイルなので、オリジナルの写真が編集されてしまうことはありません。

> **ポイント**
> オリジナルの写真を初めから編集するには、Egg ファイルを削除します。
> 「一覧」モードでニワトリ（ ）かタマゴ（ ）のアイコンが付いているサムネイルを選択し、「ファイル」メニューから「Egg ファイルを削除」を選択すると、Egg ファイルを削除する確認のメッセージ画面が表示されます。
> 「はい」をクリックすると Egg ファイルが削除され、オリジナルの画像ファイルが選択できるようになります。

11 「TIFF ファイルに書き出し」または「JPEG ファイルに書き出し」をクリックします。

EPPLayout を使ってレイアウトし、プリントするためには、編集効果が反映された画像ファイルを TIFF または JPEG で保存する必要があります。
ファイルを保存するフォルダを選択し、「別名で保存」にファイル名を入力して「保存」をクリックします。



> **ポイント**
> 「TIFF ファイルに書き出し」を選択した場合、LZW 圧縮されない通常の TIFF 形式で保存されます。

Egg ファイルを保存するか確認するメッセージ画面が表示されます。保存する場合は「保存」をクリックします。Egg ファイルはオリジナルの画像ファイルと同じフォルダに保存され、TIFF または JPEG ファイルは選択したフォルダに保存されます。
「保存しない」をクリックすると Egg ファイルは保存されず、TIFF または JPEG ファイルだけが選択したフォルダに保存されます。

写真の編集から保存までの一連の作業はこれで終了しました。
編集記録を保存した Egg ファイル、EPPLayout で使用するための TIFF または JPEG ファイル、そして何も編集されていないオリジナルの画像ファイルの 3 種類のファイルがハードディスクに存在することになります。
次回、編集効果を反映したファイルから編集を始めるには Egg ファイル、または JPEG や TIFF ファイルを使います。

Egg ファイルだけを保存するには

「Egg ファイルに画像編集記録を保存」をクリックします。「OK」をクリックすると、編集記録が Egg ファイルに保存されます。Egg ファイルはオリジナルの画像と同じフォルダに保存されますが、オリジナルの画像ファイルが編集されてしまうことはありません。次回から Egg ファイルを編集し直したり、オリジナルの画像ファイルを編集することもできます。



注意 オリジナルの画像ファイルの保存場所を変更する場合は、その画像の Egg ファイルも同じフォルダに移動させてください。

■ EPPWorks を終了する

⑫ EPPWorks 画面右上の「終了」をクリックします。



Macintosh では「ファイル」メニューから「終了」を選択することもできます。

オペレーションガイド

ソフトウェアの使い方、プリントデータの管理や本体のメンテナンスまで、本システム全体の使用方法が詳細に記載されています。また、お客様に提供する印刷物の保管方法も記載されていますので、是非ご一読ください。

はじめに

本製品は写真の編集からプリントまでを一貫して行えるシステムです。ハードウェア、ソフトウェア一体型の本システムは簡便かつ優れた操作性を備え、写真スタジオにおけるプロ技術者からのご要望にお応えできる高画質かつ劣化の少ないデジタルプリントを提供いたします。

■ ソフトウェアについて 43
■ オペレーションガイドについて 45

■ ソフトウェアについて

本システムでは以下のソフトウェアを使用します。EPPServer 以外のソフトウェアは「クライアントソフトウェア CD」からインストールできます。EPPServer は本体のサーバにあらかじめインストールされているソフトウェアです。

EPPWorks（イーピーピーワークス）

トリミングやレタッチなどの機能を使って写真を編集し、JPEG または TIFF* ファイル形式で保存します。これらのファイルを EPPLayout でレイアウトし、サーバに送信してプリントします。

* EPPWorks は LZW 圧縮された TIFF 形式の画像ファイルを読み込んで編集できますが、TIFF 形式で保存する場合は LZW 圧縮されない通常の TIFF 形式で保存されます。

EPPTemplate（イーピーピーテンプレート）

サーバからサンプルテンプレートをダウンロードして、お好みに合わせて編集したり、新規にテンプレートを作成できます。作成したテンプレートをサーバにアップロードすると、ほかのユーザーとテンプレートを共有でき、EPPLayout のテンプレートとして使えます。

EPPLayout（イーピーピーレイアウト）

テンプレートに写真を配置し、プリントデータをサーバに送信してプリントします。トリミングや回転などの機能を使って写真を適切に配置し、トンボや写真情報など、プリントする際のオプションも設定できます。

EPPMonitor（イーピーピーモニタ）

本体に搭載されているプリンタの使用状況を確認できます。プリントジョブの設定を変更したり、プリントジョブの削除もできます。

EPPStatus（イーピーピーステータス）

警告やエラーメッセージをクライアントコンピュータに表示して、使用中のプリンタ、用紙やインクの状態を知らせます。

EPPServer（イーピーピーサーバ）

本体の LCD モニタ画面でプリンタの用紙設定、プリントログのアップデート、ノズルチェック、プリンタヘッドのクリーニングや調整、画質調整など、主にメンテナンスに関する設定を行います。

● システム動作環境について

【Macintosh】

CPU	G3/G4 450MHz 以上および G5
OS	Mac OS X v10.2（10.2.8 推奨）および Mac OS X v10.3（10.3.5 以降推奨） （Mac OS X の Classic には対応していません）
メモリ	256MB 以上
ColorSync	Ver. 3.0.3 以上
ネットワーク環境	10BASE-T/100BASE-TX
モニタサイズ	1024 × 768 ピクセル以上

【Windows】

CPU	1GHz 以上
OS	Windows 2000 Professional（SP4）、 Windows XP Professional Edition（SP1 以降）、 Windows XP Home Edition（SP1 以降） （Windows 2000、Windows XP の動作が保証されているシステム環境）
メモリ	256MB 以上
ネットワーク環境	10BASE-T/100BASE-TX
モニタサイズ	1024 × 768 ピクセル以上

注意

Windows 版のクライアントソフトウェアを使用する場合は、以下の使用権限で使用してください。

OS	インストール時	アプリケーション実行時
Windows 2000 Professional	アドミニストレーター	アドミニストレーター／ Power User
Windows XP Professional Edition	アドミニストレーター	アドミニストレーター
Windows XP Home Edition	アドミニストレーター	アドミニストレーター

■ オペレーションガイドについて

オペレーションガイドをよくお読みになり、本システムを正しくお使いください。オペレーションガイドは以下のように構成されています。

1. 画像ファイルを準備する

EPPWorks を使って、画像を編集し、保存するまでの操作を説明します。

2. テンプレートを作成し、管理する

EPPTemplate を使って、テンプレートを作成、編集、管理し、サーバへアップロードするまでの操作を説明します。

3. 写真をレイアウトしてプリントする

EPPLayout を使って写真をテンプレートに配置し、写真の向きを調整したりトリミングし、プリントするまでの操作を説明します。

4. プリントデータを管理する

EPPMonitor、EPPStatus、EPPServer を使ってサーバに送信したプリントジョブの状況やプリンタの状態を確認する方法について説明します。プリントジョブの優先度、用紙種類の変更、再プリント、一時停止、プリントジョブ削除などについても説明します。

5. 写真の取扱いと保管方法

写真の取り扱い方、保管方法、飾り方について説明します。

6. メンテナンス

プリンタに用紙をセットしたり、インクカートリッジを交換するなどの日常的なメンテナンスについて説明しています。また、プリントログをセンターサーバへアップデートする方法や、EPPServer ソフトウェアの更新などについても説明します。

7. ユーザーやクライアントコンピュータを追加する

ユーザーを追加する場合の登録方法や、クライアントコンピュータを追加する方法について説明します。

8. 仕様

本機の仕様について説明します。

画像ファイルを準備する

写真編集ソフトウェア EPPWorks を使って画像の編集ができます。画像をお好みにあわせて編集したあと、レイアウト用ソフトウェア EPPLayout を使ってレイアウトできます。画像の編集には、Adobe Photoshop などの画像編集ソフトウェアをお使いいただくこともできます。

ここでは、EPPWorks を使って画像ファイルをプリントデータとして適したファイルにしたり、写真を編集する基本的な方法について説明します。さらに詳しい EPPWorks の使い方や機能については、「EPPWorks オンラインヘルプ」をご覧ください。EPPWorks 画面右上の「ヘルプ」をクリックすると、「EPPWorks オンラインヘルプ」が表示されます。「EPPWorks オンラインヘルプ」の使い方は「オンラインヘルプについて」（377 ページ）をご覧ください。

■ 使用できる画像ファイルについて 47
■ ICC プロファイルを添付する 48
■ 写真編集の流れ 49
■ EPPWorks を起動する 51
■ 編集する写真を選択する 52
■ カラーマネージメントを設定する 58
■ 写真を回転させたり、トリミングする 60
■ 写真をレタッチする 65
■ ツールバーを使う 68
■ 写真の色や色調を調整する 69
■ 編集した画像ファイルを保存する 80

■ 使用できる画像ファイルについて

JPEG、TIFF、または LZW 圧縮された TIFF 形式の画像ファイルであれば、デジタルカメラで撮影した画像ファイル、従来のフィルムや写真をスキャンした画像ファイルなどをクライアントコンピュータで編集、レイアウトし、プリントサーバに送信してプリントできます。

注意

- 以下の条件を満たすファイルだけをお使いください。
  - RGB モードが設定されている JPEG、TIFF、または LZW 圧縮された TIFF 形式のファイル
  - α チャンネル付き TIFF 形式のファイルでないこと
  - 圧縮されていないファイル
  - 48MB 以下のファイル
- 画像ファイルはクライアントコンピュータのハードディスクにコピーし、必ずフォルダに入れてください。

ポイント

EPPWorks で作業する前に、モニタに表示される画像の色がプリントされる色にできるだけ近くなるように、クライアントコンピュータのモニタのカラー補正を行ってください。（333 ページ参照）

■ ICC プロファイルを添付する

プリント用に写真を編集したりレイアウトする前に、画像ファイルに ICC プロファイルを添付したいときは、Adobe Photoshop などの画像編集ソフトウェアを使って JPEG または TIFF 形式のファイルを開いてください。RGB 色空間を使って ICC プロファイルが添付できます。ICC プロファイルについては、「EPPWorks オンラインヘルプ」の「I-4. ICC プロファイル」をご覧ください。

■ 写真編集の流れ

EPPWorks には編集機能別に「一覧」、「トリミング」、「レタッチ」、「カラー／トーン」、「書き出し」の５つのモードが用意されています。EPPWorks を起動し、以下の流れに沿って写真を編集します。
「一覧」モードで編集したい写真を選択、評価する→「トリミング」画面で写真を回転、トリミングする→「レタッチ」モードで写真をレタッチする→「カラー／トーン」モードで色と色調を補正する→「書き出し」モードで編集した写真を保存する

この流れに沿って編集すると、次のように写真に加工が加えられます。

「一覧」モードでの編集が「トリミング」モードに反映される

↓

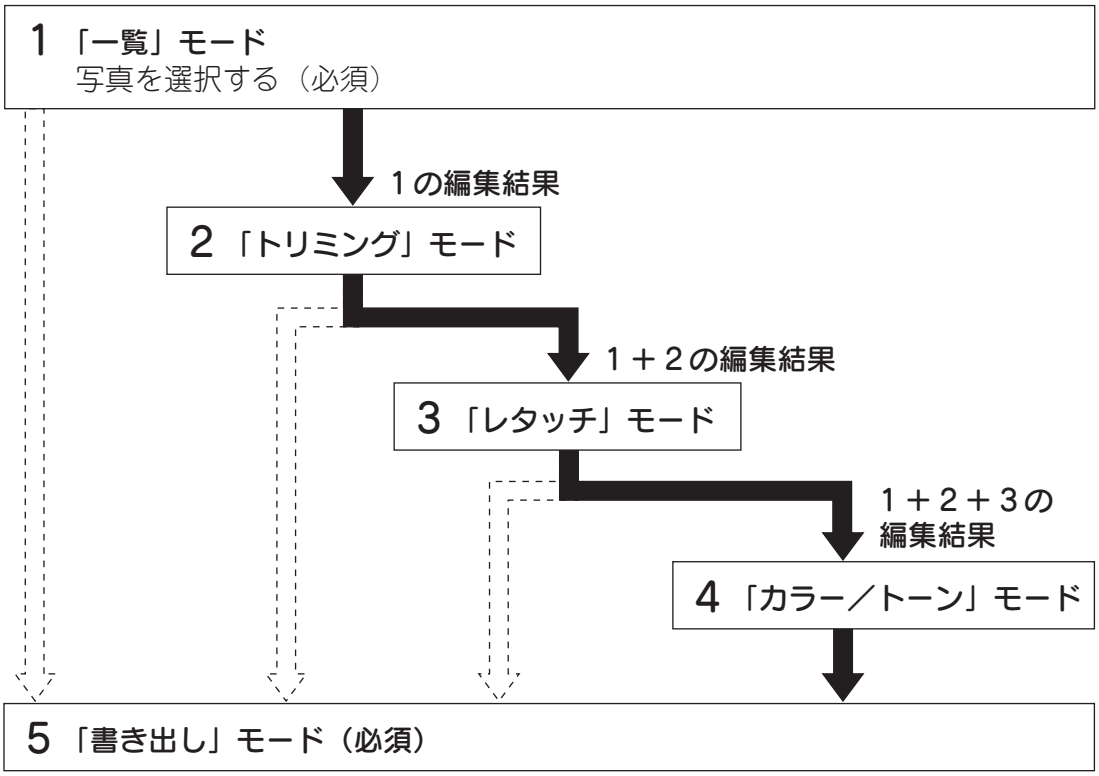
「トリミング」モードでの編集が「レタッチ」モードに反映される

↓

「トリミング」と「レタッチ」モードでの編集が
「カラー／トーン」モードに反映される

↓

「トリミング」、「レタッチ」、「カラー／トーン」モードでの編集が
「書き出し」モードに反映される



ポイント

- 「トリミング」から「カラー／トーン」モードまでの編集を必要に応じて省くことができます。例えば、「一覧」モードから「レタッチ」や「カラー／トーン」モードに切り替えたり、「一覧」モードから直接「書き出し」モードに進むこともできます。ただし、「一覧」モードで写真を選択せずにほかのモードに切り替えることはできません。
- 「トリミング」から「書き出し」までのモードを必要に応じて切り替えることができます。モードを切り替えても編集内容は保持されています。例えば、「カラー／トーン」から「レタッチ」モードに切り替えて編集し直したり、「トリミング」モードに切り替えてトリミング領域を変更することもできます。
- 編集作業の“流れの後”にあるモードから“流れの前”のモードに切り替えると、“流れの後”のモードの編集内容はプレビュー画像に反映されません。例えば、「カラー／トーン」で行った編集は「レタッチ」モードのプレビュー画像には表示されません。再度「カラー／トーン」や「書き出し」モードなどの“流れの後”にあるモードに切り替えると、そのモードまでに行ったすべての編集内容が反映されたプレビュー画像が表示されます。
- 「トリミング」、「レタッチ」、「カラー／トーン」モードで編集したあと、「一覧」モードに切り替えたり、「書き出し」モードで画像ファイルを保存せずに「一覧」モードに切り替えると、編集記録を Egg ファイルに保存するかを確認する画面が表示されます。編集記録を保存したいときは、「保存」をクリックします。
- EPPWorks で JPEG や TIFF の画像ファイルを編集し、保存するときに編集内容がすべて入った Egg ファイルを作成することもできます。Egg ファイルを作成するとオリジナルの JPEG または TIFF ファイルは編集されず、そのままの状態で残すことができます。

注意

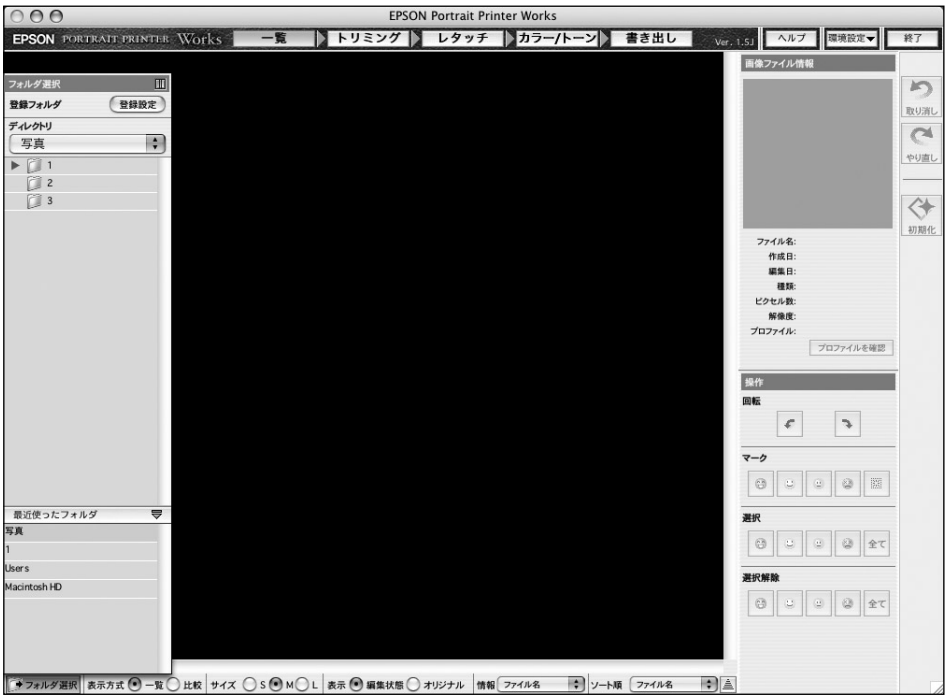
- EPPWorks は必ずクライアントコンピュータにインストールしてください。
- クライアントコンピュータのEPPWorksプログラムファイルを編集したり削除しないでください。EPPWorks が正常に働かなくなります。
- 画像ファイルは必ずクライアントコンピュータのハードディスクのフォルダにコピーしてください。CD-ROM、MO、フロッピーディスクなどに入れたまま作業しないでください。

■ EPPWorks を起動する

1 EPPWorks を起動します。

- 【Macintosh】
  ソフトウェアが入っているフォルダを開き、EPPWorks のアイコン（  ）をダブルクリックします。
- 【Windows】
  「スタート」をクリックし、「プログラム」（Windows 2000）または「すべてのプログラム」（Windows XP）から「EPSON Portrait Printer」の「EPPWorks」を選択します。

「一覧」モードの画面が表示されます。



> **ポイント**
>
> 以下の方法でも EPPWorks を起動することができます。
> - EPPWorks のアイコンに画像ファイルをドラッグする。
> - EPPWorks のアイコンに拡張子「.egg」がついたファイルをドラッグする。
>
> 【Macintosh のみ】
> - EPPWorks で保存した Egg ファイルをダブルクリックする。
> - EPPWorks で編集し、TIFF または JPEG で保存された画像ファイルをダブルクリックする。

● EPPWorks を終了するには

【Macintosh】

EPPWorks 画面右上の「終了」をクリックするか、「EPPWorks」メニューから「終了」を選択します。

【Windows】

EPPWorks 画面右上の「終了」をクリックするか、画面右上隅にある ☒ をクリックします。

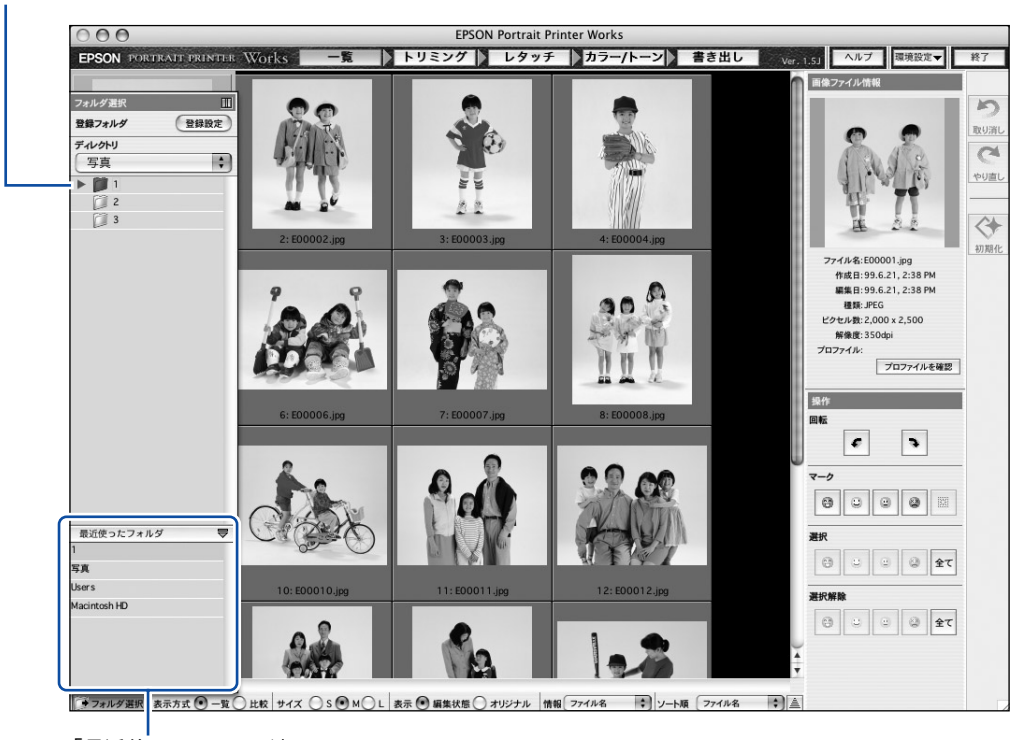
■ 編集する写真を選択する 一覧

「一覧」モードでは「サムネイル」ウィンドウに写真のサムネイルを表示させ、編集する写真を選択します。

❶「フォルダ選択」ウィンドウで、画像ファイルが入っているフォルダをクリックします。

サムネイルが画面に表示されます。

フォルダをクリックする。



「最近使ったフォルダ」

ポイント

- 「最近使ったフォルダ」には、これまでに使ったフォルダが新しいものから 20 個まで表示されます。「最近使ったフォルダ」ウィンドウからフォルダを選択することもできます。
- よく使うフォルダを登録し、「登録フォルダ」に表示させることができます。詳しくは、「EPPWorks オンラインヘルプ」の「C-2-3. フォルダを登録する」をご覧ください。
- フォルダ内にサブフォルダがあると、▷ がフォルダの左側に表示されます。▷ をクリックすると ▽ に変わり、サブフォルダが表示されます。
- 「フォルダ選択」ウィンドウ内でのフォルダの移動、コピー、削除、フォルダ名の変更はできません。

注意

異なる OS 環境でレタッチを行ったファイルの場合、レタッチ結果がサムネイルに表示されない場合があります。その場合は以下の手順でサムネイルの再作成を行ってください。

【Macintosh】

サムネイルを選択し、「書き出し」をクリックします。「書き出し」画面で、「Egg ファイルに画像編集記録を保存」をクリックして、Egg ファイルを再作成します。

【Windows】

ウインドウの一番左上をクリックし、「ファイル」メニューから「サムネイル再生成」を選択して、Egg ファイルを再作成します。

❷ 画面左下の「フォルダ選択」をクリックして「フォルダ選択」ウィンドウを閉じます。

「フォルダ選択」ウィンドウの背後に隠れていたサムネイルが表示されます。「フォルダ選択」をもう一度クリックすると、再び「フォルダ選択」ウィンドウが開きます。



クリックする。

3 編集したいサムネイルをクリックして選択します。

選択されたサムネイルは青い枠で囲まれ、背景色が薄いグレーに変わります。選択されたサムネイルと画像ファイルの情報が、右側の「画像ファイル情報」エリアに表示されます。



「トリミング」、「レタッチ」、「カラー／トーン」、「書き出し」モードに切り替えると、選択したサムネイルがプレビューエリアに表示されます。

複数のサムネイルをまとめて選択する場合

EPPWorks では、一度に 1 枚の写真しか編集できませんが、「一覧」モードで複数のサムネイルを選択しておくと、ほかのモードではそれらのサムネイルがスライド台に表示されます。

複数のサムネイルは以下の方法で選択します。

- 離れた位置にあるサムネイルを選択するには、サムネイルを 1 枚クリックし、「⌘」キー（Macintosh）または「Ctrl」キー（Windows）を押しながら、ほかのサムネイルをクリックします。
- 並んでいるサムネイルを連続して選択するには、1 枚目のサムネイルをクリックし、「Shift」キーを押しながら、最後のサムネイルをクリックします。
- すべてのサムネイルを選択するには、右側の「操作」エリアにある「選択」の「全て」をクリックします。すべての選択を解除するには、「選択解除」の「全て」をクリックします。

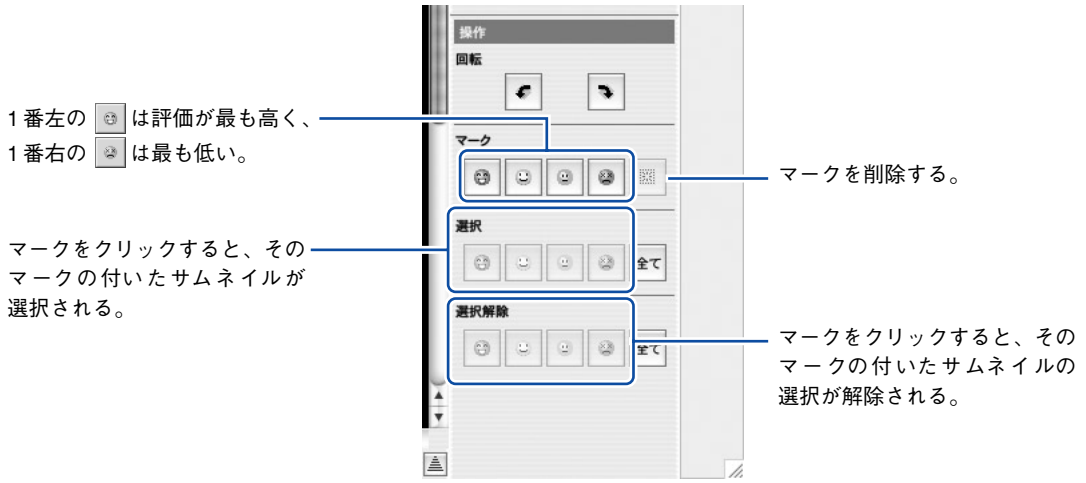
● サムネイルにマークを付ける

サムネイルに 4 段階評価のマークを付けることができます。画質などの目安になるので、どの写真を編集したりプリントするのかを選択するときに便利です。サムネイルを選択し、「マーク」にある 4 段階評価のマークをクリックして、サムネイルに評価を付けます。複数のサムネイルを選択しておくと、それらのサムネイルに同じマークを一度に付けることができます。

マークを付けてから、マーク別にサムネイルを選択したり、選択を解除することもできます。

マーク別にサムネイルを選択する：「選択」欄にある 4 種類のマークのうち、どれかをクリックします。クリックしたマークが付いているサムネイルだけが選択されます。

マーク別にサムネイルの選択を解除する：「選択解除」欄にある 4 種類のマークのうち、どれかをクリックします。クリックしたマークが付いているサムネイルの選択が解除されます。複数のサムネイルが選択されているときに操作できます。



ポイント

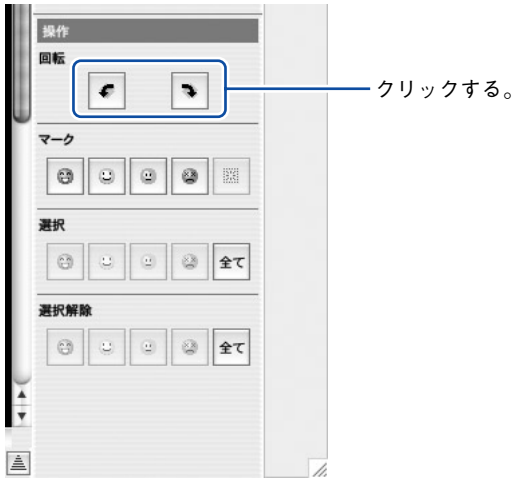
- サムネイルの下部にポインタを合わせると、マークと回転のポップアップウィンドウが表示されます。マークをクリックして、サムネイルに 1 枚ずつマークを付けることもできます。
- ここで付けたマークは、EPPLayout のサムネイルにも表示されます。
- Windows では、サムネイルの下部（下から 1 ／ 3 の高さまで）にポインタを合わせることにより、ポップアップウインドウからマークの選択を行うこともできます。

● サムネイルを回転させる

サムネイルを選択し、 または をクリックします。複数のサムネイルを選択しておくと、それらのサムネイルを同時に回転させることができます。

- をクリックするたびに、サムネイルが 90 度ずつ反時計回りに回転します。
- をクリックするたびに、サムネイルが 90 度ずつ時計回りに回転します。

「トリミング」モードでは、回転角度を設定して写真を回転させることができます。「写真を回転させたり、トリミングする」（60 ページ）をご覧ください。

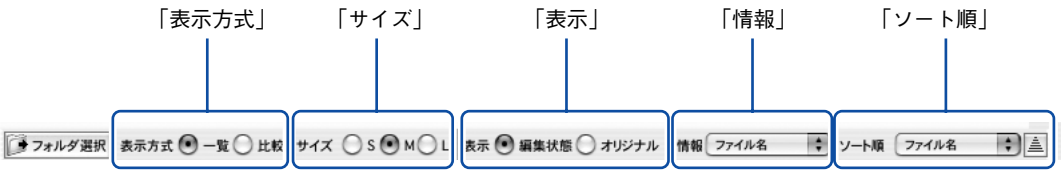


ポイント

- 「サムネイルの下部にポインタを合わせると、マークと回転のポップアップウィンドウが表示されます。 または をクリックしてサムネイルを 1 枚ずつ回転させることもできます。
- Windows では、サムネイルの下部（下から 1 ／ 3 の高さまで）にポインタを合わせことにより、ポップアップウインドウからサムネイルの回転を行うこともできます。

● ツールバーを使う

サムネイルの表示の仕方を選択できる便利なツールが「一覧」モード画面の下部にあります。各ツールの詳しい設定方法については、「EPPWorks オンラインヘルプ」の「C-4. サムネイルツールバー」をご覧ください。



「表示方式」

「一覧」：すべてのサムネイルが、同じ大きさで「サムネイル」ウィンドウ全体に表示されます。
「比較」：離れた位置にあるサムネイルを近づけて比較したり、拡大して比較できます。

「サイズ」

サムネイルの表示サイズを S、M、L から選択します。

「表示」

「編集状態」：編集後のサムネイルを表示します。
「オリジナル」：編集されていないオリジナル写真のサムネイルを表示します。

「情報」

サムネイルの下部に表示させる画像ファイルの情報を選択します。

「ソート順」

どの情報によってサムネイルを並べるか、を選択します。昇順、降順も選択できます。

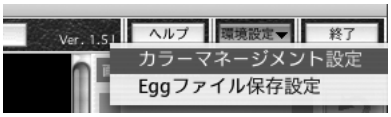
ポイント

- 「トリミング」、「レタッチ」、「カラー／トーン」モードで写真を編集し、「書き出し」モードで保存すると、EPPWorks は編集情報が入った Egg ファイルを保存します。
- 「一覧」モードで「表示」の「編集状態」を選択すると、編集後のサムネイルが表示され、ニワトリのアイコン（  ）が付きます。「オリジナル」を選択すると、編集前のオリジナル写真のサムネイルが表示され、タマゴのアイコン（  ）が付きます。

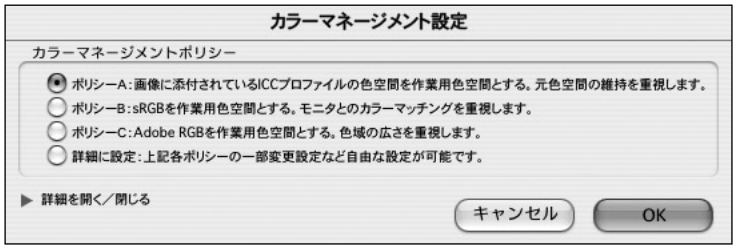
■ カラーマネージメントを設定する 一覧

写真の編集を始める前に、モニタに表示される写真の色をプリントされる色にできるだけ近づけるために、カラーマネージメントを設定します。レタッチや色の調整をモニタで確認するためには、必ずこの設定を行ってください。

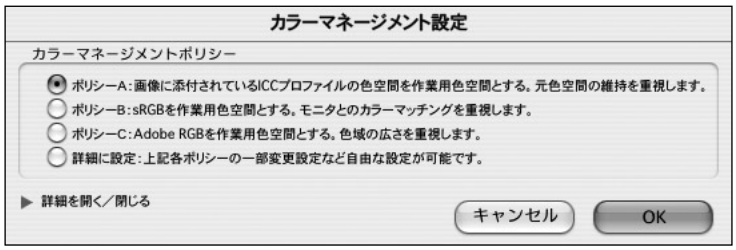
❶ 画面右上の「環境設定」をクリックし、「カラーマネージメント設定」を選択します。



「カラーマネージメント設定」が表示されます。



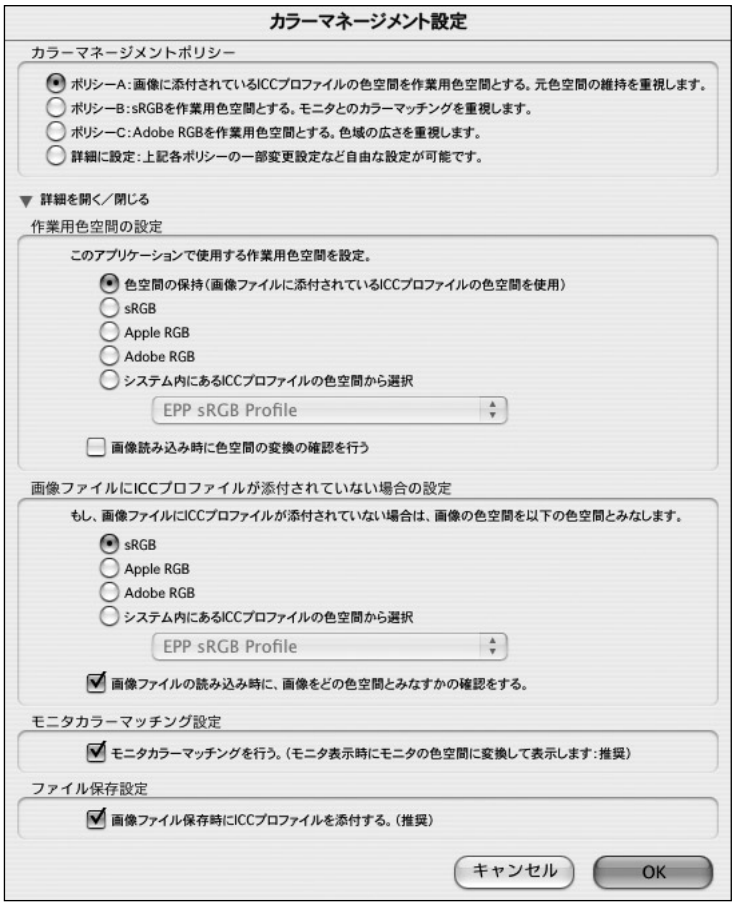
❷「カラーマネージメントポリシー」を選択します。



あらかじめ用意されている「ポリシー A」、「ポリシー B」、「ポリシー C」から選択するだけで、カラーマネージメントを簡単に設定できます。

- **「ポリシー A」**：画像ファイルに添付されている ICC プロファイルの色空間を使って、オリジナル写真とプリントされた写真とのカラー誤差を最小限にします。オリジナル写真の色を生かしたい場合は、この設定にします。本システムではこの設定をおすすめします。初期設定ではこの設定が選択されています。
- **「ポリシー B」**：モニタの色空間を写真に適用し、モニタとプリントされた写真とのカラーマッチングを最適化します。この設定の色空間は狭く、主にモニタで写真を表示させることに適しています。特にポートレート写真を編集するときは、この設定をおすすめします。
- **「ポリシー C」**：Adobe RGB を適用しています。プリンタのような広い色域をもつ色空間に近く、出力はやや暗めになります。
- **「詳細に設定」**：カラーマネジメントを独自に設定できます。

> ポイント
> 「ポリシー A」、「ポリシー B」、「ポリシー C」を選択したあとでも「詳細を開く／閉じる」をクリックすると、「作業用色空間の設定」、「画像ファイルに ICC プロファイルが添付されていない場合の設定」、「モニタカラーマッチング設定」、「ファイル保存設定」を設定できます。



注意

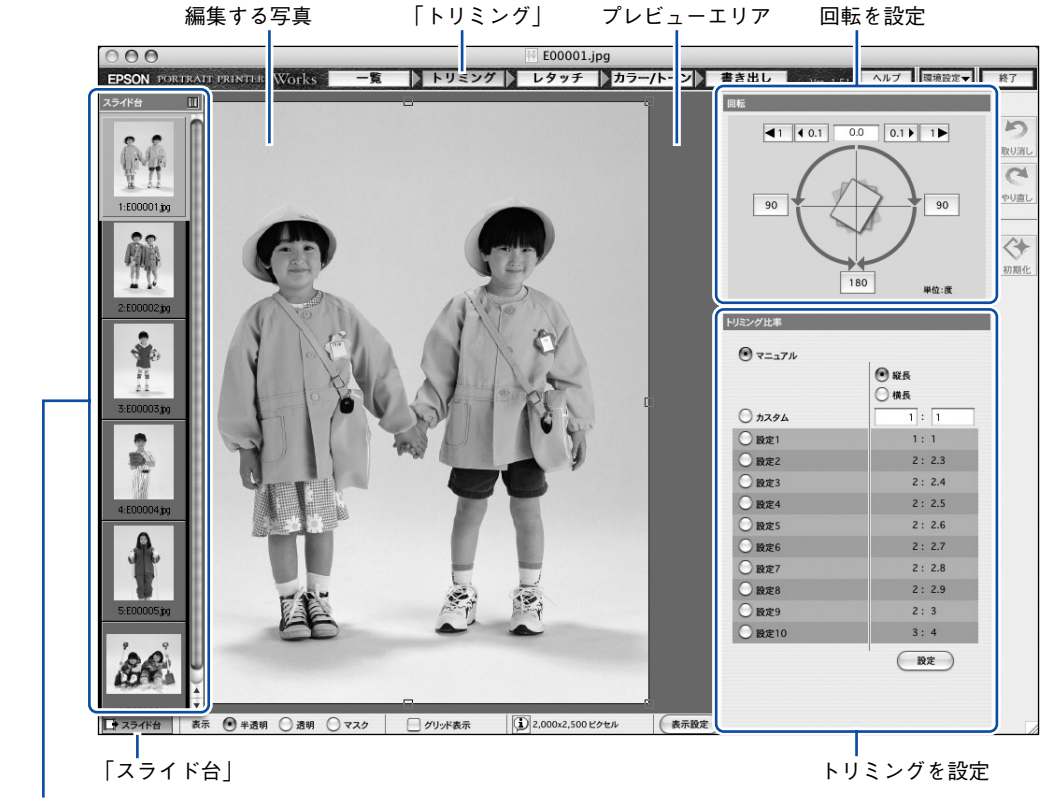
コンピュータでモニタのカラー補正も行ってください。「コントロールパネル」から「ColorSync」を選択し、「入力」、「ディスプレイ」およびそのほかの機器に対する ColorSync プロファイルを選択します。詳しくは、コンピュータの取扱説明書をご覧ください。

■ 写真を回転させたり、トリミングする トリミング

「一覧」モードで選択した写真を回転させたりトリミングすることができます。
回転やトリミングを設定すると、プレビューエリアの写真に反映されます。

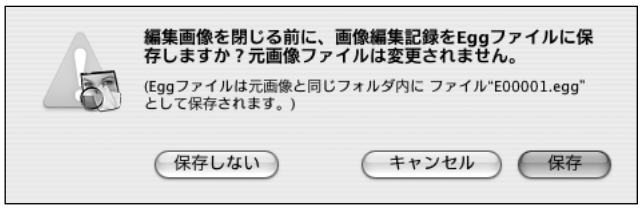
1 「トリミング」をクリックします。

「トリミング」モード画面が表示され、プレビューエリアに選択した写真が表示されます。



ポイント

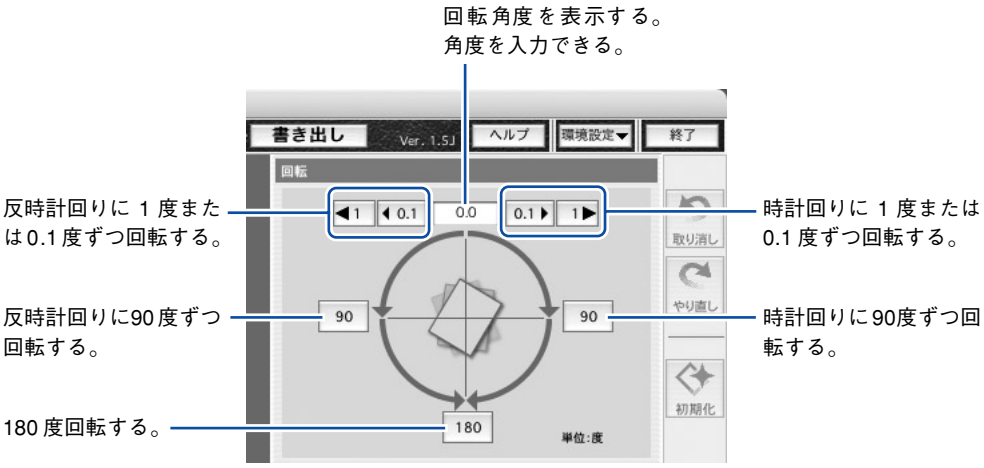
- 「スライド台」をクリックすると、「一覧」モードで選択したサムネイルが表示されます。編集したいサムネイルをクリックすると、プレビューエリアに表示されます。
- プレビューエリアの写真がすでに編集されている場合、スライド台からほかのサムネイルを選択すると、以下の画面が表示されます。



編集記録を Egg ファイルに保存するには、「保存」をクリックします。
保存しないときは、「保存しない」をクリックします。編集内容は破棄されます。
どちらの場合もスライド台で選択したサムネイルがプレビューエリアに表示されます。
「キャンセル」をクリックすると、プレビューエリアの写真はそのまま表示されます。

❷「回転」エリアで、回転させたい角度を設定します。

- 「◀1」または「◀ 0.1」をクリックすると、反時計回りに 1 度または 0.1 度ずつ回転します。
- 「1▶」または「0.1▶」をクリックすると、時計回りに 1 度または 0.1 度ずつ回転します。
- 「90」、「180」をクリックすると、90 度または 180 度回転します。
- 回転角度がボックスに表示されます。反時計回りに回転させると、角度に－（マイナス）が付きます。
- ボックスに角度を入力して、回転させることもできます。



❸「トリミング比率」エリアで、トリミングする幅：高さの比率を設定します。

写真が縦長か横長かによって、トリミング比率の「縦長」、「横長」が自動的に選択されます。用意されている 10 種類のトリミング比率から選択します。



以下の方法でもトリミング比率を設定できます。

- 「縦長」「横長」の下にある「カスタム」のボックスに幅：高さの比率を入力してトリミング比率を設定できます。
- プレビュー画像のトリミング領域のハンドルをドラッグしてサイズを変更できます。
  「設定 1 ～ 10」や「カスタム」でトリミング比率を設定してからドラッグすると、比率を固定したままトリミング領域のサイズを変更できます。「マニュアル」を選択すると、トリミング比率を固定せずにトリミング領域のサイズを変更できます。また、ポインタをトリミング領域の内側に置いてドラッグすると、トリミング領域を移動できます。

ポイント

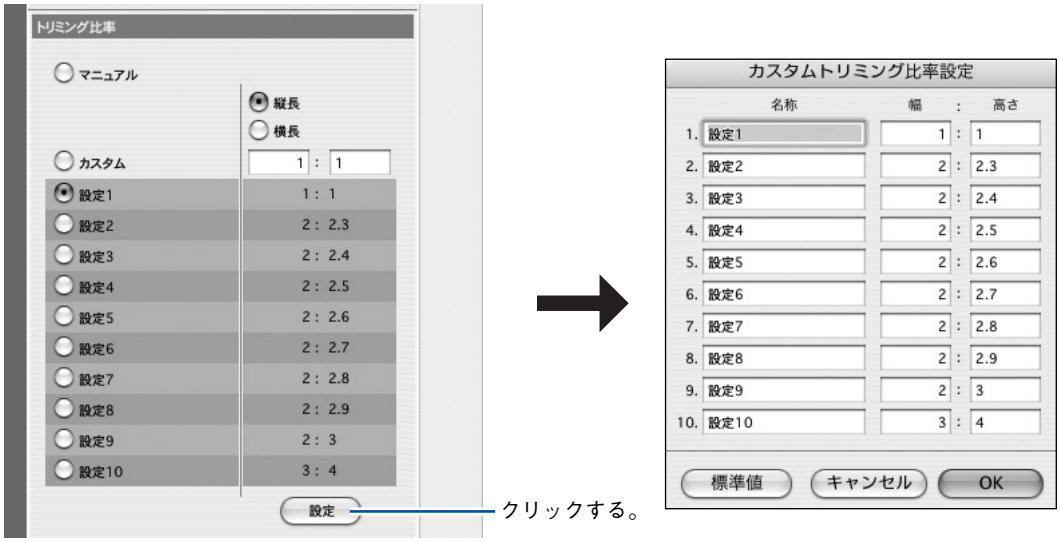
- 「縦長」と「横長」は、必要に応じて選択できます。
- ± 90 度または± 270 度回転すると、「縦長」と「横長」の設定が切り替わります。
- 幅と高さが同じ写真の場合は、「縦長」の設定になります。

● トリミング比率設定を編集する

トリミング比率の幅：高さ、名称を変更し、ユーザー独自の使いやすい設定を登録できます。

1 「トリミング比率」の「設定」をクリックします。

「カスタムトリミング比率設定」が表示されます。



2 「幅」と「高さ」に比率を入力し、「名称」に設定名を入力し、「OK」をクリックします。

変更したトリミング比率が「トリミング比率」エリアに表示されます。



ポイント

「標準値」をクリックすると、「設定 1」～「設定 10」のすべての名称とトリミング比率が初期設定に戻ります。

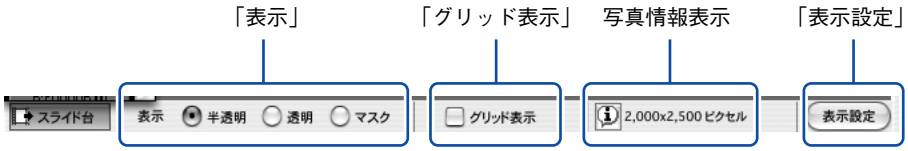
● 操作をやり直す



「トリミング」「レタッチ」「カラー／トーン」モードで行った操作を元に戻したり、やり直したりする場合は、「取り消し」または「やり直し」をクリックします。
「取り消し」をクリックすると、最後に行った操作を取り消します。
「やり直し」をクリックすると、最後に「取り消し」された操作を元に戻します。
「初期化」をクリックすると、現在のモードに切り替えたときの最初の画像の状態に戻します。
「トリミング」または「カラー／トーン」モードでは、「取り消し」と「やり直し」は 10 回まで行うことができます。「レタッチ」モードでは、ハードディスクに空き容量があれば何回でも繰り返すことができます。通常、100 回以上行うことができます。

● ツールバーを使う

トリミングに便利なツールが「トリミング」モード画面の下部にあります。各ツールの詳しい設定方法については、「EPPWorks オンラインヘルプ」の「D-4. トリミングツールバー」をご覧ください。



「表示」

トリミング領域の外側の色を設定します。

「グリッド表示」

トリミング領域にグリッドを表示します。写真の傾きを補正するときの目安になります。

写真情報表示

をクリックすると、マウスのボタンを押している間だけ写真サイズと解像度が表示されます。

「表示設定」

「モニタカラーマネージメント」、「背景表示色」、「単位」、「解像度」を設定します。

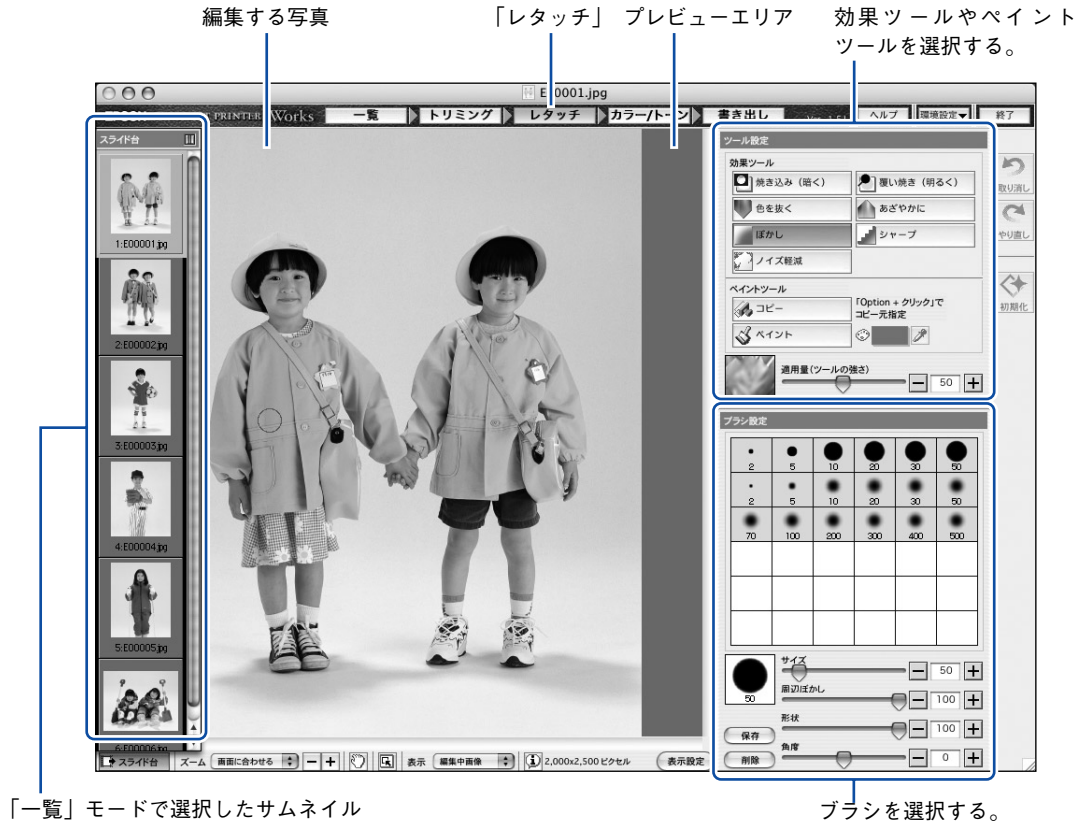
■ 写真をレタッチする レタッチ

「レタッチ」モードでは効果ツールやペイントツールを設定し、ブラシを使って写真を部分的にレタッチできます。レタッチの効果は、プレビューエリアの写真に反映されます。

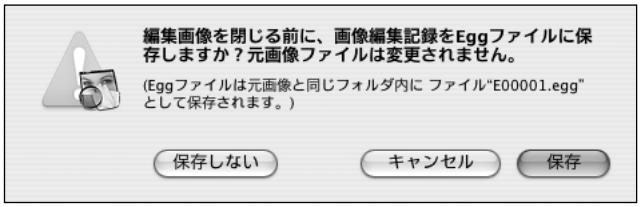
> **注意** 一度レタッチを行った画像に対して、異なる OS 環境を使用して再レタッチを行うと、レタッチを行った箇所の色が微妙に変化してしまう可能性があります。再レタッチ作業は、最初に作業を行った環境と同一の環境で行ってください。

❶「レタッチ」をクリックします。

「レタッチ」モード画面が表示され、プレビューエリアに選択した写真が表示されます。



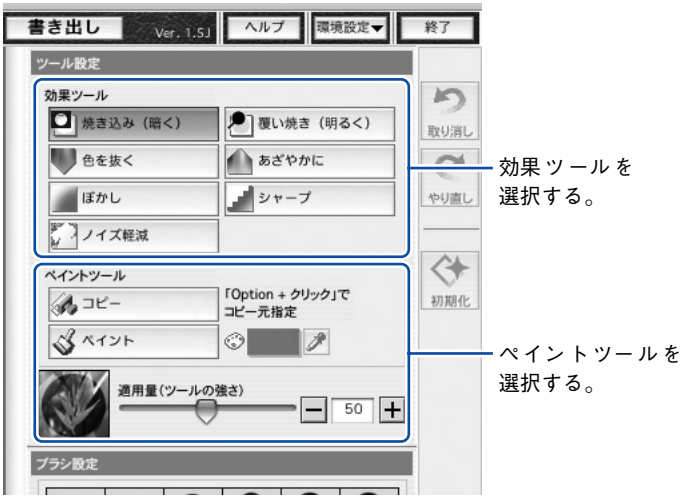
> **ポイント**
>
> - 「スライド台」をクリックすると、「一覧」モードで選択したサムネイルが表示されます。編集したいサムネイルをクリックすると、プレビューエリアに表示されます。
> - プレビューエリアの写真がすでに編集されている場合、スライド台からほかのサムネイルを選択すると、以下の画面が表示されます。



編集記録を Egg ファイルに保存するには、「保存」をクリックします。
保存しないときは、「保存しない」をクリックします。編集内容は破棄されます。
どちらの場合もスライド台で選択したサムネイルがプレビューエリアに表示されます。「キャンセル」をクリックすると、プレビューエリアの写真はそのまま表示されます。

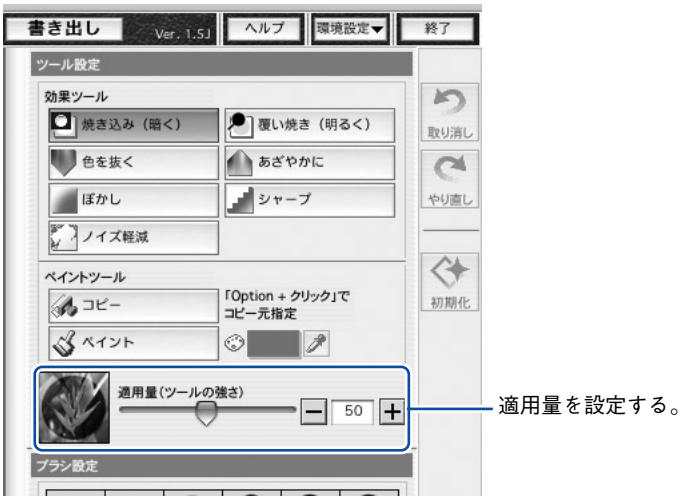
❷「効果ツール」または「ペイントツール」からツールを選択します。

「効果ツール」および「ペイントツール」の機能については、「EPPWorks オンラインヘルプ」の「E-2. ツールを選択する」をご覧ください。



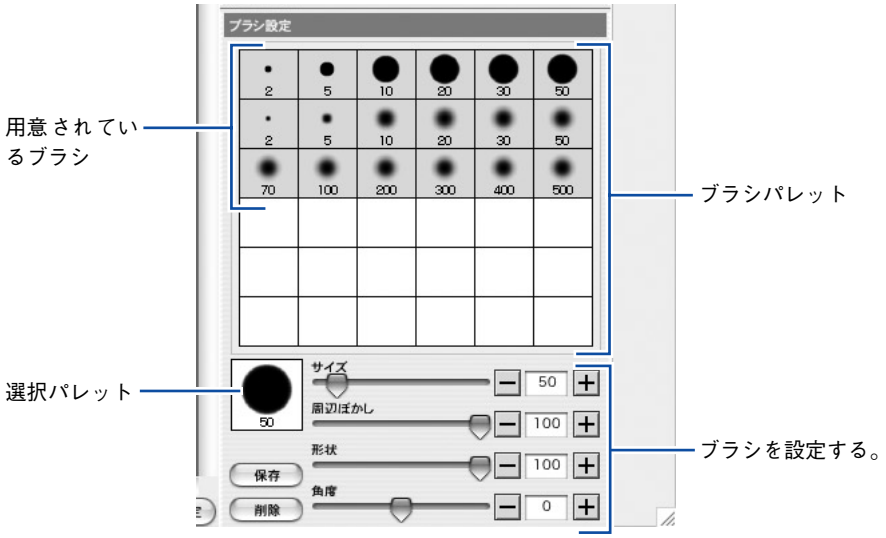
❸「適用量」スライダをドラッグして、ツールの適用量を設定します。

レタッチしたい部分を 1 回クリックしたときの効果の強さが、ツールの適用量になります。1（最も弱い）から 100（最も強い）まで設定できます。



4 「ブラシ設定」のブラシをクリックします。

ブラシパレットにはあらかじめ 18 個のブラシが用意されています。2 段目と 3 段目のブラシの端には“ぼかし”が入っているので、効果を加える部分と加えない部分の境界をぼかすことができます。ブラシの下の数値は、半径（ピクセル）を示します。



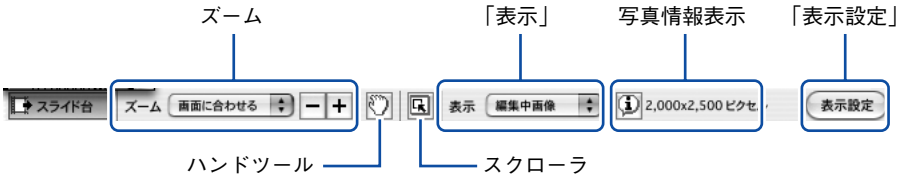
「サイズ」、「周辺ぼかし」、「形状」、「角度」のスライダをドラッグして、お好みに合わせたブラシを作ることもできます。選択パレットでブラシの形を確認できます。
作成したブラシを保存するには「保存」をクリックし、「ブラシの保存」画面でパレットの空きボックスを選択し「保存」をクリックします。

5 レタッチしたい部分にブラシを合わせ、お好みの仕上り状態になるようにクリックまたはドラッグします。

6 手順 2 ～ 5 を繰り返して、写真をレタッチします。

■ ツールバーを使う レタッチ カラー/トーン 書き出し

「レタッチ」、「カラー／トーン」、「書き出し」モードに共通したツールバーが画面下部に表示されます。編集結果を詳細に確認したり、編集前と編集中の写真を比較することができるように、ズームやスクローラなどのツールがあります。各ツールバーの詳しい設定方法については、「EPPWorks オンラインヘルプ」の「F.「レタッチ」、「カラー／トーン」、「書き出し」モードのツールバー」をご覧ください。



「ズーム」

プレビュー画像を拡大したり、縮小します。プルダウンメニューから倍率を選択するか、「ー」／「＋」をクリックします。

「ハンドツール」

プレビュー画像を拡大したときに、スクロールできます。

「スクローラ」

クリックすると「スクローラ」画面が表示され、拡大表示したプレビュー画像が、写真全体のどの部分なのかを赤い枠で示します。赤い枠内をドラッグすると、プレビュー画像が連動してスクロールされます。

「表示」

プレビューエリアの画像表示を「編集中画像」、「編集前画像」、「比較表示」から選択します。「比較表示」を選択すると、編集中と編集前の画像が 2 枚並んで表示されます。

写真情報表示（「トリミング」モードにも共通）

をクリックすると、マウスのボタンを押している間だけ写真サイズと解像度が表示されます。

「表示設定」（「トリミング」モードにも共通）

「モニタカラーマネージメント」、「背景表示色」、「単位」、「解像度」を設定します。

■ 写真の色や色調を調整する カラー/トーン

「カラー／トーン」モードには、「プリセット」、「バリエーション」、「マニュアル」の 3 種類のシートがあり、これらのシートを使用して写真の色や色調を調整することができます。調整結果はプレビューエリアの写真に反映されます。

- **「プリセット」シート**：あらかじめ用意されている色調のフィルタを選択して、色調を調整します。
- **「バリエーション」シート**：「プリセット」や「マニュアル」シートで調整した画像を複数のサンプル画像で表示します。これらの画像を比較して、より適正な調整を視覚的に選択できます。「プリセット」や「マニュアル」シートを使わずに、直接「バリエーション」シートでバリエーション画像を表示することもできます。
- **「マニュアル」シート**：「プリセット」や「バリエーション」シートで調整した画像の色と色調を、パラメータを設定してさらに詳細に調整できます。「プリセット」や「バリエーション」シートを使わずに、直接「マニュアル」シートでパラメータを設定することもできます。

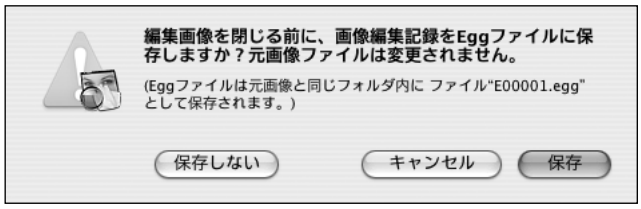
1 「カラー／トーン」をクリックします。

プレビューエリアに選択した写真が表示されます。



ポイント

- 「スライド台」をクリックすると、「一覧」モードで選択したサムネイルが表示されます。編集したいサムネイルをクリックすると、プレビューエリアに表示されます。
- プレビューエリアの写真がすでに編集されている場合、スライド台からほかのサムネイルを選択すると、以下の画面が表示されます。



編集記録を Egg ファイルに保存するには、「保存」をクリックします。
保存しないときは、「保存しない」をクリックします。編集内容は破棄されます。
どちらの場合もスライド台で選択したサムネイルがプレビューエリアに表示されます。
「キャンセル」をクリックすると、プレビューエリアの写真はそのまま表示されます。

●「プリセット」シートを使って色調を調整する

あらかじめ用意されている 7 種類の「インテリチューン（自動画像調整）」フィルタを使って、色調を調整します。

1 「プリセット」タブをクリックします。

「効果設定の選択」エリアが表示されます。



2 「インテリチューン（自動画像調整）」からフィルタを選択します。

- 選択した設定がプレビュー画像に適用されます。ワンタッチで設定できるので、プレビュー画像を見ながら何種類かの設定を試し、最適な設定を選択してください。インテリチューンの設定で十分な色調が得られたら、「カラー／トーン」モードでの編集は終わりです。
- より細かく色調を調整したいときは、「「バリエーション」シートを使って色調を調整する」（73 ページ）や「「マニュアル」シートを使って色調を調整する」（77 ページ）に進んでください。



インテリチューンのパラメータの設定を変更したり、設定を追加するには

「インテリチューン」の設定名の右の  をクリックすると、「インテリチューン設定」画面が表示されます。お好みに合わせてパラメータの設定を変更できます。変更した設定を保存することもできます。
「インテリチューン」の「未設定」の右の  をクリックすると、「インテリチューン設定」画面が表示されます。パラメータは標準値になっています。お好みに合わせて設定し、「インテリチューン」に追加することができます。
これらの設定については、「EPPWorks オンラインヘルプ」の「G-2-2. インテリチューンフィルタを設定する」をご覧ください。

「バリエーション」シートや「マニュアル」シートで調整した色調設定を「ユーザ設定」に保存するには

「バリエーション」シートや「マニュアル」シートで画像の色調を調整し、「プリセット」タブをクリックします。「ユーザ設定」の「未設定」の右の  をクリックすると、「プリセット」画面が表示されます。「現在の設定値をメニューにセットする」を選択し、設定名を入力して「OK」をクリックします。「ユーザ設定」に保存され、設定名が表示されます。

このほかに、すでに「マニュアル」シートに保存されている設定を「ユーザ設定」に登録することもできます。詳しくは、「EPPWorks オンラインヘルプ」の「G-2-3. 「ユーザ設定」フィルタを設定する」をご覧ください。



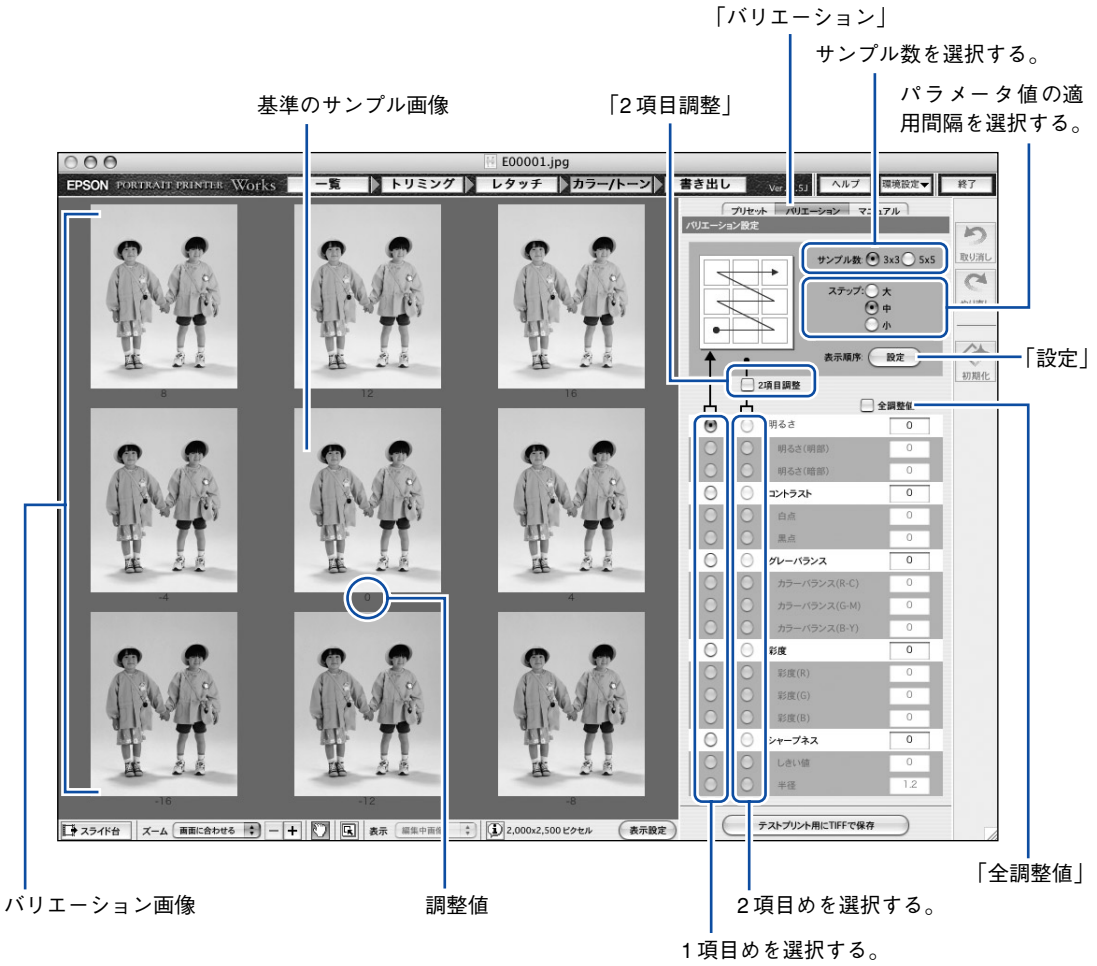
「バリエーション」または「マニュアル」シートで、より細かく色や色調を設定できます。調整した内容は「バリエーション」と「マニュアル」シート間で互いに反映されるので、さまざまな調整を試すことができます。

●「バリエーション」シートを使って色調を調整する

「プリセット」シートのフィルタで調整した画像をバリエーション画像で表示します。バリエーション画像とは、パラメータの調整値を少しずつ増減した複数のサンプル画像のことです。サンプル画像を比較して、最適な色調の調整を視覚的に選択できます。

1 「バリエーション」タブをクリックします。

バリエーション画像と「バリエーション設定」エリアが表示されます。



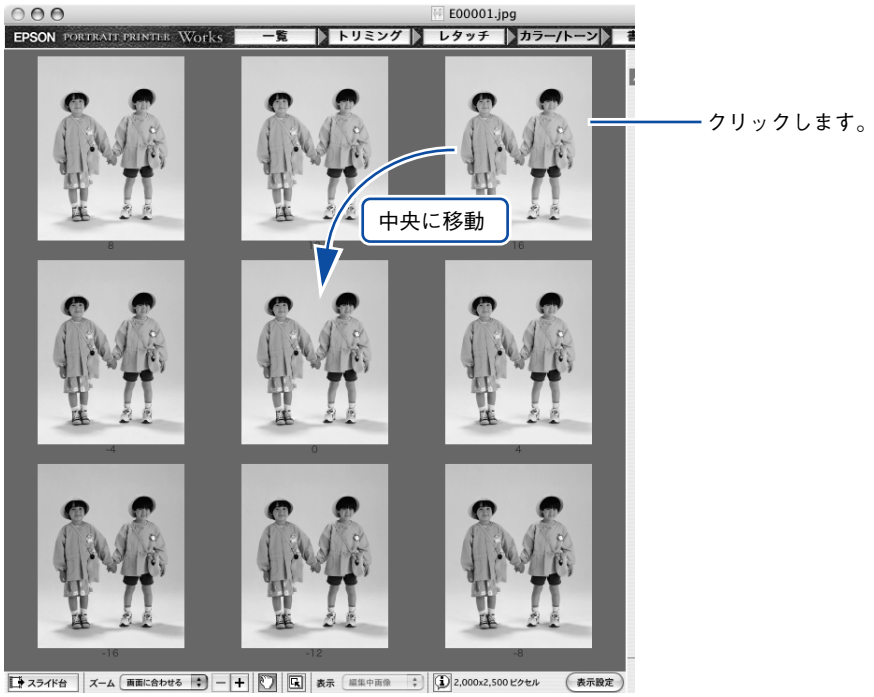
バリエーション画像の中央に、基準になるサンプル画像が表示されます。「バリエーション」タブをクリックする前にプレビューエリアに表示されていた写真が、基準のサンプル画像です。基準のサンプル画像のパラメータの調整値を増減したサンプルがその周りに配置されます。調整値はサンプルの下に表示されます。

2 設定を何回か変更し、試してください。

以下の項目を設定し、適切に調整されたサンプルを見つけます。

- **「サンプル数」**:「3 × 3」(9 サンプル)、「5 × 5」(25 サンプル) から表示するサンプル数を選択します。
- **「ステップ」**:調整値の増減の間隔を「大」(8 ずつ)、「中」(4 ずつ)、「小」(2 ずつ) から選択します。
- **パラメータ**:5 つの基本パラメータ「明るさ」、「コントラスト」、「グレーバランス」、「彩度」、「シャープネス」からパラメータを選択します。各パラメータを選択し、調整値の増減に応じてサンプルがどのように調整されるかを確認します。すべてのパラメータから選択するには「全調整値」チェックボックスにチェック (✓ 印) を入れます。
- **「2 項目調整」**:パラメータを 2 つ選択できます。例えば、「明るさ」と「シャープネス」の調整値を増減したサンプルを表示できます。組み合わせを変えて試してください。選択したパラメータ名や各サンプルの調整値は、1 項目めは緑で、2 項目めは赤で表示されます。「2 項目調整」を選択すると、「設定」は選択できません。
- **「設定」**:4 種類の表示順序からサンプルの並べかたを選択します。

3 お好みの調整が適用されているサンプルをクリックします。

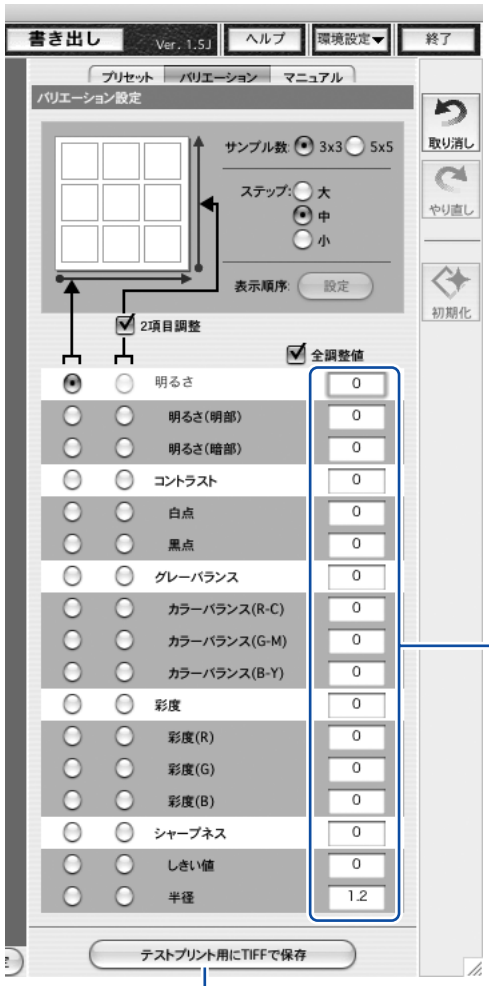


クリックされたサンプルはサンプル群の中央に移動します。このサンプルが「プリセット」シートや「マニュアル」シート、「書き出し」モードに切り替えたときのプレビュー画像となります。

中央に移動したサンプルのパラメータ値を基準にして、すべてのサンプルが更新されます。別のサンプルをクリックすると、そのサンプルが中央に移動します。この操作を繰り返してもお好みのサンプルが見つからないときは、手順 4 に進んでください。

4 パラメータ値を入力します。

パラメータ値は半角英数字で入力してください。パラメータ値の調整範囲については、「EPPWorks オンラインヘルプ」の「G-3. 「バリエーション」シートを使用する」をご覧ください。



パラメータ値を入力する。

クリックして、バリエーション画像のプリント用ファイルを作成する（次ページ）。

5 手順 2 ～ 3 を行い、写真に最適な色調を適用します。

バリエーション画像をプリントするには

バリエーション画像を TIFF* で保存し、プリントして調整結果を実際に確認できます。「テストプリント用に TIFF で保存」をクリックします。

* LZW 圧縮されない通常の TIFF 形式で保存されます。



バリエーション画像を保存したいフォルダを選択して、「保存」をクリックします。バリエーション画像ファイルをプリントするには、EPPLayout を起動しテンプレートに割り付けます。プリント方法については、「写真をプリントする」（218 ページ）をご覧ください。

●「マニュアル」シートを使って色調を調整する

「プリセット」や「バリエーション」シートで調整した画像の色と色調を、パラメータを設定してさらに詳細に調整できます。また、トーンカーブやヒストグラムを確認しながら調整することができます。
「プリセット」や「バリエーション」シートを使わずに、直接「マニュアル」シートでパラメータを設定することもできます。

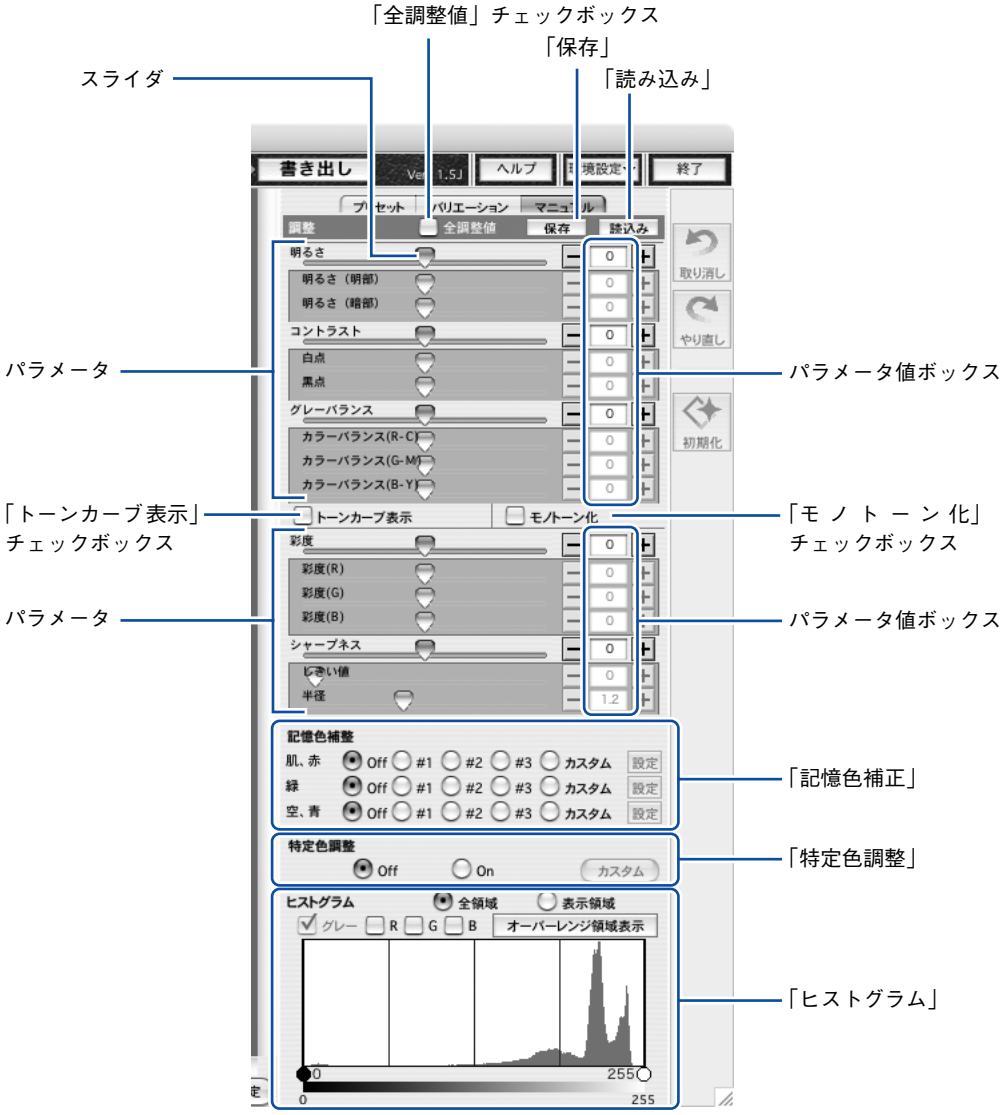
1 「マニュアル」タブをクリックします。

「調整」エリアが表示されます。



❷ パラメータ値、「記憶色補整」などを細かく設定します。

プレビュー画像、トーンカーブ、ヒストグラムで調整を確認できます。



詳しい調整の方法については、「EPPWorks オンラインヘルプ」の「G-4. 「マニュアル」シートを使用する」をご覧ください。

パラメータ値を調整する

パラメータのスライダをドラッグするか、「ー」／「＋」をクリックしてパラメータ値を変更します。パラメータボックスに数値を半角英数字で入力することもできます。「全調整値」チェックボックスにチェック（✓印）を入れるとすべてのパラメータを調節できます。

トーンカーブを表示して調整する

「トーンカーブ表示」チェックボックスにチェック（✓印）を入れると、トーンカーブが表示されます。トーンカーブを確認しながら「明るさ」、「コントラスト」、「グレーバランス」のパラメータを調節します。

モノトーン写真に変換する

「モノトーン化」チェックボックスにチェック（✓印）を入れると、カラー写真はモノクロ写真に変換されます。

「記憶色補整」を使う

「肌、赤」、「緑」、「空、青」色の RGB 値を補整できます。簡単に補整できるように、各色に対して RGB 値を設定したパラメータが 3 種類（#1、#2、#3）用意されています。RGB 値をお好みに合わせて設定し、カスタムパラメータとして保存することもできます。

「特定色調整」を使う

画像を HSB（色相、彩度、明度）モードに変換し、スポイトで採取した色のカラーバランスを調整します。

「ヒストグラム」を確認しながら調整する

ヒストグラムは画像のピクセルのカラー分布を示します。ヒストグラムの左部分はシャドウ、中央部は中間調、右部分はハイライトを示します。ピクセルが幅広く分布していると、高画質のプリントが得られます。
「グレー」を選択すると、「オーバーレンジ領域表示」を使ってプレビュー画像のどの部分がオーバーレンジになっているかを確認できます。プリントしたときに暗くなりすぎる部分や、白飛びするような部分をパラメータで調整することができます。

「マニュアル」シートの設定を保存する、保存した設定を読み込む

「保存」をクリックすると、「マニュアル」シートでの設定を保存できます。「読込み」をクリックすると、保存した設定を画像に適用できます。「マニュアル」シートで保存した設定を「プリセット」シートの「ユーザ設定」に登録することもできます。

■ 編集した画像ファイルを保存する 書き出し

編集した画像ファイルを保存します。

❶「書き出し」をクリックします。

編集内容を反映した写真がプレビューエリアに表示され、ファイルの情報と使用した編集ツールの概要が「画像情報」に表示されます。



ポイント

プリントされた写真の白飛びを防ぎたい場合は、「自然なコントラストに（プリント時の白飛び防止）」チェックボックスにチェック（✓ 印）を入れます。そのままのコントラストでよい場合は、チェック（✓印）を入れる必要はありません。

❷「TIFF ファイルに書き出し」または「JPEG ファイルに書き出し」をクリックします。

EPPLayout を使ってレイアウトし、プリントするためには、編集効果が反映された画像ファイルを TIFF または JPEG で保存する必要があります。ファイルを保存するフォルダを選択し、「別名で名前」にファイル名を入力して「保存」をクリックします。



ポイント

「TIFF ファイルに書き出し」を選択した場合、LZW 圧縮されない通常の TIFF 形式で保存されます。

Egg ファイルを保存するか確認するメッセージ画面が表示されます。
保存する場合は「保存」をクリックします。Egg ファイルはオリジナルの画像ファイルと同じフォルダに保存され、TIFF または JPEG ファイルは選択したフォルダに保存されます。
「保存しない」をクリックすると Egg ファイルは保存されず、TIFF または JPEG ファイルだけが選択したフォルダに保存されます。
画像の保存が終わり、スライド台の画像を保存する場合は、スライド台からサムネイルを選択し、手順 ❶ ～ ❷ を行ってください。

写真の編集から保存までの一連の作業はこれで終了しました。編集記録を保存した Egg ファイル、EPPLayout で使用するための TIFF または JPEG ファイル、そして何も編集されていないオリジナルの画像ファイルの 3 種類のファイルがハードディスクに存在することになります。

ポイント

オリジナルの写真を初めから編集するには、Egg ファイルを削除します。
【Macintosh のみ】
「一覧」モードでニワトリ（ ）かタマゴ（ ）のアイコンが付いているサムネイルを選択し、「ファイル」メニューから「Egg ファイルを削除」を選択すると、Egg ファイルを削除する確認のメッセージ画面が表示されます。「はい」をクリックすると Egg ファイルが削除され、オリジナルの画像ファイルが選択できるようになります。

● Egg ファイルだけを保存する

「Egg ファイルに画像編集記録を保存」をクリックします。「OK」をクリックすると、編集記録が Egg ファイルに保存されます。Egg ファイルはオリジナルの画像と同じフォルダに保存されますが、オリジナルの画像ファイルが編集されてしまうことはありません。



ポイント　次回、編集効果を反映したファイルから編集を始めるには Egg ファイル、または JPEG や TIFF ファイルを使います。

注意　オリジナルの画像ファイルの保存場所を変更する場合は、その画像の Egg ファイルも同じフォルダに移動させてください。

テンプレートを作成し、管理する

本システムのテンプレート作成ソフトウェア EPPTemplate を使って、レイアウト用のサンプルテンプレートをサーバからダウンロードし、お好みに合わせて編集したり、新しくオリジナルのテンプレートやパッケージ作成することができます。EPPLayout を使ってこれらのテンプレートに写真をレイアウトし、プリントできます。編集したテンプレートをサーバにアップロードすれば、サーバを共有しているほかのユーザーも使用することができます。また、テンプレート管理機能やパッケージ管理機能を使ってテンプレートやパッケージの移動、コピー、および削除ができます。

ここでは、EPPTemplate を起動し、テンプレートを作成、編集、管理し、アップロードするための操作を説明します。

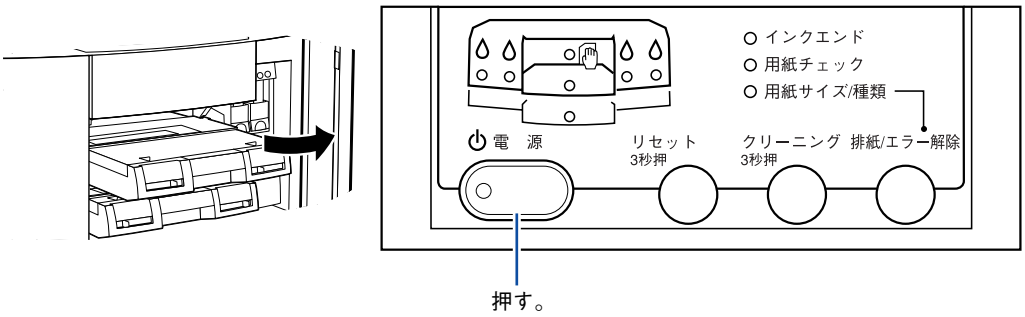
■電源を入れる 84
■EPPTemplate を起動する 86
■テンプレートを選択する 89
■テンプレートを編集する 96
■テンプレートを整える 117
■テンプレートの新規作成または編集が終了したら 138
■テンプレートの名称を設定する 139
■テンプレートをローカルフォルダに保存する 142
■テンプレートをアップロードする 145
■パッケージを作成し、管理する 148
■テンプレートを管理する 158

■ 電源を入れる

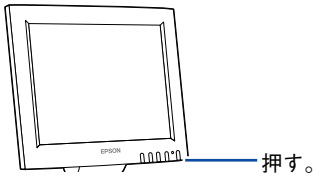
1 オプションのEX-7000をお使いの場合は、EX-7000の電源を入れます。

> 注意
> 本体の電源を入れる前に、オプションの EX-7000 にプリンタエラーが発生していないか必ず確認してください。エラーが発生していると本体の起動に時間がかかります。

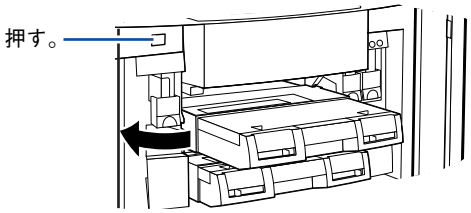
2 キャビネットの右扉を開け、プリンタの「⏻電源」スイッチを押して電源を入れます。



3 本体のモニタの「⏻電源」スイッチを押して電源を入れます。



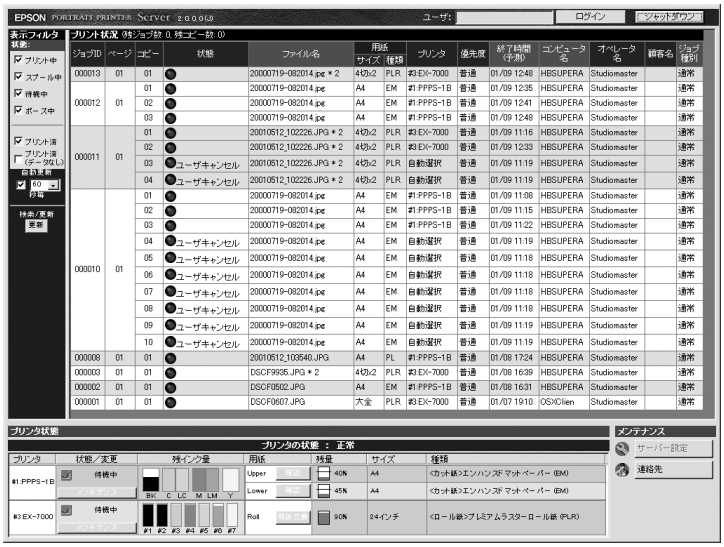
4 キャビネットの左扉を開け、本体の電源スイッチを押します。



5 キャビネットの左右の扉を閉じます。

> 注意
> - システムの安定性を維持するために、週 1 回は本体の電源を切り、再度電源を入れ直してください。
> - 電源を切るときは、すべてのプリントが終了し、EPPTemplate などの本システムのソフトウェアの終了を確認してから EPPServer をシャットダウンして本体の電源を切り、さらにプリンタやモニタの電源も切ってください。電源を切った直後に、再び電源を入れないでください。

本体の LCD モニタに接続プリンタの電源確認画面が表示されますので、プリンタ（オプション EX-7000 接続時は EX-7000 を含む）の電源が入っていることを確認して「OK」をクリックすると、EPPServer が起動して LCD モニタに「EPPServer」画面が表示されます。



6 クライアントコンピュータの電源を入れます。

■ EPPTemplate を起動する

複数のサーバがある場合は、EPPTemplate の「編集」メニューから「サーバ接続設定」を選択して、サーバを切り替えて接続することができます。編集したテンプレートやパッケージは、現在接続しているサーバに保存することができます。

❶ ソフトウェアが入っているフォルダを開き、EPPTemplate のアイコン（ EPPTemplate ）をダブルクリックします。

「ログイン」画面が表示されます。



> **注意** 「テンプレート作成」に対する「操作権限」のないユーザーは EPPTemplate を起動させることができません。Studiomaster がそのユーザーに「操作権限」を与えると、起動させることができます。詳しくは、「EPPMonitor オンラインヘルプ」の「A-7.「ユーザ設定」画面」をご覧ください。

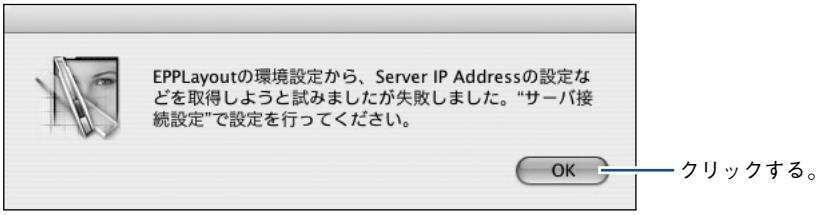
❷ オペレータ名を「オペレータリスト」から選択し、パスワードを入力して「OK」をクリックします。



> **ポイント**
> - パスワードは半角英数字で入力してください。
> - ログインの設定を省く場合は、「次回も同じオペレータ名でログインする。」チェックボックスにチェック（✓印）を入れます。次回から「ログイン」画面は表示されません。
> - EPPLayoutを使って作業しているときでも「ファイル」メニューから「EPPTemplateを起動」を選択すると、EPPTemplate を起動できます。
> - Mac OS X の場合、EPPLayoutの「ファイル」メニューに「EPPTemplateを起動」が表示されない場合があります。その場合は、EPPTemplate のアイコンをダブルクリックして直接起動してください。一度アイコンから起動した後は、EPPLayoutの「ファイル」メニューから「EPPTemplate を起動」を選択して起動できるようになります。

サーバ IP アドレスを設定していない場合

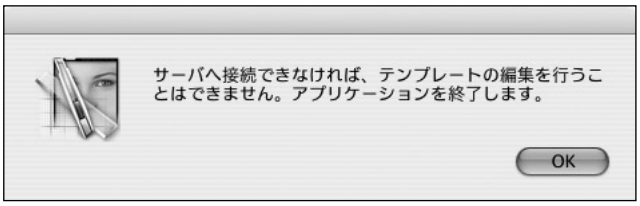
サーバ IP アドレスが EPPLayout で設定されていない場合、EPPTemplate を起動すると以下のエラー画面が表示され、「OK」をクリックすると「サーバ接続設定」画面が表示されます。



「編集」をクリックして使用するプリントサーバを設定して、使用するプリントサーバをメニューから選択します。EPPLayout でサーバで IP アドレスを設定していない場合は、「「環境設定」画面が表示されたら」（178 ページ）をご覧ください。

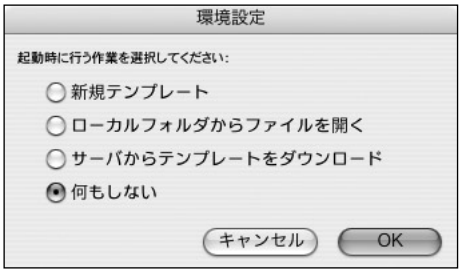


「キャンセル」をクリックすると、以下のメッセージが表示され、「OK」をクリックすると EPPTemplate が終了します。



ソフトウェアをインストールしたあと、初めて EPPTemplate を起動した場合

「起動時作業の選択」画面が表示されます。



起動後に作業したい項目を選択し、「OK」をクリックします。一度設定すると次回からは「起動時作業の選択」画面は表示されません。「キャンセル」をクリックすると、次回も「起動時作業の選択」画面が表示されます。

- **新規テンプレート**：「新規テンプレート」画面が表示されます。
- **ローカルフォルダからファイルを開く**：「ローカルファイルから開く」画面が表示されます。
- **サーバからテンプレートをダウンロード**：「サーバからダウンロード」画面が表示されます。
- **何もしない**：テンプレートの画面は表示されません。「ファイル」メニューから作業したい項目を選択してください。
  「キャンセル」をクリックすると、「何もしない」と同じ画面が表示されます。

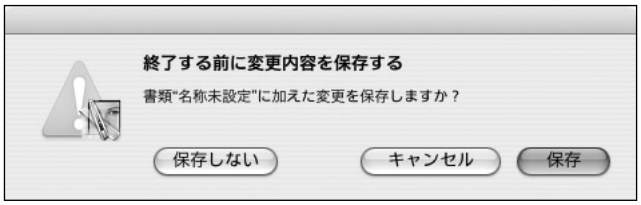
> ポイント
> 「起動時作業の選択」の設定を変更する場合は、「編集」メニューから「新規作業の選択」を選択して設定を変更します。

● EPPTemplate を終了するには

「EPPTemplate」メニューから「終了」を選択します。



ファイルを保存していないと次のメッセージが表示されます。



保存して終了する場合は「保存」、保存しないで終了する場合は「保存しない」、EPPTemplate を終了しない場合は、「キャンセル」をクリックします。

■ テンプレートを選択する

新規にテンプレートを作成するには下記の「新規テンプレートを作成する」をご覧ください。既存のテンプレートを編集するには「サーバからテンプレートをダウンロードする」（91 ページ）や「ローカルフォルダに保存されているテンプレートを開く」（94 ページ）をご覧ください。

● 新規テンプレートを作成する

新規にテンプレートを作成する場合は、「新規テンプレート」画面でテンプレートの用紙サイズと用紙の方向を設定します。設定が終わったら、「テンプレートを編集する」（96 ページ）へ進んでください。

❶「ファイル」メニューから「新規テンプレート」を選択します。



「新規テンプレート」画面が表示されます。



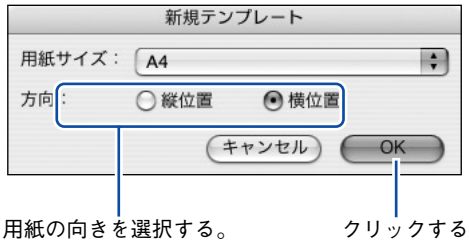
ポイント

- 「起動時作業の選択」の設定で「新規テンプレート」を選択した場合は、起動時に「新規テンプレート」画面が表示されています。「ファイル」メニューからは選択できません。
- プリンタの用紙トレイにA3ノビサイズの用紙をセットしている（用紙サイズスライダーを「13" × 19"」にセットしている）場合は、四つ切サイズのテンプレートが選択できます。
- オプションのEX-7000 をお使いの場合は、EX-7000 用のテンプレートサイズが選択できます。

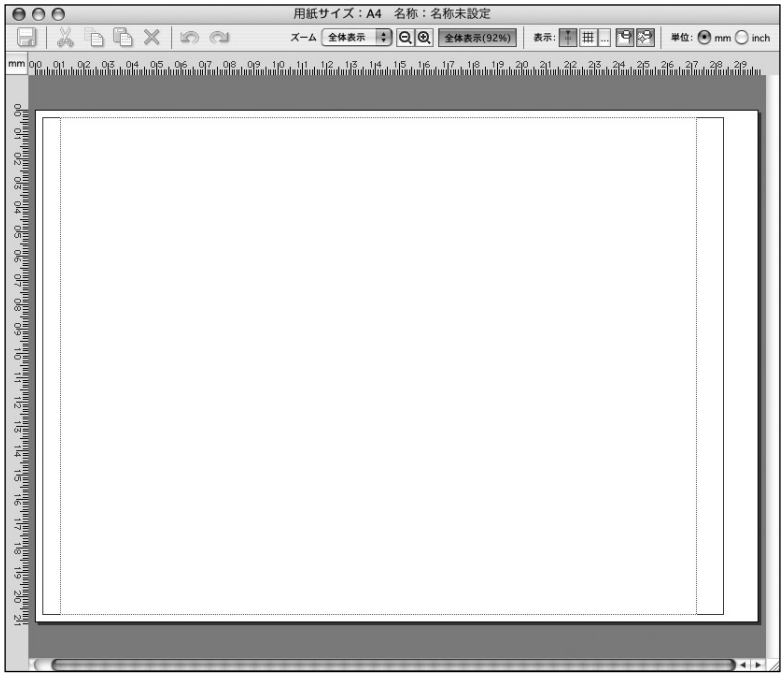
❷「用紙サイズ」プルダウンメニューから用紙サイズを選択します。



❸「方向」で用紙の向きを選択し、「OK」をクリックします。



新規テンプレート編集画面が表示されます。



操作が終わったら、「テンプレートを編集する」（96 ページ）に進んでください。

● サーバからテンプレートをダウンロードする

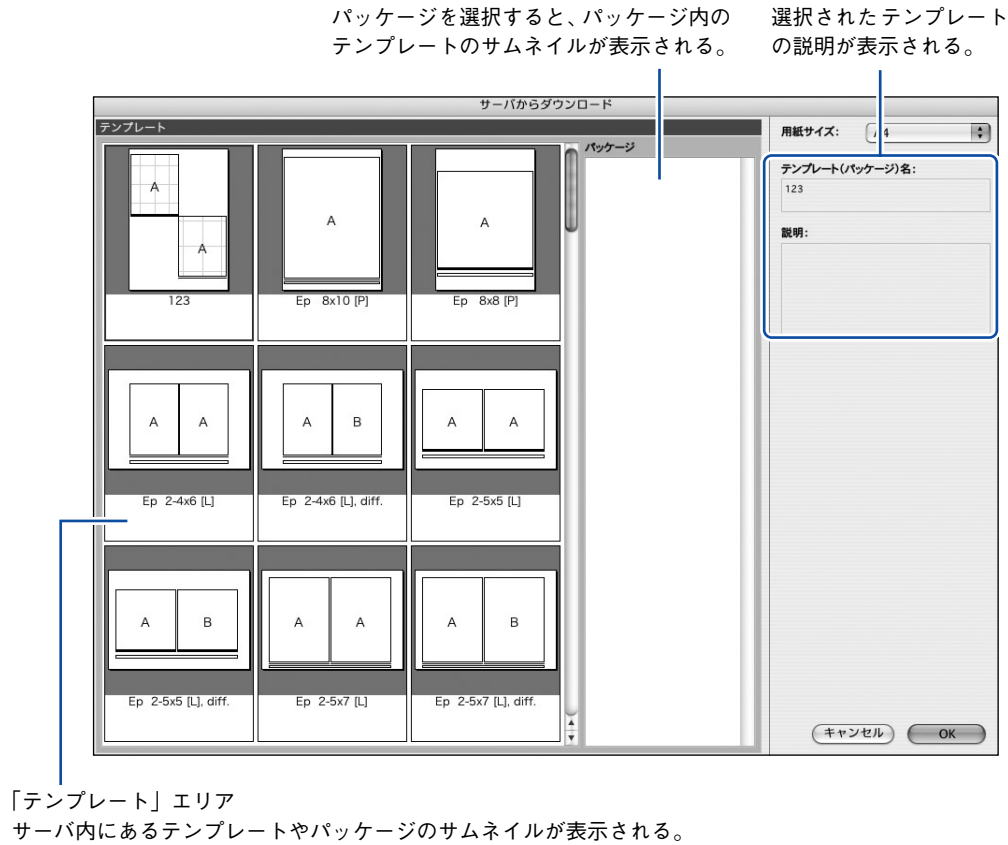
サーバからテンプレートまたはパッケージをダウンロードして開きます。操作が終わったら、「テンプレートを編集する」(96 ページ) へ進んでください。パッケージをダウンロードしたときは、「パッケージを作成し、管理する」(148 ページ) へ進んでください。

1 「ファイル」メニューから「サーバからダウンロード」を選択します。



「サーバからダウンロード」画面が表示されます。

> **ポイント** 「起動時作業の選択」の設定で「サーバからダウンロード」を選択した場合は、起動時に「サーバからダウンロード」画面が表示されています。「ファイル」メニューからは選択できません。

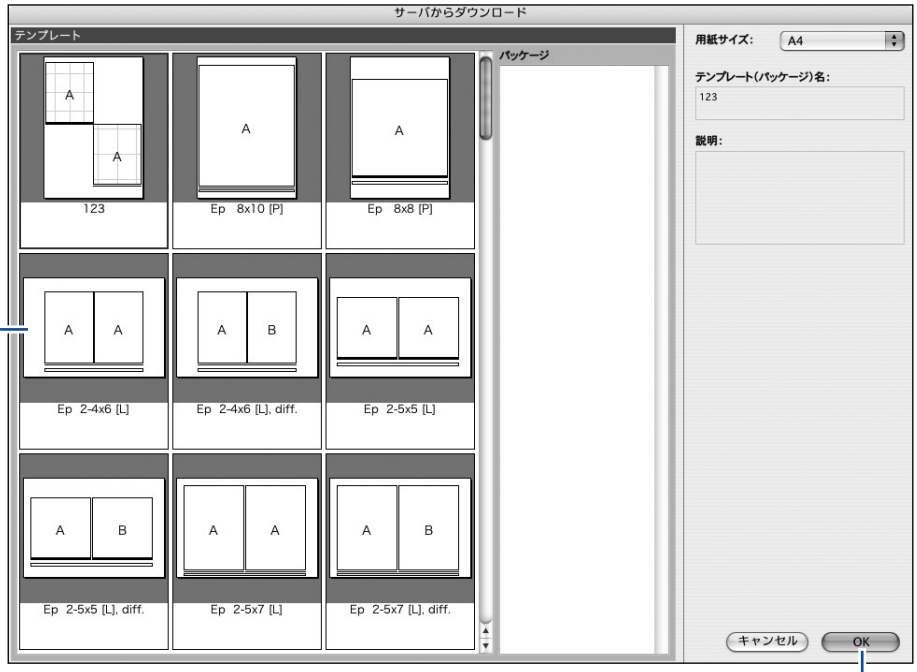


❷「用紙サイズ」プルダウンメニューから用紙サイズを選択します。



「用紙サイズ」プルダウンメニュー

❸「テンプレート」エリアのサムネイルからダウンロードしたいテンプレートまたはパッケージを選択します。



「テンプレート」エリア
ダウンロードしたいテンプレートやパッケージのサムネイルを選択する。

「OK」

テンプレートを選択するには

1 テンプレートのサムネイルをクリックして、「OK」をクリックします。サムネイルをダブルクリックしても選択できます。
次の画面が表示されます。

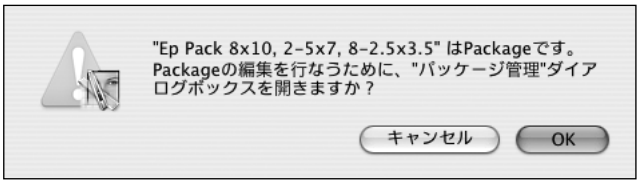


2 テンプレートを編集している間、ほかのユーザーが同じテンプレートを使用できないようにロックするには「OK」を、ロックしない場合は「キャンセル」をクリックします。
選択したテンプレートの編集画面が表示されます。

操作が終わったら、「テンプレートを編集する」（96 ページ）に進んでください。

パッケージを選択するには

1 パッケージのサムネイルをクリックして、「OK」をクリックします。
パッケージをダブルクリックしても選択できます。
次の画面が表示されます。



2「パッケージ管理」画面を開く場合は「OK」、開かない場合は「キャンセル」をクリックします。
「OK」をクリックすると、「パッケージ管理」画面が開きます。
「パッケージを作成し、管理する」（148 ページ）へ進んでください。

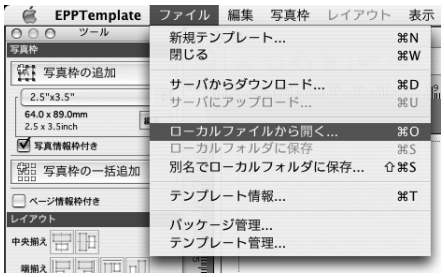
ポイント

パッケージのサムネイルをクリックすると、パッケージに入っているテンプレートが「パッケージ」欄に表示されます。詳しくは、「パッケージを作成し、管理する」（148 ページ）をご覧ください。

● ローカルフォルダに保存されているテンプレートを開く

テンプレートをクライアントコンピュータの「Template Folder」（またはほかのフォルダ）に保存している場合は、次の手順でテンプレートを開きます。操作が終わったら、「テンプレートを編集する」（96 ページ）へ進んでください。

1 「ファイル」メニューから「ローカルファイルから開く」を選択します。



「ローカルファイルから開く」画面が表示されます。

> **ポイント**
> 「起動時作業の選択」の設定で「ローカルファイルから開く」を選択した場合は、起動時に「ローカルファイルから開く」画面が表示されています。「ファイル」メニューからは選択できません。

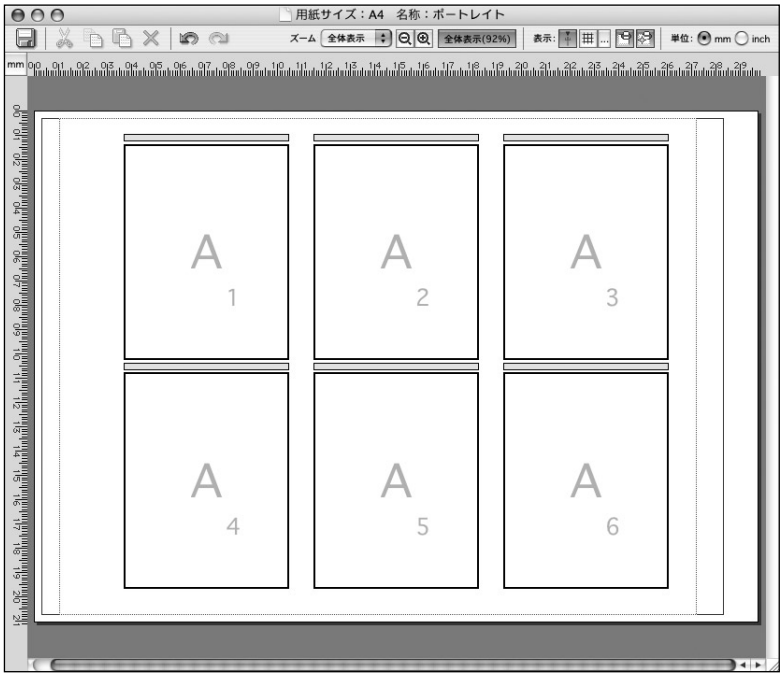


> **ポイント**
> 「Template Folder」は初めて EPPTemplate を起動したとき自動的に作成されるフォルダです。編集したテンプレートを保存しておくことができます。ほかのフォルダに保存する場合は、ドロップダウンリストからフォルダを選択してください。

❷ テンプレートを選択して、「開く」をクリックします。



選択したテンプレートの編集画面が表示されます。

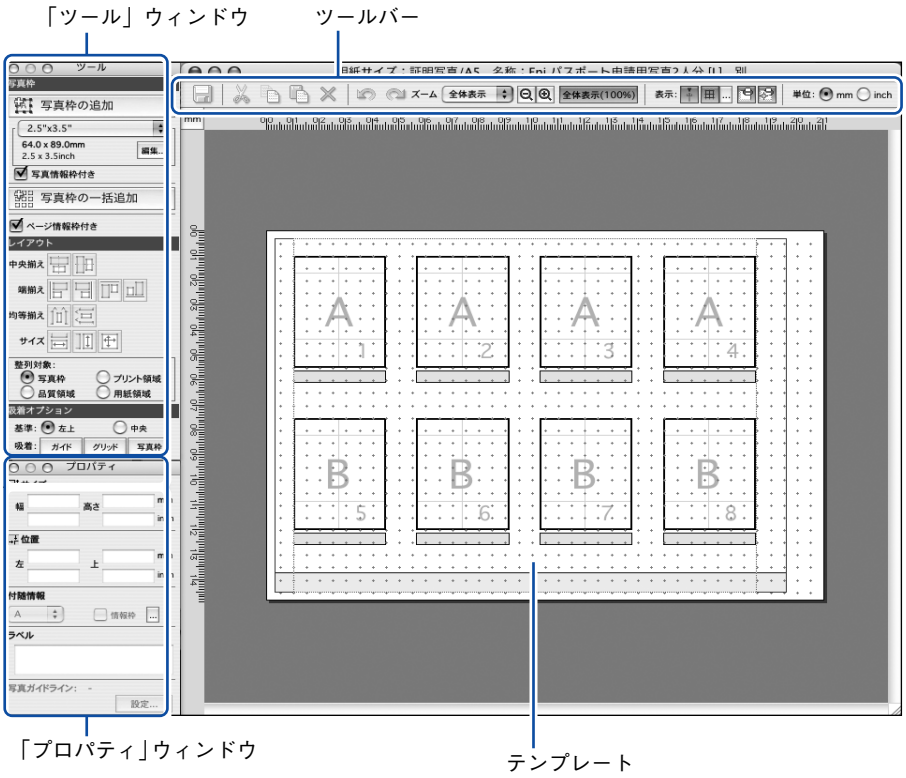


■ テンプレートを編集する

テンプレート編集画面で、写真枠、写真情報枠やページ情報枠などを設定してテンプレートを編集します。テンプレートの編集が終わったら、「テンプレートを整える」（117 ページ）に進みます。さまざまな機能を使ってテンプレートを細かく整えることができます。

● テンプレート編集画面について

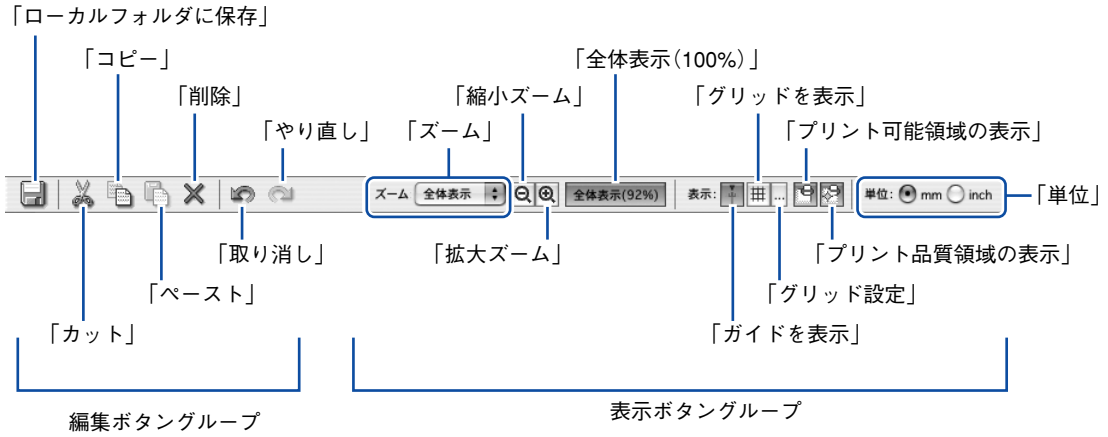
テンプレート編集画面は、「ツール」ウィンドウ、「プロパティ」ウィンドウ、ツールバー、テンプレートで構成されています。ツールバーや「ツール」ウィンドウ、「プロパティ」ウィンドウを使ってテンプレートを編集できます。
「ツール」ウィンドウ、「プロパティ」ウィンドウ、テンプレートウィンドウのバーをドラッグし、作業しやすい位置に移動することができます。「ツール」ウィンドウと「プロパティ」ウィンドウのクローズボックスをクリックして非表示にすることもできます。



ポイント
EPPTemplate での“写真枠”は、EPPLayout での“フレーム”のことです。

ツールバーを使う

ツールバーは左側の編集ボタングループと右側の表示ボタングループで構成されています。ボタンにポインタを合わせると、ボタン名（機能名）が表示されます。



「ローカルフォルダに保存」

新規作成または編集したテンプレートファイルをローカルフォルダに保存するときにクリックします。

「カット」

写真枠やテキストをカットするときにクリックします。

「コピー」

写真枠やテキストをコピーするときにクリックします。

「ペースト」

コピーまたはカットした写真枠やテキストをペーストするときにクリックします。

「削除」

選択した写真枠やテキストを削除するときにクリックします。

「取り消し」

クリックするたびに最後に行った操作から順番に取り消します。最初に行った操作まで取り消せます。

「やり直し」

クリックするたびに最後に取り消した操作から順番にやり直します。最初に行った取り消しの操作までやり直せます。

「ズーム」

画面表示の倍率をプルダウンメニューから選択します。

「縮小ズーム」

画面表示を縮小するときにクリックします。

「拡大ズーム」

画面表示を拡大するときにクリックします。

「全体表示」
画面に合わせてテンプレート全体が表示されます。

「ガイドを表示」
クリックするとガイドが表示されます。もう一度クリックすると、ガイドが非表示になります。

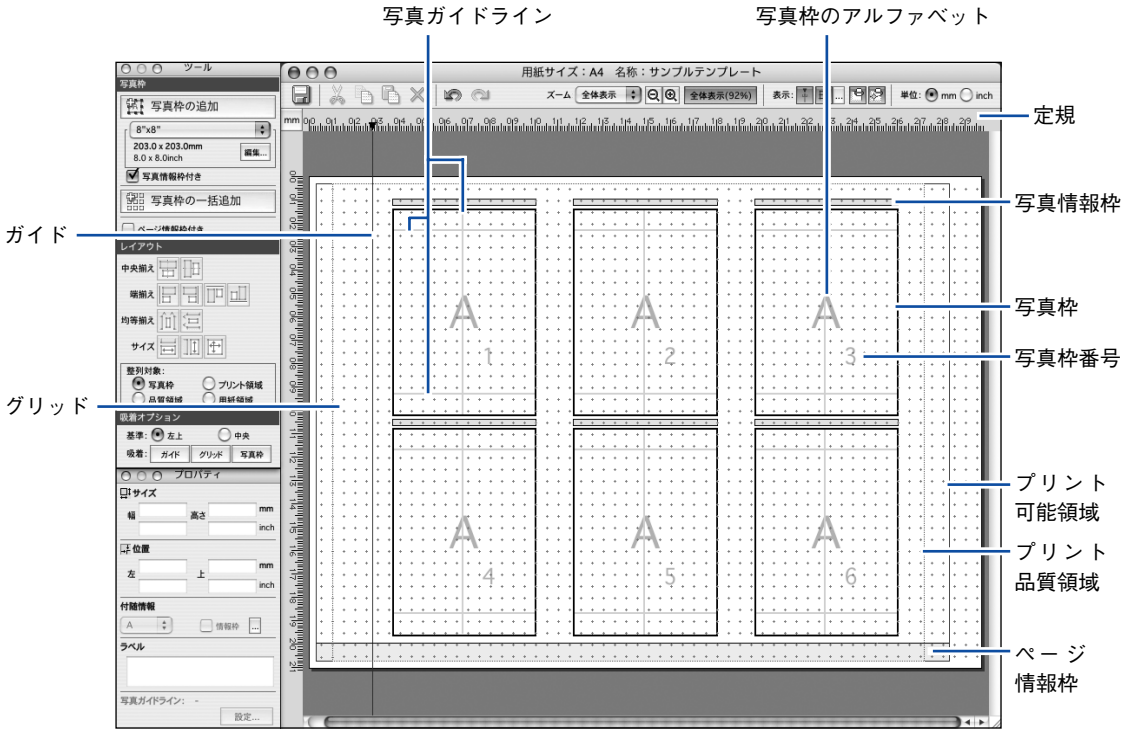
「グリッドを表示」
クリックするとグリッドが表示されます。もう一度クリックすると、グリッドが非表示になります。

「プリント可能領域の表示」
クリックするとプリント可能領域が表示されます。もう一度クリックすると、プリント可能領域が非表示になります。

「プリント品質領域の表示」
クリックするとプリント品質領域が表示されます。もう一度クリックすると、プリント品質領域が非表示になります。

「単位」
定規の単位を「mm」と「inch」から選択できます。

テンプレートの構成要素



プリント可能領域
プリントできる境界を示したもので、プリント品質領域よりも外側に写真枠を配置できます。ただし、この領域のプリント画質は低下することがあります。プリント可能領域は用紙サイズによって異なります。プリント可能領域を表示するには、ツールバーの「プリント可能領域の表示」ボタンをクリックするか、「表示」メニューの「プリント可能領域を表示」にチェック（✓印）を入れます。

プリント品質領域
プリント可能領域の中で、高画質プリントが可能な境界を表示したものです。プリント品質領域を表示するには、ツールバーの「プリント品質領域の表示」ボタンをクリックするか、「表示」メニューの「プリント品質領域を表示」にチェック（✓印）を入れます。

写真情報枠
写真枠に写真情報枠を付けると、EPPLayout で写真のファイル名などを挿入できます。

写真枠
写真を割り付ける場所に写真枠を配置します。写真ガイドラインが設定されている場合は、ガイドラインを表示します。写真ガイドラインの設定方法については、「写真枠にガイドラインを付ける」（132 ページ）をご覧ください。

写真ガイドライン
写真ガイドラインが設定されている場合は、ガイドラインを表示します。写真ガイドラインの設定方法については、「写真枠にガイドラインを付ける」（132 ページ）をご覧ください。

ページ情報枠
ページにページ情報枠を付けると、EPPLayout でスタジオ名、コンピュータ名などのページ情報を挿入できます。

写真枠のアルファベット
写真枠にはアルファベットが付いています。同じアルファベットが付いた写真枠には同じ写真が配置されます。アルファベットが異なれば異なる写真を配置できます。

写真枠番号
写真枠には写真枠番号が付いています。写真枠番号順に写真が配置されます。

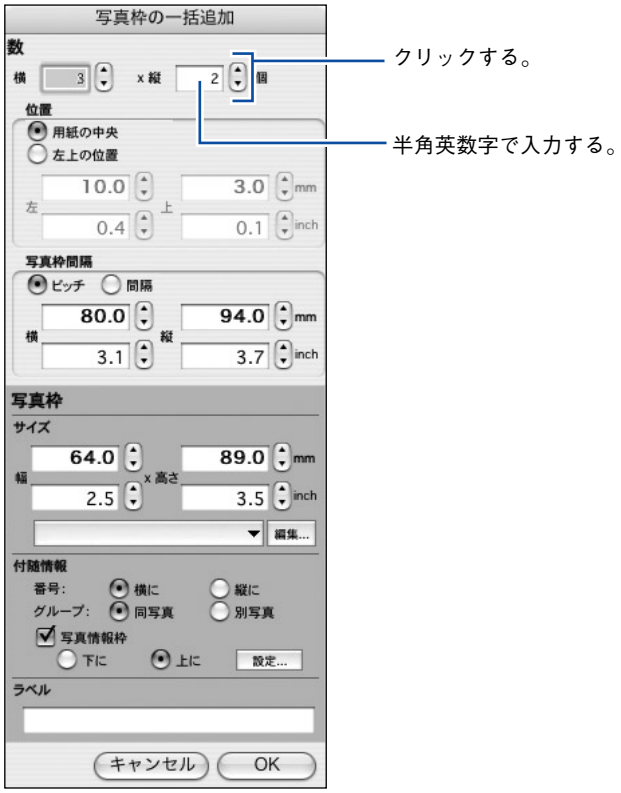
定規
テンプレートの用紙サイズに合わせて定規が表示されます。

ガイド
ガイドを表示させておくと、複数の写真枠の配置位置をあわせるときなどに便利です。ガイドを引くには、定規上にポインタを置いてクリックします。▼が定規に表示され、▼から垂直または水平にガイドが引かれます。ガイドを移動するには▼をドラッグします。定規や▼をクリックすると、用紙の左右または上下からの位置が mm または inch で表示されます。ツールバーの「ガイドを表示」ボタンをクリックするか、「表示」メニューの「ガイドを表示」にチェック（✓印）を入れるとガイドが表示されます。
ガイドを削除するときは、ガイドの▼を ⃠ マークが表示されるまで定規の外にドラッグします。表示されているガイドをすべて削除するときは、「表示」メニューの「ガイドを全て解除」を選択します。

グリッド
グリッドは写真枠をそろえるときに使います。グリッドを表示するには、ツールバーの「グリッドを表示」ボタンをクリックするか、「表示」メニューの「グリッドを表示」にチェック（✓印）を入れます。

数値を指定するには

「ツール」ウィンドウの設定画面、「プロパティ」ウィンドウ、またそのほかの設定画面には数値を指定する項目が数多くあります。▲や▼をクリックして数値を1単位ずつ増減する方法と、ボックスに数値を入力する方法があります。入力する場合は、半角英数字で入力します。mmとinch両方のボックスがある場合、どちらか一方の数値を指定すると、もう一方の数値も連動して変わります。



● 写真枠をひとつずつ追加する

ローカルフォルダから開いたテンプレートや、サーバからダウンロードしたテンプレートに写真枠を追加したり、新規のテンプレートにお好みのサイズの写真枠をひとつずつ配置できます。なお、作成できる写真枠の数は、最大 500 個までです。

1 「写真枠」エリアのプルダウンメニューから写真枠サイズを選択します。

選択したい写真枠サイズがプルダウンメニューにないときは、次ページの「プルダウンメニューに写真枠サイズを追加する」を行ってください。



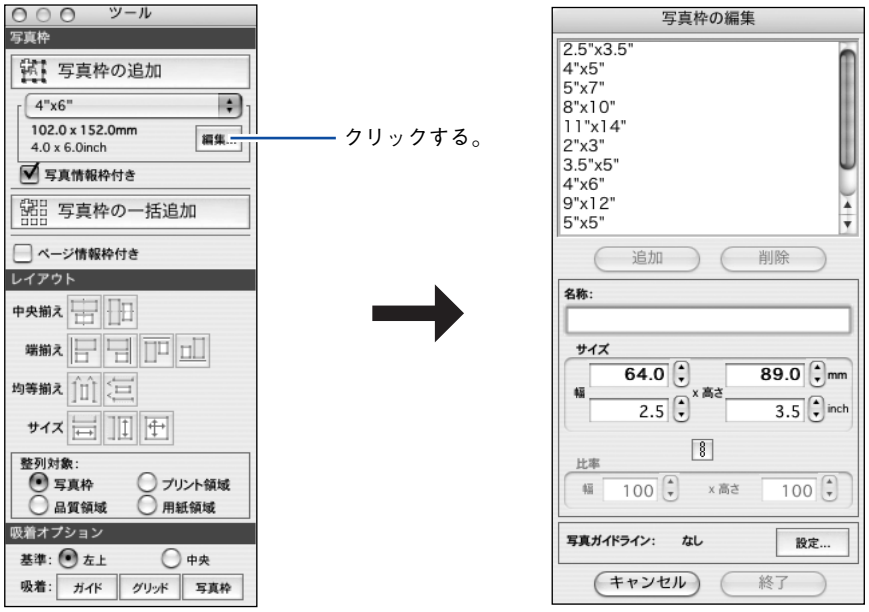
プルダウンメニューから写真枠サイズを選択する。

> **ポイント**
>
> ローカルフォルダから開いたテンプレートや、サーバからダウンロードしたテンプレートに配置されている写真枠をクリックすると、「プロパティ」ウィンドウにその写真枠のサイズ、位置、付随情報、ラベルが表示されます。すでに配置されている写真枠と同じサイズの写真枠を追加するときは、ここに表示されているサイズと同じものをプルダウンメニューから選択します。

プルダウンメニューに写真枠サイズを追加する

写真枠サイズを設定し、プルダウンメニューに追加します。

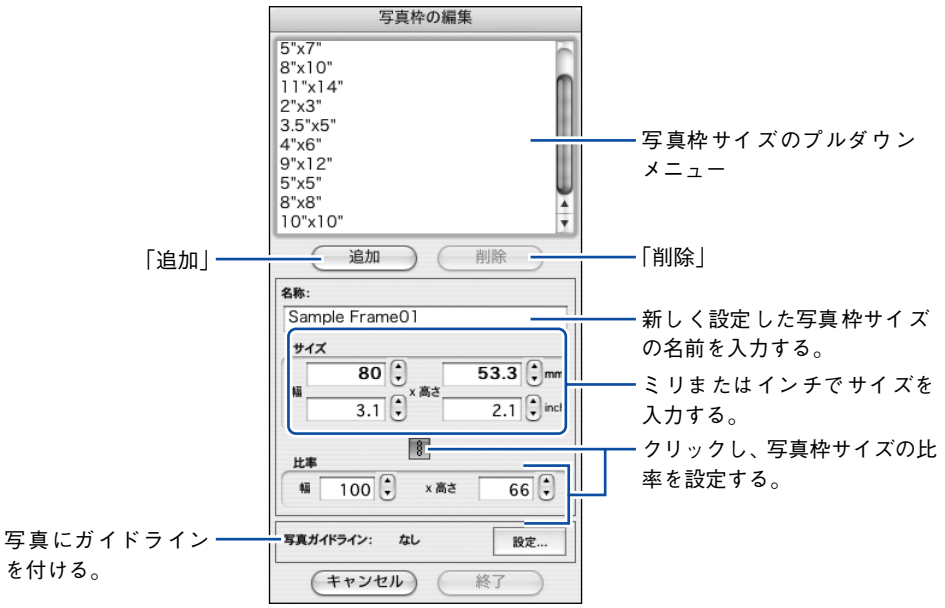
1「写真枠」エリアの「編集...」をクリックします。
「写真枠の編集」 画面が表示されます。



2 写真枠サイズを設定します。

「サイズ」の「幅」と「高さ」を設定します。写真枠の幅と高さの比率を固定してから設定する場合は、 をクリックし、「比率」の「幅」と「高さ」を指定してから、「サイズ」の「幅」と「高さ」を指定します。

新しく設定した写真枠サイズの名称を入力して「追加」をクリックします。写真枠サイズのプルダウンメニューに追加されます。



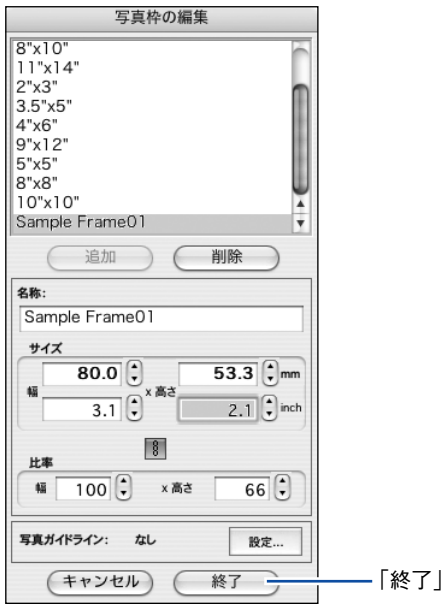
ポイント

- 「写真ガイドライン」については、「写真枠にガイドラインを付ける」(132 ページ)」をご覧ください。
- 写真枠サイズのプルダウンメニューから設定を削除する場合は、削除したい写真枠サイズを選択し、「削除」をクリックします。

注意

「写真枠の編集」では新規に追加する写真枠サイズを設定します。すでに登録されている写真枠サイズは変更できません。

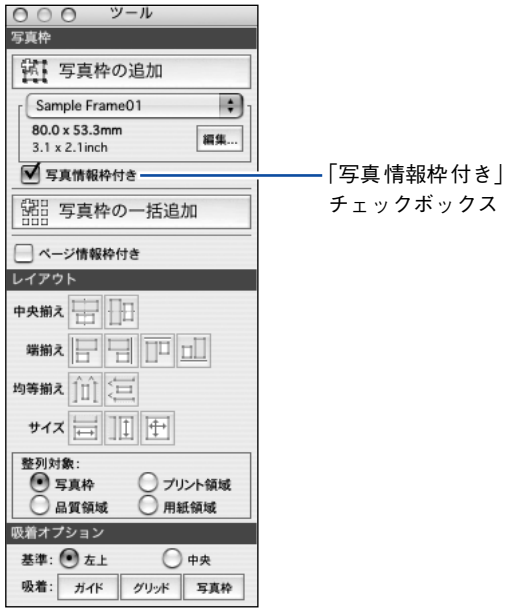
3 設定が終了したら、「終了」をクリックします。



プルダウンメニューから追加した写真枠サイズを選択できます。

2 写真枠に写真情報枠を付けるには、「写真情報枠付き」のチェックボックスにチェック（✓印）を入れます。

EPPLayout で写真のファイル名を挿入することができます。



ポイント

- 「写真枠」メニューの「写真情報枠付き」にチェック（✓印）を入れても設定できます。
- 写真情報枠の編集については、「写真情報枠を編集する」（134 ページ）をご覧ください。

3 ページにページ情報枠を付けるには、「ページ情報枠付き」のチェックボックスにチェック（✓印）を入れます。

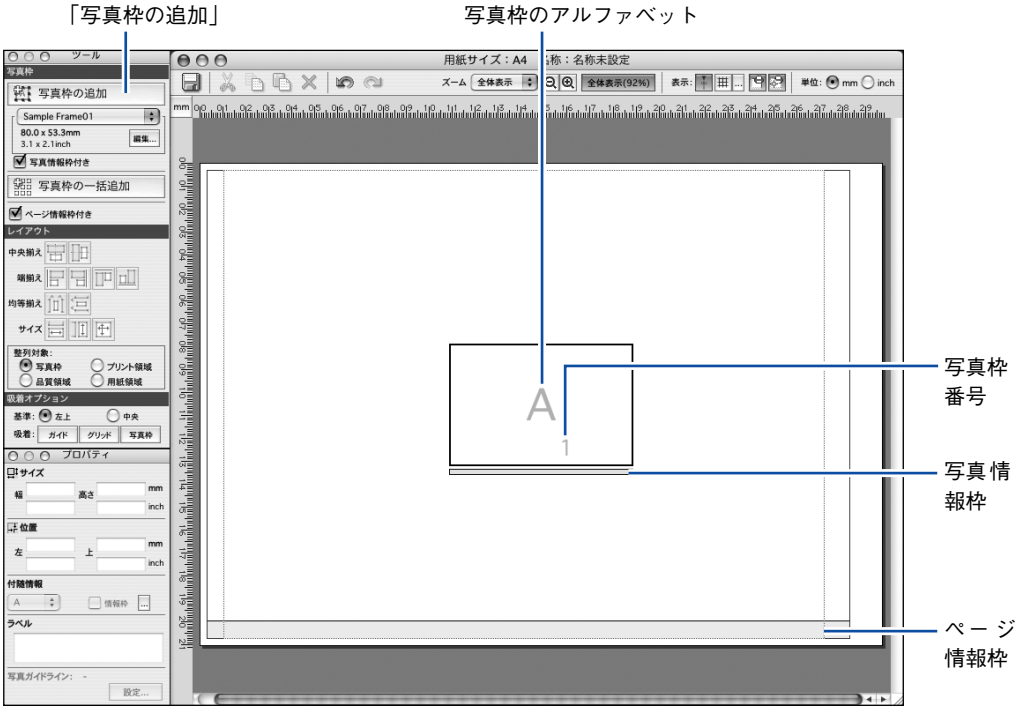


「ページ情報枠付き」チェックボックス

> **ポイント**
> - 「写真枠」メニューの「ページ情報枠を使用」にチェック（✓印）を入れても設定できます。
> - ページ情報枠の編集については、「ページ情報枠を挿入する」（137ページ）をご覧ください。

4 「写真枠の追加」をクリックします。

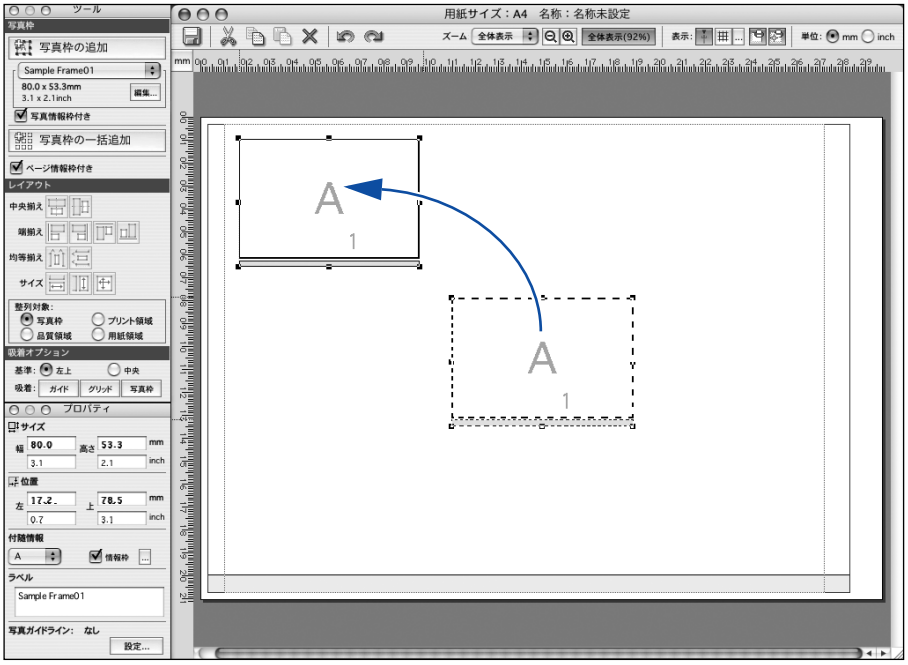
設定したサイズの写真枠が写真枠のアルファベットのAと写真枠番号とともにテンプレートの中央に表示されます。すでに写真枠が配置されていると、写真枠番号は次の番号から順にふられます。



> **ポイント**
> 「写真枠」メニューから「写真枠の追加」を選択しても、写真枠を挿入または追加できます。

5 写真枠内にポインタを置き、ドラッグして写真枠を移動します。

ガイドやグリッドを使ったり、定規を目安にして写真枠の位置を決めます。「プロパティ」ウィンドウの「位置」には、写真枠の位置が表示されます。用紙の左端と上から何 mm（inch）の位置に写真枠を配置したか確認できます。



ポイント

- 「位置」の「左」と「上」に数値を入力しても写真枠を移動できます。
- 写真枠をそろえたり、写真枠のアルファベットや写真枠番号を変更するなど、テンプレートを整えるための便利な機能が用意されています。写真枠を追加したら、「テンプレートを整える」（117 ページ）をご覧ください。

6 続けて写真枠を追加する場合は、手順 1 ～ 5 の操作を繰り返します。

同じサイズの写真枠は、「写真枠の追加」をクリックするだけで追加できます。追加した順に写真枠番号がふられます。

写真枠を削除するには

写真枠内をクリックし、「delete」キーを押します。写真枠内をクリックし、「編集」メニューから「削除」を選択しても削除できます。

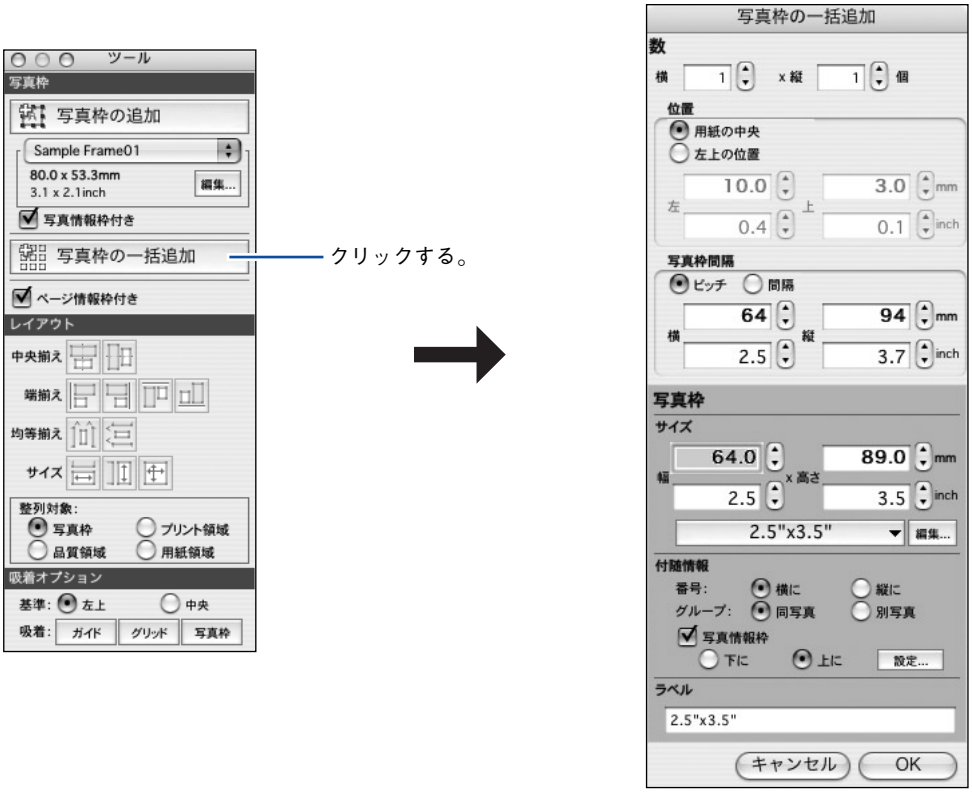
● 写真枠を一括して配置する

同じサイズの写真枠を数や位置などを設定し、一括してテンプレートに配置できます。新規のテンプレートに同じサイズの写真枠を複数配置するときに便利です。なお、作成できる写真枠の数は、最大 500 個までです。

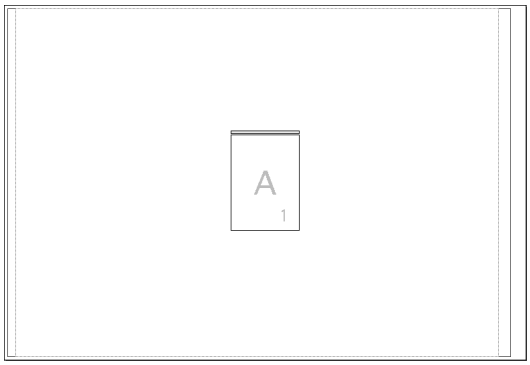
❶「写真枠」エリアの「写真枠の一括追加」をクリックします。

「写真枠の一括追加」画面が表示されます。テンプレートには、前回設定した写真枠がプレビュー表示されます。「写真枠の一括追加」の各項目を設定するごとに、プレビューの写真枠が設定に応じて変更されます。「写真枠の一括追加」の設定が終了するまでは、写真枠をドラッグするなどの操作はできません。

> ポイント　「写真枠」メニューから「写真枠の一括追加」を選択しても、「写真枠の一括追加」画面が表示されます。

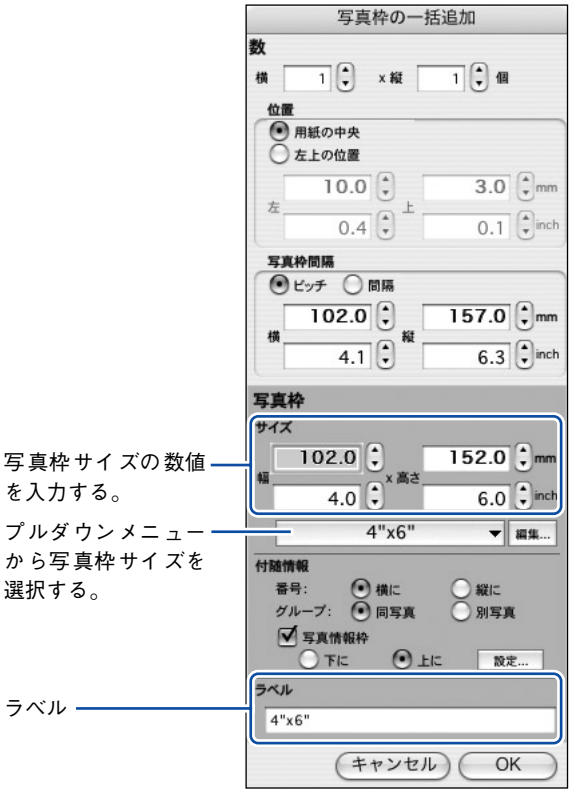


テンプレートのプレビュー表示

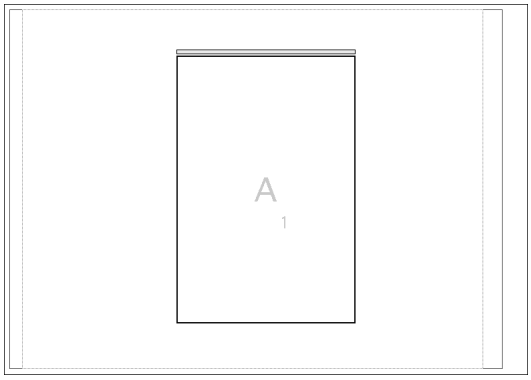


❷「写真枠」の「サイズ」の「幅」と「高さ」を指定するか、プルダウンメニューから写真枠サイズを選択します。

プレビュー表示の写真枠サイズが変更されます。



写真枠サイズが変更される。



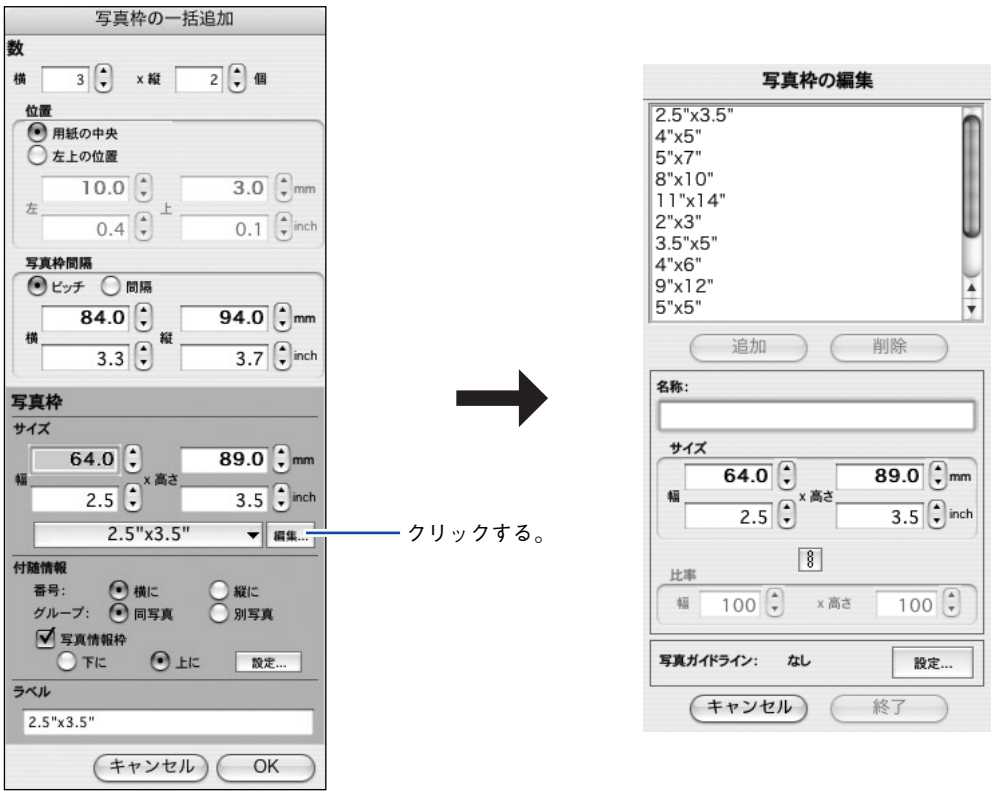
ポイント

- 「写真枠」のプルダウンメニューからサイズを選択すると、「ラベル」に選択した写真枠サイズの名称が表示されます。
- 選択したい写真枠サイズがプルダウンメニューにないときは、次の「プルダウンメニューに写真枠サイズを追加する」を行ってください。

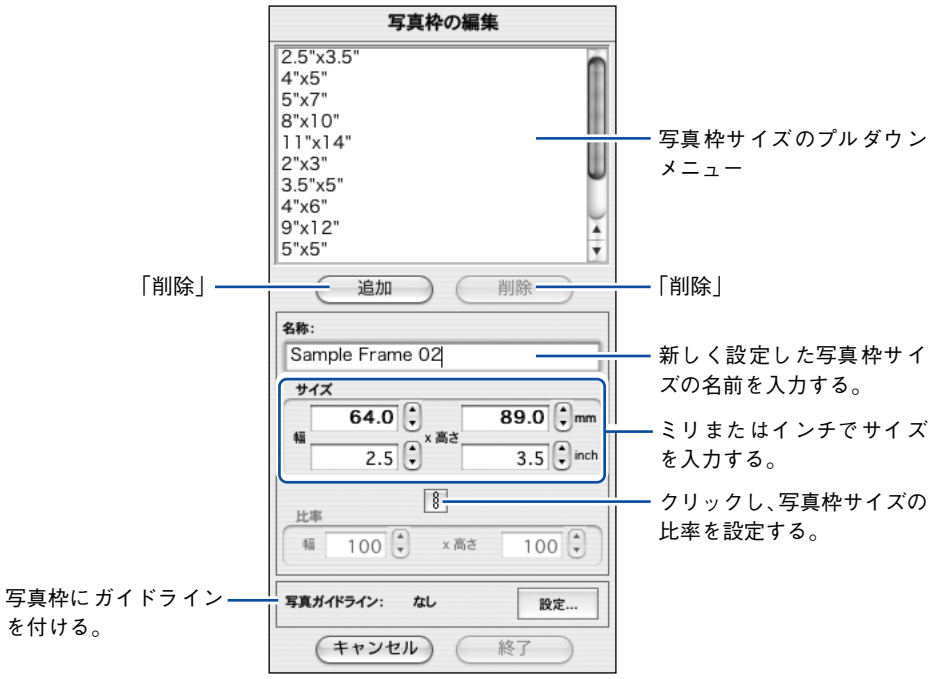
プルダウンメニューに写真枠サイズを追加する

写真サイズを設定し、プルダウンメニューに追加します。

1「写真枠」の「編集...」をクリックします。
「写真枠の編集」画面が表示されます。



2 写真枠サイズを設定します。
「サイズ」の「幅」と「高さ」を指定します。写真枠の幅と高さの比率を固定してから設定する場合は、[8] をクリックし、「比率」の「幅」と「高さ」を指定してから、「サイズ」の「幅」と「高さ」を指定します。
新しく設定した写真枠サイズの名称を入力して「追加」をクリックします。写真枠サイズのプルダウンメニューに追加されます。



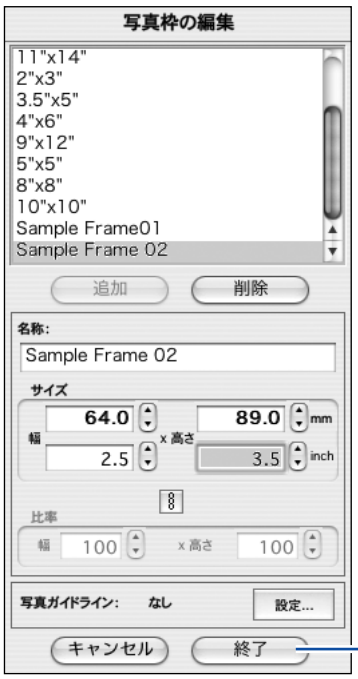
ポイント

- 「写真ガイドライン」については、「写真枠にガイドラインを付ける」(132 ページ)」をご覧ください。
- 写真枠サイズのプルダウンメニューから設定を削除する場合は、削除したい写真枠サイズを選択し、「削除」をクリックします。

注意

「写真枠の編集」では新規に追加する写真枠サイズを設定します。すでに登録されている写真枠サイズは変更できません。

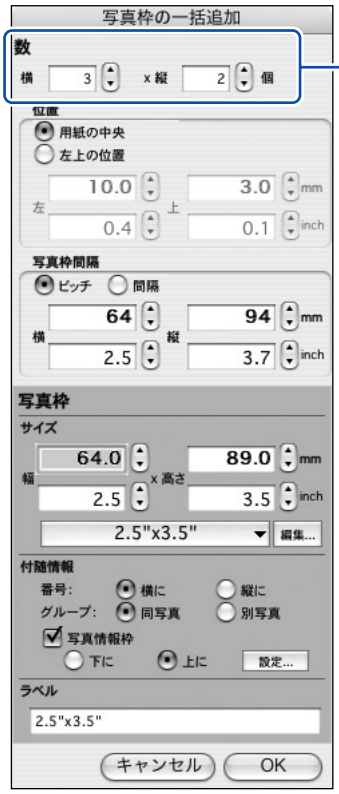
3 設定が終了したら、「終了」をクリックします。



プルダウンメニューから追加した写真枠サイズを選択できます。

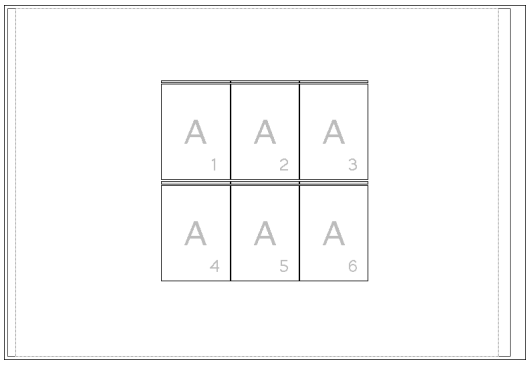
❸「数」の「横」と「縦」に写真枠の数を指定します。

指定した数のプレビュー表示の写真枠がテンプレートに配置されます。



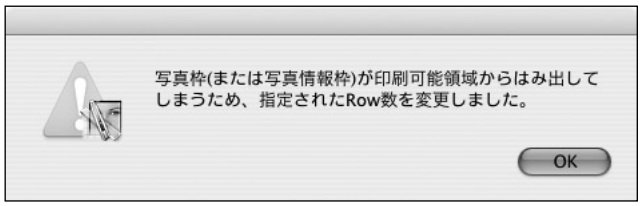
写真枠の数を指定する。

「横」に 3、「縦」に 2 を指定したとき



ポイント

指定した数の写真枠を配置すると、写真枠がプリント可能領域をはみ出てしまう場合、次の画面が表示されます。



「OK」をクリックします。プリント可能領域内に収まるように、横と縦の写真枠の数が自動的に減らされます。

サイズよりも数を優先する場合は、写真枠サイズを小さくしたり、写真枠間隔を狭くしてから写真枠の数を設定し直してください。

4「位置」で写真枠の位置を設定します。

- **「用紙の中央」**：写真枠が用紙の中心に配置されます。
- **「左上の位置」**：用紙の左上から配置したい場合にクリックします。「左」には用紙枠左辺から写真枠左辺までの余白の数値を、「上」には用紙枠上辺から写真枠上辺までの余白の数値を指定します。

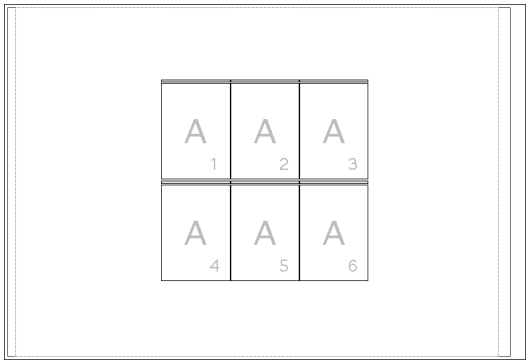


「用紙の中央」

「左上の位置」

用紙の左側、上側の余白を指定する。

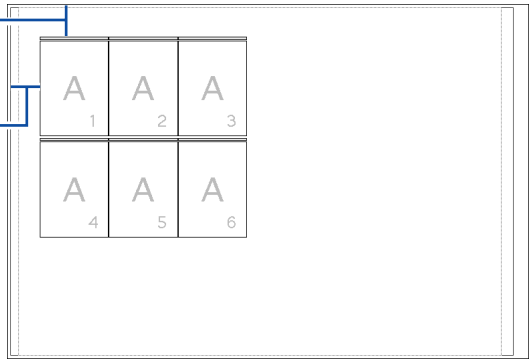
「用紙の中央」を選択したとき



「左上の位置」を選択したとき

「上」で設定する余白

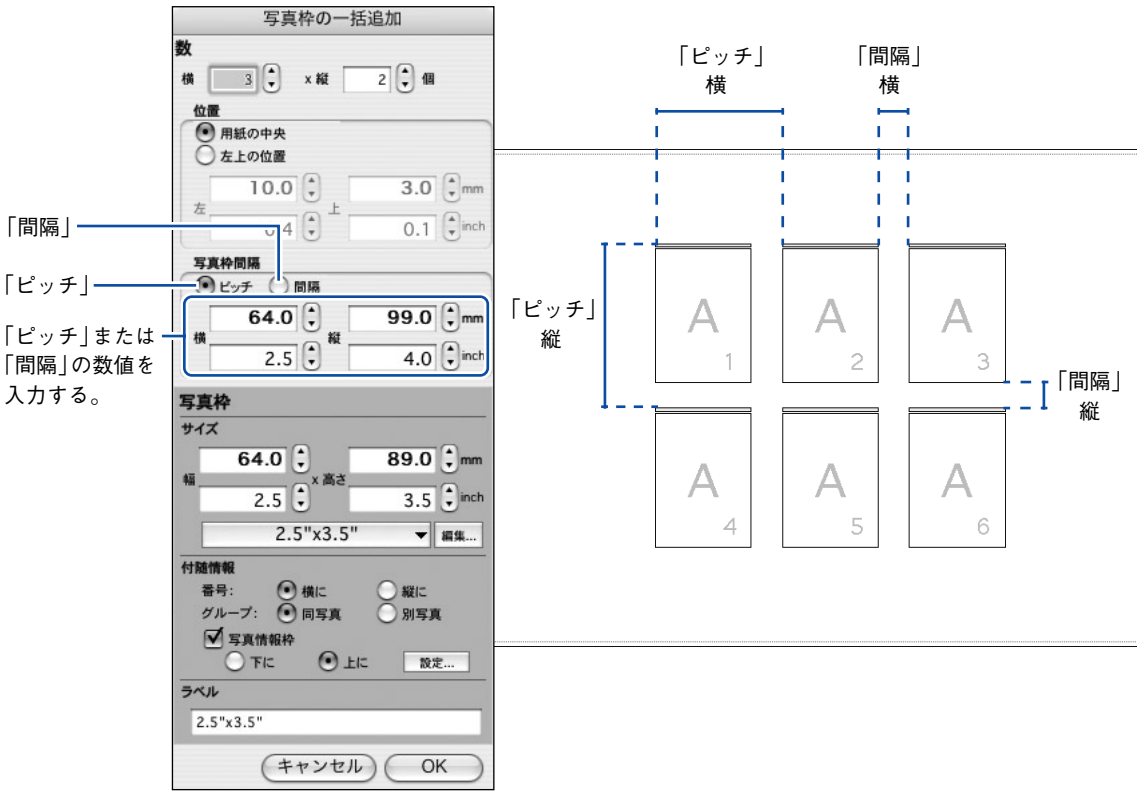
「左」で設定する余白



5 「写真枠間隔」で写真枠間の余白を設定します。

「ピッチ」の数値と「間隔」の数値は連動して変更されます。「ピッチ」、「間隔」のどちらか使いやすいほうで設定してください。

- **「ピッチ」**：「横」で写真枠左辺から隣の写真枠左辺までの距離を、「縦」で写真枠上辺からその下の写真枠上辺までの距離を指定します。
- **「間隔」**：「横」で写真枠から隣の写真枠までの間隔を、「縦」で上の写真枠からその下の写真枠までの間隔を指定します。

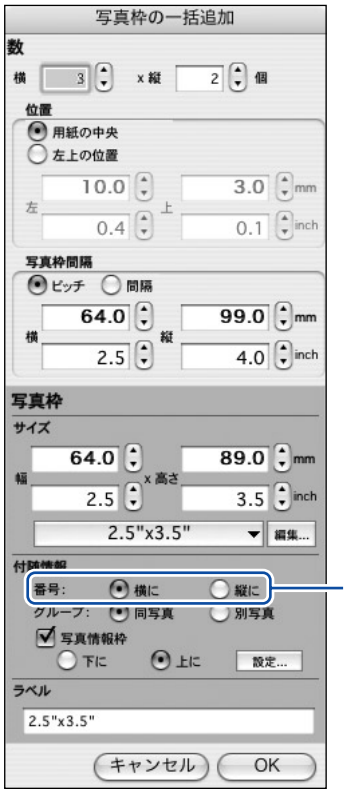


ポイント

- 「ピッチ」の下限は、写真枠サイズと同じになります。写真情報枠が付いていると、「ピッチ」の「縦」の下限は、“写真サイズの高さ＋写真情報枠の高さ＋写真情報枠の隙間”になります。「間隔」の下限は、0.0 mm（inch）です。写真情報枠が付いていると、「間隔」の「縦」の下限は、“写真情報枠の高さ＋写真情報枠の隙間”になります。これ以下の数値を指定しても、下限の数値が自動的に設定されます。写真情報枠の高さや隙間は「写真情報枠」の「設定」で設定できます。「写真情報枠を編集する」（134 ページ）をご覧ください。
- 「ピッチ」や「間隔」の上限は、写真枠または写真情報枠がプリント可能領域に達するまでの数値となります。プリント可能領域をはみ出すと、写真枠の縦または横の数が自動的に減らされます。

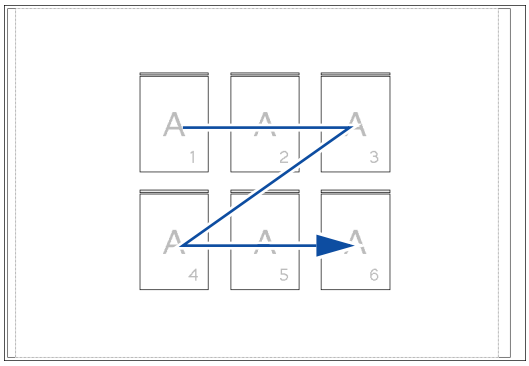
6 「付随情報」の「番号」で、写真枠番号を付ける方向を選択します。

- 「**横に**」：写真枠番号が横方向に付きます。
- 「**縦に**」：写真枠番号が縦方向に付きます。

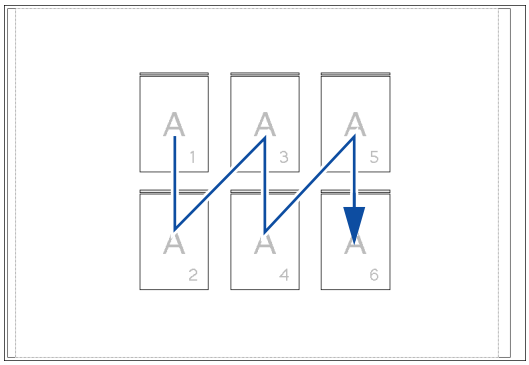


「横に」または「縦に」を選択する。

「横に」を選択したとき



「縦に」を選択したとき



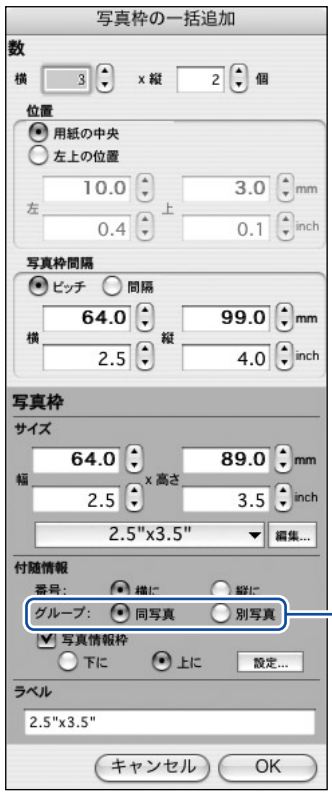
ポイント

「写真枠の一括追加」を終了したあとで設定を変更する場合は、「写真枠番号を変更する」（125 ページ）をご覧ください。

7 「付随情報」の「グループ」で、「同写真」または「別写真」を選択します。

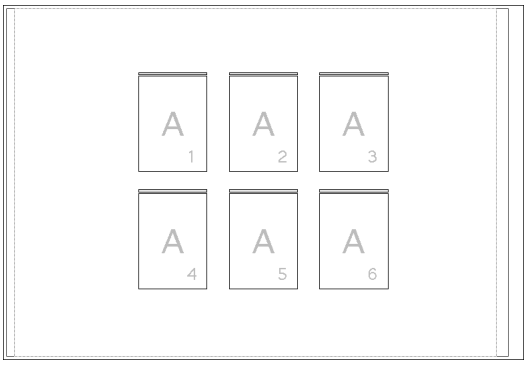
写真枠すべてに同じ写真を配置するのか、または異なる複数の写真を配置するのか選択します。

- **「同写真」**：すべての写真枠に同じ写真を配置する設定になります。すべての写真枠に同じアルファベット（例：A1、A2、A3）が付きます。
- **「別写真」**：すべての写真枠に異なる写真を配置する設定になります。すべての写真枠に続きのアルファベット（例：A1、B2、C3）が付きます。

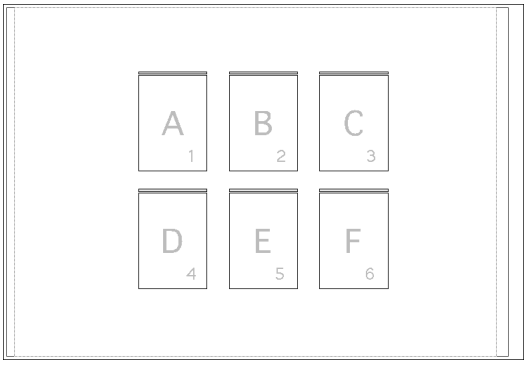


「同写真」または「別写真」を選択する。

同一写真を配置する写真枠



異なる写真を配置する写真枠



ポイント

「写真枠の一括追加」を終了したあとで設定を変更する場合は、「写真枠のアルファベットを変更する」（129 ページ）をご覧ください。

8 「付随情報」の「写真情報枠」を設定します。

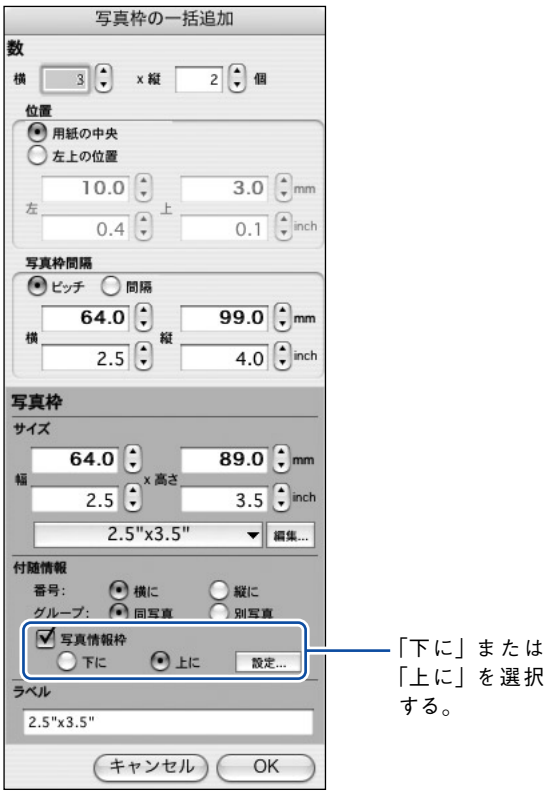
写真情報枠の位置を設定する

「写真情報枠」チェックボックスにチェック（✓印）を入れ、「上に」または「下に」で写真情報枠の位置を選択します。テンプレート上のすべての写真枠に写真情報枠が付きます。

- **「下に」**：写真枠の下に写真情報枠が付きます。
- **「上に」**：写真枠の上に写真情報枠が付きます。

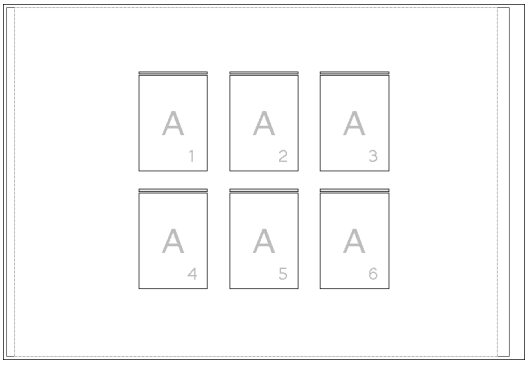
写真情報枠を付けると、EPPLayout で写真のファイル名を写真情報枠に挿入できます。

写真情報枠を付けないときは、「写真情報枠」チェックボックスからチェック（✓印）を外します。

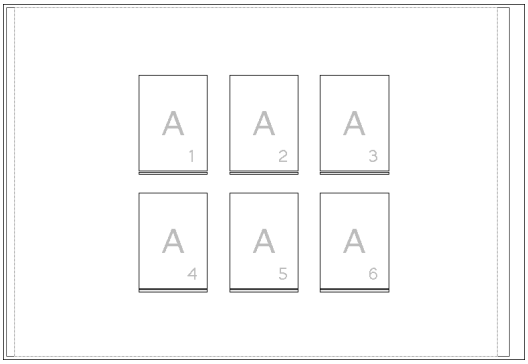


「下に」または「上に」を選択する。

「上に」を選択したとき



「下に」を選択したとき



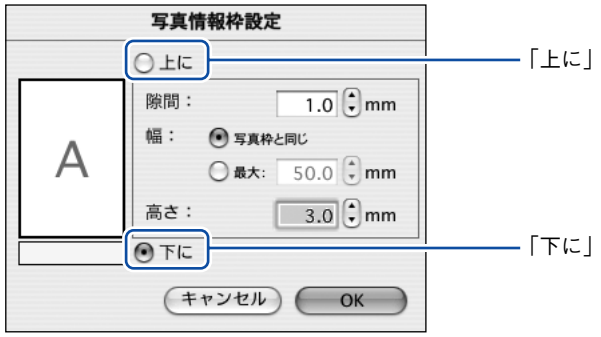
「写真情報枠設定」画面で位置やサイズを設定する

1「設定...」をクリックします。
「写真情報枠設定」画面が表示されます。



クリックする。

2「上に」または「下に」をクリックして写真情報枠を付ける位置を選択します。



「上に」

「下に」

3「隙間」で写真枠と写真情報枠間の隙間を設定します。

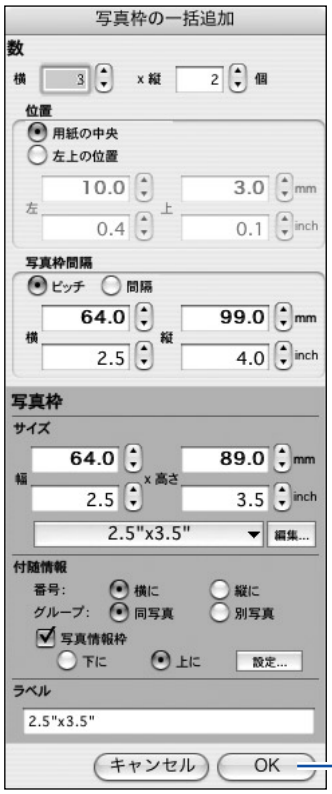


4 写真情報枠の「幅」と「高さ」を指定します。



5「OK」をクリックします。

9「写真枠の一括追加」設定が終わったら、「OK」をクリックします。



■ テンプレートを整える

写真枠の位置をそろえたり、写真枠のアルファベットや番号を変更するなど、さまざまな機能を使ってテンプレートを整えることができます。

● 写真枠を移動する

写真枠内をドラッグすると写真枠を移動できます。「Shift」キーを押しながら写真枠をドラッグすると、垂直または平行に移動できます。

> ポイント　写真枠を移動してガイドやグリッドにあわせる場合、吸着機能を使うと便利です。詳しくは「吸着機能を設定する」（123 ページ）をご覧ください。

● 写真枠を削除する

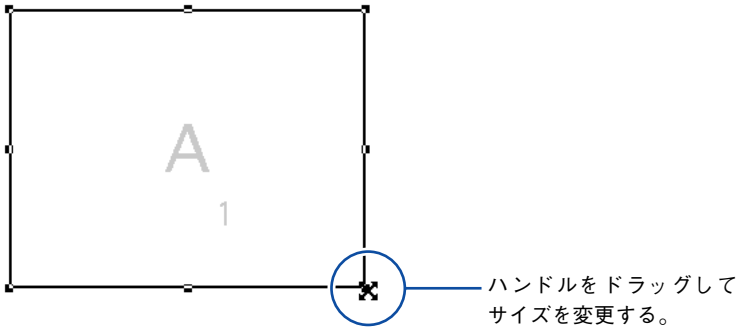
削除したい写真枠をクリックして「delete」キーを押すと削除できます。

● 写真枠サイズを変更する

写真枠をドラッグするか、「プロパティ」ウィンドウで写真枠のサイズを指定します。

写真枠をドラッグする

写真枠をクリックすると、写真枠の上下、左右、角にハンドルが表示されます。「Shift」キーを押しながらハンドルをドラッグすると、幅と高さの比率を固定して写真枠のサイズを変更できます。幅と高さの比率を固定しないで写真枠のサイズを変更するには、「Shift」を押さずにハンドルをドラッグします。



「プロパティ」ウィンドウで写真枠のサイズを指定する

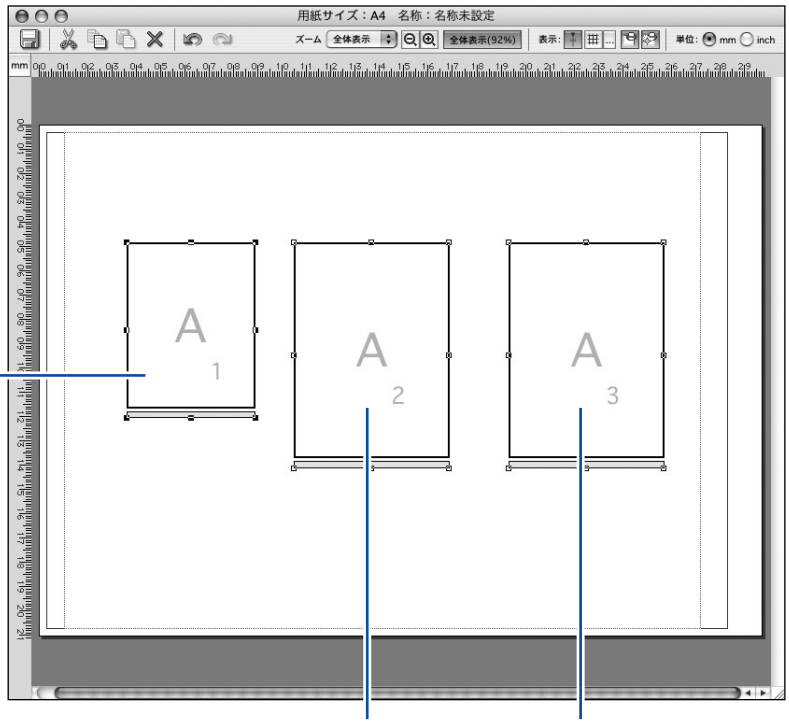
「プロパティ」ウィンドウの「サイズ」の「幅」と「高さ」に数値を入力します。



写真枠サイズの数値を入力する。

ほかの写真枠とサイズをそろえる場合

1 サイズの元になる写真枠をクリックし、「Shift」キーを押しながらサイズをそろえたい写真枠をクリックします。

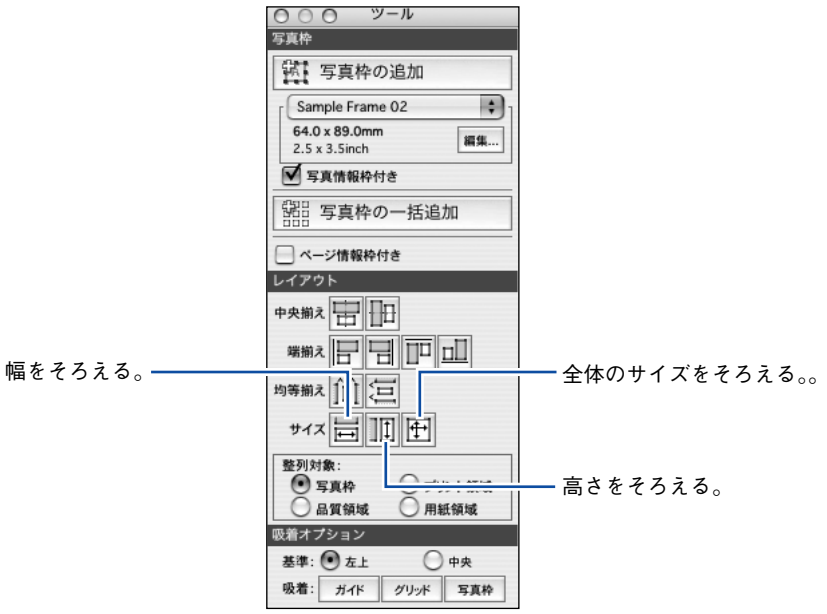


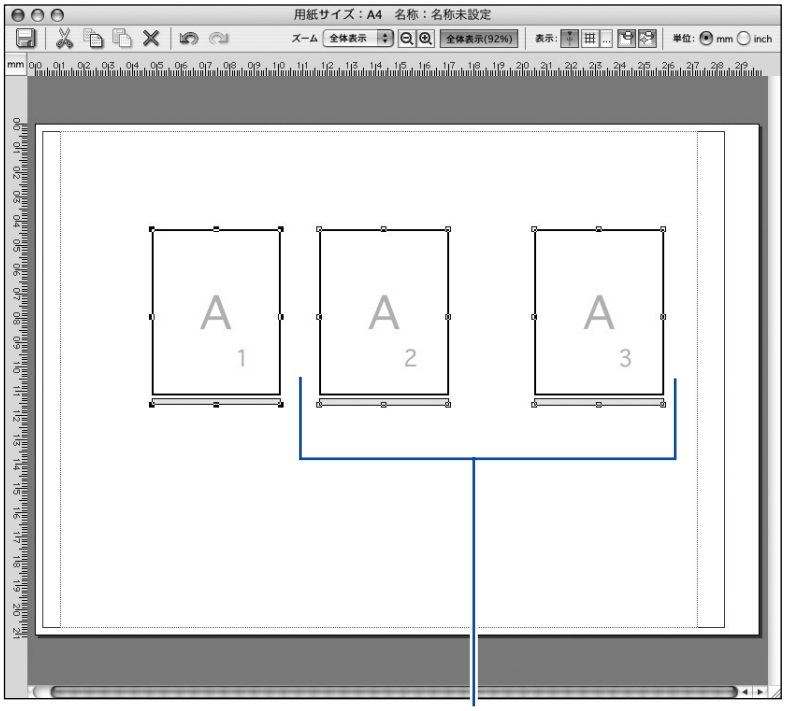
サイズの元になる写真枠をクリックする。

次に「Shift」キーを押しながら、サイズをそろえたい写真枠をクリックする。

2 「ツール」ウィンドウの「レイアウト」エリアにある「サイズ」でサイズをそろえたい場所を選択します。

最初に指定した写真枠に合わせて、幅、高さまたは全体のサイズを変更できます。





ポイント

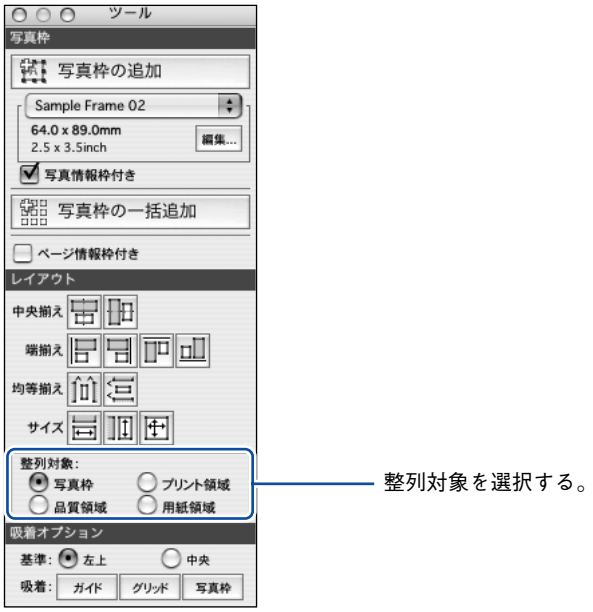
- 「レイアウト」メニューから「幅を揃える」、「高さを揃える」、「サイズを揃える」を選択してもサイズをそろえることができます。
- サイズの元になる写真枠とサイズをそろえたい写真枠を選択しないと、「サイズ」ボタンが有効になりません。

● 写真枠を整列させる

「ツール」ウィンドウにある「レイアウト」エリアで整列の種類を選択して、写真枠を整列させることができます。

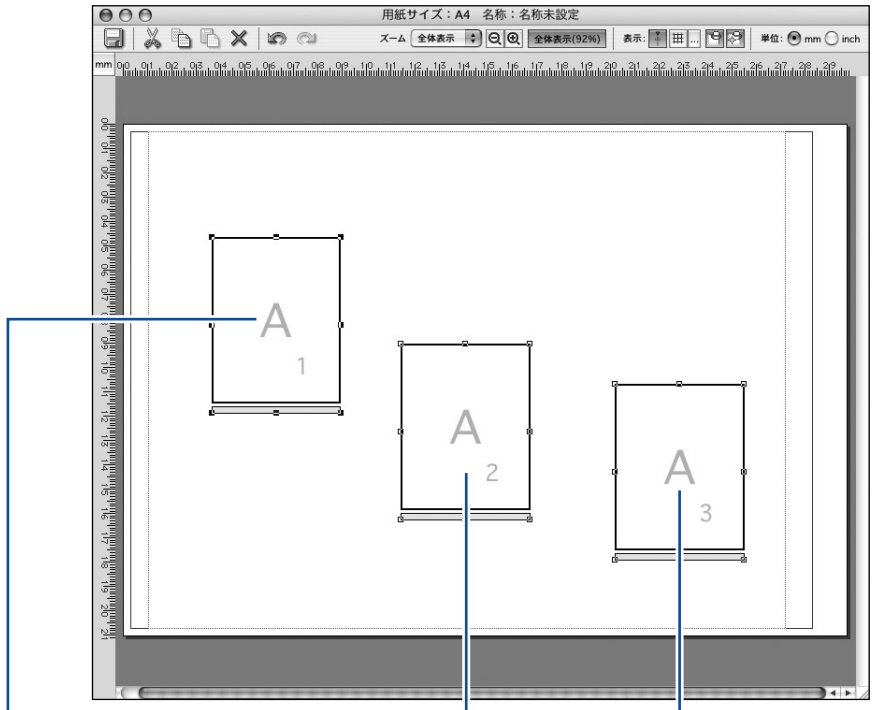
1 「レイアウト」エリアの「整列対象」で、写真枠を整列させる対象を選択します。

- **「写真枠」**：最初に指定した写真枠に合わせてほかの写真枠が整列します。
- **「品質領域」**：プリント品質領域の左側、右側、上側または下側に合わせて整列します。
- **「プリント領域」**：プリント可能領域の左側、右側、上側または下側に合わせて整列します。
- **「用紙領域」**：用紙の左側、右側、上側または下側に合わせて整列します。



2 整列させたい写真枠を選択します。

複数の写真枠を選択する場合は、「Shift」キーを押しながら、整列させたい写真枠をクリックして選択します。
すべての写真枠を選択する場合は、「編集」メニューから「すべてを選択」を選択します。すべての写真枠を囲むようにドラッグしても選択できます。
手順 1 で「写真枠」を選択した場合は、位置の元になる写真枠をクリックし、「Shift」キーを押しながら整列させたい写真枠をクリックします。

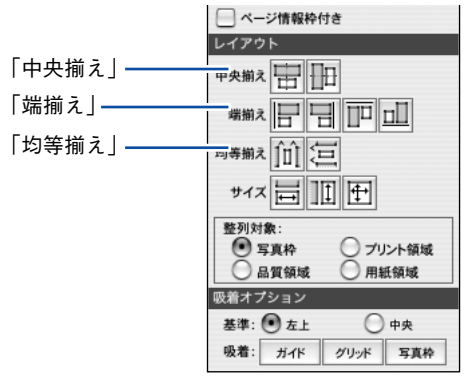


「整列対象」が「写真枠」の場合、位置の元になる写真枠をクリックする。

次に「Shift」キーを押しながら、整列させたい写真枠をクリックする。

❸「中央揃え」、「端揃え」、「均等揃え」から整列の種類に合わせてボタンをクリックします。

- 「中央揃え」
  - ：垂直方向の中央に写真枠が整列します。
  - ：水平方向の中央に写真枠が整列します。
- 「端揃え」
  - ：水平方向の左側に写真枠が整列します。
  - ：水平方向の右側に写真枠が整列します。
  - ：垂直方向の上側に写真枠が整列します。
  - ：垂直方向の下側に写真枠が整列します。
- 「均等揃え」
  - ：水平方向に等間隔で写真枠が配置されます。
  - ：垂直方向に等間隔で写真枠が配置されます。



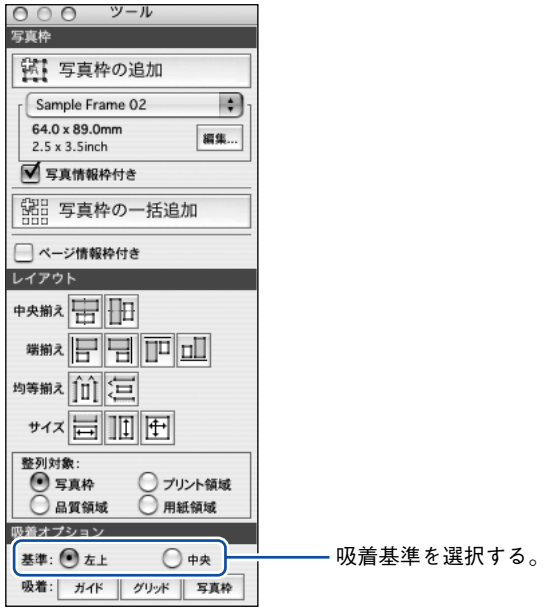
> ポイント
>
> 「レイアウト」メニューから「水平方向中央に整列」、「垂直方向中央に整列」、「水平方向左に整列」、「水平方向右に整列」、「垂直方向上に整列」、「垂直方向下に整列」、「水平方向等間隔に分布」、「垂直方向等間隔に分布」を選択しても写真枠を整列することができます。

● 吸着機能を設定する

吸着機能を使うと、写真枠が一番近いガイドやグリッド、ほかの写真枠に引き寄せられます。写真枠を移動する時に便利です。

1 「ツール」ウィンドウの「吸着オプション」にある「基準」で吸着基準を選択します。

- **「左上」**：吸着する写真枠の左上角がガイド、グリッドまたは写真枠の 1mm（または 0.1inch）以内の距離に達すると吸着します。
- **「中央」**：吸着する写真枠の中央がガイド、グリッドまたは写真枠の 1mm（または 0.1inch）以内の距離に達すると吸着します。



2 **「吸着」の「ガイド」、「グリッド」または「写真枠」を選択します。**

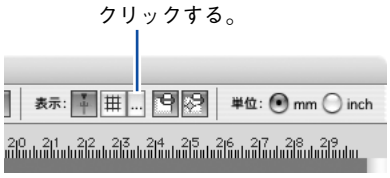
- **「ガイド」**：ガイドに写真枠が吸着します。
- **「グリッド」**：グリッドに写真枠が吸着します。
- **「写真枠」**：写真枠と写真枠が吸着します。
  吸着基準（「左上」、「中央」）の設定にかかわらず写真枠に吸着します。写真枠同士が重なることもあります。



> 「表示」メニューから「吸着」を選択して、「ガイド」、「グリッド」、「写真枠」を選択することもできます。

グリッドの間隔を設定するには

1 ツールバーの ... ボタンをクリックします。



「グリッド設定」画面が表示されます。



> 「表示」メニューの「グリッド設定」を選択しても表示されます。

2 グリッドの「横間隔」と「縦間隔」の数値を指定し、「OK」をクリックします。

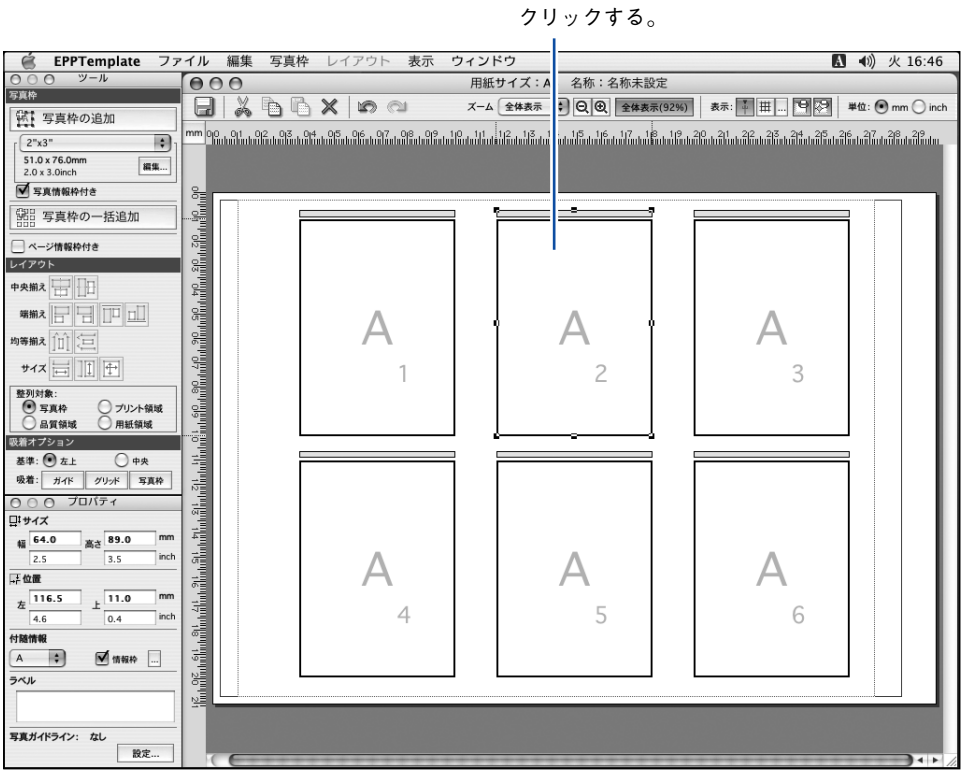


● 写真枠番号を変更する

EPPLayout で写真をテンプレートにドラッグすると、写真枠番号順に写真が割り付けられます。写真枠番号をひとつずつ変更したり、写真枠番号を 1 から順に付け直すこともできます。

写真枠番号をひとつずつ変更するには

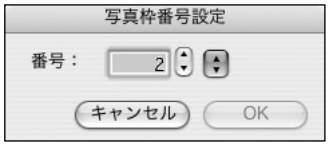
1 変更したい写真枠をクリックします。



2 「写真枠」メニューから「写真枠番号設定」を選択します。



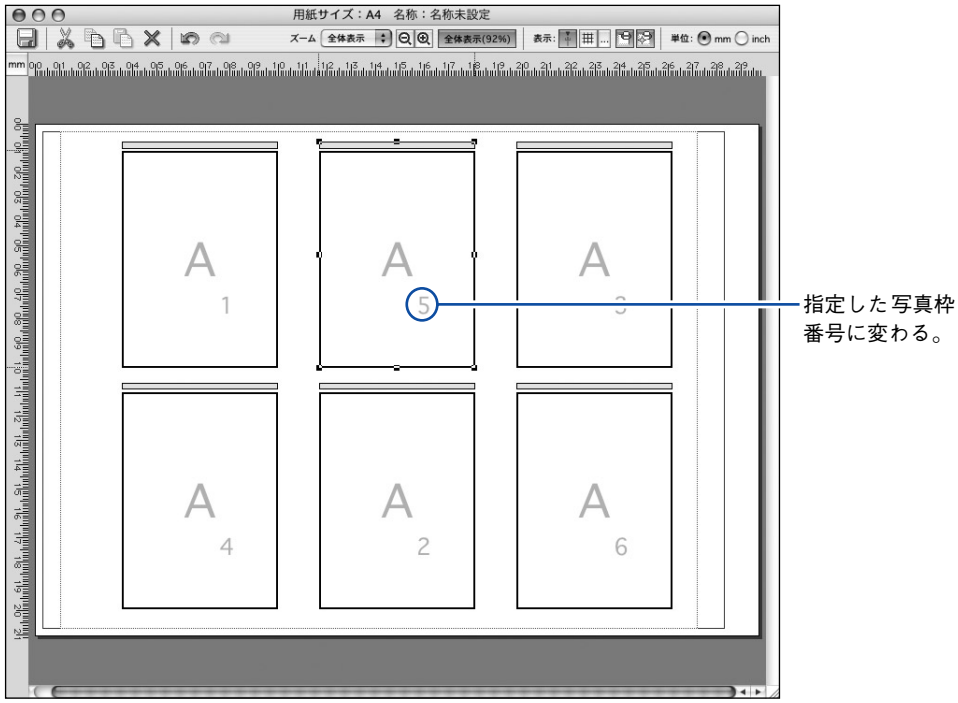
「写真枠番号設定」画面が表示されます。



❸「番号」に写真枠に付けたい番号を指定して、「OK」をクリックします。



写真枠の番号が指定した番号に変わります。



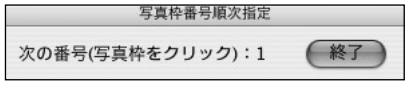
> **ポイント**
> 入力した番号が付けられていた写真枠の番号は、選択した写真枠に付けられていた番号に置き換わります。

写真枠番号を 1 から付け直すには

1 「写真枠」メニューから「写真枠番号順次指定」を選択します。

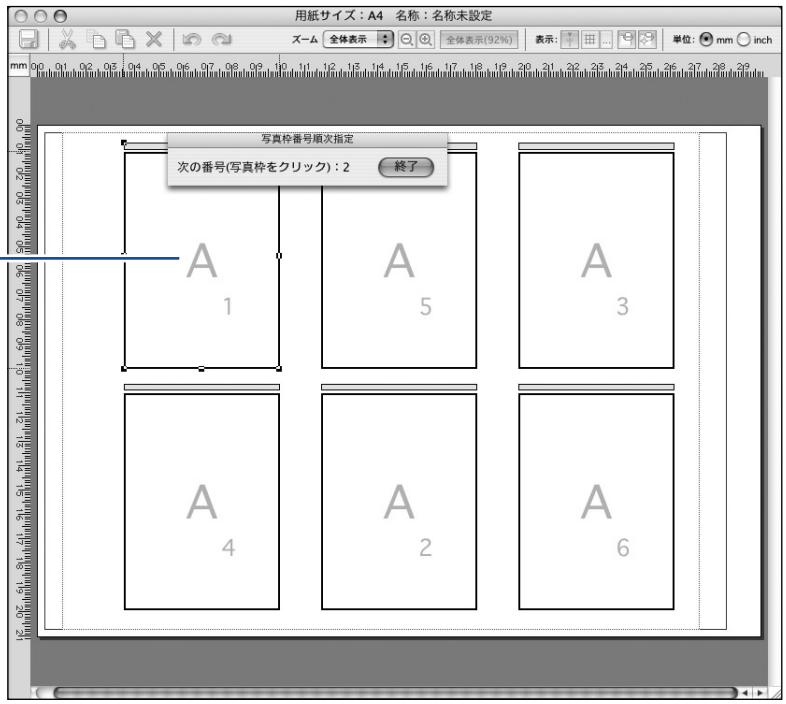


「写真枠番号順次指定」画面が表示されます。



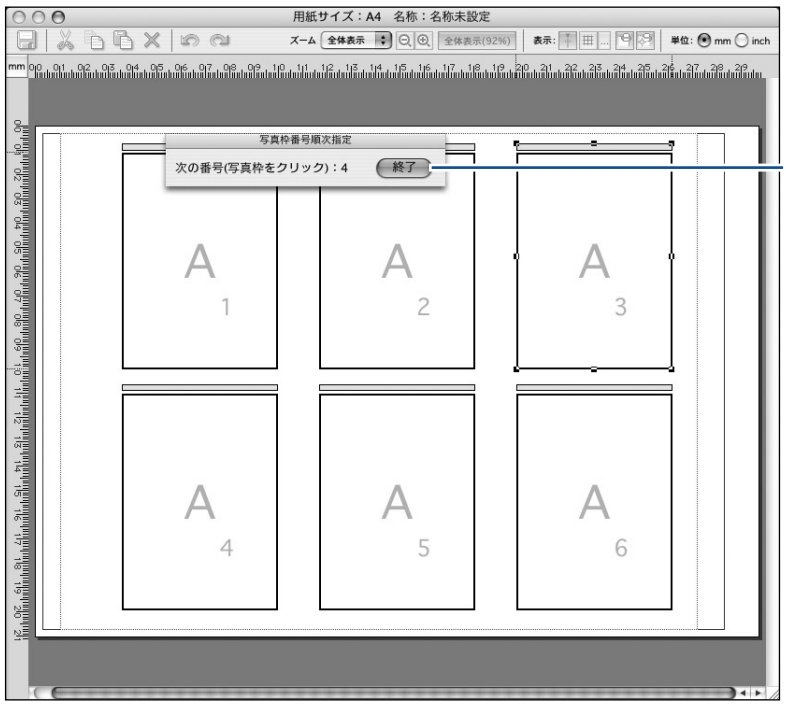
2 番号 1 を付けたい写真枠をクリックします。

クリックした写真枠に番号 1 が付けられます。



3 手順 2 と同様に番号 2, 3... と写真枠番号を付け直す写真枠を順番にクリックします。

4 変更したい写真枠番号を付け直したら、「終了」をクリックします。



「終了」をクリックする。

ポイント

表示されている写真枠のすべての写真枠番号を付け直すと、「写真枠番号順次指定」画面の表示は自動的に消えます。

● 写真枠のアルファベットを変更する

写真枠のアルファベットが同じであれば、複数の写真枠に同じ写真を配置できます。写真枠のアルファベットが異なれば、異なる写真を配置できます。テンプレート上の写真枠をすべて同じアルファベットに設定すると同一写真用のテンプレートが作成でき、異なるアルファベットに設定すると異なる写真用のテンプレートが作成できます。

写真枠のアルファベットを変更するには

❶ アルファベットを変更したい写真枠を選択します。



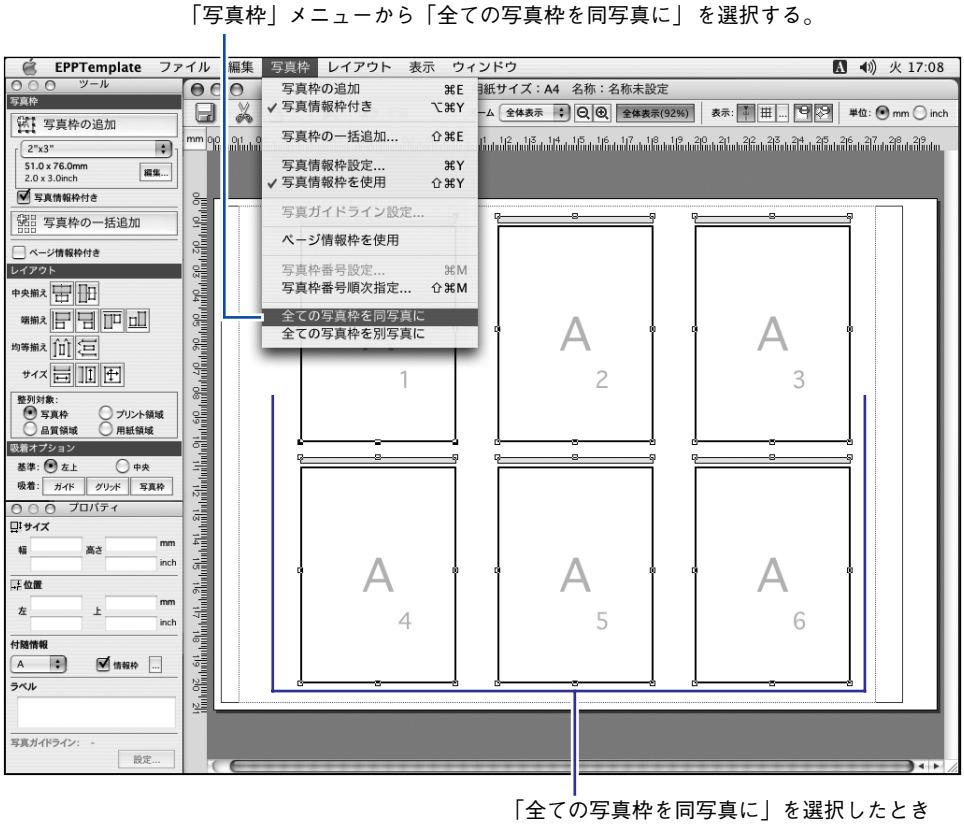
2 **「プロパティ」ウィンドウの「付随情報」プルダウンメニューからアルファベットを選択します。**

選択した写真枠のアルファベットが変更されます。



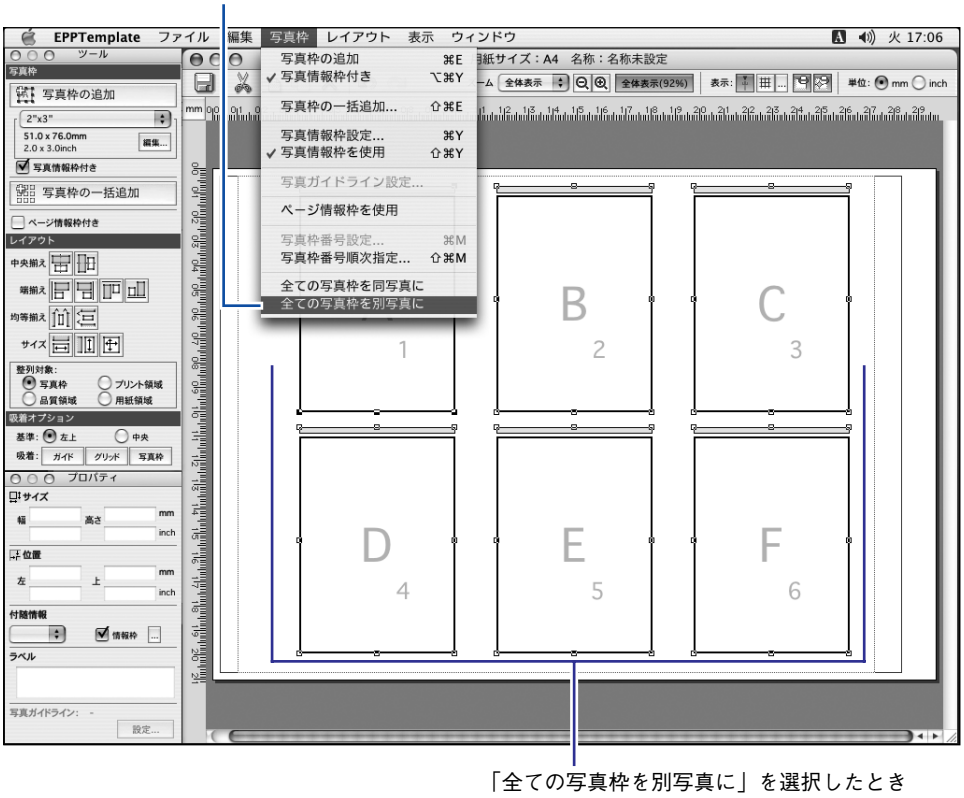
すべての写真枠を同じアルファベットに変更するには

「写真枠」メニューから「全ての写真枠を同写真に」を選択します。



すべての写真枠を異なるアルファベットに変更するには

「写真枠」メニューから「全ての写真枠を別写真に」を選択します。写真枠番号順に A からアルファベットが付きます。

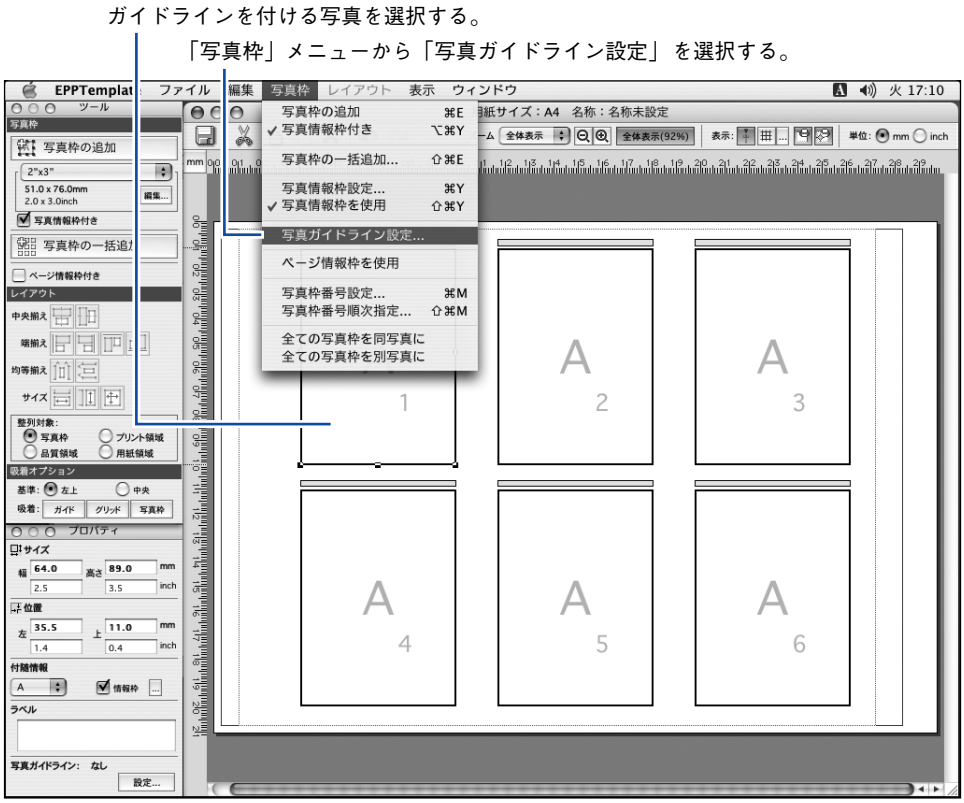


● 写真枠にガイドラインを付ける

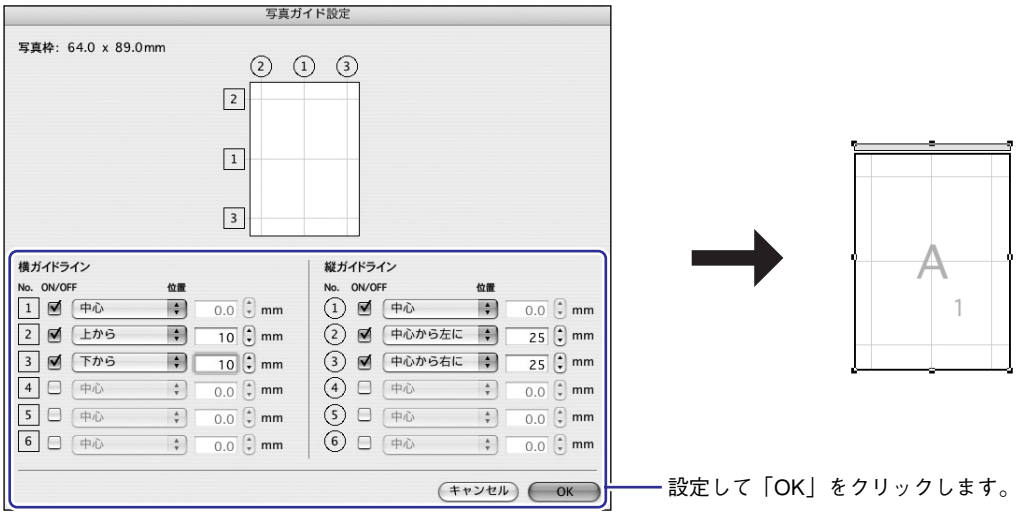
EPPLayout で写真枠内の画像位置を合わせやすいように、写真ガイドラインを EPPTemplate で付けることができます。このガイドラインは写真の位置合わせの目安として表示されるだけで、印刷されません。

写真枠にガイドラインを付けるには、以下 3 通りの方法があります。

- 写真枠をひとつずつ追加する際にガイドラインを付ける場合は、「写真枠をひとつずつ追加する」（101 ページ）をご覧いただいて「写真ガイド設定」画面を開いてください。
- 写真枠を一括して配置する際にガイドラインを付ける場合は、「写真枠を一括して配置する」（106 ページ）をご覧いただいて「写真ガイド設定」画面を開いてください。
- 既存の写真枠にガイドラインを付ける場合は、ガイドラインを付けたい写真枠を選択して「写真メニュー」から「写真ガイドライン設定」を選択します。



「写真ガイド設定」画面が開いたら、「横 / 縦ガイドライン」の「ON/OFF」チェックボックスにチェック（✓印）を入れて、「位置」メニューからガイドラインの基準位置を選択し、さらに基準位置からガイドラインまでの距離を指定します。



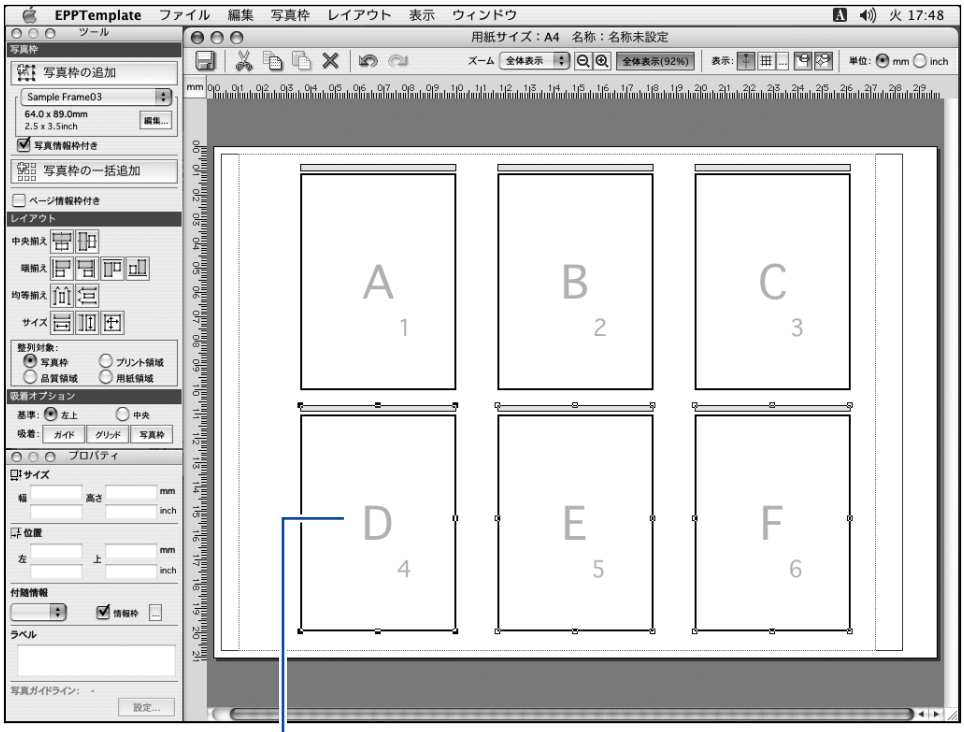
● 写真情報枠を編集する

写真情報枠の位置やサイズを変更したり、写真情報枠を削除または挿入できます。

> **注意** 写真情報枠が写真枠に付いていないと、EPPLayout で写真情報を挿入することができません。

写真情報枠の位置やサイズを変更する

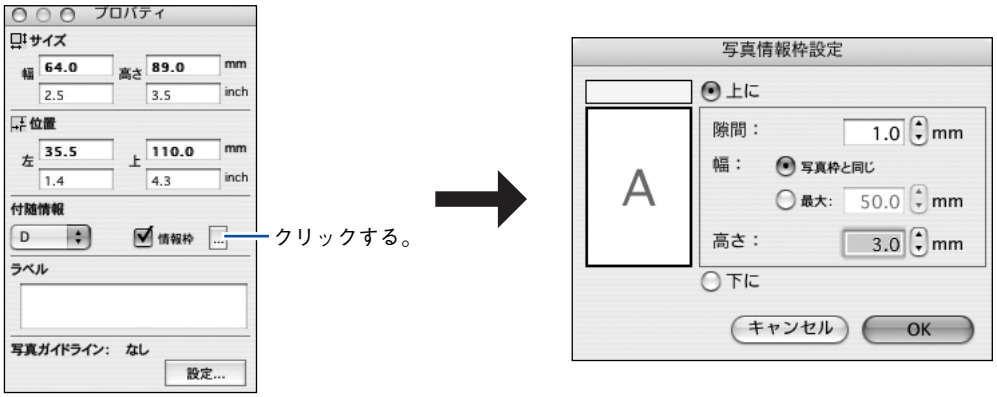
1 写真情報枠の位置やサイズを変更したい写真枠を選択します。



写真枠を選択する。

2 「プロパティ」ウィンドウの「付随情報」の「情報枠」[...] をクリックします。

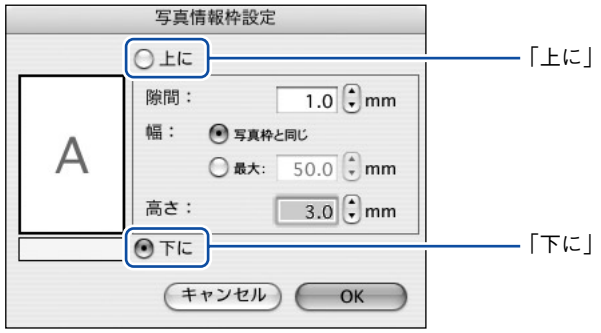
「写真情報枠設定」画面が表示されます。



クリックする。

> **ポイント** 「写真枠」メニューから「写真情報枠設定」を選択しても、「写真情報枠設定」画面が表示されます。

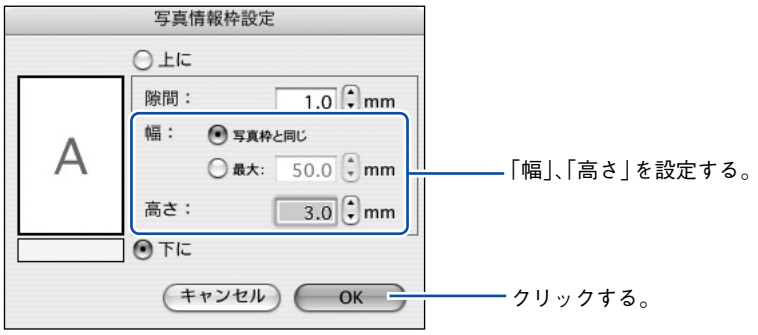
3 「上に」または「下に」をクリックして写真情報枠を付ける位置を選択します。



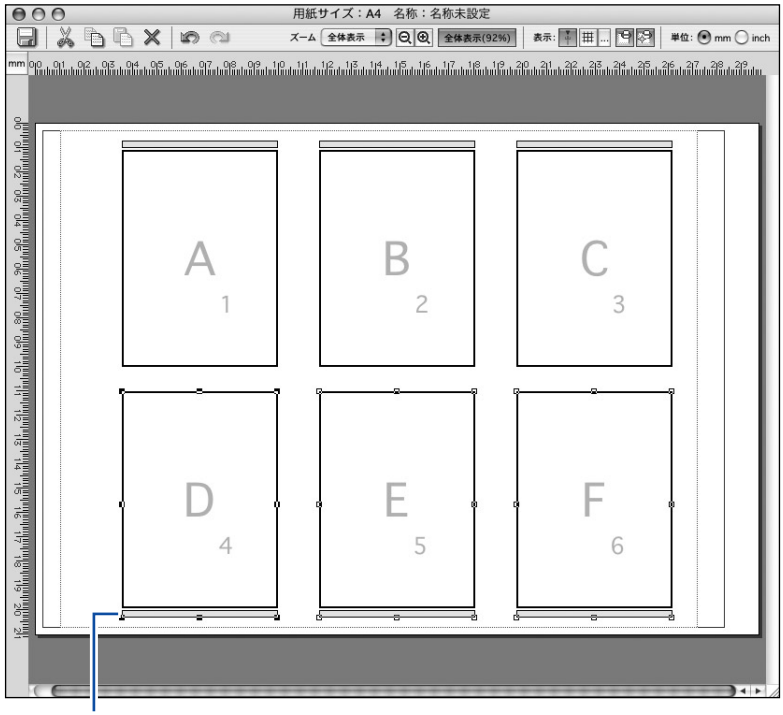
4 「隙間」で写真枠と写真情報枠間の隙間を設定します。



5 写真情報枠の「幅」と「高さ」を指定し、「OK」をクリックします。



選択した写真枠の写真情報枠が変更されます。



写真情報枠を削除するには

写真枠を選択して、「プロパティ」ウィンドウの「情報枠」チェックボックスからチェック（✓印）を外すか、「写真枠」メニューから「写真情報枠を使用」のチェック（✓印）を外します。

写真情報枠を付けるには

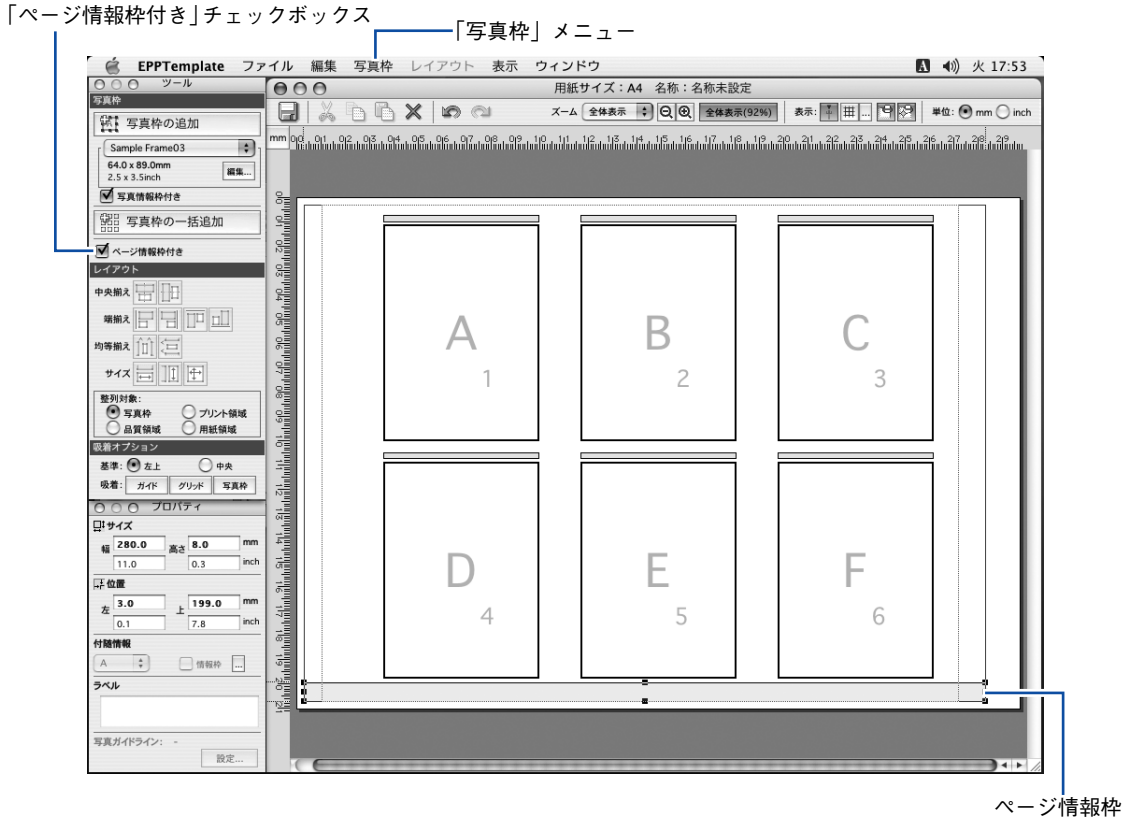
写真枠を選択して、「プロパティ」ウィンドウの「情報枠」チェックボックスにチェック（✓ 印）を入れるか、または「写真枠」メニューの「写真情報枠を使用」にチェック（✓印）を入れます。

● ページ情報枠を挿入する

ページ情報枠を写真枠に付けると、EPPLayout で写真情報を挿入できます。

1 「ツール」ウィンドウにある「写真枠」エリアの「ページ情報枠付き」チェックボックスにチェック（✓ 印）を入れます。

ページ情報枠が青で表示されます。



ポイント

「写真枠」メニューの「ページ情報枠を使用」にチェック（✓ 印）を入れても、ページ情報枠が表示されます。

ページ情報枠のサイズや位置を変更する

サイズを変更する

ページ情報枠をクリックすると、上下左右の辺と角にハンドルが表示されます。ハンドルにポインタを合わせ、ドラッグしてサイズを変更します。「プロパティ」ウィンドウの「サイズ」の「幅」と「高さ」に数値を入力してもサイズを変更できます。

位置を変更する

ポインタをページ情報枠内に合わせ、ドラッグします。「プロパティ」ウィンドウの「位置」の「左」と「上」に数値を入力しても位置を変更できます。「左」には用紙の左端からの距離を、「上」には用紙の上からの距離を入力します。

ページ情報枠を削除するには

「プロパティ」ウィンドウの「情報枠」チェックボックスからチェック（✓ 印）を外すか、「写真枠」メニューから「ページ情報枠を使用」のチェック（✓ 印）を外します。

■ テンプレートの新規作成または編集が終了したら

テンプレートファイルをサーバへアップロードする前に、テンプレートの名称を設定します。次に、テンプレートのファイル名を設定してローカルフォルダに保存します。

■ テンプレートの名称を設定する

テンプレートをサーバにアップロードするには、テンプレートの名称が必要です。

❶「ファイル」メニューから「テンプレート情報」を選択します。



「テンプレート情報」画面が表示されます。



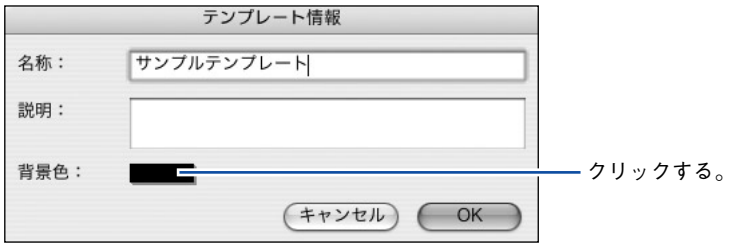
❷「名称」にテンプレートの名称を入力し、必要に応じて「説明」にメモを入力します。

「説明」には半角で 250 文字、全角で 125 文字まで入力できます。

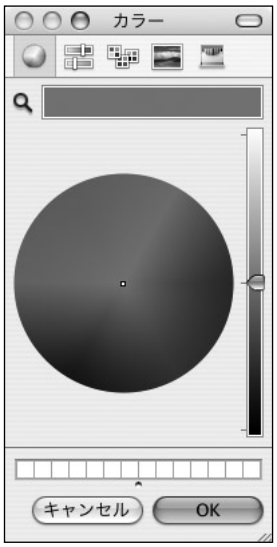


> **注意** テンプレートの名称には、ASCII8 ビットコード表の 80 ～ FF の間の文字は使用できません。（全角文字には制限はありません。）

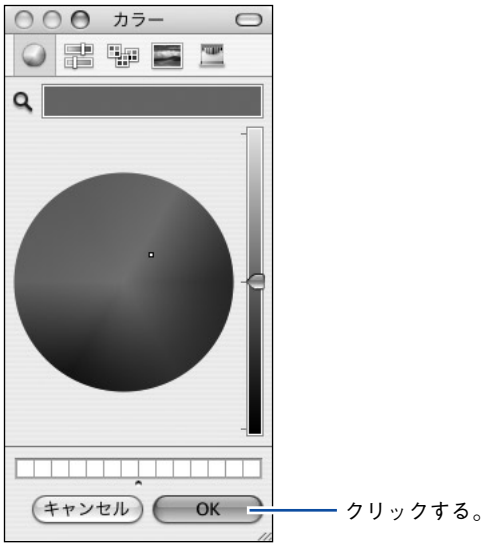
3 「ブラウズ時のバック色」をクリックします。



カラーピッカーを使用して、EPPLayout でテンプレートを一覧表示したときの背景色を設定します。どのテンプレートを編集したかを簡単に確認できます。
色のモードを「カラーホイール」、「カラーつまみ」、「カラーパレット」、「イメージパレット」、「クレヨン」の 5 種類から選択することができます。
クレヨンには基本的な色が用意されています。「クレヨン」でお好みに近い色を選択し、用途に応じてほかのモードを選択してから色を微調整する方法もあります。



4 「OK」をクリックします。



「ブラウズ時のバック色」に選択した色が表示されます。



■ テンプレートをローカルフォルダに保存する

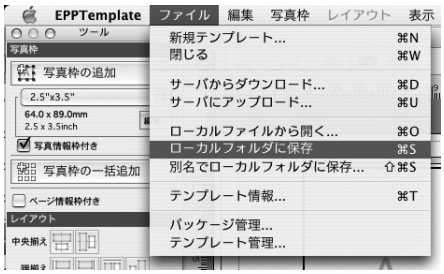
テンプレートの名称を設定したら、以下の手順でテンプレートをローカルフォルダに保存します。ローカルフォルダにテンプレートを保存せずに、サーバにアップロードすることもできますが、テンプレートの破損や消失に備えてローカルフォルダにも保存しておくことをお勧めします。

● 新規作成したテンプレートをローカルフォルダに保存する

テンプレートを新規に作成した場合は、次の手順で保存します。

1 「ファイル」メニューから「ローカルフォルダに保存」を選択します。

「ローカルフォルダに保存」画面が表示されます。

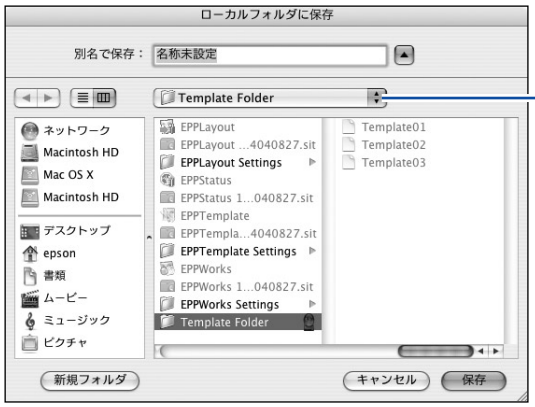




> **ポイント** ツールバーの「ローカルフォルダに保存」ボタンをクリックしても、「ローカルフォルダに保存」画面が表示されます。

2 保存するフォルダを選択します。

「Template Folder」が表示されます。ほかのフォルダに保存したい場合は、プルダウンメニューからフォルダを選択します。新規フォルダを作成して保存するには、「新規フォルダ」をクリックします。



ほかのフォルダに保存したい場合は、プルダウンメニューから選択する。

3 「名前」にテンプレートのファイル名を入力します。



4 「保存」をクリックします。
テンプレートファイルが新規保存されます。

● 編集したテンプレートをローカルフォルダに保存する

編集したテンプレートを上書き保存または新規保存できます。

編集したテンプレートを上書き保存する場合

「ファイル」メニューから「ローカルフォルダに保存」を選択し、「保存」をクリックします。
新しいファイルが上書き保存されます。

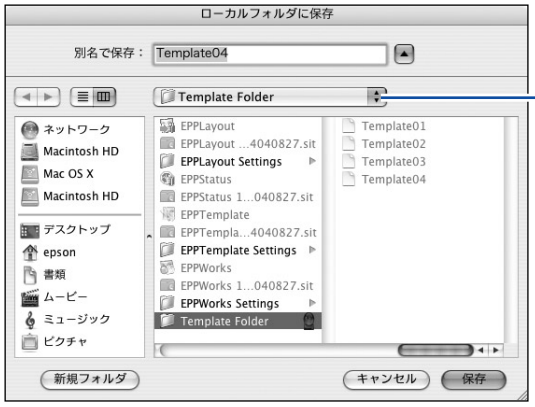
編集したテンプレートを別名で保存する場合

1 「ファイル」メニューから「別名でローカルフォルダに保存」を選択します。
「ローカルフォルダに保存」画面が表示されます。



❷ 保存するフォルダを選択します。

「Template Folder」が表示されます。ほかのフォルダに保存したい場合は、プルダウンメニューからフォルダを選択します。新規フォルダを作成して保存するには、「新規フォルダ」をクリックします。



ほかのフォルダに保存したい場合は、プルダウンメニューから選択する。

❸ ファイル名を入力します。



❹「保存」をクリックします。

テンプレートファイルが別名で保存されます。

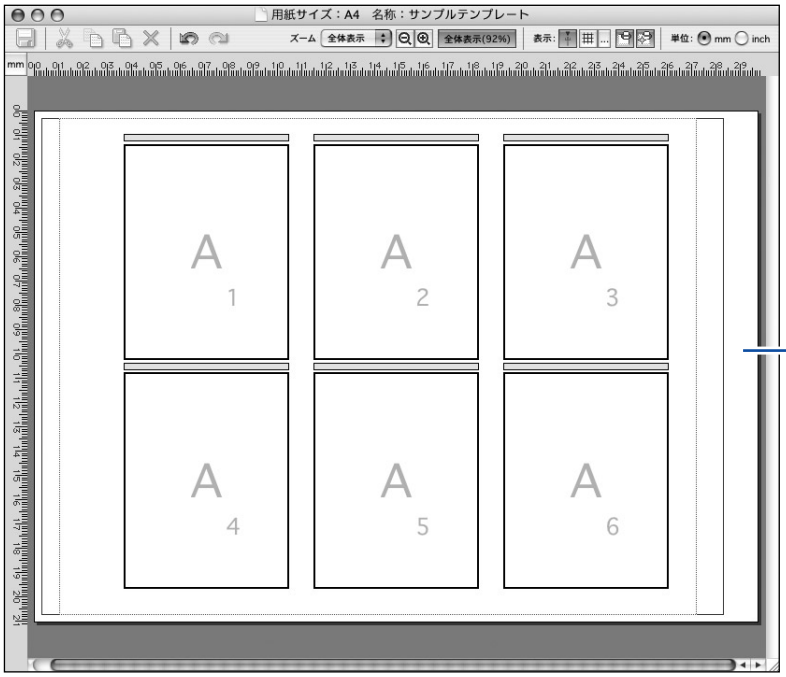
> **ポイント**
>
> ファイル名を別名に変更しないで「保存」をクリックすると、すでに保存されている同じ名前のテンプレートファイルと置き換えてもよいかというメッセージ画面が表示されます。置き換える場合は、「置き換え」をクリックします。キャンセルする場合は、「キャンセル」をクリックします。

■ テンプレートをアップロードする

新規作成したテンプレートや編集したテンプレートをサーバにアップロードできます。テンプレートがアップロードされると、サーバによって各クライアントコンピュータのテンプレートが更新され、複数のユーザーで新しいテンプレートを使うことができます。

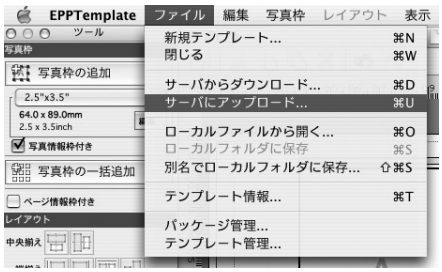
> **ポイント**
> テンプレートファイルをサーバへアップロードする前に、テンプレートの名称とファイル名を設定し、ローカルフォルダに保存してください。詳しくは、「テンプレートの名称を設定する」(139 ページ)、「テンプレートをローカルフォルダに保存する」(142 ページ) をご覧ください。

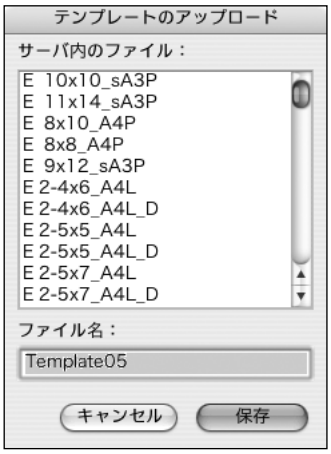
❶ テンプレート編集画面にアップロードするテンプレートが表示されていることを確認します。



❷「ファイル」メニューから「サーバにアップロード」を選択します。

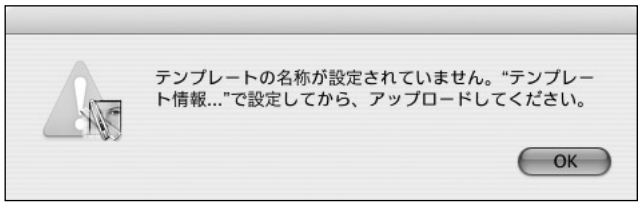
「テンプレートのアップロード」画面が表示され、「サーバ内のファイル」のリストとアップロードするテンプレートのファイル名が表示されます。





注意

- テンプレートに名称が設定されていないと、次のメッセージ画面が表示されます。「OK」をクリックし、「テンプレートの名称を設定する」（139 ページ）の操作を行って名称を設定してください。



- テンプレートをローカルフォルダに保存してない場合は、「テンプレートのアップロード」画面の「ファイル名」が「名称未設定」と表示されます。ファイル名を入力するか、「キャンセル」をクリックして画面を閉じ、「テンプレートをローカルフォルダに保存する」（142 ページ）の操作を行ってローカルフォルダに保存します。ローカルフォルダに保存した場合は、この手順から操作をやり直してください。

3 「保存」をクリックします。

ローカルフォルダに保存されているファイルをアップロードした場合は、次のようなメッセージ画面が表示されます。
アップロードしたファイルをローカルフォルダにも保存する場合は「いいえ」を、削除する場合は「はい」をクリックします。



ローカルフォルダに保存していないファイルをアップロードした場合は、次のようなメッセージ画面が表示されます。



ファイルを閉じる場合は「はい」をクリックします。ファイルをローカルフォルダに保存したい場合は「いいえ」をクリックして、「テンプレートをローカルフォルダに保存する」（142 ページ）の操作を行って、ローカルフォルダに保存してください。

ポイント

- 編集する前に、テンプレートファイルにロックをかけていた場合は、サーバにアップロードすると自動的にロックが解除されます。
- サーバ内に同じ名前のファイルがある場合、「保存」をクリックすると上書きしてもよいかというメッセージ画面が表示されます。上書きするときは「はい」を、上書きしないときは「いいえ」をクリックします。
- EPPLayoutをすでに起動させている場合、テンプレートファイルがサーバにアップロードされると、EPPLayout 画面にテンプレートファイルを更新するか確認のメッセージ画面が表示されます。
  「はい」をクリックすると更新されますが、作業中のレイアウトは破棄されます。
  「いいえ」をクリックすると更新されず、引き続きレイアウト作業が行えます。この場合は、次回、テンプレートファイルがアップロードされたときに更新することができます。また、レイアウト作業中に更新したくない場合は、EPPLayout を再起動させると自動的に更新されます。

注意

- アップデートしようとしているファイルをほかのユーザーが開いているまたはほかのユーザーがロックをかけている場合は、エラーメッセージが表示されます。「OK」をクリックして、ファイルを閉じてから、またはロックが解除されてから保存します。詳しくは、「「使用中テンプレート」のファイルのロックを解除する」（171 ページ）をご覧ください。
- サーバに接続できない場合は、「サーバ接続設定」画面が表示されます。「プリントサーバ」をリストから選択して、「OK」をクリックします。複数のサーバを使用している場合は、アップロード先のサーバを間違えないようにしてください。「キャンセル」をクリックすると EPPTemplate が終了します。

■ パッケージを作成し、管理する

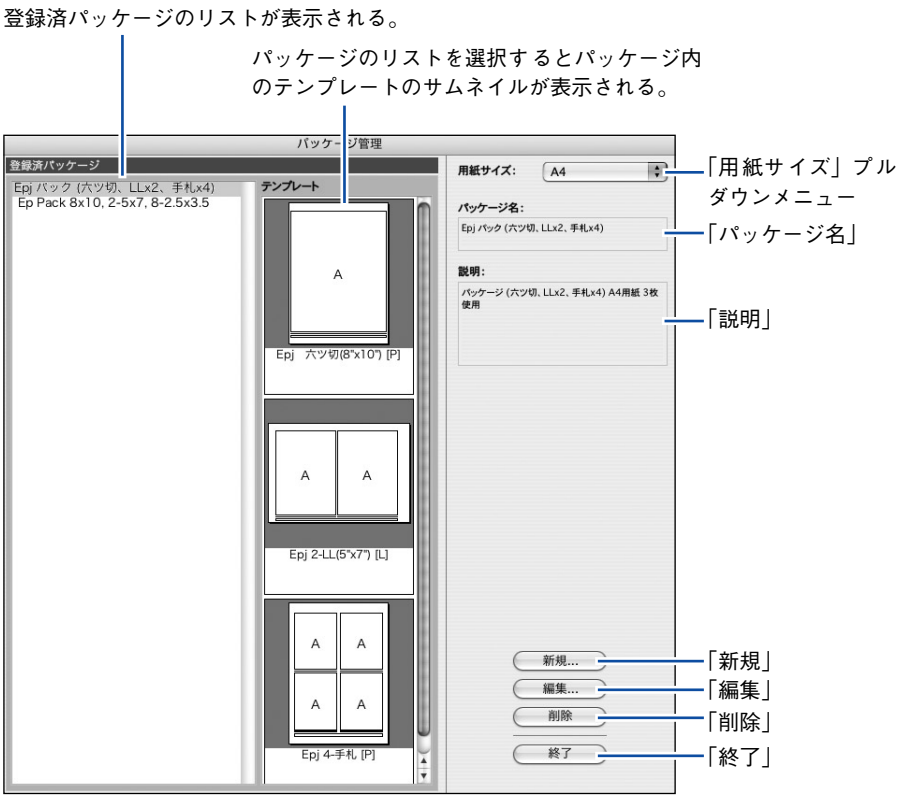
用紙サイズ別にパッケージを作成し、その中にさまざまな種類のテンプレートを入れることができます。パッケージを使うと、いろいろなサイズの写真をすばやくレイアウトできて便利です。パッケージは、パッケージファイルとしてサーバにアップロードできます。

「パッケージ管理」画面でパッケージの作成や編集、アップロードしたパッケージの削除ができます。

「ファイル」メニューから「パッケージ管理」を選択します。



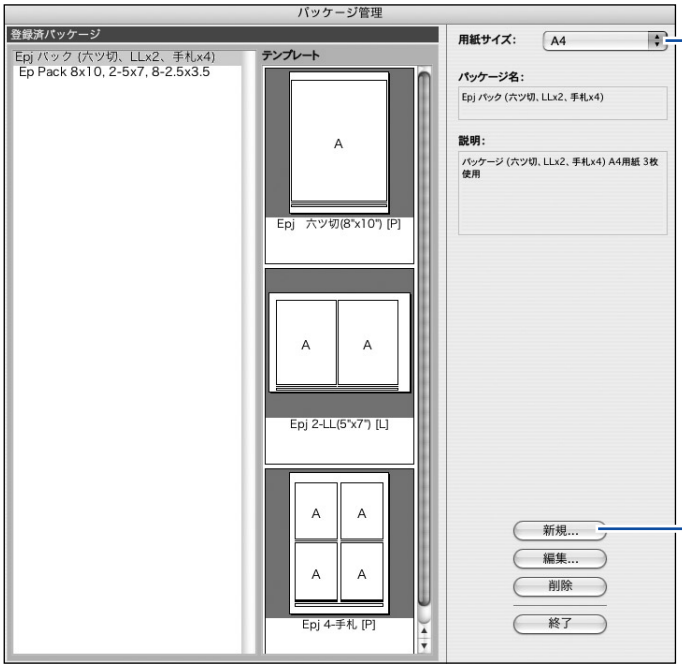
「パッケージ管理」画面が表示されます。



● パッケージを新規作成する

パッケージは EPPTemplate が接続しているサーバに保存されます。

1 「用紙サイズ」プルダウンメニューでテンプレートの用紙サイズを選択し、「新規」をクリックします。

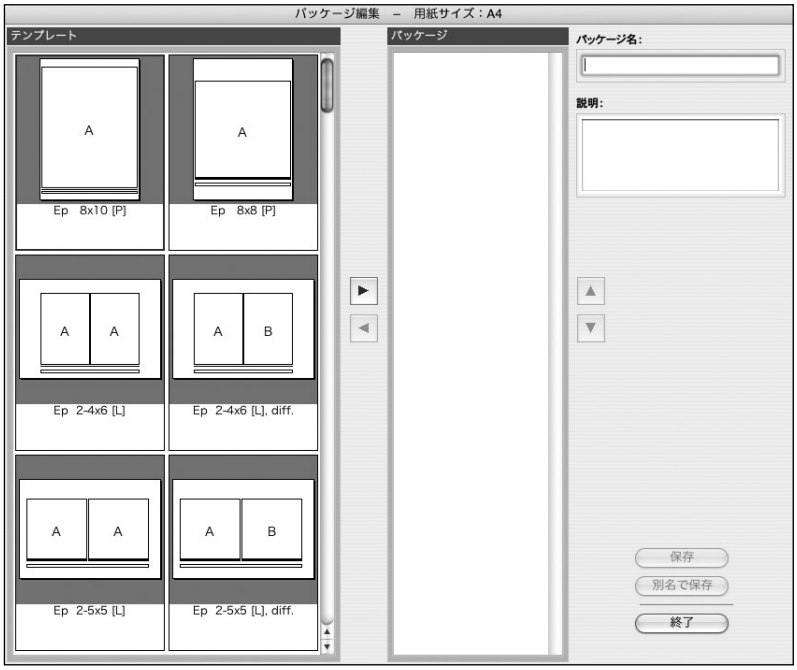


テンプレートの用紙サイズを選択する。

クリックする。

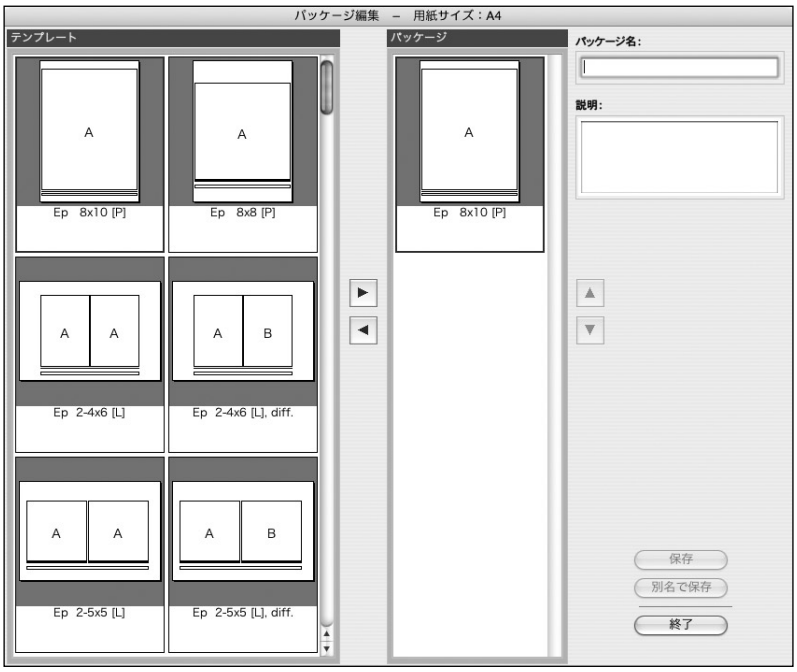
> ポイント
> ひとつのパッケージの中に、異なる用紙サイズのテンプレートを入れることはできません。

「パッケージ編集」画面が表示されます。



2 **「テンプレート」エリアのテンプレートのサムネイルを選択し ▶ をクリックするか、サムネイルをダブルクリックします。**

「パッケージ」エリアに選択したテンプレートのサムネイルが表示されます。

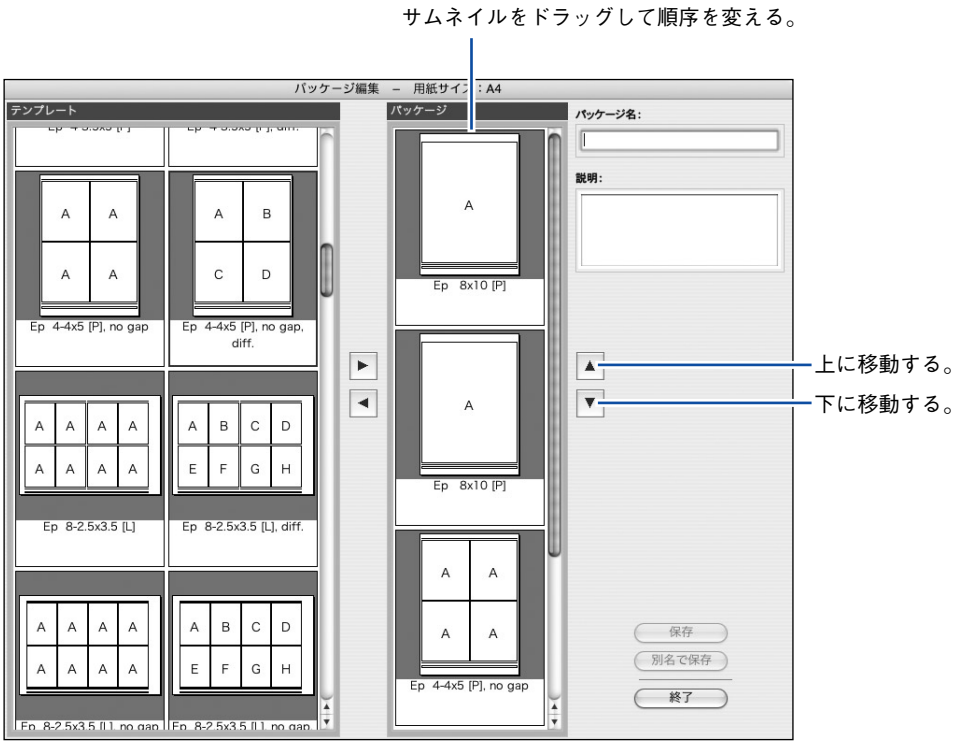


パッケージからテンプレートを削除するには

「パッケージ」エリアのサムネイルを選択し、◀ をクリックするか、サムネイルをダブルクリックします。

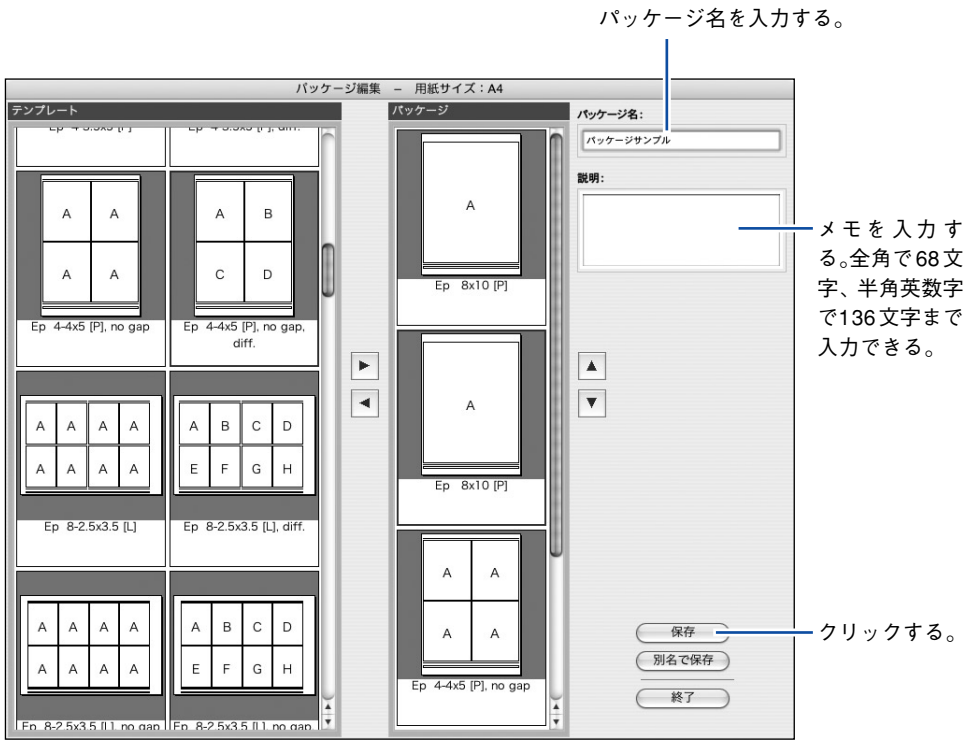
パッケージのテンプレートを並びかえるには

サムネイルをドラッグして並びかえます。または、サムネイルを選択し ▲ をクリックして上に移動したり、▼ をクリックして下に移動します。



3 「パッケージ名」にパッケージの名称を入力し、必要であれば「説明」にメモを入力して「保存」をクリックします。

パッケージの名称は、EPPLayout でのパッケージ名としても表示されます。



> ポイント 「パッケージ名」を入力しないと「保存」をクリックできません。

「パッケージのアップロード」画面が表示されます。



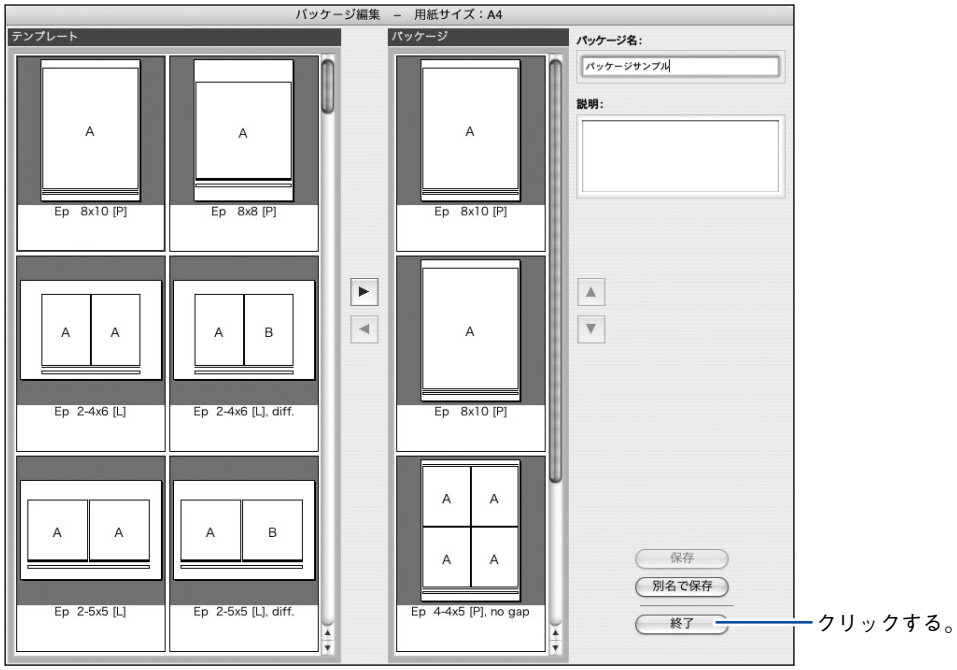
4 パッケージのファイル名を入力して、「保存」をクリックします。



サーバに新しいパッケージが追加されます。

> **ポイント**
> サーバ内に同じファイル名がある場合は、上書きしてもよいかというメッセージが表示されます。上書きする場合は「はい」を、上書きしない場合は「いいえ」をクリックします。

5 「終了」をクリックして「パッケージ編集」画面を閉じます。

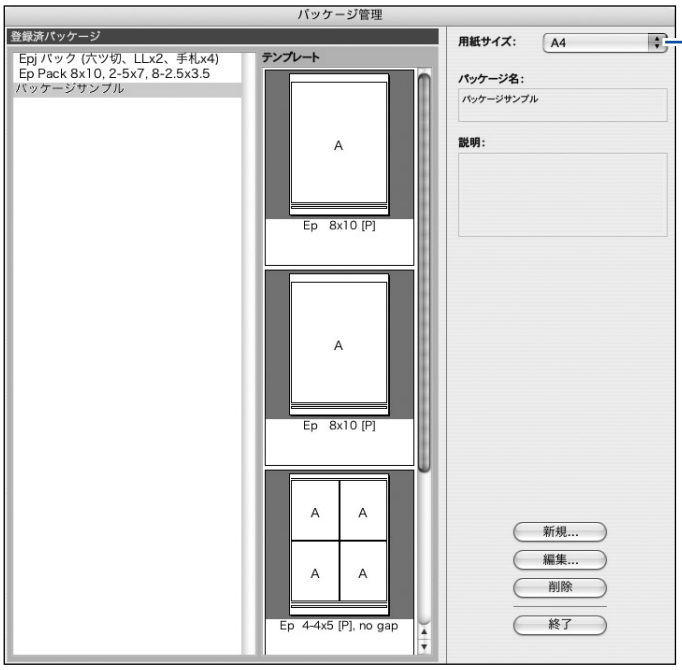


「パッケージ管理」画面に戻ります。

● パッケージを編集する

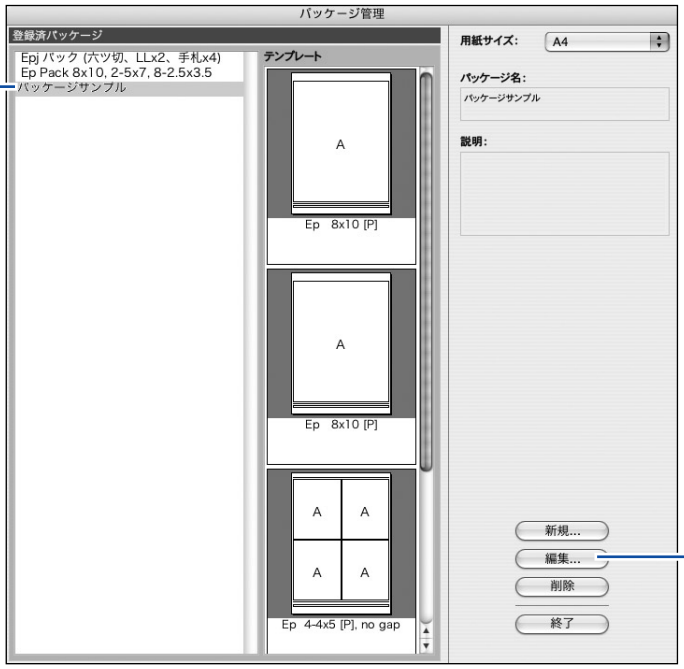
登録されているパッケージを編集できます。

1 「用紙サイズ」プルダウンメニューでテンプレートの用紙サイズを選択します。



テンプレートの用紙サイズを選択する。

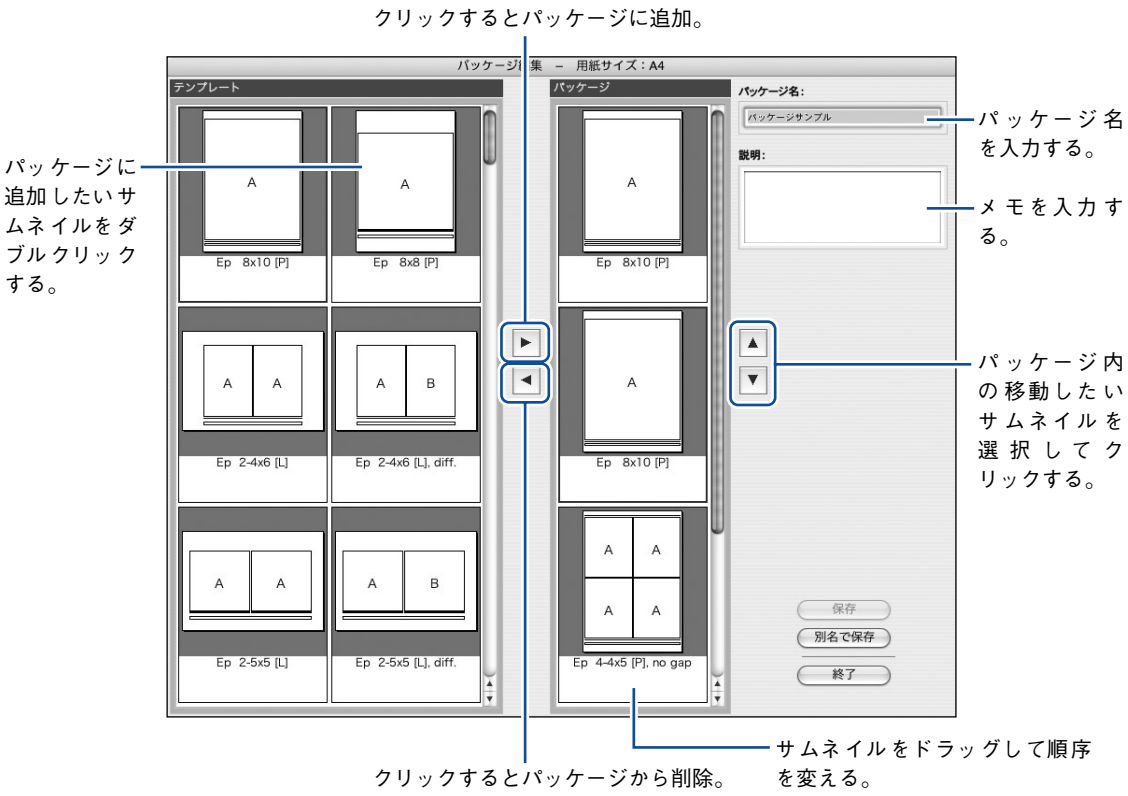
2 「登録済パッケージ」リストから編集したいパッケージを選択し、「編集」をクリックするか、「登録済パッケージ」リストの編集したいパッケージをダブルクリックします。



パッケージを選択する。

クリックする。

「パッケージ編集」画面が表示されます。テンプレートの追加、削除、順序の変更、パッケージ名やメモの変更ができます。



パッケージにテンプレートを追加するには

「テンプレート」エリアのテンプレートのサムネイルを選択し ▶ をクリックするか、サムネイルをダブルクリックします。

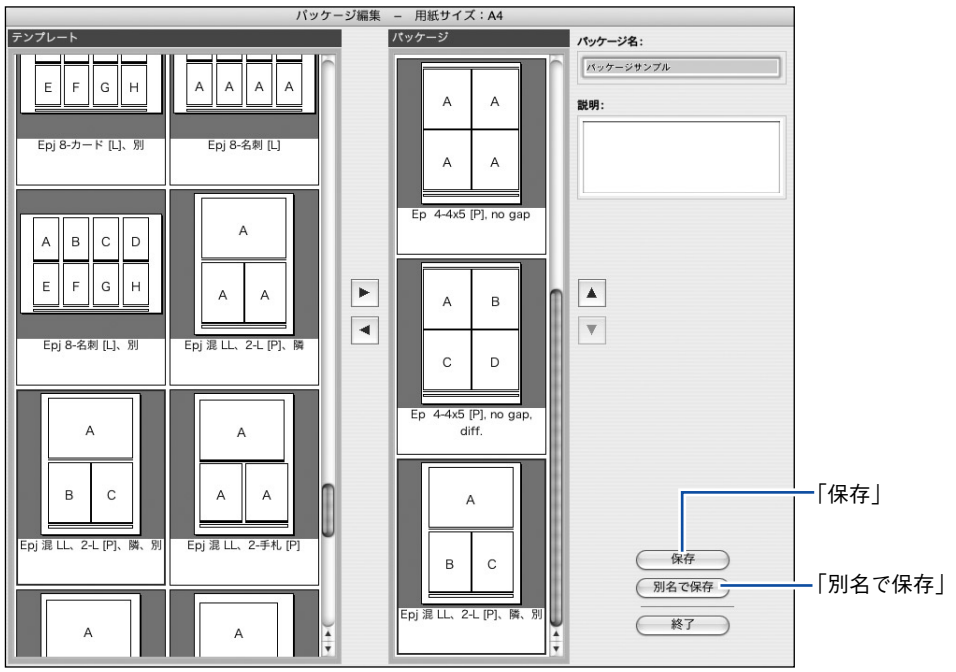
パッケージからテンプレートを削除するには

「パッケージ」エリアのサムネイルを選択し ◀ をクリックするか、サムネイルをダブルクリックします。

パッケージのテンプレートを並びかえるには

順序を変えたいサムネイルをドラッグして並び変えます。または、サムネイルを選択し、▲ をクリックして上に移動したり、▼ をクリックして下に移動します。

3「保存」または「別名で保存」をクリックします。



「保存」をクリックした場合

サーバ内のファイルが上書きされます。
「終了」をクリックして「パッケージ編集」画面を閉じます。

「別名で保存」をクリックした場合

1「パッケージのアップロード」画面に別名で保存するパッケージのファイル名を入力し、「保存」をクリックします。
サーバ内に別名で保存されます。



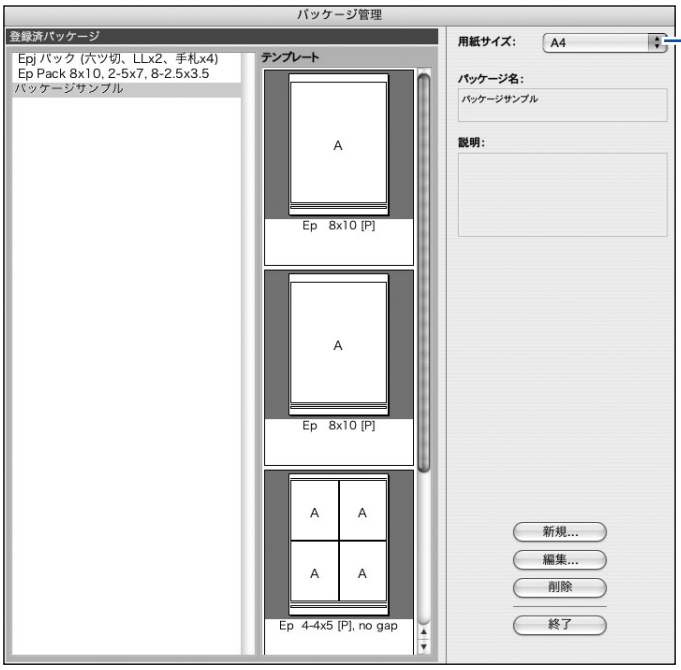
2「パッケージ編集」画面の「終了」をクリックして「パッケージ編集」画面を閉じます。

> 注意　パッケージはローカルフォルダに保存できません。テンプレートだけを保存できます。

● アップロードしたパッケージを削除する

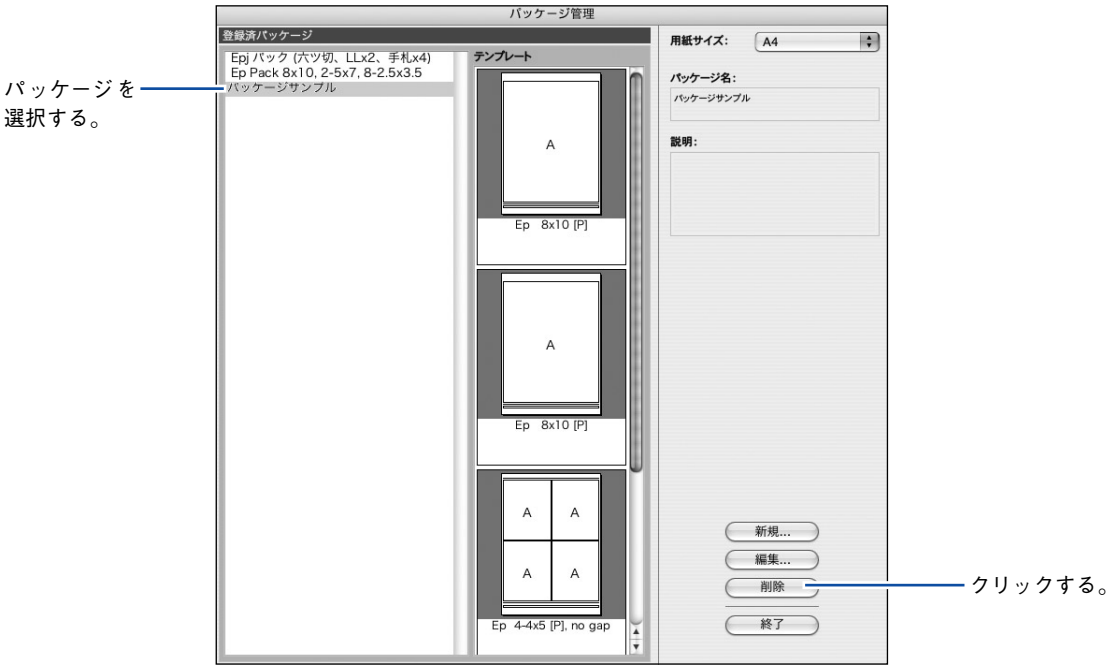
パッケージは接続しているサーバから削除されます。

1 「用紙サイズ」プルダウンメニューでテンプレートの用紙サイズを選択します。

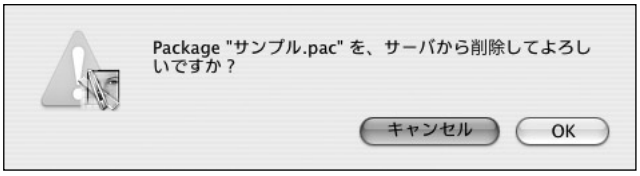


テンプレートの用紙サイズを選択する。

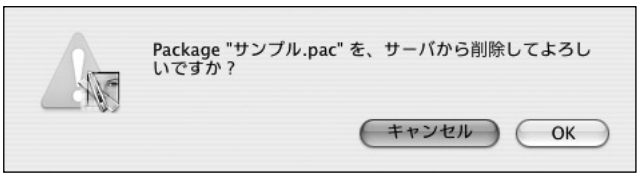
2 「登録済パッケージ」リストから削除したいパッケージを選択し、「削除」をクリックします。



次のようなメッセージ画面が表示されます。



3 削除する場合は「OK」、キャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。



「OK」をクリックした場合は、選択されたパッケージが削除されます。「終了」をクリックして「パッケージ管理」画面を閉じます。

■ テンプレートを管理する

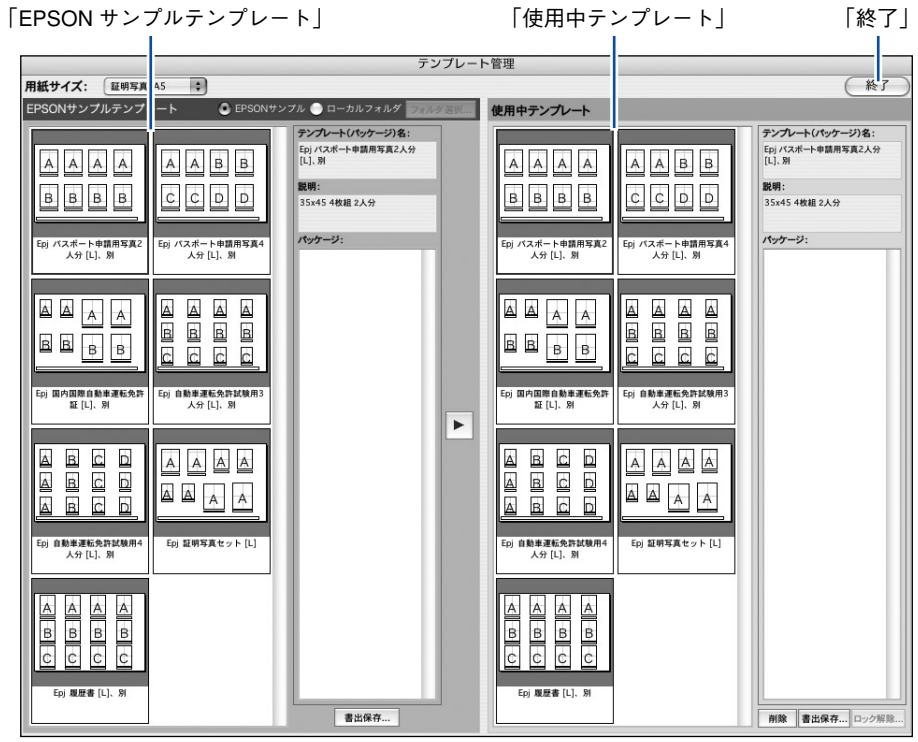
「テンプレート管理」画面は「EPSON サンプルテンプレート」エリアと「使用中テンプレート」エリアに分かれています。

- 「EPSON サンプルテンプレート」エリアには、予め用意されていたり、弊社のセンターサーバからダウンロードしたサンプルデータシートやパッケージファイルがサムネイルに表示されます。またこれらのサンプルデータシートやパッケージファイルはセンターサーバに随時更新されます。
- 「使用中テンプレート」エリアには、ユーザーがサーバにアップロードしたテンプレートやパッケージファイルがサムネイル表示されます。これらのテンプレートやパッケージファイルはEPPLayoutでテンプレートを選択するときに表示されます。

「テンプレート管理」画面では「EPSON サンプルテンプレート」や「ローカルフォルダ」のファイルを「使用中テンプレート」にコピーしたり、「使用中テンプレート」のファイルを削除することができます。また、「EPSON サンプルテンプレート」、「ローカルフォルダ」、「使用中テンプレート」のファイルをクライアントコンピュータのフォルダに保存することができます。さらに、「使用中テンプレート」のファイルのロックを解除できます。

「テンプレート管理」画面を表示するには、「ファイル」メニューから「テンプレート管理」を選択します。





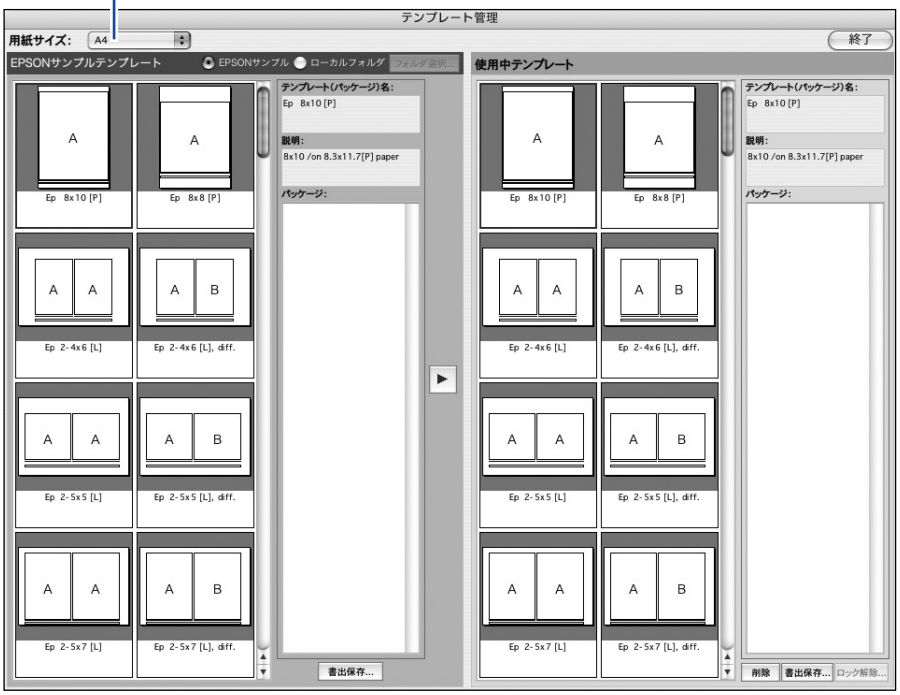
「テンプレート管理」画面を終了するには

テンプレートやパッケージのコピーや削除などの操作が終わったら、「終了」をクリックして「テンプレート管理」画面を閉じます。

●「EPSON サンプルテンプレート」や「ローカルフォルダ」のファイルを「使用中テンプレート」にコピーする

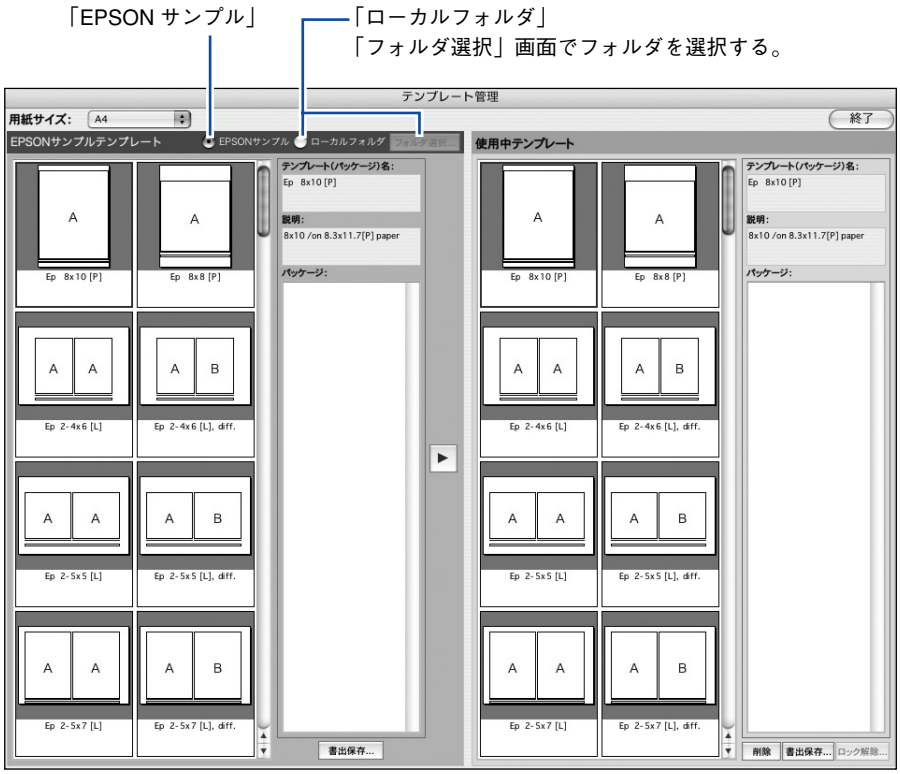
1 「用紙サイズ」プルダウンメニューでテンプレートの用紙サイズを選択します。

テンプレートの用紙サイズを選択する。



2 「EPSON サンプル」または「ローカルフォルダ」を選択します。

「EPSON サンプル」を選択すると「EPSON サンプルテンプレート」のテンプレートやパッケージのサムネイルが表示されます。
「ローカルフォルダ」を選択すると「フォルダ選択」画面が表示されます。テンプレートやパッケージが保存されているフォルダを選択すると、サムネイルが表示されます。「フォルダ選択」をクリックしてほかのフォルダを選択することもできます。



注意

「フォルダ選択」画面でテンプレートファイルの入っていないフォルダを選択すると下のようなメッセージが表示されます。テンプレートファイルの入っているフォルダを選択し直してください。



3 「EPSON サンプルテンプレート」や「ローカルフォルダ」からコピーしたいテンプレートやパッケージのサムネイルを選択します。

「テンプレート（パッケージ）名」には選択したテンプレートやパッケージ名が表示されます。「説明」にはテンプレートのサイズやパッケージの内容などが表示されます。「パッケージ」には、パッケージに入っているテンプレートが表示されます。

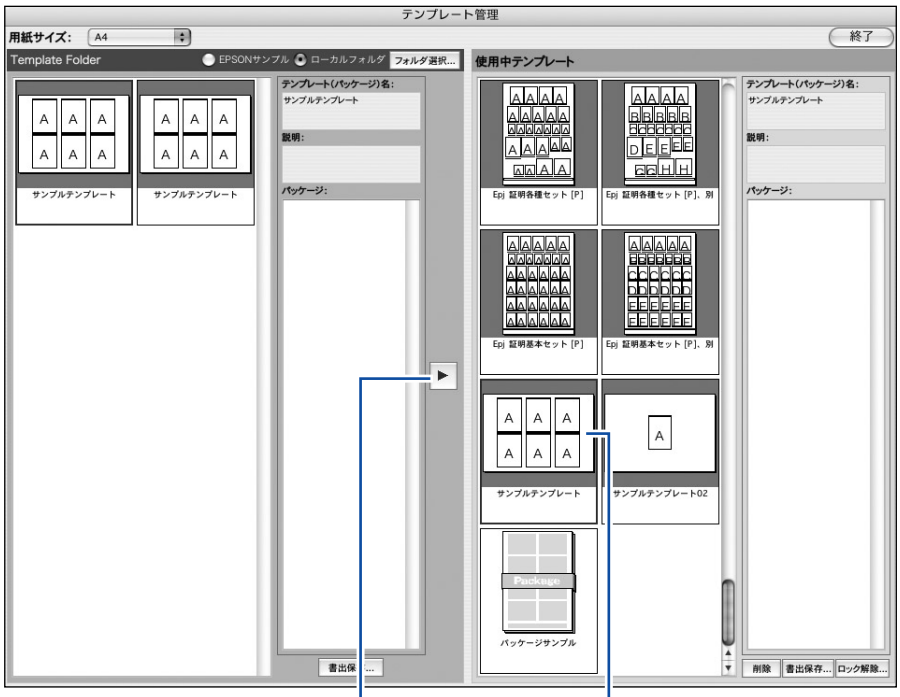


ポイント

パッケージファイルをコピーすると、パッケージに入っているテンプレートファイルも一緒にコピーされます。

4 ▶ボタンをクリックします。

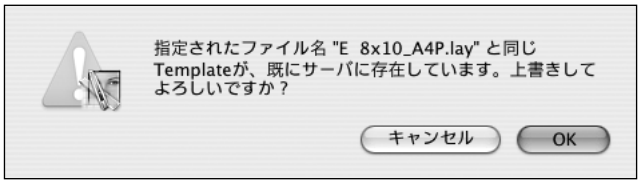
選択したテンプレートやパッケージファイルが、「使用中テンプレート」にコピーされます。コピーされたサムネイルは青い枠で囲まれます。



クリックする。　　コピーされたファイルが青い枠で表示される。

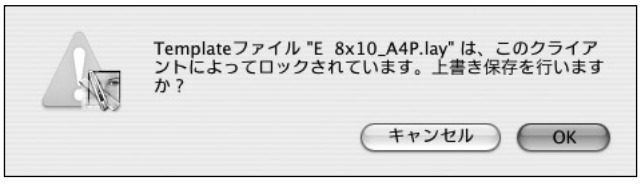
テンプレートファイルを上書きするときに表示されるメッセージ画面について

- 「使用中テンプレート」に同じファイル名のテンプレートファイルがあると、次のメッセージ画面が表示されます。



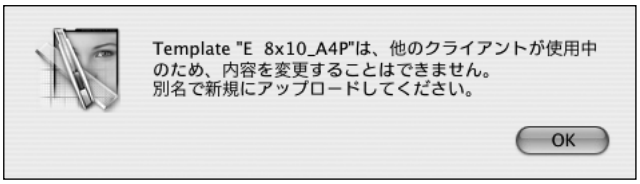
上書きする場合は「OK」、上書きしない場合は「キャンセル」をクリックします。

- ユーザー自身がロックしたテンプレートファイルを上書きしようとすると、次のメッセージ画面が表示されます。

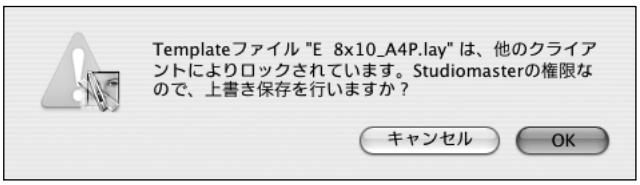


上書きする場合は「OK」、上書きしない場合は「キャンセル」をクリックします。

- ほかのユーザーによってロックされているテンプレートファイルを上書きしようとすると、次のメッセージ画面が表示されます。ロックが解除されるまで上書きするのを待つか、別のファイル名でアップロードしてください。



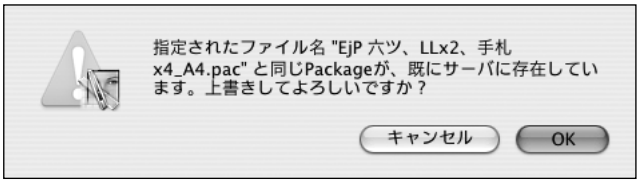
- ユーザーが Studiomaster である場合には、ほかのユーザーによってロックされているテンプレートファイルを上書きしようとすると、次のメッセージ画面が表示されます。



上書きする場合は「OK」、上書きしない場合は「キャンセル」をクリックします。

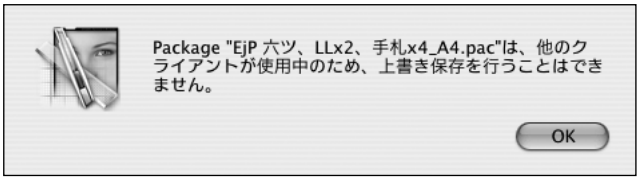
パッケージファイルを上書きするときのメッセージについて

- 「使用中テンプレート」に同じファイル名のパッケージファイルがあると、次のメッセージ画面が表示されます。



上書きする場合は「OK」、上書きしない場合は「キャンセル」をクリックします。

- ほかのユーザーが「パッケージ管理」画面で編集中のパッケージファイルを上書きしようとすると、次のメッセージ画面が表示され、編集が終了するまで上書きできません。

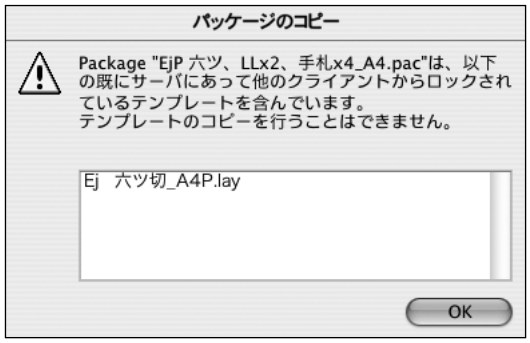


- ユーザー自身がロックしたテンプレートファイルがパッケージに入っていると、次のメッセージ画面が表示されます。

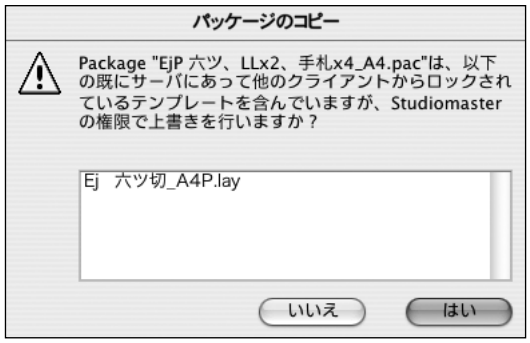


上書きする場合は「はい」、上書きしない場合は「いいえ」をクリックします。

- ほかのユーザーによってロックされているテンプレートファイルがパッケージに入っていると、次のメッセージ画面が表示され、ロックが解除されるまで上書きできません。



- ユーザーが Studiomaster である場合には、ほかのユーザーによってロックされているテンプレートファイルがパッケージに入っていると、次のメッセージ画面が表示されます。



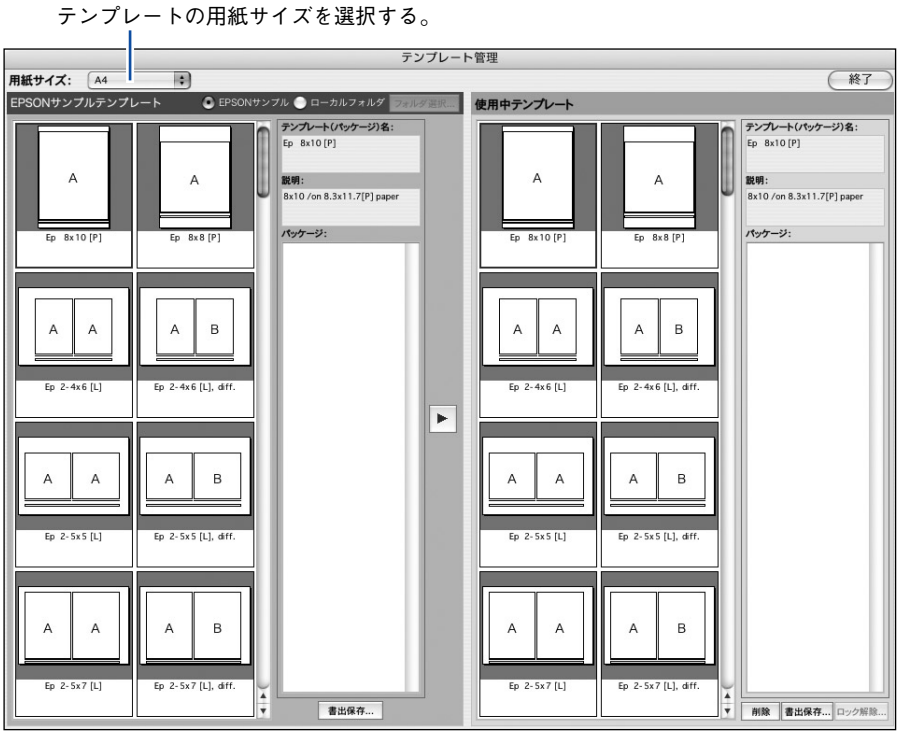
上書きする場合は「はい」、上書きしない場合は「いいえ」をクリックします。

● テンプレートをローカルフォルダに書出保存する

「EPSON サンプルテンプレート」、「使用中テンプレート」やローカルフォルダに入っているテンプレートを指定したローカルフォルダに書出保存できます。

> 注意 パッケージはローカルフォルダに保存できません。テンプレートだけを保存できます。

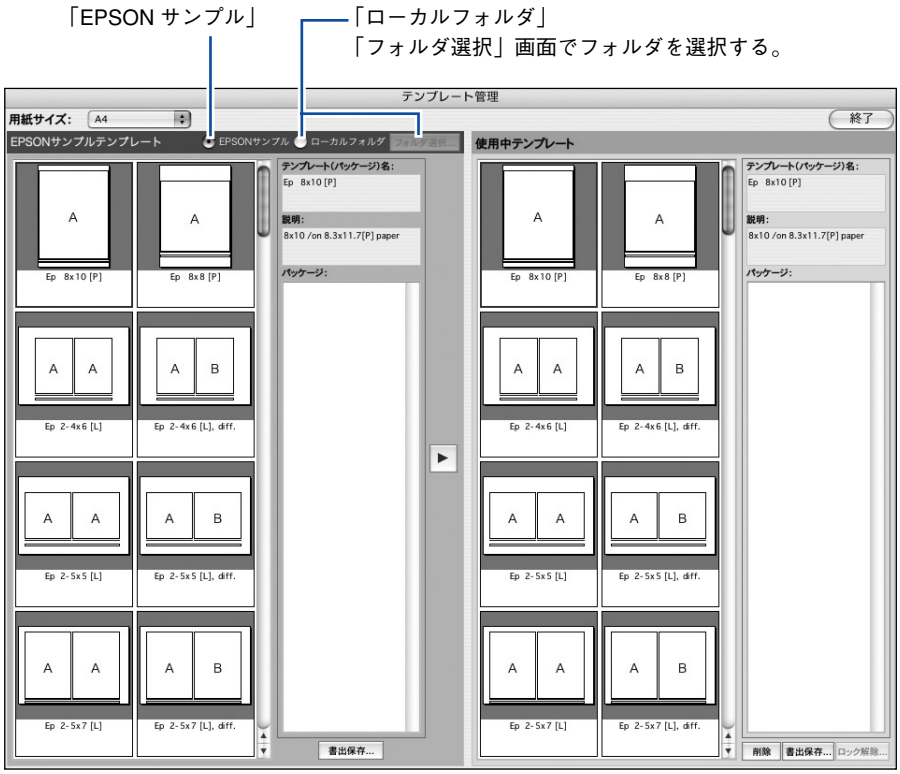
1 「用紙サイズ」プルダウンメニューでテンプレートの用紙サイズを選択します。



「使用中テンプレート」のファイルを書出保存するには、手順 3 へ進んでください。

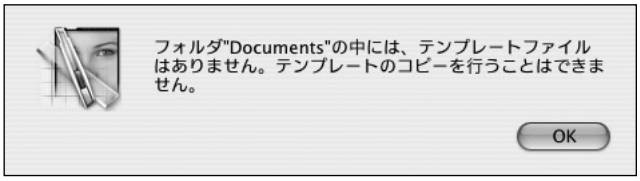
2 「EPSON サンプル」または「ローカルフォルダ」を選択します。

「EPSON サンプル」を選択すると「EPSON サンプルテンプレート」のテンプレートやパッケージのサムネイルが表示されます。
「ローカルフォルダ」を選択すると「フォルダ選択」画面が表示されます。書出保存したいテンプレートが入っているフォルダを選択すると、サムネイルが表示されます。「フォルダ選択」をクリックしてほかのフォルダを選択することもできます。



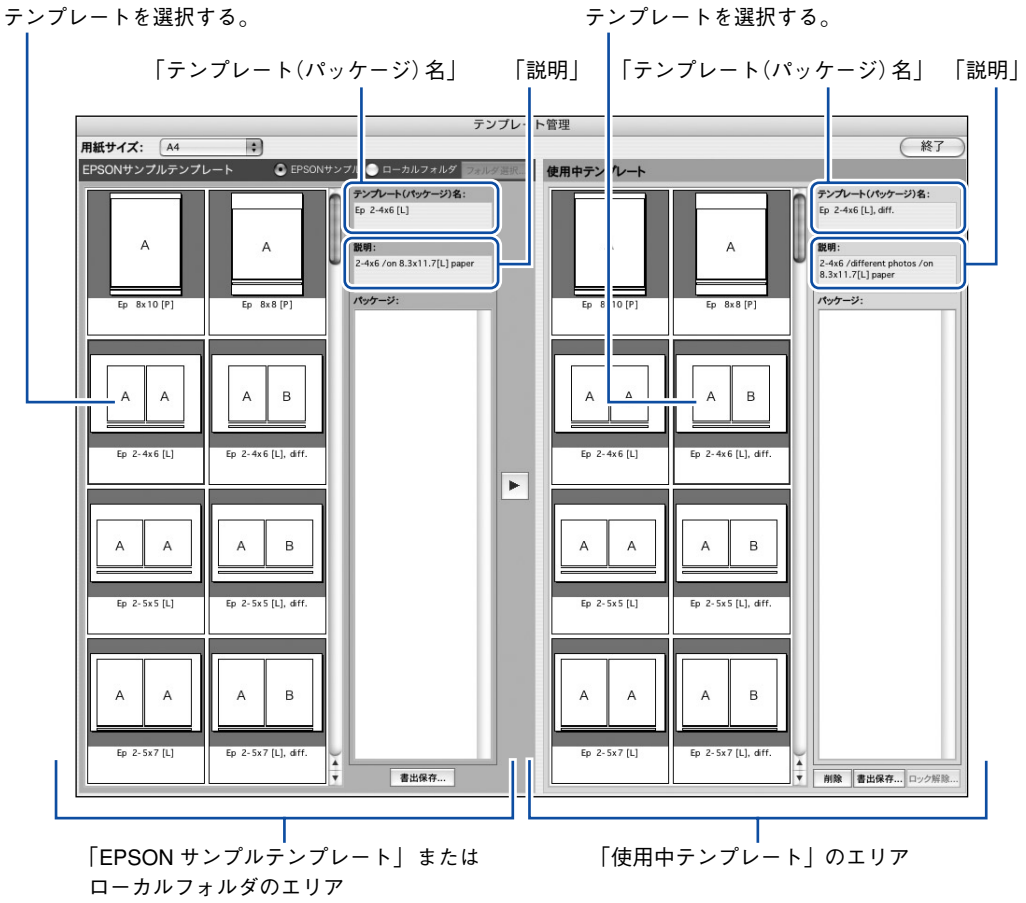
注意

「フォルダ選択」画面でテンプレートファイルの入っていないフォルダを選択すると下のようなメッセージが表示されます。テンプレートファイルの入っているフォルダを選択し直してください。



3 書出保存したいテンプレートファイルのサムネイルを選択します。

「テンプレート（パッケージ）名」には選択したテンプレート名が表示されます。
「説明」にはテンプレートのサイズなどが表示されます。



> **注意** パッケージを選択すると、「書出保存」はクリックできません。

4 「書出保存」をクリックします。

「EPSON サンプルテンプレート」または「ローカルフォルダ」のファイルを書出保存するときは、「EPSON サンプルテンプレート」または「ローカルフォルダ」エリアの「書出保存」をクリックします。「使用中テンプレート」のファイルを書出保存するときは、「使用中テンプレート」ウィンドウの「書出保存」をクリックします。



「EPSON サンプルテンプレート」やローカルフォルダのファイルを書出保存するときはここをクリックする。

「使用中テンプレート」のファイルを書出保存するときはここをクリックする。

「ローカルフォルダに保存」画面が表示されます。



5 保存先のフォルダを選択して、「保存」をクリックします。



クリックする。

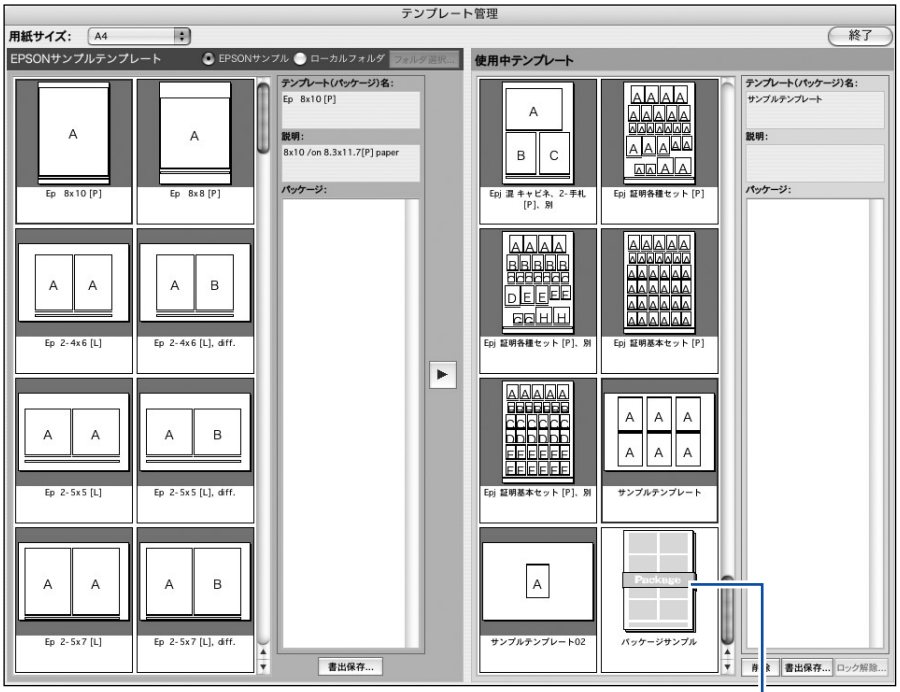
ポイント

Macintosh や Windows でローカルフォルダに保存したテンプレートやパッケージはファイルの互換性がありません。テンプレートやパッケージを Macintosh と Windows で相互に利用するには、サーバに一度アップロードしてからそれぞれのコンピュータにダウンロードしてください。

●「使用中テンプレート」からテンプレートやパッケージファイルを削除する

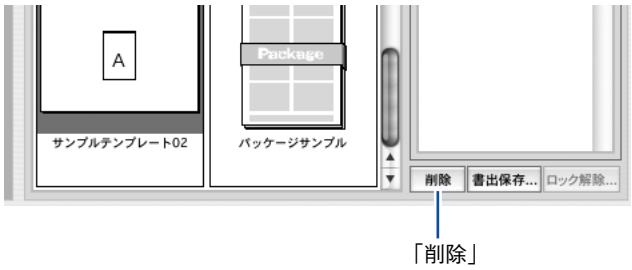
テンプレートやパッケージは接続しているサーバから削除されます。

1「使用中テンプレート」のサムネイルから削除したいテンプレートやパッケージファイルを選択します。



削除したいテンプレートやパッケージファイルを選択する。

2 「削除」をクリックします。



次のメッセージ画面が表示されます。



選択したテンプレートがパッケージの中にある場合は、次のメッセージが表示されます。



3 削除する場合は「はい」、キャンセルする場合は、「いいえ」をクリックします。



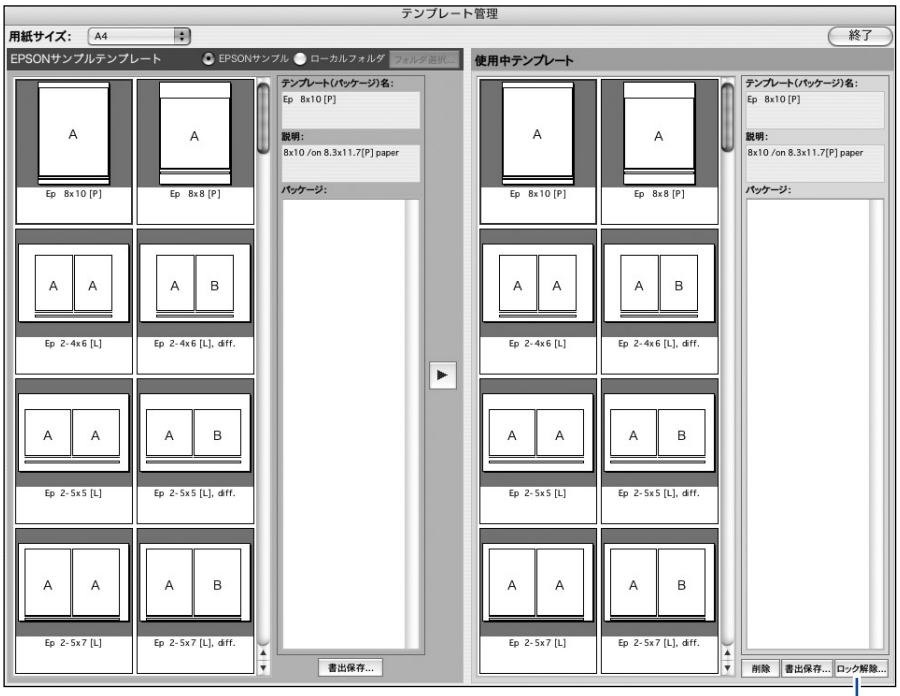
ポイント

選択したテンプレートが入っているすべてのパッケージから削除されます。

●「使用中テンプレート」のファイルのロックを解除する

「使用中テンプレート」のロックされているファイルをすべて解除します。ファイルを選択してロックを解除することはできません。

1 「ロック解除」をクリックします。

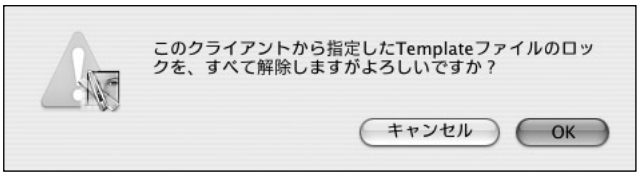


「ロック解除」

> ポイント　ロックされているファイルがない場合は、「ロック解除」はクリックできません。

Studiomaster 以外のユーザーが「ロック解除」をクリックすると

次のメッセージ画面が表示されます。



自分がかけたロックをすべて解除する場合は「OK」、ロックを解除しない場合は「キャンセル」をクリックします。

ユーザーが Studiomaster であるとき、Studiomaster 自身がロックしたファイルとほかのユーザーがロックしたファイルがある場合

次のメッセージ画面が表示されます。



ロックをすべて解除する場合は「はい」、自分がかけたロックだけを解除する場合は「指定のみロック解除」をクリックします。

ユーザーが Studiomaster であるとき、ほかのユーザーがロックしたファイルだけがある場合

次のメッセージ画面が表示されます。



ロックをすべて解除する場合は「OK」、ロックを解除しない場合は「キャンセル」をクリックします。

写真をレイアウトしてプリントする

写真レイアウトソフトウェア EPPLayout を使って写真をレイアウトし、プリントすることができます。

ここでは、本体の電源を入れ、EPPLayout で写真をレイアウトし、プリントするまでの操作について説明します。さらに詳しい EPPLayout の使い方や機能については、「EPPLayout オンラインヘルプ」をご覧ください。EPPLayout 画面右上の「ヘルプ」をクリックすると、「EPPLayout オンラインヘルプ」が表示されます。「EPPLayout オンラインヘルプ」の使い方は、「オンラインヘルプについて」（377 ページ）をご覧ください。

写真をレイアウトする前に、「画像ファイルを準備する」（46 ページ）お読みいただき、画像ファイルがプリントデータとして適したファイルになっているか確認してください。

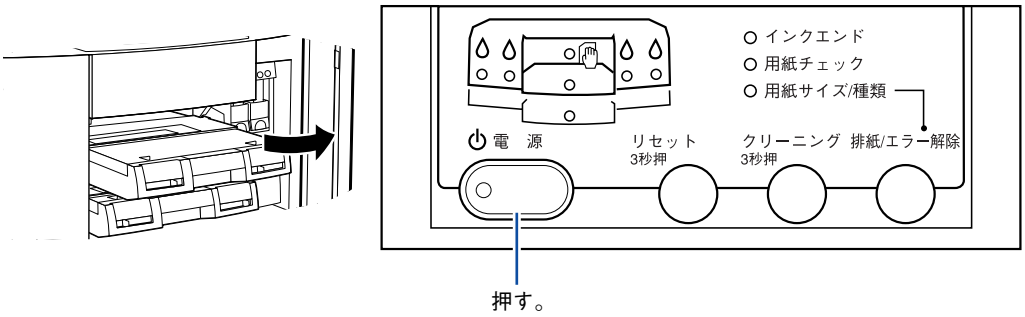
■電源を入れる 174
■EPPLayout を起動する.....176
■用紙を選択する 180
■「テンプレート」モードと「フリーレイアウト」モードの違い.....182
■「テンプレート」モードで写真をレイアウトする 183
■「フリーレイアウト」モードで写真をレイアウトする 202
■プリントの準備をする 211
■写真をプリントする 218

■ 電源を入れる

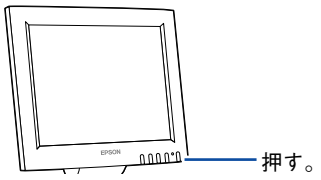
❶ オプションのEX-7000をお使いの場合は、EX-7000の電源を入れます。

> **注意** 本体の電源を入れる前に、オプションの EX-7000 にプリンタエラーが発生していないか必ず確認してください。エラーが発生していると本体の起動に時間がかかります。

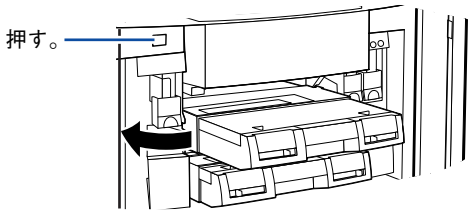
❷ キャビネットの右扉を開け、プリンタの「⏻電源」スイッチを押して電源を入れます。



❸ 本体のモニタの「⏻電源」スイッチを押して電源を入れます。



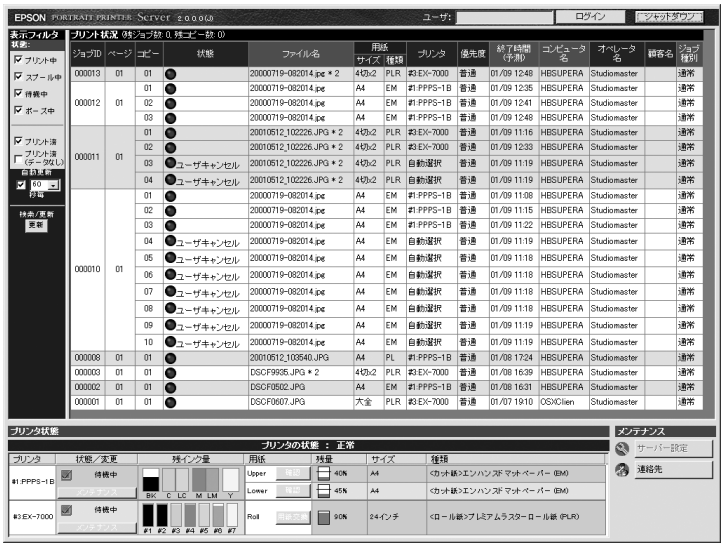
❹ キャビネットの左扉を開け、本体の電源スイッチを押します。



❺ キャビネットの左右の扉を閉じます。

> **注意**
> - システムの安定性を維持するために、週 1 回は本体の電源を切り、再度電源を入れ直してください。
> - 電源を切るときは、すべてのプリントが終了し、EPPTemplate などの本システムのソフトウェアの終了を確認してから EPPServer をシャットダウンして本体の電源を切り、さらにプリンタやモニタの電源も切ってください。電源を切った直後に、再び電源を入れないでください。

本体の LCD モニタに接続プリンタの電源確認画面が表示されますので、プリンタ（オプション EX-7000 接続時は EX-7000 を含む）の電源が入っていることを確認して「OK」をクリックすると、EPPServer が起動して LCD モニタに「EPPServer」画面が表示されます。



6 クライアントコンピュータの電源を入れます。

■ EPPLayout を起動する

1 EPPLayout を起動します。

- 【Macintosh】
  ソフトウェアが入っているフォルダを開き、EPPLayout のアイコン（  ）をダブルクリックします。
- 【Windows】
  「スタート」をクリックし、「プログラム」（Windows 2000）または「すべてのプログラム」（Windows XP）から「EPSON Portrait Printer」の「EPP Layout」を選択します。

「ログイン」画面が表示されます。



ポイント

以下の方法でも EPPLayout を起動することができます。

【Macintosh】

- EPPLayout のアイコンに画像ファイルをドラッグする。

【Windows】

- EPPLayout のアイコンに画像ファイルまたは画像ファイルのフォルダをドラッグする。

注意

- EPPLayout は必ずクライアントコンピュータにインストールしてください。
- クライアントコンピュータ上で EPPLayout のプログラムファイルを編集したり削除しないでください。EPPLayout が正常に働かなくなります。
- 画像ファイルは必ずクライアントコンピュータのハードディスクのフォルダにコピーしてください。CD-ROM、MO、フロッピーディスクなどに入れたまま作業しないでください。

2 オペレータ名を「オペレータリスト」から選択し、パスワードを入力して「OK」をクリックします。



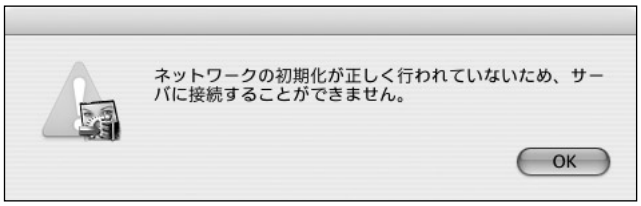
EPPLayout 画面が表示されます。

ポイント

- ログインの設定を省く場合は、「次回も同じオペレータ名でログインする。」チェックボックスにチェック（✓印）を入れます。次回から「ログイン」画面は表示されません。
- パスワードは半角英数字で 20 文字まで入力できます。詳しくは、「EPPLayout オンラインヘルプ」の「A-3. ユーザー名を選択し、パスワードを入力する」をご覧ください。
- 「Studiomaster」のパスワードを設定する場合は、「ユーザーやクライアントコンピュータを追加する」（341 ページ）をご覧ください。
- EPPLayout 画面が表示されたあとでも、ユーザーを変更できます。詳しくは、「EPPLayout オンラインヘルプ」の「A-3-2. EPPLayout の起動後にユーザーを変更する」をご覧ください。
- EPPLayout から EPPMonitor を起動して、新規ユーザー名を登録できます。「EPPLayout オンラインヘルプ」の「A-3-3. 新規ユーザー名を登録する」をご覧ください。
- EPPLayout を起動できないときは、「EPPLayout オンラインヘルプ」の「A-2. EPPLayout が起動できないときは」をご覧ください。

注意

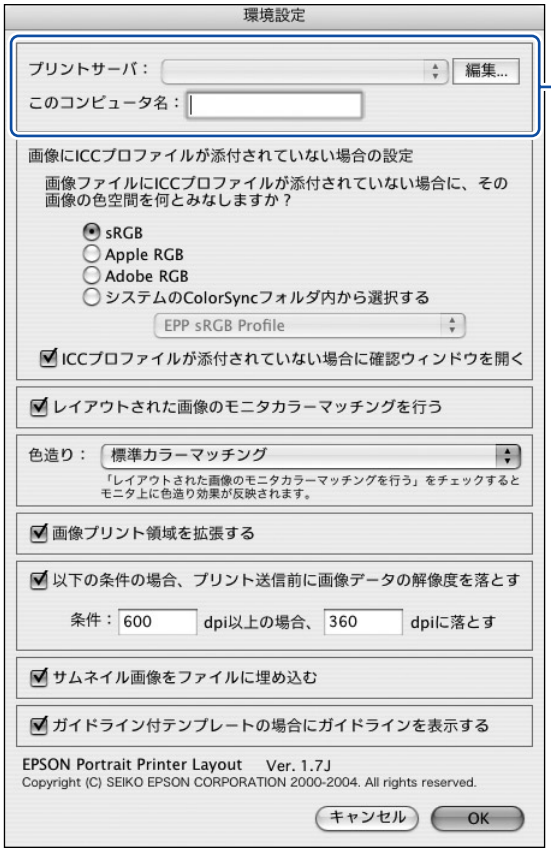
次の画面が表示されたら、本体の電源が入っているか確認してください（174 ページ）。



電源が入っていてもこの画面が表示される場合は、「困ったときには」の「EPPLayout に関するトラブルと解決方法」（371 ページ）をご覧ください。

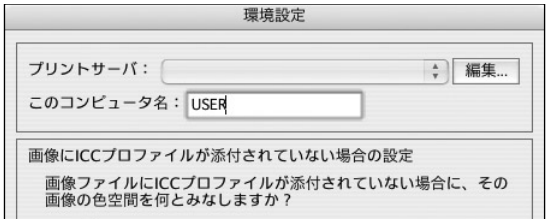
「環境設定」画面が表示されたら

お使いのコンピュータで初めてログインすると、「環境設定」画面が表示されます。使用するプリントサーバを指定してください。



「このコンピュータ名」を入力してから、「編集」クリックして、プリントサーバのIPアドレスを設定します。

1 「このコンピュータ名」に任意のコンピュータ名を入力します。



上の画面イラストには仮のコンピュータ名が入力されています。実際のコンピュータ名を入力してください。

2 「編集」をクリックします。

3 「プリントサーバの指定（IP アドレス）」に、使用する EPPServer の IP アドレスを半角数字で入力します。

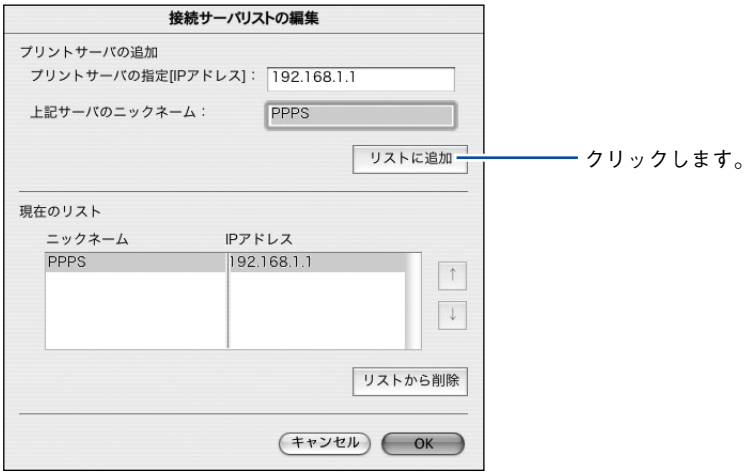
数字とピリオドだけを使用し、15 文字以内で入力してください。

4 「上記サーバのニックネーム」に、他と区別できる任意のサーバ名を半角英数字で入力します。

8 文字以内で入力してください。

5 「リストに追加」をクリックします。

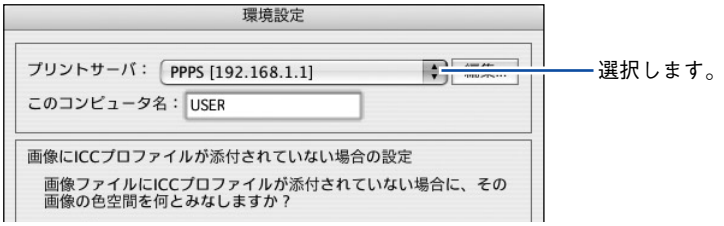
以下の画面イラストには仮の IP アドレスとニックネームが入力されています。実際の IP アドレスとニックネームを入力してください。



複数のプリントサーバをリストに追加すると、プリントサーバを切り替えながら使用することができます。
追加したプリントサーバを削除するには、「現在のリスト」で削除する「ニックネーム」または「IP アドレス」を選択して「リストから削除」をクリックします。

6 「OK」をクリックして、「接続サーバリストの編集」画面を閉じます。

7 使用するプリントサーバを「プリントサーバ」リストから選択し、「OK」をクリックして「環境設定」画面を閉じます。



EPPLayout のログイン画面が表示されます。

> ポイント
>
> 「環境設定」画面には、プリントサーバの IP アドレス以外にも EPPLayout に必要な設定があります。EPPLayout 画面が表示されたら、画面右上の「環境設定」をクリックし、カラープロファイル、モニタの色補正、色造りの初期設定、プリント範囲の拡張、解像度、サムネイル、ガイドライン表示などを設定してください。詳しくは、「EPPLayout オンラインヘルプ」の「A-5.「環境設定」を行う」をご覧ください。

● EPPLayout を終了するには

【Macintosh】

EPPLayout 画面右上の「終了」をクリックするか、「EPPLayout」メニューから「終了」を選択します。

【Windows】

EPPLayout 画面右上の「終了」をクリックするか、画面右上隅にある ☒ をクリックします。

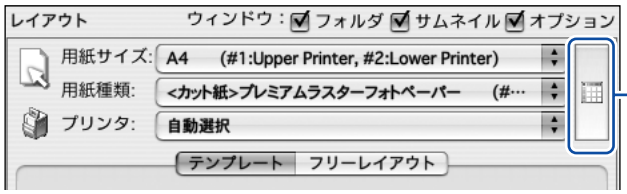
■ 用紙を選択する

用紙（サイズと種類）は一覧表またはリストから選択できます。

一覧表から選択するには

❶「レイアウト」ウィンドウの をクリックします。

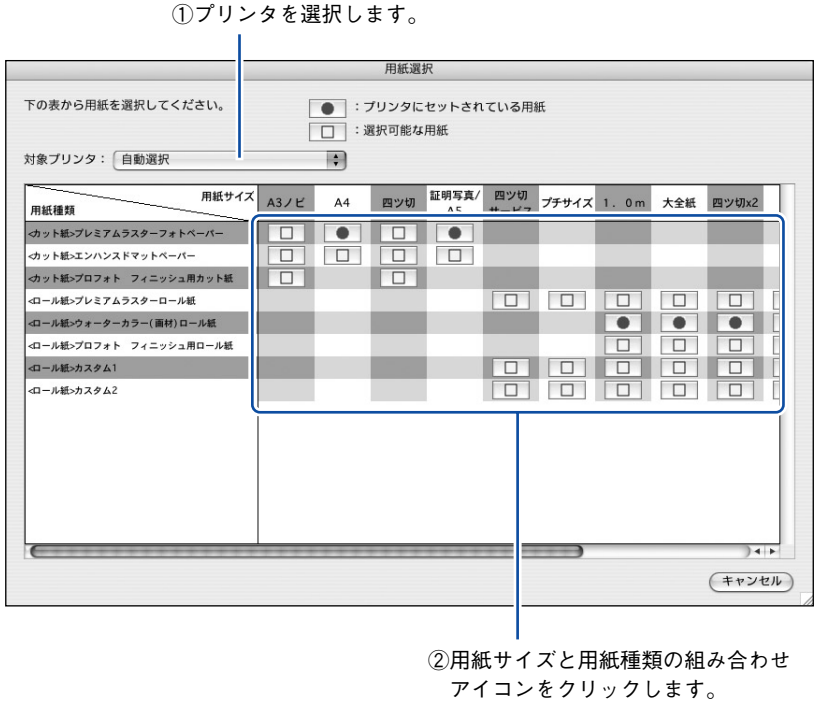
使用できるプリンタ、用紙サイズ、用紙種類の組み合わせを、一覧表から選択できます。



❷「対象プリンタ」を選択してから、「用紙サイズ」と「用紙種類」の組み合わせアイコンをクリックします。

●：選択したサイズと種類の用紙がすでにプリンタにセットされていますので、そのまま印刷できます。

□：選択したサイズと種類の用紙を、印刷を始める前にプリンタにセットしてください。



注意

写真をレイアウトしている途中で用紙サイズを変えると、使用中のテンプレートは破棄されてしまいます。用紙サイズを確認してから次の手順に進んでください。

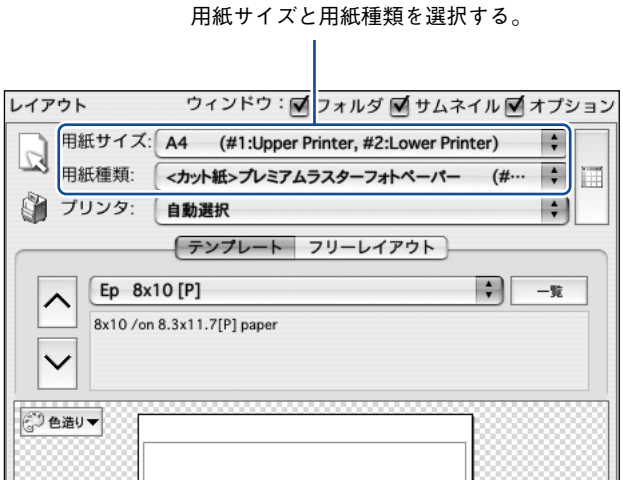
ポイント

- プリンタの用紙トレイに A3 ノビサイズの用紙をセットしている（用紙サイズスライダーを「13" × 19"」にセットしている）場合は、四つ切サイズが選択できます。
- A4 サイズの用紙ををセットしている場合は「証明写真 /A5」サイズが選択できます。
- オプションの EX-7000 をお使いの場合は、EX-7000 用の「用紙サイズ」と「用紙種類」が選択できます。

リストから選択するには

1 「レイアウト」ウィンドウの「用紙サイズ」と「用紙種類」で用紙のサイズと種類を選択します。

（Macintosh）／（Windows）をクリックし、プルダウンメニュー（Macintosh）／リストボックス（Windows）から選択します。選択した用紙がトレイにセットしてあるか確認してください。



注意

写真をレイアウトしている途中で用紙サイズを変えると、使用中のテンプレートは破棄されてしまいます。用紙サイズを確認してから次の手順に進んでください。

ポイント

- プリンタの用紙トレイにA3ノビサイズの用紙をセットしている（用紙サイズスライダーを「13"×19"」にセットしている）場合は、四つ切サイズが選択できます。
- A4サイズの用紙ををセットしている場合は「証明写真/A5」サイズが選択できます。
- オプションのEX-7000をお使いの場合は、EX-7000用の「用紙サイズ」と「用紙種類」が選択できます。選択した用紙が正しくセットされているか確認してください。

■「テンプレート」モードと「フリーレイアウト」モードの違い

EPPLayout には、用意されているテンプレートを使ってレイアウトする「テンプレート」モードと、自分でテンプレートを作成する「フリーレイアウト」モードがあります。作業性に合わせてどちらかのモードに決めてから、「「テンプレート」モードで写真をレイアウトする」（183 ページ）または「「フリーレイアウト」モードで写真をレイアウトする」（202 ページ）に進んでください。

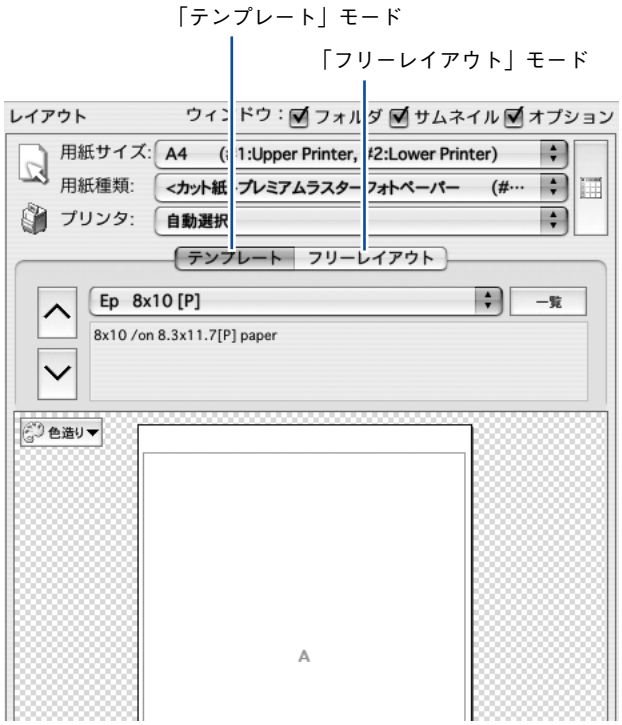
「テンプレート」モード

あらかじめ用意されているさまざまな種類のテンプレートから選択します。テンプレートによってフレームのサイズや数、アルファベットなどが異なります。また、テンプレートの「パッケージ」を選択することもできます。「パッケージ」にはいろいろな種類のテンプレートが入っています。
EPPLayout で使用できるテンプレートには、初期設定のテンプレートのほかに、ユーザーがサーバにアップロードしたテンプレートが含まれます。ほかのユーザーが EPPTemplate でテンプレートを作成しサーバにアップロードすると、テンプレートを更新する確認画面がお使いのコンピュータに表示されます。このようにして複数のユーザーが作成したテンプレートがサーバに蓄積され、テンプレートを共有できます。

EPPLayout から選択できるテンプレートだけでなく、EPPTemplate で独自のテンプレートを作成し、写真をレイアウトすることもできます。詳しくは、「テンプレートを作成し、管理する」（83 ページ）をご覧ください。

「フリーレイアウト」モード

お好みのサイズのフレームを配置できます。1 ページにつき写真を 1 枚しか割り付けられませんが、複数の写真を選択すると自動的にページを追加し、写真を割り付けます。1 ページごとにサイズの異なるフレームを配置したり、写真を割り付けてからサイズや位置を変更することもできます。



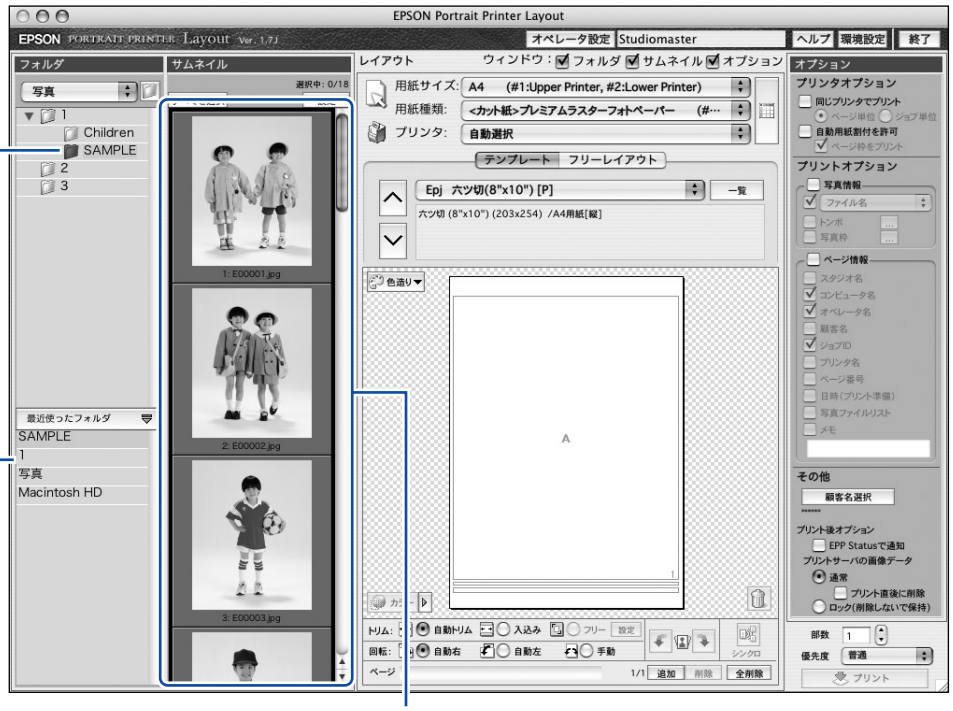
■「テンプレート」モードで写真をレイアウトする

❶ 画面左にある「フォルダ」ウィンドウで、JPEG または TIFF* の画像ファイルが入っているフォルダをクリックして選択します。

* EPPLayout は LZW 圧縮された TIFF 画像ファイルを読み込むことができます。

「サムネイル」ウィンドウにサムネイルが表示されます。

画像ファイルの入ったフォルダを選択する。



最近使ったフォルダが表示される。　　サムネイルが表示される。

ポイント

- 「最近使ったフォルダ」には、これまでに使ったフォルダが新しいものから 20 個まで表示されます。「最近使ったフォルダ」ウィンドウからフォルダを選択することもできます。
- フォルダ内にサブフォルダがあると、▷（Macintosh）／ ⊞（Windows）がフォルダの左側に表示されます。▷（Macintosh）／ ⊞（Windows）をクリックすると▽（Macintosh）／ ⊟（Windows）に変わり、サブフォルダが表示されます。
- 「フォルダ」ウィンドウ内でのフォルダの移動、コピー、削除、フォルダ名の変更はできません。

注意

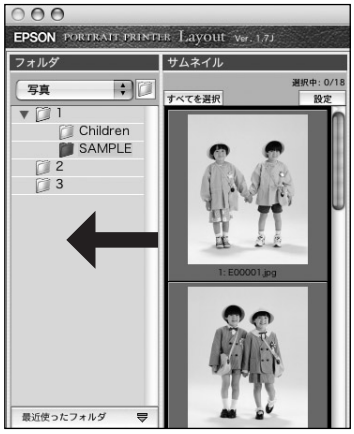
選択したフォルダ内に TIFF* または JPEG の画像ファイルがないと、「サムネイル」ウィンドウには何も表示されません。

* EPPLayout は LZW 圧縮された TIFF 画像ファイルを読み込むことができます。

「フォルダ」ウィンドウと「サムネイル」ウィンドウの幅を変更する

「フォルダ」ウィンドウと「サムネイル」ウィンドウの間にあるバーにポインタを合わせるとポインタが ⇹ に変わります。バーを左にドラッグすると、「サムネイル」ウィンドウの幅が大きくなります。大きなサイズのサムネイルを表示したり、多くのサムネイルを表示できます。サムネイルのサイズは「設定」で選択できます。

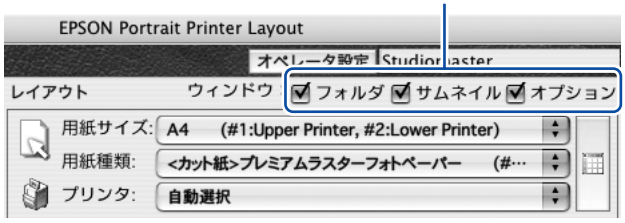
ドラッグする



ウィンドウを表示／非表示にする

「ウィンドウ」の「フォルダ」、「サムネイル」、「オプション」のチェックボックスにチェック（✓印）を入れるとウィンドウが表示されます。チェック（✓印）を外すと非表示になります。「フォルダ」ウィンドウを表示すると必ず「サムネイル」ウィンドウも並んで表示されます。「フォルダ」ウィンドウだけを表示することはできません。「レイアウト」ウィンドウの表示／非表示の設定はできません。

✓を入れると表示 / 外すと非表示



サムネイルにファイルマークを付ける

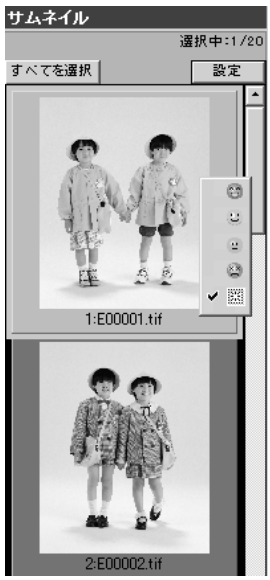
サムネイルに 4 段階評価のファイルマークを付けることができます。同じような写真でもファイルマークを目安にすると画質などを簡単に判断できます。EPPLayout で付けたファイルマークは EPPWorks でもサムネイルに表示されます。EPPWorks で付けたマークも EPPLayout でサムネイルに表示されます。

1 **【Macintosh】**
サムネイルの下部（下から約 1 ／ 3 の高さまで）にポインタを合わせます。
【Windows】
サムネイルにポインタを合わせ、右クリックします。ファイルマークのポップアップウィンドウが表示されます。

【Macintosh】



【Windows】

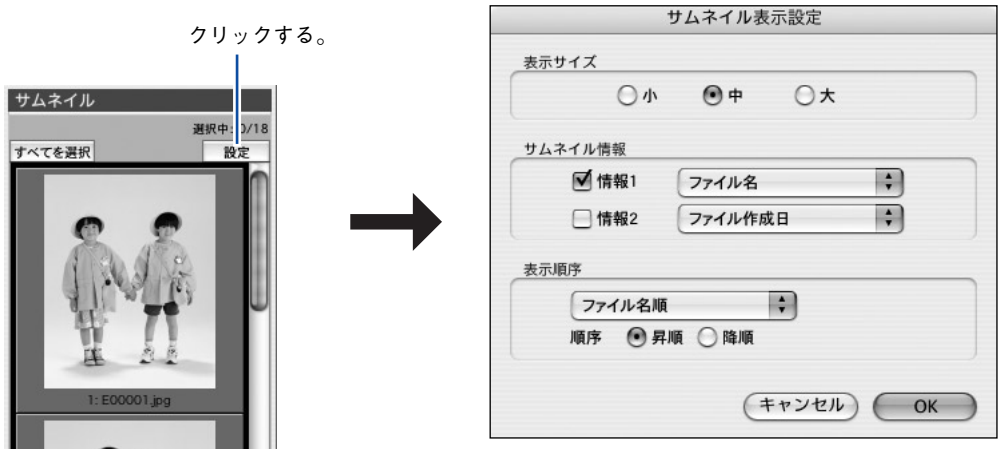


2 写真に付けたいファイルマークをクリックします。
赤いマーク の評価が最も高く、青いマーク は最も低くなります。
ファイルマークを変更するには、別のマークをクリックします。
ファイルマークを解除するには、 をクリックします。

サムネイルの表示方法を設定する

サムネイルのサイズ、表示する写真情報、表示の順序を設定できます。

1「設定」をクリックします。
「サムネイル表示設定」画面が表示されます。



2 各項目を設定します。
3「OK」をクリックします。

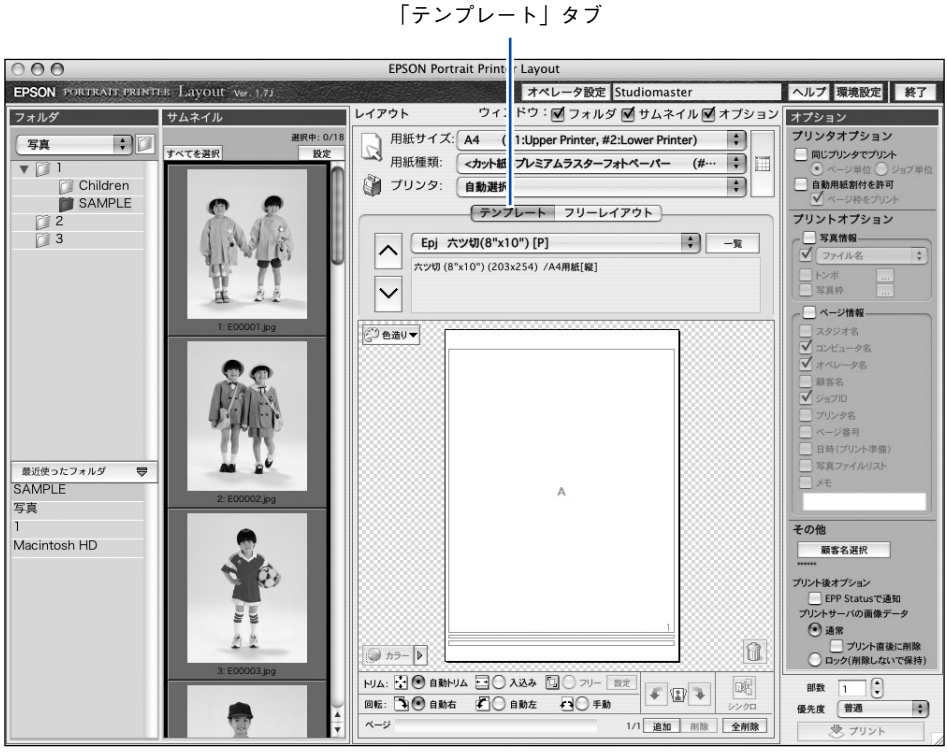
サムネイルのサイズを変更する：
「サムネイル」ウィンドウに表示されるサムネイルのサイズを変更できます。「表示サイズ」の「小」、「中」、「大」からサムネイルのサイズを選択します。

写真情報をサムネイルに表示する：
サムネイルの下に写真情報を表示できます。「サムネイル情報」の「情報 1」チェックボックスにチェック（✓印）を入れ、（Macintosh）／（Windows）をクリックし、プルダウンメニューから情報を選択します。「ファイル名」、「ファイル作成日」、「ファイル編集日」から選択できます。サムネイルの下 1 行目に情報が表示されます。サムネイルの下 2 行目にも情報を表示するときは、「情報 2」チェックボックスにチェック（✓印）を入れ、（Macintosh）／（Windows）をクリックし、プルダウンメニューから情報を選択します。

表示順序：
サムネイルの情報の種類別に表示する順序を設定できます。「表示順序」の（Macintosh）／（Windows）をクリックし、プルダウンメニューから情報の種類を選択します。「ファイル名順」、「ファイル作成日順」、「ファイル編集日順」、「ファイルマーク順」から選択できます。次に、「昇順」または「降順」を選択します。「ファイルマーク順」に設定すると、昇順は評価の高い順、降順は評価の低い順になります。

2 「テンプレート」タブをクリックします。

「レイアウト」ウィンドウの中央にテンプレートが表示されます。

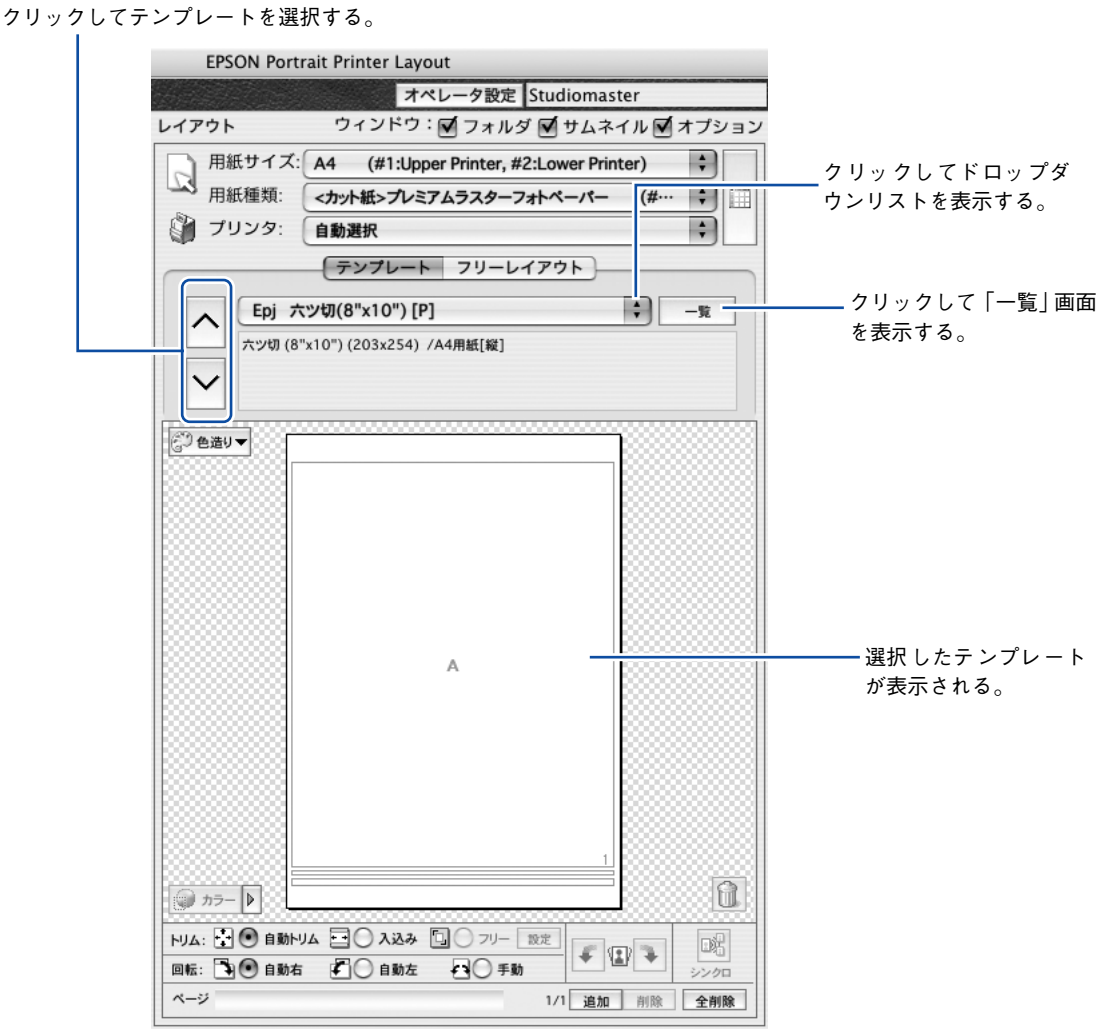


3 テンプレートやパッケージを選択します。

以下の方法で選択できます。

- （Macintosh）／（Windows）をクリックしてドロップダウンリストからテンプレートまたはパッケージを選択します。
- をクリックして、テンプレートまたはパッケージを選択します。
- 「一覧」をクリックして、「一覧」画面から使用したいテンプレートまたはパッケージをクリックし、「OK」をクリックします。テンプレートまたはパッケージをダブルクリックしても選択できます。

選択したテンプレートが「レイアウト」ウィンドウに表示されます。



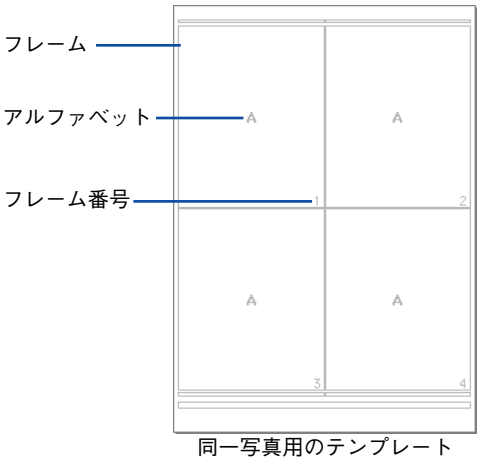
ポイント

- 使用頻度の高いテンプレートやパッケージがある場合は、「一覧」画面でテンプレートやパッケージをドラッグして、使用頻度の高い順に並び替えることができます。テンプレートの順番を並び替えると、ドロップダウンリストに表示されるテンプレート名の順番も変わります。
- プリンタの用紙トレイにA3ノビサイズの用紙をセットしている（用紙サイズスライダーを「13" × 19"」にセットしている）場合は、四つ切サイズのテンプレートが選択できます。
- A4サイズの用紙ををセットしている場合は「証明写真/A5」サイズが選択できます。
- オプションのEX-7000をお使いの場合は、EX-7000用のテンプレートが選択できます（四つ切×2サイズのテンプレートも選択できます）。

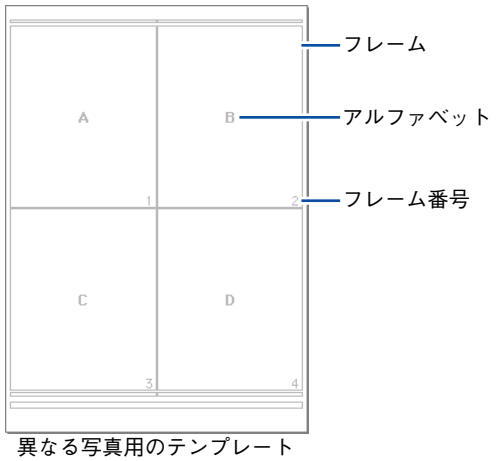
テンプレートの選びかた

テンプレートのフレームにはアルファベットが付いています。同じアルファベットが付いたフレームには同じ写真が配置されます。アルファベットが異なれば、異なる写真を配置できます。アルファベットにより、同じ写真をレイアウトするテンプレートか、異なる写真をレイアウトするテンプレートなのかを区別できます。また、フレームには番号が付いています。複数の写真をテンプレートにドラッグすると、フレームの番号順に配置されます。

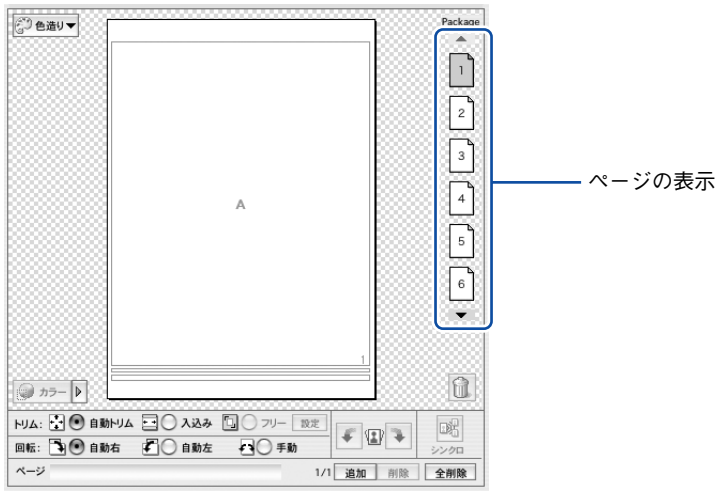
パッケージには異なるレイアウトのテンプレートが複数ページ入っていますが、単独のテンプレートページと同様にアルファベットやフレーム番号が付いています。



同一写真用のテンプレート

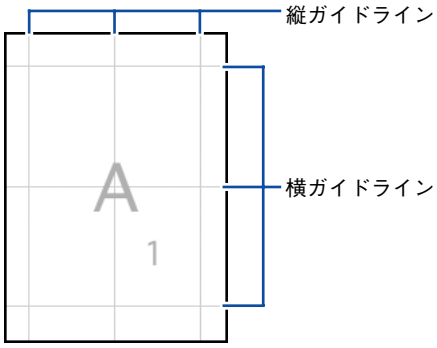


異なる写真用のテンプレート



写真ガイドライン

EPPTemplate で写真ガイドラインを付けたテンプレートを EPPLayout で選択した場合、フレーム（写真枠）内に写真ガイドラインが表示されますので、写真を割り付ける際の位置合わせに使用できます。この写真ガイドラインは写真の位置合わせの目安として表示されるだけで、印刷はされません。



例：写真ガイドラインを縦横それぞれ 3 本引いた場合

ポイント

- EPPTemplate で写真ガイドラインを付ける方法については、「写真枠にガイドラインを付ける」（132 ページ）をご覧ください。
- EPPLayout で写真ガイドラインを表示するかしないかは、EPPLayout の「環境設定」画面で切り替えられます。詳しくは、「EPPLayout オンラインヘルプ」の「A-5.「環境設定」を行う」をご覧ください。

4 ページ枠を選択し、「トリム」や「回転」を設定します。

ページ枠に「トリム」の「自動トリム」や「入込み」、「回転」を設定しておくと、サムネイルから写真をドラッグしたときにすべてのフレームに同じ設定で割り付けられます。
写真を割り付けてから、フレームごとに設定を変更することもできます。「トリム」の「フリー」はページ枠に設定できません。写真を割り付けてからフレームに設定します。

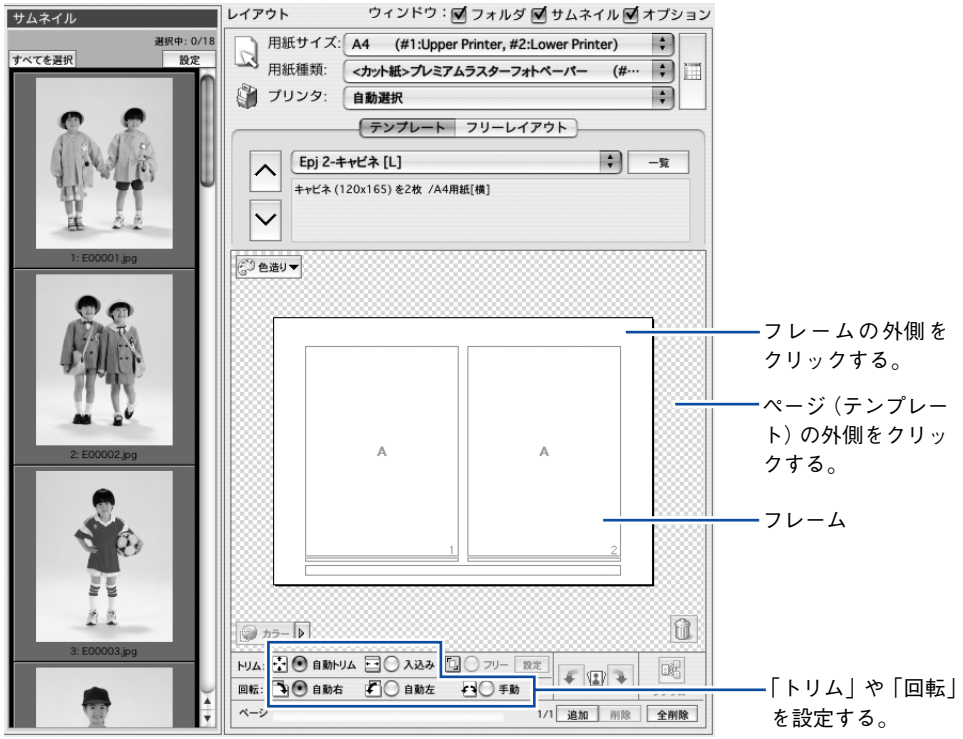
ページ枠を選択するには

以下の方法で選択します。

- フレームの外側またはページ（テンプレート）の外側をクリックします。ページ（テンプレート）が緑の枠線で表示され、ページ枠が選択された状態になります。

【Macintosh のみ】

- 「サムネイル」ウィンドウの写真をクリックします。ページ（テンプレート）が黒の枠線で表示され、ページ枠が選択された状態になります。



「トリム」や「回転」を設定するには

ページ枠が選択された状態で、「トリム」の「自動トリム」や「入込み」、「回転」を設定します。表示されているページ（テンプレート）のフレームすべてに同じ設定が適用されます。

「トリム」

- **「自動トリム」**：写真の縦横比を固定したまま余白が出ないように、写真の上下または左右を切り取って写真をフレームの中央に配置します。
- **「入込み」【Macintosh】／「入れ込み」【Windows】**：写真の縦横比を固定したまま、写真全体がフレーム内に収まるように縮小し、中央に配置します。写真の上下または左右に余白が残ります。

「回転」

- 「自動右」：横長の写真を縦長のフレームにドラッグしたときや、縦長の写真を横長のフレームにドラッグしたとき、写真が右回りに 90 度回転してフレームに収まります。写真の長辺とフレームの長辺の向きが同じ場合は回転しません。
- 「自動左」：横長の写真を縦長のフレームにドラッグしたときや、縦長の写真を横長のフレームにドラッグしたとき、写真が左回りに 90 度回転してフレームに収まります。写真の長辺とフレームの長辺の向きが同じ場合は回転しません。
- 「手動」：フレームの横長、縦長にかかわらず、写真はそのままの向きで配置され回転しません。

> 注意　ページ枠に対しては、写真を割り付けていない状態でも「トリム」や「回転」の設定ができますが、フレームに対しては写真を割り付けないと設定できません。

5 写真をテンプレートにドラッグします。

同一写真用のテンプレートに写真を割り付けるとき

「サムネイル」ウィンドウの写真をクリックし、テンプレートにドラッグすると、フレームに写真が割り付けられます。



すべてのフレームに、同じ写真が割り付けれられます。

異なる写真用のテンプレートに写真を割り付けるとき

1 枚ずつ割り付けるには

- 配置したい1枚目の写真をクリックしてAのフレームにドラッグし、2枚目をBのフレームに、と各フレームに写真をドラッグします。

複数枚を同時に割り付けるには

- 並んでいる写真をまとめて選択する場合
  「Shift」キーを使います。1 枚目の写真をクリックし、「Shift」キーを押しながら最後の写真をクリックします。テンプレートにドラッグすると「サムネイル」ウィンドウでの並びかたに従い、上のほうにある写真からフレームの番号順に配置されます。

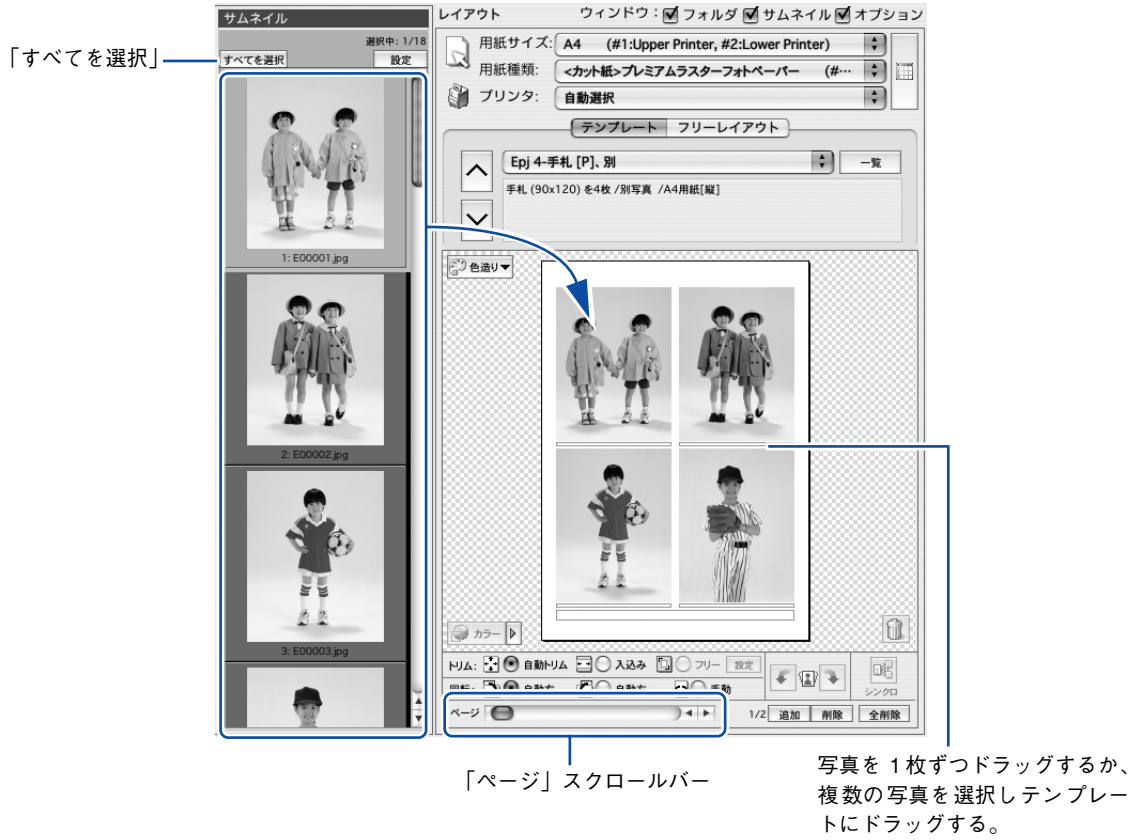
- 離れた位置にある写真をまとめて選択する場合
  【Macintosh】
  「⌘」キーを使います。1枚目の写真をクリックし、「⌘」キーを押しながらほかの写真をクリックします。テンプレートにドラッグすると「サムネイル」ウィンドウでの並びかたに従い、上のほうにある写真からフレームの番号順に配置されます。
  【Windows】
  「Ctrl」キーを使います。1 枚目の写真をクリックし、「Ctrl」キーを押しながらほかの写真をクリックします。テンプレートにドラッグすると「サムネイル」ウィンドウでの並びかたに従い、上のほうにある写真からフレームの番号順に配置されます。
- すべての写真を選択する場合
  「すべてを選択」をクリックします。テンプレートにドラッグすると「サムネイル」ウィンドウでの並びかたに従い、上のほうにある写真からフレームの番号順に配置されます。
  すでに写真が何枚か割り付けられているときは、空いているフレームに配置されます。

写真の割り付けを中止するには

多数の写真をテンプレートにドラッグしたときは割り付けを途中で中止できます。ドラッグした直後に次のように操作してください。

【Macintosh】
「⌘」キーを押しながら「.」（ピリオド）キーを押します。

【Windows】
「ESC」キーを押します。



ポイント

フレームより多い枚数の写真をテンプレートにドラッグすると、同じテンプレートの新規ページが自動的に追加され、写真が割り付けられます。ページ間を移動するには、「レイアウト」ウィンドウ下の「ページ」スクロールバーをドラッグするか、◀ や ▶ をクリックします。

● レイアウトを変更する

空いているフレームへ写真を移動するには（“異なる写真用テンプレート”を使っているとき）

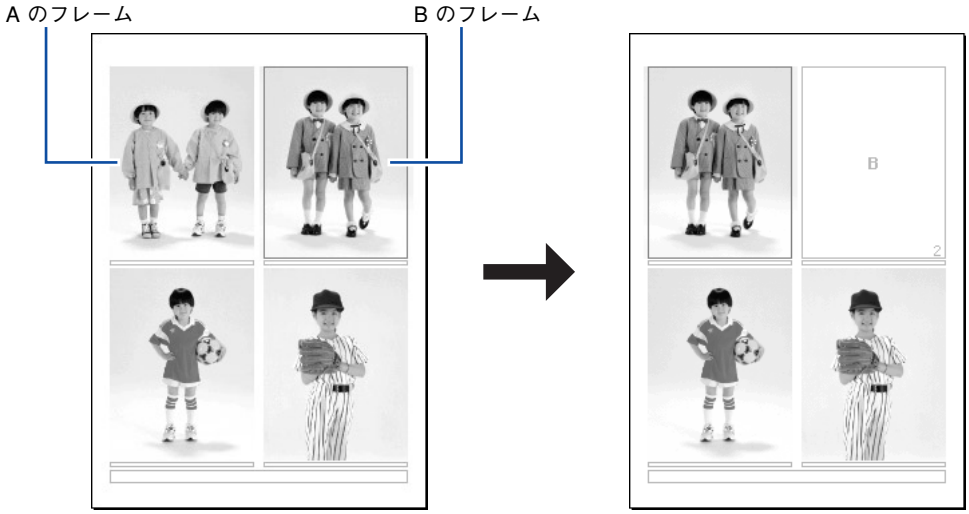
空いているフレームに写真をドラッグします。

新しい写真と置き換えるには

「サムネイル」ウィンドウの写真をテンプレートに割り付けられている写真の上にドラッグします。写真は上書きされ、ページ枠に設定した「トリム」と「回転」が適用されます。

すでに写真が割り付けられているフレームへ写真を移動すると（“異なる写真用テンプレート”を使っているとき）

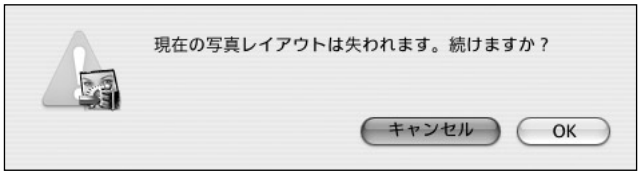
ドラッグした写真に置き換わります。ドラッグした写真が割り付けられていたフレームは空きになります。



B のフレームの写真を A のフレームへドラッグすると、
A のフレームに B のフレームの写真が置き換わる。

テンプレートを変更するには

使いたいテンプレートを選択します（187 ページ）。次の画面が表示されます。



「OK」（または「はい」）をクリックします。選択するのをやめる場合は「キャンセル」（または「いいえ」）をクリックします。

フレームから写真を削除するには

写真をクリックして削除したい写真を選択し、 をクリックするか、削除したい写真を にドラッグします。フレームから写真を削除しても、写真は「サムネイル」ウィンドウやフォルダからは削除されません。



削除したい写真を選択してクリックするか、削除したい写真をドラッグする。

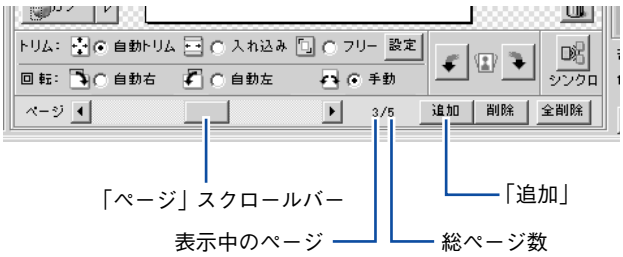
● テンプレートのページを追加する

「レイアウト」ウィンドウ下の「追加」をクリックすると、表示されているテンプレートと同じテンプレートの新規ページが追加されます。

【Macintosh】



【Windows】



ポイント

- EPPLayout で作成できるページ数は 200 ページです。
  単独のテンプレートだけを使用する場合は、「ページ」表示の総ページ数が 200 になるまでページを追加できます。
  パッケージを使用しているときは、パッケージ内のページ数を含めた総ページ数が 200 ページになるまで追加できます。パッケージは 1 ページとしてカウントされ「ページ」に表示されるので、200 未満の総ページ数が表示されている場合でもテンプレートやパッケージを追加できないことがあります。追加するときは、実際の総ページ数を確認してください。
- 表示されていたページの「トリム」や「回転」の設定が、追加したページにも反映されます。
- パッケージを使用しているときに「追加」をクリックすると、パッケージ内のどのページが表示されていても同じパッケージが丸ごと追加されます。

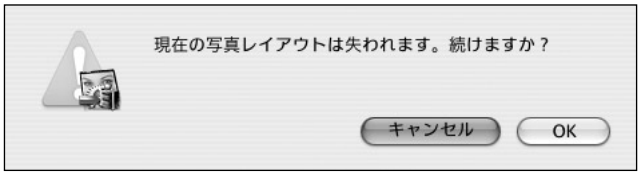
【Macntosh】
「トリム」と「回転」の設定は追加されたパッケージの最初の 1 ページだけに反映されます。

【Windows】
「トリム」と「回転」の設定は追加されたパッケージの各ページに反映されます。

- ページ間を移動するには、「ページ」スクロールバーをドラッグするか、 や をクリックします。

● テンプレートのページを削除する

削除したいページへ移動し「削除」をクリックします。表示されているページに写真が割り付けられていると、次のメッセージ画面が表示されます。



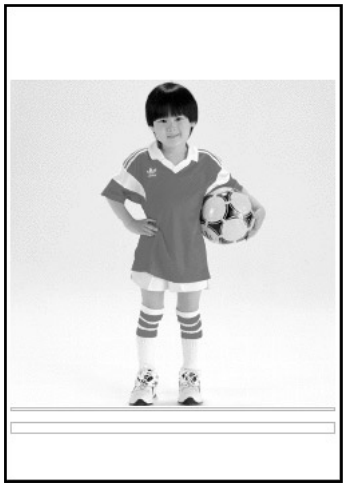
削除するには「OK」（または「はい」）をクリックします。削除するのをやめるときは「キャンセル」（または「いいえ」）をクリックします。パッケージを使用しているときは、表示されているページにかかわらずパッケージごと削除されます。

すべてのページと表示されている写真を削除するには

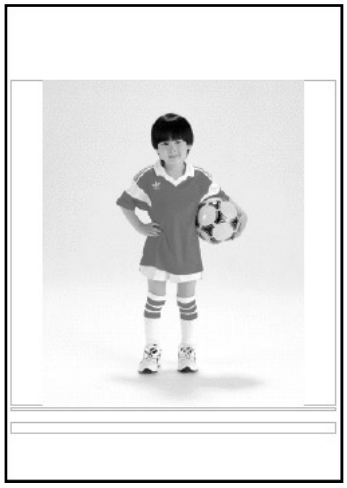
「全削除」をクリックします。写真が割り付けられているページがあると、上と同じメッセージ画面が表示されます。削除するには「はい」をクリックします。削除するのをやめるときは「いいえ」をクリックします。

● 写真を切り取る

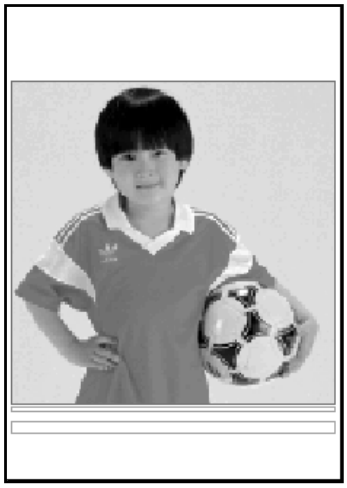
写真をテンプレートにドラッグしたとき、「トリム」の「自動トリム」、「入込み」の設定に従ってトリミングされます。ドラッグする前に「自動トリム」または「入込み」を選択しておくか、写真を割り付けてから「自動トリム」、「入込み」または「フリー」を選択します。



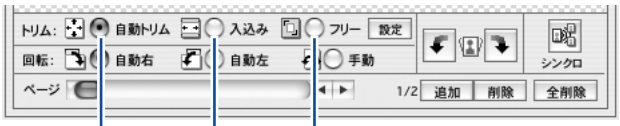
「自動トリム」編集後



「入込み」編集後



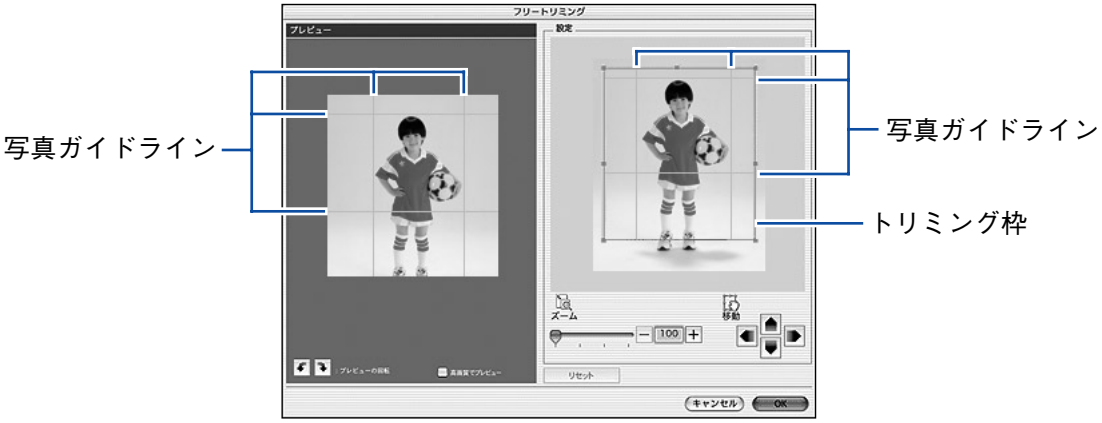
「フリー」編集後



「自動トリム」　「フリー」

「入込み」(Macintosh)／「入れ込み」(Windows)

- **「自動トリム」**：写真の縦横比を固定したまま余白が出ないように、写真の上下または左右を切り取って写真をフレームの中央に配置します。
- **「入込み」【Macintosh】／「入れ込み」【Windows】**：写真の縦横比を固定したまま、写真全体がフレーム内に収まるように縮小し、中央に配置します。写真の上下または左右に余白が残ります。
- **「フリー」**：「フリー」を選択すると、「フリートリミング」画面が表示され、写真を拡大してトリミング領域を設定できます。トリミング枠を移動することもできます。「フリー」の設定については、「EPPLayout オンラインヘルプ」の「D-2-3. 写真を切り取ったり回転させる」をご覧ください。



> **注意**　「写真ガイドライン」を表示させるには、EPPTemplate を使って、あらかじめ使用するテンプレート上に写真ガイドラインを作成しておく必要があります。詳しくは、「写真枠にガイドラインを付ける」（132 ページ）をご覧ください。

「トリム」を複数のフレームに一括設定するには

「トリム」を設定した写真を選択し、「シンクロ」をクリックします。



次の条件をすべて満たしているフレームに一括設定されます。

- 選択した写真と同じテンプレート上、またはパッケージ内にあること
- 選択した写真と同じアルファベットの付いたフレームであること
- 選択した写真と同じサイズであること（誤差が 1mm 以内ならば、同じサイズと見なす）

● 写真を回転させる

写真をテンプレートにドラッグすると、「回転」の設定に従ってフレームに収まります。ドラッグする前に「自動右」、「自動左」、「手動」を選択しておくか、写真を割り付けてから、（左回り）や（右回り）で回転させます。

- **「自動右」**：横長の写真を縦長のフレームにドラッグしたときや、縦長の写真を横長のフレームにドラッグしたとき、写真が右回りに 90 度回転してフレームに収まります。写真の長辺とフレームの長辺の向きが同じ場合は回転しません。
- **「自動左」**：横長の写真を縦長のフレームにドラッグしたときや、縦長の写真を横長のフレームにドラッグしたとき、写真が左回りに 90 度回転してフレームに収まります。写真の長辺とフレームの長辺の向きが同じ場合は回転しません。
- **「手動」**：フレームの横長、縦長にかかわらず、写真はそのままの向きで配置され回転しません。

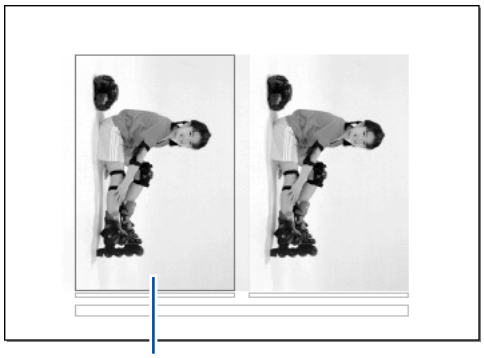


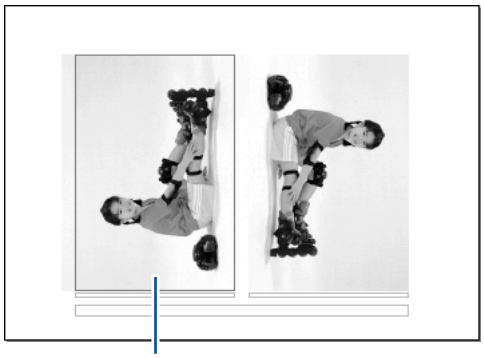
割り付けた写真を回転させるには

や を使います。

「自動右」または「自動左」が設定されているとき

写真を選択し、（左回り）または（右回り）をクリックすると、写真は左または右に 180 度回転します。90 度回転させたいときは、「手動」を選択し、または をクリックします。


写真をクリックする。


右に 180 度回転させた場合

「手動」が設定されているとき

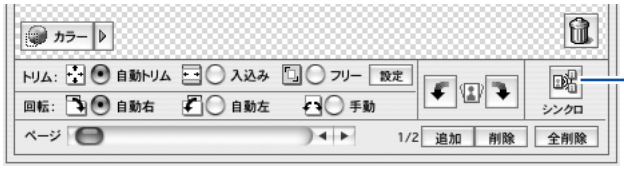
写真を選択し、（左回り）または（右回り）をクリックすると、写真は左または右に 90 度回転します。



左に 90 度回転させた場合

「回転」を複数のフレームに一括設定するには

「回転」を設定した写真を選択し、「シンクロ」をクリックします。



次の条件をすべて満たしているフレームに一括設定されます。

- 選択した写真と同じテンプレート上、またはパッケージ内にあること
- 選択した写真と同じアルファベットの付いたフレームであること
- 選択した写真と同じサイズであること（誤差が 1mm 以内ならば、同じサイズと見なす）

● 写真の色調を調整する

写真の色調を調整する方法は、「色造り」と「カラー」の２つがあります。

「色造り」を使って写真の色調を変える

「色造り」をクリックしてメニューから設定名を選択すると、写真全体の色調を調整することができます。

a)標準カラーマッチング（初期設定値）
従来の色調で印刷します。

b)CRYSTARIO ラボプリント調 Type1
「標準カラーマッチング」と比べ、深い赤、濃い黄の表現を重視した色調となります。ラボプリント調では、最も一般的な表現です。

c)CRYSTARIO ラボプリント調 Type2
「CRYSTARIO ラボプリント調 Type1」よりさらに濃い目の色調になります。暗部を重視した重厚感のある表現を好まれる場合にご利用ください。

d)CRYSTARIO ラボプリント調 Type3
「標準カラーマッチング」と比べ、全体的に明度を抑えた色調になります。軽い仕上げを好まれる場合にご利用ください。

e)CRYSTARIO ラボプリント調 Type4
「標準カラーマッチング」と比べ、青み、赤み、黄色みが濃い色調となります。明度と彩度は若干抑え気味になっています。

f) CRYSTARIO ラボプリント調 Type5
「CRYSTARIO ラボプリント調 Type4」を若干強めた色調となり、特に赤みが濃い色調となります。

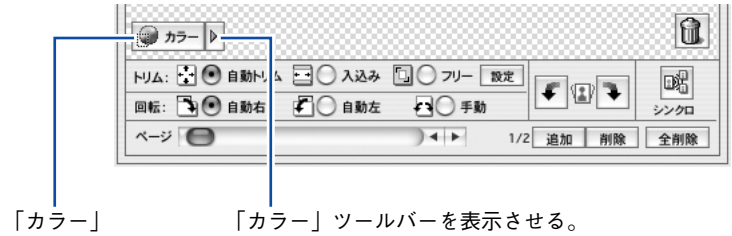
表示される写真全体の色調を見ながら、お好みの設定名を選択してください。「標準カラーマッチング」を選択すると、元の色調に戻ります。



「色造り」の初期設定は「環境設定」で指定できます。詳しくは、「EPPLayout オンラインヘルプ」の「A-5-4. 色造りの初期設定を指定する」をご覧ください。

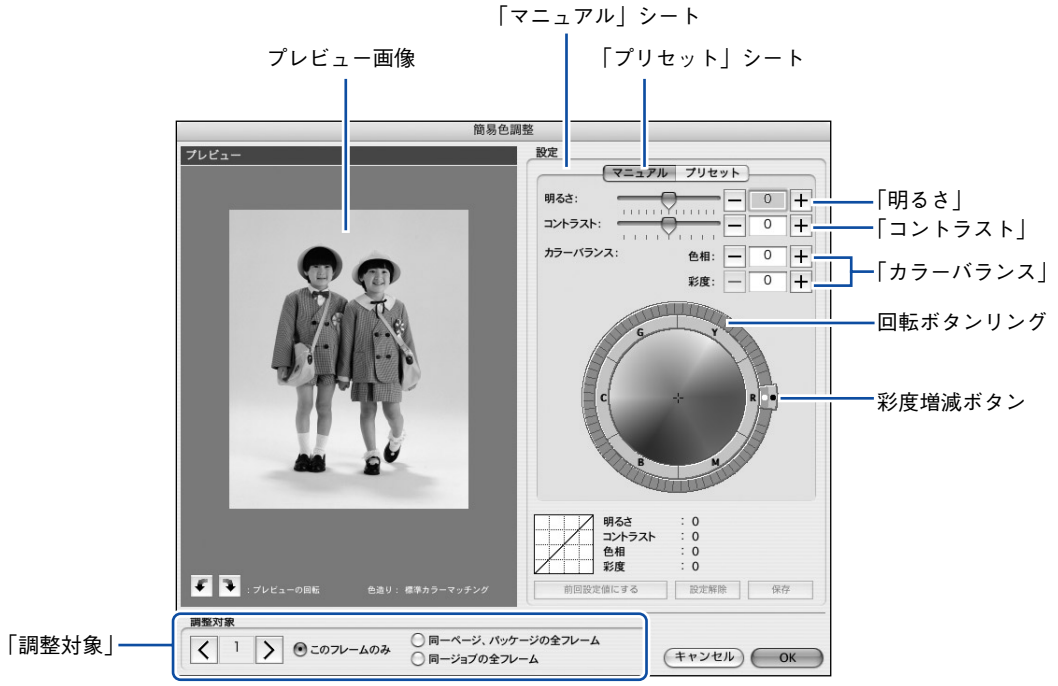
「カラー」を使って写真の色調を調整する

「カラー」を使って、「明るさ」、「コントラスト」、「カラーバランス」を調整できます。



写真を選択し、「カラー」をクリックすると、「簡易色調整」画面が表示されます。「マニュアル」シートで色調を調整します。プレビュー画像に調整結果が反映されます。「マニュアル」シートの設定を「プリセット」シートに保存できます。

- **「明るさ」、「コントラスト」**：スライダーをドラッグするか、「−」や「＋」をクリックして調整します。設定値ボックスに数値を半角英数字で入力することもできます。
- **「カラーバランス」**：「色相」を回転ボタンリングで調整します。「彩度」を彩度増減ボタンで調整します。「−」や「＋」をクリックして調整したり、設定値ボックスに数値を半角英数字で入力することもできます。



「簡易色調整」を適用する

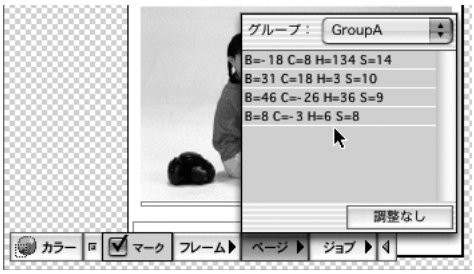
設定した「簡易色調整」をフレーム、ページとパッケージ、またはジョブのどれに適用するかを「調整対象」で選択できます。

設定した「簡易色調整」を保存するには

「保存」をクリックすると、「簡易色調整の保存」画面が表示されます。プリセット名とグループ名を入力して「OK」をクリックします。

「カラー」ツールバーの使い方

「カラー」の ▷ をクリックすると、ツールバーが表示されます。「マーク」チェックボックスにチェック（✓印）を入れると、「簡易色調整」が適用されているフレームの左上に ● マークが表示されます。「フレーム」、「ページ」、「ジョブ」をクリックして設定を適用する「適用対象」を選択し、プリセットリストから「簡易色調整」のグループと設定名を選択します。フレームに適用する場合は、あらかじめテンプレートのフレームを選択しておきます。



「フレーム」、「ページ」、「ジョブ」を使うには、プリセットシートに「簡易色調整」の設定を保存しておきます。保存しておかないと、プリセットリストには設定名は表示されません。さらに詳しい「カラー」の設定と「カラー」ツールバーの使い方については、「EPPLayout オンラインヘルプ」の「D-2-4. 写真の色調を調整する」をご覧ください。

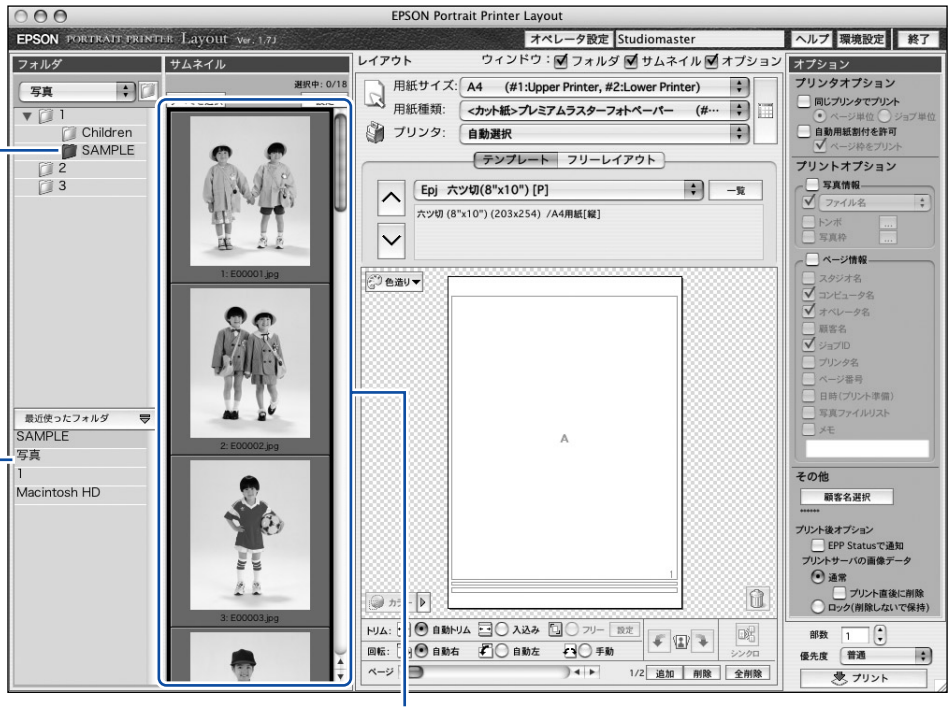
■「フリーレイアウト」モードで写真をレイアウトする

❶ 画面左にある「フォルダ」ウィンドウで、JPEG または TIFF* の画像ファイルが入っているフォルダをクリックして選択します。

* EPPLayout は LZW 圧縮された TIFF 画像ファイルを読み込むことができます。

「サムネイル」ウィンドウにサムネイルが表示されます。

画像ファイルの入ったフォルダを選択する。



最近使ったフォルダが表示される。　　サムネイルが表示される。

ポイント

- 「最近使ったフォルダ」には、これまでに使ったフォルダが新しいものから 20 個まで表示されます。「最近使ったフォルダ」ウィンドウからフォルダを選択することもできます。
- フォルダ内にサブフォルダがあると、▷（Macintosh）／⊞（Windows）がフォルダの左側に表示されます。▷（Macintosh）／⊞（Windows）をクリックすると▽（Macintosh）／⊟（Windows）に変わり、サブフォルダが表示されます。
- 「フォルダ」ウィンドウ内でのフォルダの移動、コピー、削除、フォルダ名の変更はできません。

注意

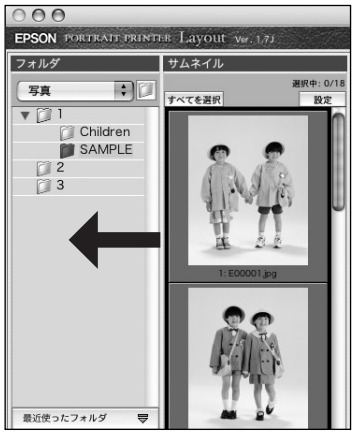
選択したフォルダ内に TIFF* または JPEG の画像ファイルがないと、「サムネイル」ウィンドウには何も表示されません。

* EPPLayout は LZW 圧縮された TIFF 画像ファイルを読み込むことができます。

「フォルダ」ウィンドウと「サムネイル」ウィンドウの幅を変更する

「フォルダ」ウィンドウと「サムネイル」ウィンドウの間にあるバーにポインタを合わせるとポインタが ⇿ に変わります。バーを左にドラッグすると、「サムネイル」ウィンドウの幅が大きくなります。大きなサイズのサムネイルを表示したり、多くのサムネイルを表示できます。サムネイルのサイズは「設定」で選択できます。

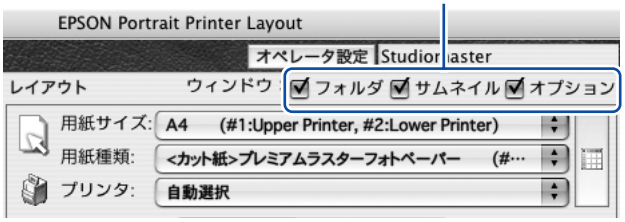
ドラッグする



ウィンドウを表示／非表示にする

「ウィンドウ」の「フォルダ」、「サムネイル」、「オプション」のチェックボックスにチェック（✓印）を入れるとウィンドウが表示されます。チェック（✓印）を外すと非表示になります。「フォルダ」ウィンドウを表示すると必ず「サムネイル」ウィンドウも並んで表示されます。「フォルダ」ウィンドウだけを表示することはできません。「レイアウト」ウィンドウの表示／非表示の設定はできません。

✓を入れると表示 / 外すと非表示



サムネイルにファイルマークを付ける

サムネイルに 4 段階評価のファイルマークを付けることができます。同じような写真でもファイルマークを目安にすると画質などを簡単に判断できます。EPPLayout で付けたファイルマークは EPPWorks でもサムネイルに表示されます。EPPWorks で付けたマークも EPPLayout でサムネイルに表示されます。

1【Macintosh】
サムネイルの下部（下から約 1 ／ 3 の高さまで）にポインタを合わせます。
【Windows】
サムネイルにポインタを合わせ、右クリックします。ファイルマークのポップアップウィンドウが表示されます。

【Macintosh】



【Windows】

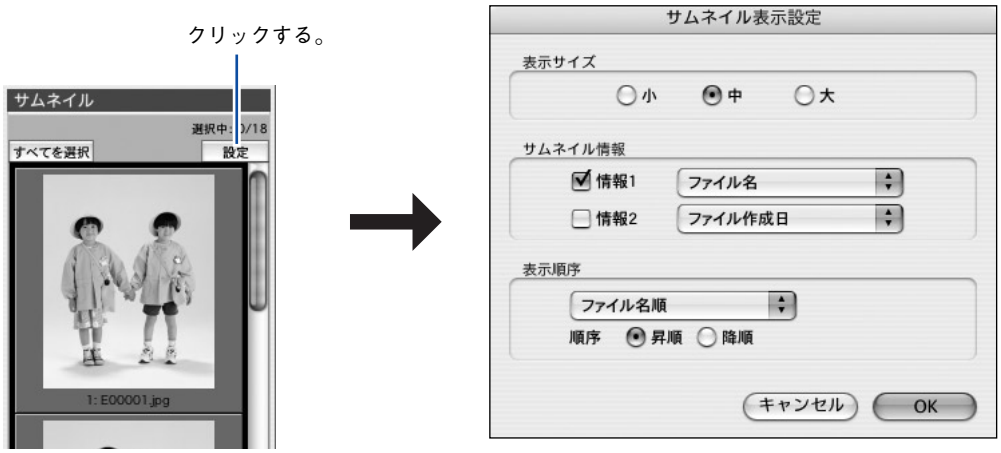


2 写真に付けたいファイルマークをクリックします。
赤いマーク の評価が最も高く、青いマーク は最も低くなります。
ファイルマークを変更するには、別のマークをクリックします。
ファイルマークを解除するには、 をクリックします。

サムネイルの表示方法を設定する

サムネイルのサイズ、表示する写真情報、表示の順序を設定できます。

1「設定」をクリックします。
「サムネイル表示設定」画面が表示されます。



2 各項目を設定します。
3「OK」をクリックします。

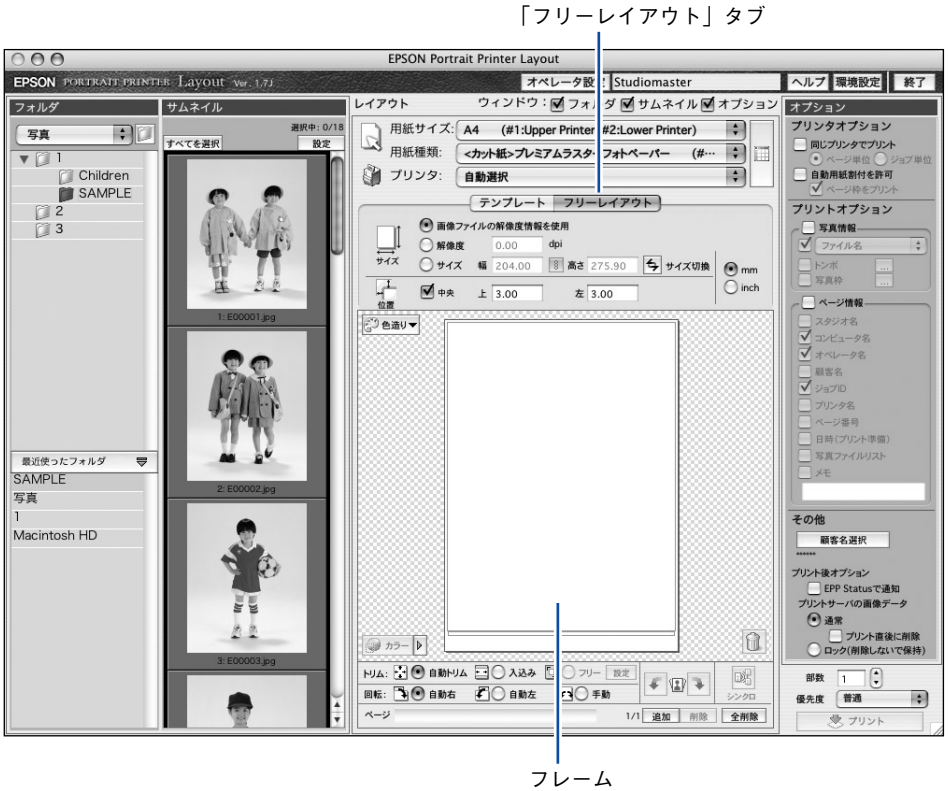
サムネイルのサイズを変更する：
「サムネイル」ウィンドウに表示されるサムネイルのサイズを変更できます。「表示サイズ」の「小」、「中」、「大」からサムネイルのサイズを選択します。

写真情報をサムネイルに表示する：
サムネイルの下に写真情報を表示できます。「サムネイル情報」の「情報 1」チェックボックスにチェック（✓印）を入れ、（Macintosh）／（Windows）をクリックし、プルダウンメニューから情報を選択します。「ファイル名」、「ファイル作成日」、「ファイル編集日」から選択できます。サムネイルの下 1 行目に情報が表示されます。サムネイルの下 2 行目にも情報を表示するときは、「情報 2」チェックボックスにチェック（✓印）を入れ、（Macintosh）／（Windows）をクリックし、プルダウンメニューから情報を選択します。

表示順序：
サムネイルの情報の種類別に表示する順序を設定できます。「表示順序」の（Macintosh）／（Windows）をクリックし、プルダウンメニューから情報の種類を選択します。「ファイル名順」、「ファイル作成日順」、「ファイル編集日順」、「ファイルマーク順」から選択できます。次に、「昇順」または「降順」を選択します。「ファイルマーク順」に設定すると、昇順は評価の高い順、降順は評価の低い順になります。

2 「フリーレイアウト」タブをクリックします。

プリント品質領域と同じ大きさのフレームが中央に青線で表示されます。



3 ページ枠を選択し、「トリム」や「回転」を設定します。

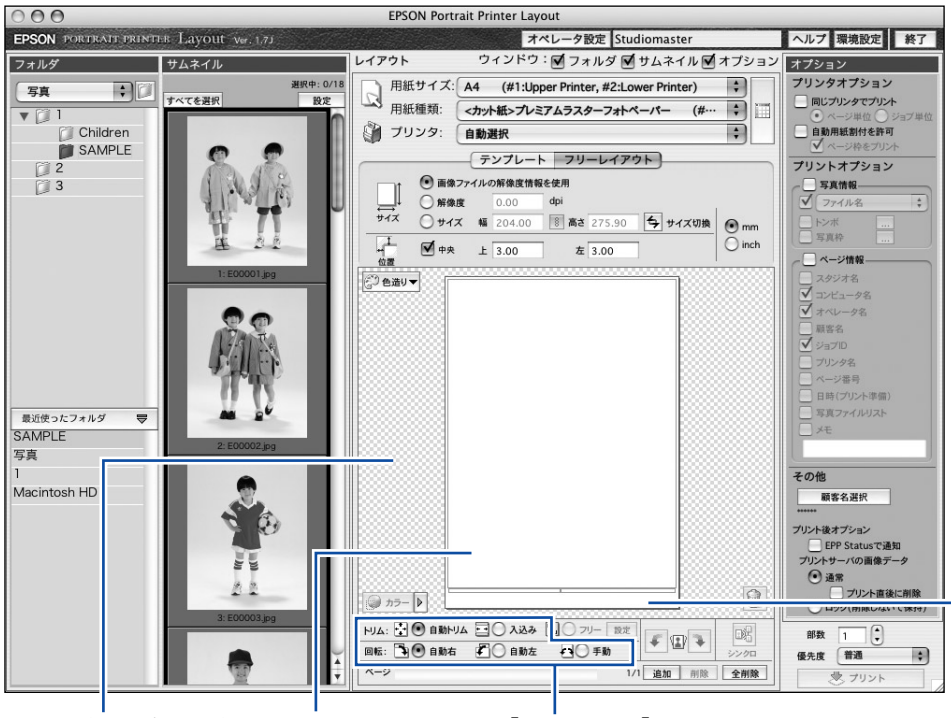
ページ枠に「トリム」の「自動トリム」や「入込み」、「回転」を設定しておくと、サムネイルから写真をドラッグしたときにすべてのフレームに同じ設定で割り付けられます。
写真を割り付けてから、フレームごとに設定を変更することもできます。「トリム」の「フリー」はページ枠に設定できません。写真を割り付けてからフレームに設定します。

ページ枠を選択するには

- フレームの外側またはページ（テンプレート）の外側をクリックします。ページ（テンプレート）が緑の枠線で表示され、ページ枠が選択された状態になります。

【Macintosh のみ】

- 「サムネイル」ウィンドウの写真をクリックします。ページ（テンプレート）が黒の枠線で表示され、ページ枠が選択された状態になります。



「トリム」や「回転」を設定するには

ページ枠が選択された状態で、「トリム」の「自動トリム」や「入込み」、「回転」を設定します。表示されているページ（テンプレート）のフレームすべてに同じ設定が適用されます。

「トリム」

- **「自動トリム」**：写真の縦横比を固定したまま余白がないように、写真の上下または左右を切り取って写真をフレームの中央に配置します。
- **「入込み」【Macintosh】／「入れ込み」【Windows】**：写真の縦横比を固定したまま、写真全体がフレーム内に収まるように縮小し、中央に配置します。写真の上下または左右に余白が残ります。

「回転」

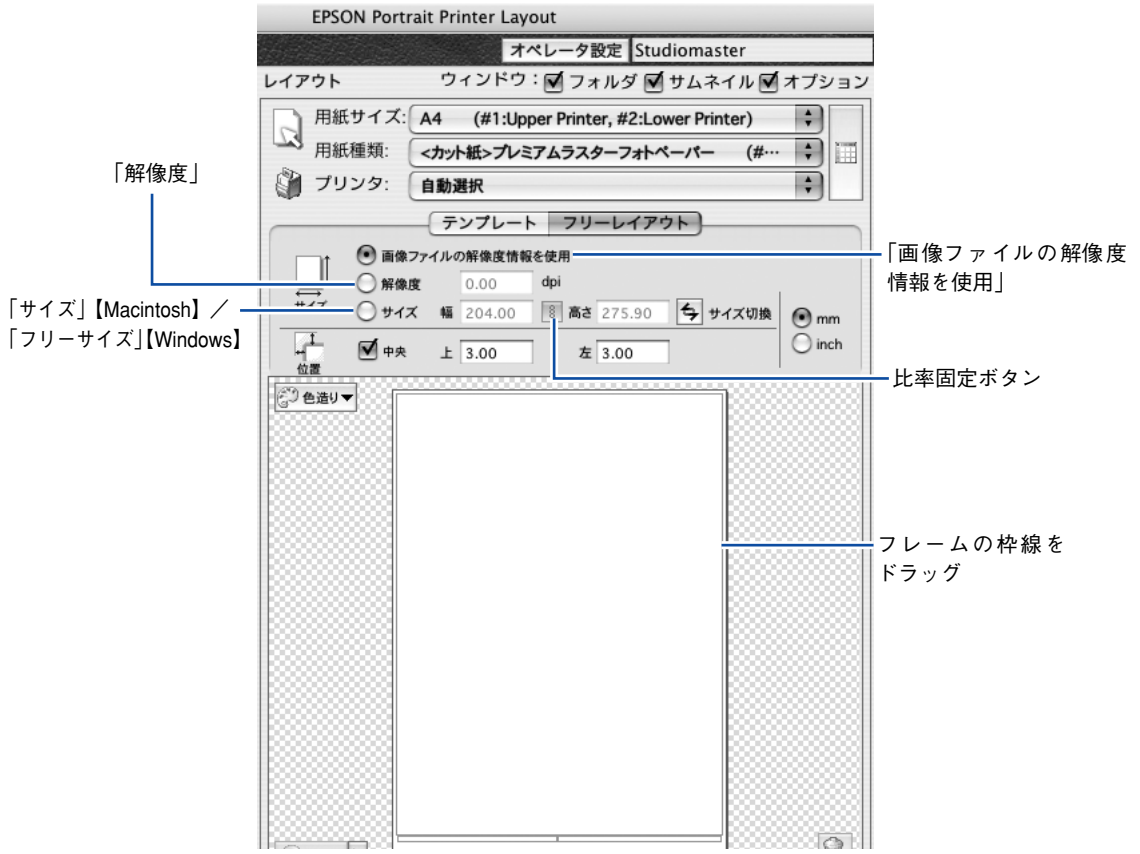
- **「自動右」**：横長の写真を縦長のフレームにドラッグしたときや、縦長の写真を横長のフレームにドラッグしたとき、写真が右回りに 90 度回転してフレームに収まります。写真の長辺とフレームの長辺の向きが同じ場合は回転しません。
- **「自動左」**：横長の写真を縦長のフレームにドラッグしたときや、縦長の写真を横長のフレームにドラッグしたとき、写真が左回りに 90 度回転してフレームに収まります。写真の長辺とフレームの長辺の向きが同じ場合は回転しません。
- **「手動」**：フレームの横長、縦長にかかわらず、写真はそのままの向きで配置され回転しません。

> **注意** ページ枠に対しては、写真を割り付けていない状態でも「トリム」や「回転」の設定ができますが、フレームに対しては写真を割り付けないと設定できません。

4 写真サイズを設定します。

「画像ファイルの解像度情報を使用」、「解像度」または「サイズ」（Macintosh）／「フリーサイズ」（Windows）を選択し、設定します。

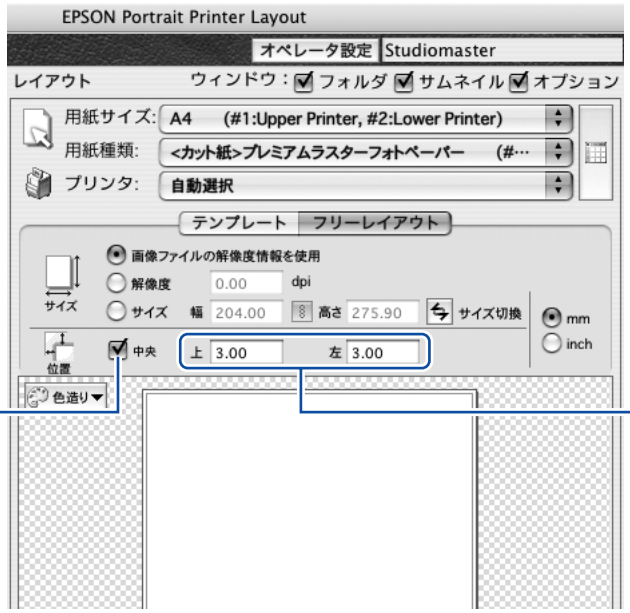
- **「画像ファイルの解像度情報を使用」**：選択した写真の画像サイズ情報を元にして写真サイズが自動的に設定されます。
- **「解像度」**：解像度 (単位 : dpi) を半角英数字で入力して写真サイズを設定します。解像度が大きくなるほど、写真サイズは小さくなります。指定された解像度がフレームに対して大きすぎると、フレームに最大サイズで収まる解像度が設定されます。
- **「サイズ」【Macintosh】／「フリーサイズ」【Windows】**：フレームの幅と高さを半角英数字で入力するか、フレームの枠線や角をドラッグして写真サイズを設定します。フレームの枠線にポインタを合わせると、ポインタが ↔ または ↕ に変わります。フレームの角にポインタを合わせるとポインタが ⤡ に変わります。枠線の上下、左右の一辺をドラッグするか、フレームの角をドラッグします。「幅」と「高さ」の数値が連動して変わります。比率固定ボタンをクリックして 🔗 にすると、幅と高さの比率が固定され、もう一度クリックすると ⛓ に変わり、比率固定が解除されます。



5 フレームの位置を設定します。

「位置」を設定してフレームの位置を調節します。
フレームの位置は写真を割り付けたあとでも設定できます。

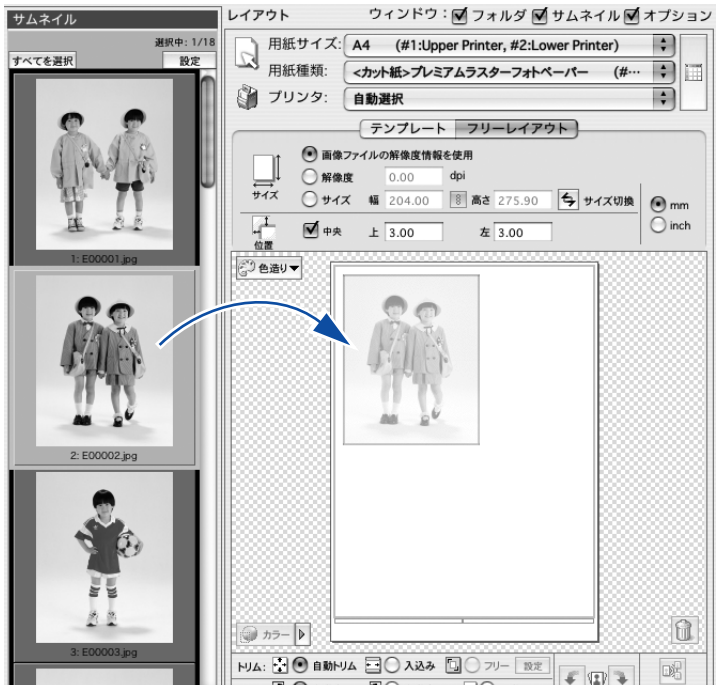
- **「中央」**：写真を中央に配置したい場合は、「中央」チェックボックスのチェック（✓印）を付けます。
- **「上」、「左」**：フレームの上辺からページ枠の上辺までの距離と、フレームの左辺からページ枠の左辺までの距離を半角英数字で入力します。「中央」チェックボックスのチェック（✓印）を外してから設定します。また、フレーム内にポインタを置きドラッグするか、キーボードの「↑」、「↓」、「←」、「→」キーを使ってもフレームを移動できます。
- **「サイズ切換」**：フレームを 90 度回転させます。写真を回転させることはできません。ただし、回転するとプリント可能領域を超えてしまう場合は回転しません。



> **ポイント**
>
> 「環境設定」画面で「画像プリント領域を拡張する」を選択した場合は、プリント品質領域外（緑の枠線外）に写真を配置できますが、その部分のプリント画質が低下することがあります。詳しくは、「EPPLayout オンラインヘルプ」の「A-5-5. 画像プリント領域を拡張する（「フリーレイアウト」モードのみ）」をご覧ください。

6 写真をテンプレートにドラッグします。

「サムネイル」ウィンドウの写真をクリックし、テンプレートにドラッグするとフレームに写真が割り付けられます。複数枚の写真をドラッグすると、写真の枚数に応じて新規ページが追加され、写真が 1 枚ずつ割り付けられます。追加されたページには写真をドラッグしたページの設定が反映されます。



複数の写真をまとめて選択するには

「**複数枚を同時に割り付けるには**」（190 ページ）をご覧ください。

テンプレートのページを追加するには

「テンプレートのページを追加する」（193 ページ）をご覧ください。

ポイント

- 複数ページのテンプレートを作成してからページを追加すると、1 ページ目のテンプレートと同じ設定のページが追加されます。
- ページ間を移動するには、「レイアウト」ウィンドウ下の「ページ」スクロールバーをドラッグするか、◀ や ▶ をクリックします。

新しい写真と置き換えるには

「新しい写真と置き換えるには」（192 ページ）をご覧ください。

写真を切り取るには

「写真を切り取る」（195 ページ）をご覧ください。「トリム」の「フリー」を設定するには、写真サイズの設定の「サイズ」（Macintosh）／「フリーサイズ」（Windows）を選択します。

写真を回転させるには

「写真を回転させる」（197 ページ）をご覧ください。

写真の色調を調整するには

「写真の色調を調整する」（199 ページ）をご覧ください。

フレームから写真を削除するには

写真をクリックして削除したい写真を選択し、  をクリックします。フレームから写真を削除しても、写真は「サムネイル」ウィンドウやフォルダからは削除されません。

テンプレートのページを削除するには

「テンプレートのページを削除する」（194 ページ）をご覧ください。

■ プリントの準備をする

写真のレイアウトが終わったら、「オプション」ウィンドウでプリントの準備をします。「オプション」ウィンドウの「プリンタオプション」、「プリントオプション」、「その他」の各項目を必要に応じて設定してください。

> ポイント
> EPPLayout 画面の「オプション」ウィンドウが非表示になっている場合は、「ウィンドウ」の「オプション」チェックボックスにチェック（✓印）を入れて表示させます。

●「プリンタオプション」を設定する

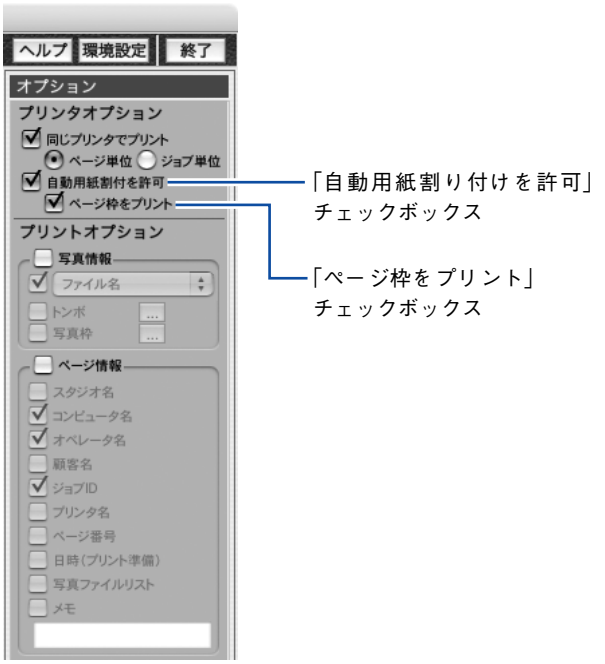
「プリンタ」の「自動選択」と「プリンタオプション」の「同じプリンタでプリント」（「ページ単位」/「ジョブ単位」）は、2台のプリンタを内蔵した機種を対象にプリントデータを自動的に振り分ける機能です。本機は内蔵プリンタが 1台のため、これらを設定しても機能しません（設定しても動作に影響はありません）。



> ポイント
> オプションの EX-7000 はプリンタの自動選択の対象になりません。

できるだけ多くのページを用紙に割り付ける

「自動用紙割付を許可」を使うと、複数のページを用紙に自動的に割り付けます。自動用紙割付の設定が有効になるのは、A3 ノビの用紙を使用する場合のみです。この機能を使うと、できるだけ多くのページが用紙に割り付けられるので用紙の節約になります。特に、小さいサイズの写真をレイアウトしたページをプリントする場合は、必要な用紙枚数を減らすことができます。
「自動用紙割付を許可」チェックボックスにチェック（✓印）を入れます。



ポイント　ページの切り取り線をプリントしたい場合は、「ページ枠をプリント」チェックボックスにチェック（✓印）を入れます。

●「プリントオプション」を設定する

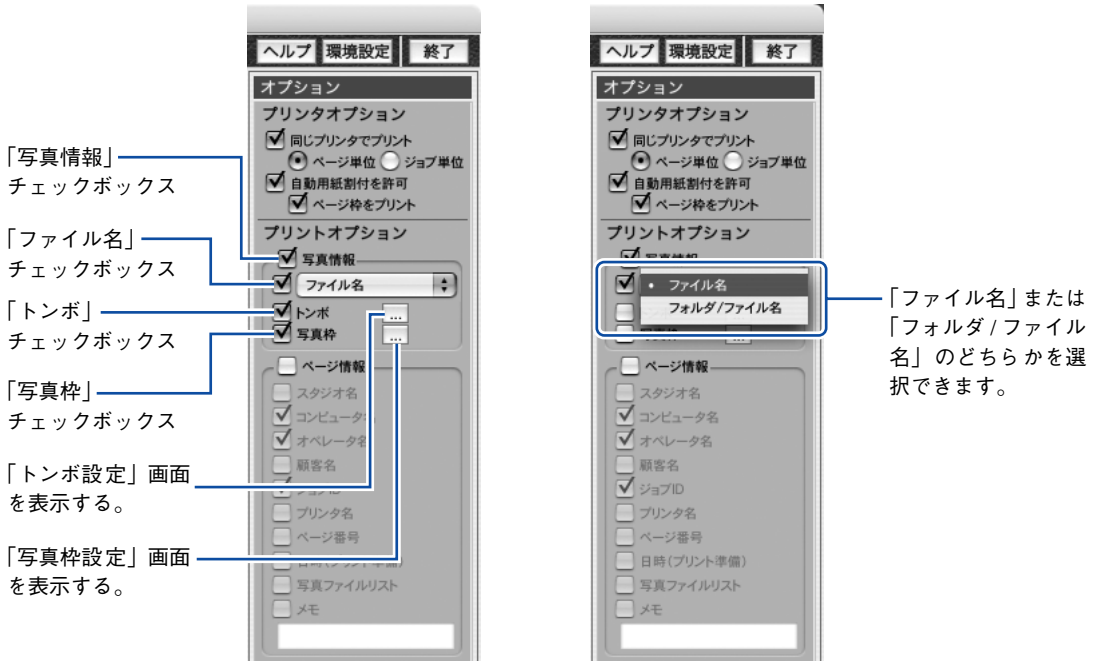
プリントしたい写真情報を指定する

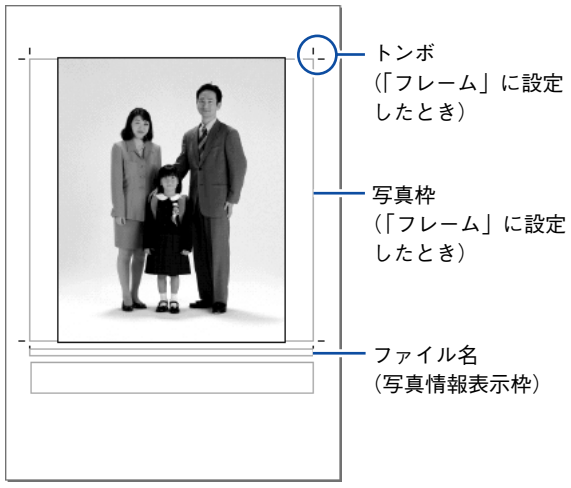
ファイル名、トンボ、写真枠を付けてプリントできます。「写真情報」チェックボックスにチェック（✓印）を入れ、「ファイル名」、「トンボ」、「写真枠」を設定します。

- **「ファイル名」または「フォルダ / ファイル名」**：「ファイル名」を選択した場合は、ファイル名をプリントします。「フォルダ / ファイル名」を選択した場合は、写真の保存してあるフォルダ名とファイル名をプリントします。選択した写真情報は写真の上または下にある写真情報枠に印刷されます。なお、画面上の写真情報枠には表示されませんので、プリントする前に選択状態を確認してください。
- **「トンボ」**：「トンボ設定」画面で設定したトンボが写真やフレームに対してプリントされます。「トンボ」の右の [...] ボタンをクリックすると「トンボ設定」画面が表示され、次の設定ができます。
  写真：写真に対してトンボをプリントします。
  フレーム：フレームに対してトンボをプリントします。

写真 + フレーム：写真とフレームの両方に対してトンボをプリントします。写真またはフレームからトンボまでの距離、トンボの長さ、線幅、色が設定できます。「トンボ設定」画面については、「EPPLayout オンラインヘルプ」の「E-3-1. 写真情報をプリントする」をご覧ください。

- **「写真枠」**：「写真枠設定」画面で設定した枠がプリントされます。「写真枠」の右の … ボタンをクリックすると「写真枠設定」画面が表示され、次の設定ができます。
  写真：写真の枠をプリントします。
  フレーム：フレームをプリントします。
  写真 + フレーム：写真の枠とフレームの両方をプリントします。枠の線幅と色が設定できます。「写真枠設定」画面については、「EPPLayout オンラインヘルプ」の「E-3-1. 写真情報をプリントする」をご覧ください。



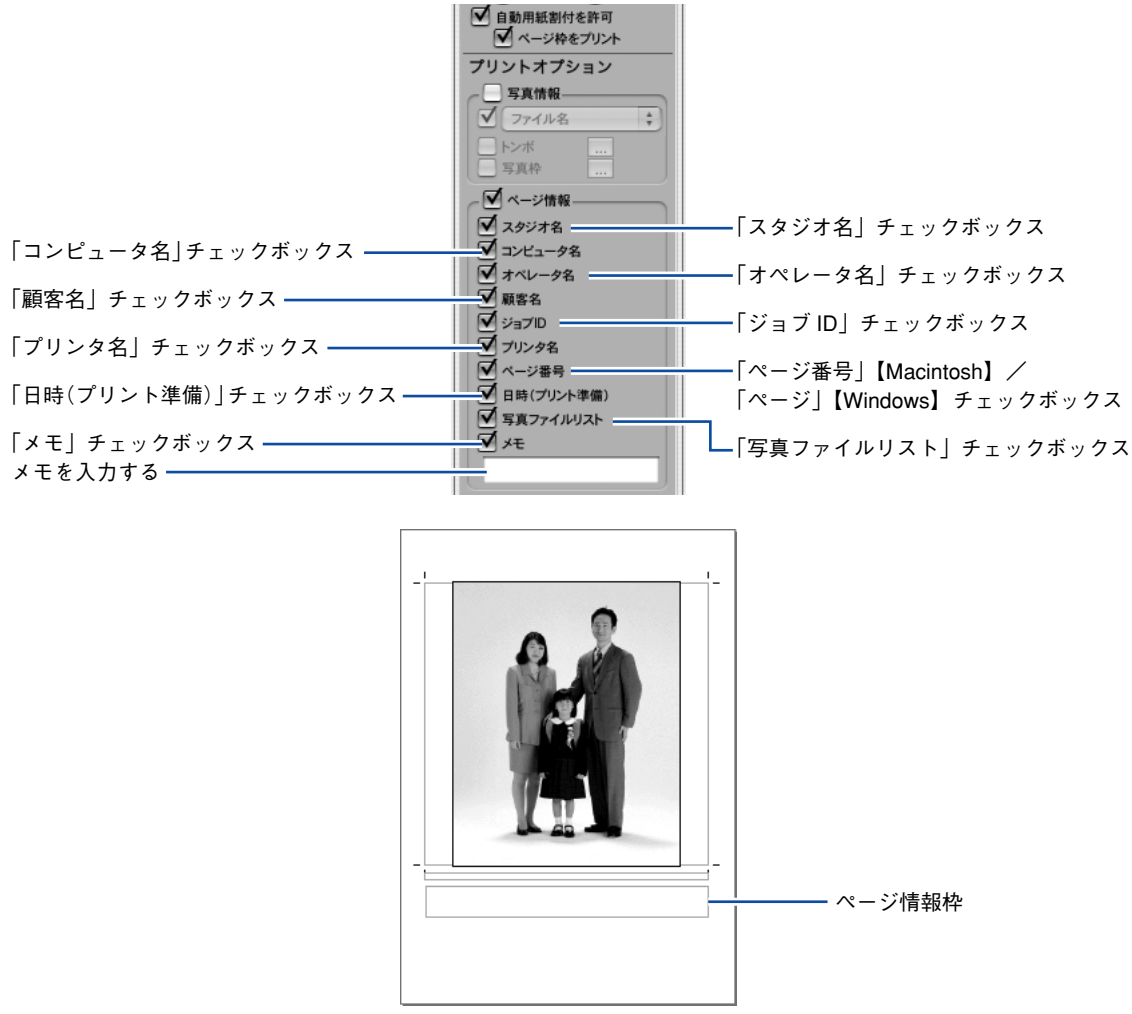


詳しくは、「EPPLayout オンラインヘルプ」の「E-3-1. 写真情報をプリントする」をご覧ください。

プリントしたいページ情報を指定する

テンプレートのページ情報枠にページ情報をプリントできます。「ページ情報」チェックボックスにチェック（✓ 印）を入れ、プリントしたい情報のチェックボックスにチェック（✓印）を入れます。
ページ情報には次の項目があります。

- **「スタジオ名」**：サーバに登録したスタジオ名
- **「コンピュータ名」**：クライアントコンピュータ名
- **「オペレータ名」**：プリントジョブを作成したユーザーのオペレータ名
- **「顧客名」**：「その他」の「顧客名選択」で選択されている顧客名
- **「ジョブ ID」**：プリントのジョブ ID
- **「プリンタ名」**：使用するプリンタ名
- **「ページ番号」【Macintosh】／「ページ」【Windows】**：ページ番号
- **「日時（プリント準備）」**：プリントジョブのスプール開始日時
- **「写真ファイルリスト」**：ページにレイアウトされた写真のファイル名
- **「メモ」**：ボックスに入力されたメモをプリントします。半角で 250 文字、全角で 125 文字まで入力できます。



ポイント

ページ情報を選択しても、画面上のページ情報枠には表示されません。プリントする前にどの項目が選択されているかを確認してください。

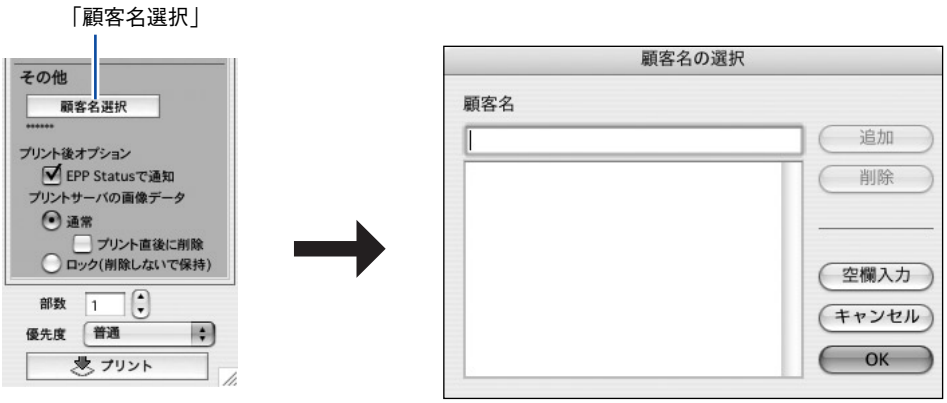
●「その他」のオプションを設定する

プリントする顧客名の選択、プリント終了の通知、プリント後のデータの処理などを設定します。また、画像データの解像度を設定します。

顧客名を選択する

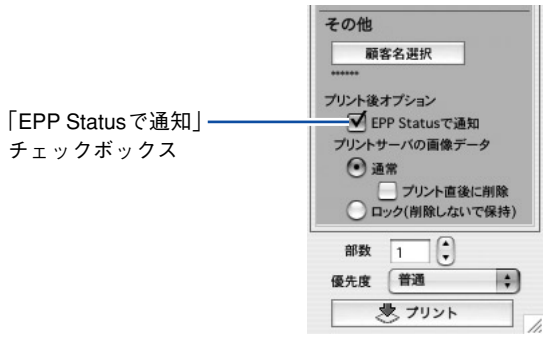
プリントしたい顧客名を選択します。「顧客名選択」をクリックして「顧客名の選択」画面を表示させます。顧客名を選択するか、入力して「OK」をクリックします。「顧客名選択」下に顧客名が表示されます。
「プリントオプション」の「ページ情報」にある「顧客名」チェックボックスにチェック（✓印）を入れると、顧客名がプリントされます。
顧客名リストを編集することもできます。

- **「追加」**：「顧客名：」ボックスに追加したい顧客名を入力し「追加」をクリックすると、リストに顧客名が登録されます。すでにリストに登録されている顧客名を入力すると、その顧客名が選択されます。
- **「削除」**：削除したい顧客名をリストから選択し「削除」をクリックすると、その顧客名がリストから削除されます。
- **「空欄入力」**：「空欄入力」をクリックすると、「顧客名選択」下の表示は「******」となりプリントされません。



プリント終了通知を表示させる

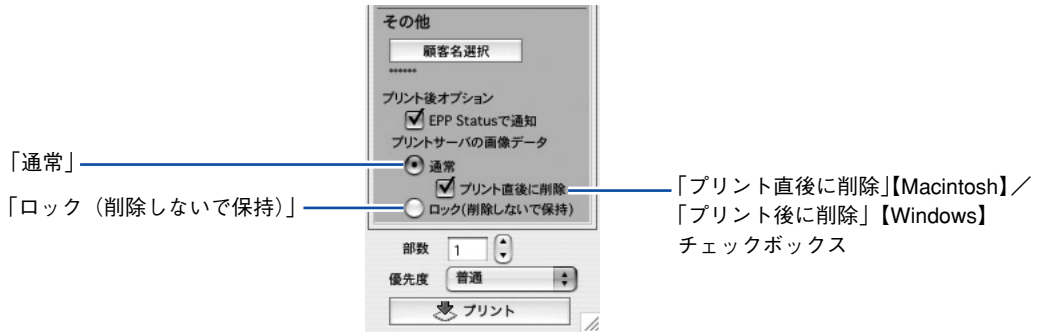
プリントが終了したとき、クライアントコンピュータの画面にプリント終了メッセージを表示させることができます。「EPP Status で通知」のチェックボックスにチェック（✓ 印）を入れると、プリント終了後、プリント終了メッセージが EPPStatus により表示されます。詳しくは、「EPPLayout オンラインヘルプ」の「E-5. プリント終了を確認する」をご覧ください。



プリント終了後のデータの処理を設定する

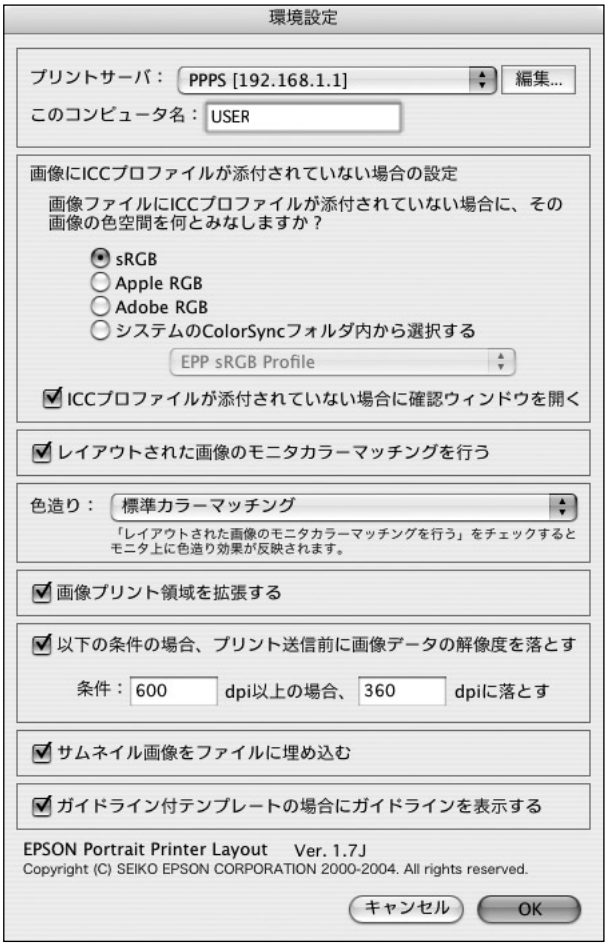
プリントが終了したとき、送信した画像データをサーバから削除するか、サーバに登録するかを設定します。「プリントサーバの画像データ」の項目を選択します。

- **「通常」**：サーバのプリントジョブリストに登録され、サーバにより管理されます。プリント終了後すぐに画像データを削除したいときは、「プリント直後に削除」（Macintosh）／「プリント後に削除」（Windows）チェックボックスにチェック（✓印）を入れます。
- **「ロック（削除しないで保持）」**：サーバのプリントジョブリストに登録され、サーバから自動削除されません。ユーザーが画像データをサーバから削除するまで残るので、繰り返しプリントできます。サーバのプリントジョブリスト上では、ロックされているプリントジョブには アイコンが表示されます。



画像データの解像度を設定する

画像データの解像度が大きい場合、通常のプリントに対応できるように解像度を落とすことができます。画面右上の「環境設定」をクリックし、「以下の条件の場合、プリント送信前に画像データの解像度を落とす」チェックボックスにチェック（✓ 印）を付け、「OK」をクリックします。写真の解像度が指定解像度を超えている場合、自動的に指定解像度に落としてテンポラリーファイルを作成し、サーバに送信します。



初期設定では、“「条件」が 600 dpi 以上の場合、360 dpi に落とす”になっていますが、これらの解像度を変更することもできます。詳しくは、「EPPLayout オンラインヘルプ」の「A-5-6. 画像データの解像度を変更する」をご覧ください。

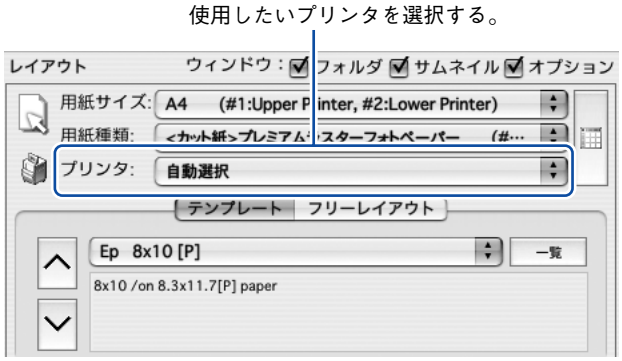
> ポイント
> 「環境設定」のそのほかの項目については、「EPPLayout オンラインヘルプ」の「A-5.「環境設定」を行う」をご覧ください。

■ 写真をプリントする

> プリントを行う前に、プリンタの用紙やインクカートリッジの状態も確認してください。詳しくは、「プリンタの状態を確認する」(244 ページ) をご覧ください。

❶「プリンタ」の ⇕ をクリックしプルダウンメニューから使用したいプリンタを選択します。

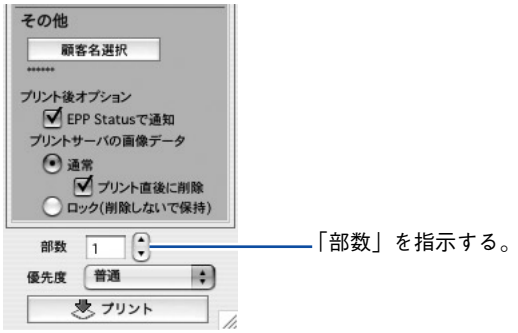
「自動選択」、「#1：PPPS-1B」、「#3: EX-7000」（オプション接続時のみ）から選択できます。「自動選択」を選択すると、サーバがプリンタを選択します。



> - 選択している「用紙サイズ」と「用紙種類」が、選択したプリンタで使用できない場合はエラーメッセージが表示されます。
> - リスト右側の ▦ をクリックすると、使用するプリンタに応じて「用紙サイズ」と「用紙種類」の組み合わせを一覧表から選択することができます。
>
> ☞ 本書「用紙を選択する」(180 ページ)

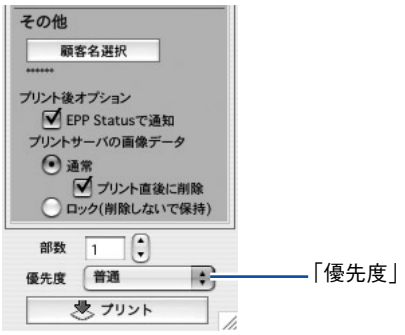
❷「部数」の ⇕ をクリックしてプリント部数を設定します。

1 ～ 99 部まで設定できます。ボックスに半角英数字で部数を入力することもできます。



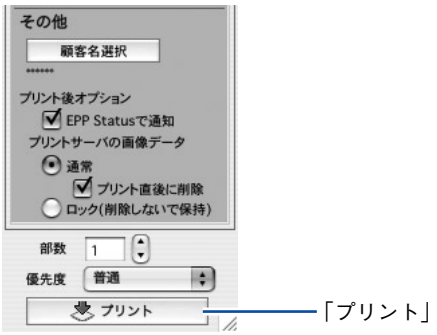
3 「優先度」の【Macintosh】または【Windows】をクリックし、プルダウンメニュー【Macintosh】／リストボックス【Windows】からプリントジョブの優先度を指定します。

「最優先」、「優先」、「普通」、「低優先」の順で優先度が低くなります。優先度の高い順にプリントされます。「ポーズ」を選択すると、EPPMonitor や EPPServer を使ってポーズを解除するまでプリントされません。



> **ポイント**
>
> - サーバへプリントジョブを送信したあとでも、プリント部数や優先度の変更ができます。詳しくは、「プリントジョブの設定を変更する」（231 ページ）をご覧ください。
> - ポーズの解除については、「待機中、またはスプール中のプリントジョブを一時停止するまたは一時停止を解除する」（234 ページ）をご覧ください。

4 「プリント」をクリックします。



プリントサーバへのプリントデータ送信状況を知らせる画面が表示されます。



プリントを中止する場合は

「プリントサーバへファイルを転送中」画面の「中止」をクリックします。ファイルの送信を中止します。プリントデータの送信が終了しメッセージ画面が消えるとEPPLayoutからプリントを中止することはできませんが、送信したデータがプリント待機中の場合は、EPPMonitorやEPPServerからプリントを一時停止にしたり、プリントジョブを削除することができます。詳しくは、「プリントジョブの設定を変更する」（231ページ）をご覧ください。

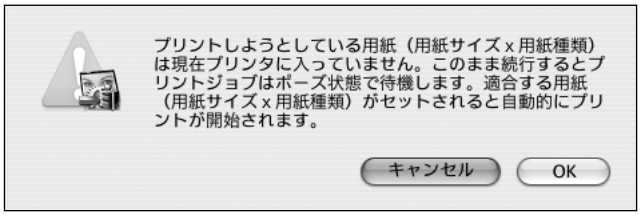
ポイント

- 本体内蔵のプリンタで印刷中のプリントジョブは削除できません。
- オプションのEX-7000で印刷中のプリントジョブは削除することができます。詳しくは、「プリントジョブを削除する」（236ページ）をご覧ください。

エラーメッセージが表示された場合は

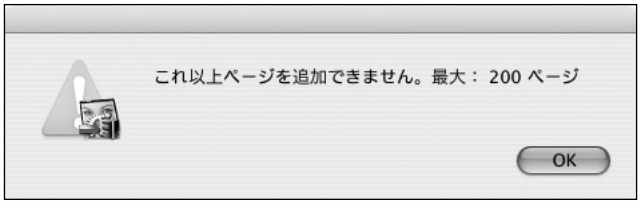
以下のように対処してください。

選択した用紙サイズや用紙の種類と、プリンタにセットされている用紙が一致しないとき



用紙をセットし直すと、自動的にプリントが再開されるようにするには「OK」をクリックします。プリントを中止するときは、「キャンセル」をクリックします。用紙を正しくセットし（260ページ）、EPPLayout 画面の「プリント」をクリックしてください。

指定されたプリント部数が200ページを超えたとき



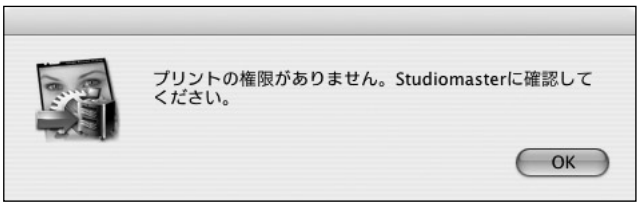
「OK」をクリックし、EPPLayout 画面の「部数」でプリント部数を少なくし、「プリント」をクリックしてください。

レイアウトされた写真の画像ファイルが見つからない場合



「OK」をクリックします。ファイルを探して元のフォルダに戻し、「プリント」をクリックしてください。

「プリント」に対する「操作権限」のないユーザーが「プリント」をクリックしたとき



「OK」をクリックします。Studiomaster がそのユーザーに「プリント」の「操作権限」を与えるとプリントできます。詳しくは、「EPPMonitor オンラインヘルプ」の「A-7.「ユーザ設定」画面」をご覧ください。

プリントジョブを管理する

サーバへプリントジョブを送信したあと、EPPMonitor または EPPServer で待機中のプリントジョブの確認や、プリント済みのジョブに関する情報の確認、プリントジョブの削除や再プリントの設定、プリントジョブの優先度の変更ができます。また、プリンタのインクや用紙の状態も確認できます。プリンタの状況は EPPStatus を使って確認することもできます。

さらに詳しい EPPMonitor の使い方や機能については、「EPPMonitor オンラインヘルプ」をご覧ください。EPPMonitor 画面右上の「ヘルプ」をクリックすると、「EPPMonitor オンラインヘルプ」が表示されます。「EPPMonitor オンラインヘルプ」の使い方は「オンラインヘルプについて」（377 ページ）をご覧ください。

■ EPPMonitor を起動する 223
■ プリントジョブを確認する 225
■ プリントジョブを検索して、更新する 228
■ プリントジョブの設定を変更する 231
■ プリンタの状態を確認する 244
■ プリンタの有効／無効を設定する 251

ポイント

- EPPMonitor の画面表示は、Macintosh 環境と Windows 環境で若干異なります。ここで使用している画面はすべて Macintosh 版の Microsoft Internet Explorer 5.0 を使用しています。
- 本体の LCD モニタ（EPPServer）でのプリントジョブリストの表示や操作方法は EPPMonitor とほとんど同じですが、異なる場合はそのつど明記してあります。

■ EPPMonitor を起動する

EPPMonitor は EPPLayout または EPPStatus から起動し、Microsoft Internet Explorer や Netscape Navigator のブラウザを使って操作します。Microsoft Internet Explorer 5.0 以上、または Netscape Navigator 4.7 以上をお使いください。（Netscape Navigator では、一部機能しないものがあります。）

ブラウザの設定

お使いのブラウザを次のように設定してください。

- **キャッシュ設定**：「自動設定」（Internet Explorer）、「セッションごと」（Netscape Navigator）または「ページ表示ごと」（Internet Explorer）
- **HTTP エラーの簡易表示機能**：「OFF」（Internet Explorer）
- **CGI フォーム送信、Java、JavaScript**：「有効」ただし、警告画面表示は「OFF」
- **Cookie**：受け入れる設定

① EPPMonitor を起動します。

- **【Macintosh】**
  EPPLayout の「ファイル」メニューから「ジョブモニタを起動」を選択します。
- **【Windows】**
  EPPLayout 画面右上にある「起動」をクリックして、「ジョブモニタを起動」を選択します。

【Macintosh】



【Windows】



ブラウザソフトが起動し、ログイン画面が表示されます。



ポイント

EPPStatus からも EPPMonitor を起動することができます。
【Macintosh】
EPPStatus の「ファイル」メニューから「ジョブモニタを起動」を選択します。
【Windows】
Windows 画面右下にあるタスクバーに表示されている EPPStatus のアイコンを右クリックして、「ジョブモニタを起動」を選択します。

2 ユーザー名とパスワードを入力して「OK」をクリックします。

次回からパスワードの入力を省略するには、「パスワードを保存する」チェックボックスにチェック（✓印）を入れます。



EPPMonitor にログインすると、プリントジョブリストが表示されます。

● EPPMonitor を終了するには

【Macintosh】

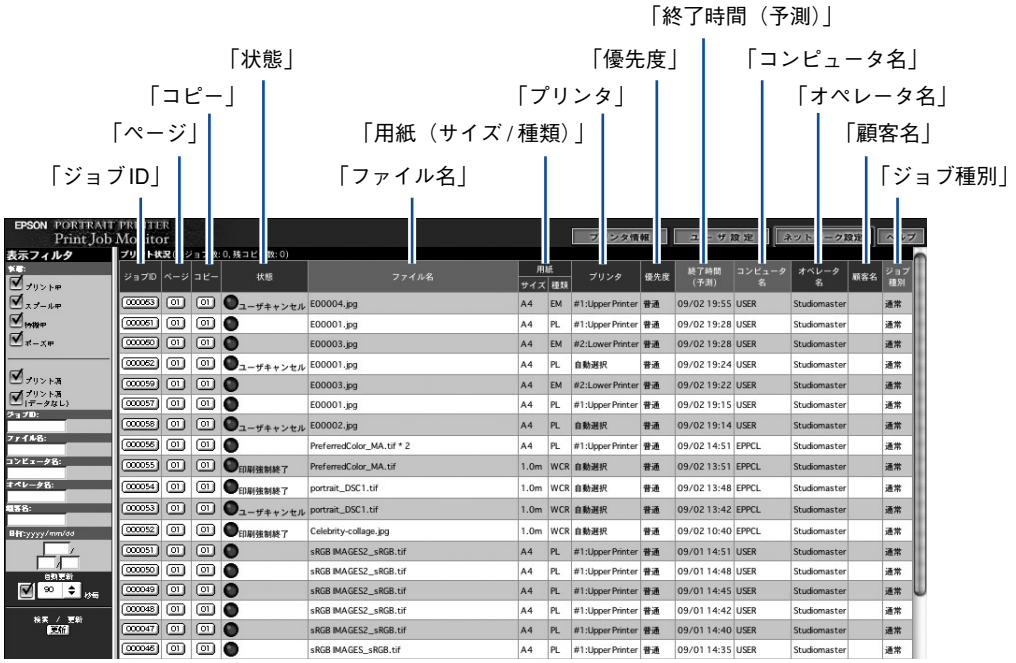
「ファイル」メニューから「終了」を選択します。（メニュー名称は使用しているブラウザによって異なります。）

【Windows】

ブラウザ画面右上の ☒ をクリックします。

■ プリントジョブを確認する

EPPMonitor にログインすると、「プリント状況」エリアにプリントジョブリストが表示されます。プリントジョブリストでプリントジョブの状態を確認できます。



プリントジョブリストは、プリントの「終了時間（予測）」が遅い順に、上から表示されます。それぞれのプリントジョブは、「ジョブ ID」ごとに「ページ」と「コピー」部数によって分類されます。

ポイント

- 初期設定では、EPPMonitorに表示されるプリントジョブリストは 90秒ごと、本体のLCD モニタ (EPPServer) に表示されるプリントジョブリストは 60 秒ごとに自動更新されます。更新間隔は変更することができます。詳しくは「「自動更新」の間隔を変更するには」（230 ページ）をご覧ください。
- モニタに表示しきれない数のプリントジョブがある場合は、プリントジョブリストのスクロールバーをドラッグして表示することができます。

●「プリント状況」エリアの表示内容について

項目	内容
「ジョブ ID」	各プリントジョブを 6 桁の数字で表示します。
「ページ」	ジョブ ID の各ページを番号（ページ ID）で表示します。
「コピー」	各ページのコピー部数（コピー ID）を表示します。プリントジョブリストの 1 行はコピー ID ごとに表示されます。
「状態」	プリントジョブの状態を表示します。「状態」に表示されるマークについては、「「状態」に表示されるマークとプリンタの状態」（227 ページ）をご覧ください。
「ファイル名」	プリントする画像のファイル名を表示します。複数のファイルがある場合は、カンマで区切って表示されます。
「用紙サイズ」	設定されている用紙サイズを表示します。「自動用紙割付」が選択されている場合は、  が表示されます。
「用紙種類」	設定されている用紙の種類を表示します。
「プリンタ」	設定されているプリンタ名を表示します。「自動選択」が設定されているときは、サーバがプリンタを選択します。
「優先度」	プリントジョブの優先度を「最優先」、「優先」、「普通」、「低優先」で表示します。
「終了時間（予測）」	プリントの終了と終了予定日時を表示します。
「コンピュータ名」	クライアントコンピュータごとに割り当てた ID またはコンピュータ名を表示します。
「オペレータ名」	オペレータごとに割り当てた ID またはオペレータ名を表示します。
「顧客名」	プリントを依頼した顧客名または顧客 ID を表示します。
「ジョブ種別」	ジョブの種類を「通常」（プリントジョブ）、「調整」（プリンタ調整）で表示します。ジョブにエラーが発生した場合は、「エラー」が表示されます。

「状態」に表示されるマークとプリンタの状態

マーク	プリンタの状態
▶ 緑色点滅	プリント中
▶ 緑色点灯	サーバへレンダリング中またはスプール中
⏯ 黄色点灯	プリント待機中 プリント中のジョブが終了したら、プリントを開始します。「状態」に「クリーニング中」が表示されている場合は、プリンタヘッドのクリーニング中のためプリントが待機状態になっています。
⏸ 赤色点灯	ポーズ中 「ポーズ」をクリックしていないのに、プリンタがポーズ状態になった場合は、以下の原因が考えられます。「状態」に原因が表示されます。 • **「設定用紙なし」**：設定された用紙をセットするまで、ポーズ状態が続く。または、用紙トレイが正しくセットされるまでポーズ状態が続く。 • **「用紙なし」**：用紙トレイに用紙が入っていない。 • **「インクなし」**：インクカートリッジにインクが入っていない。 • **「プリンタ無効」**：プリンタが無効になっている。 • **「プリンタなし」**：プリンタの接続がされていない。電源が入っていない。通紙経路カバーが開いている。 • **「プリンタエラー」**：そのほかのプリンタエラーのため、プリントできない。
● 黒色点灯	プリント済（データあり） プリントは終了しましたが、再プリントすることができます。 または以下の原因によりプリントが中断されました。原因が「状態」に表示されます。 • **「ユーザキャンセル」**：ユーザーによりプリントジョブがキャンセルされた。 • **「プリント失敗」**：プリントできない。 例）・メモリ不足 ・不適切なプロファイルが埋め込まれている場合 ・高さ / 幅が 1000 ピクセルを超えるデータ
○ 白色点灯	プリント済（データなし） プリントが終了しデータが削除されたため、再プリントすることはできません。 または以下の原因によりプリントが中断されました。原因が「状態」に表示されます。 • **「ユーザキャンセル」**：ユーザーによりプリントジョブがキャンセルされた。 • **「プリント失敗」**：プリントできない。 例）・メモリ不足 ・不適切なプロファイルが埋め込まれている場合 ・高さ / 幅が 1000 ピクセルを超えるデータ
🔒 ロック	プリントジョブがロックされているので、自動削除できません。このプリントジョブは再プリントできます。詳しくは、「プリントジョブを再プリントする」（240 ページ）をご覧ください。

■ プリントジョブを検索して、更新する

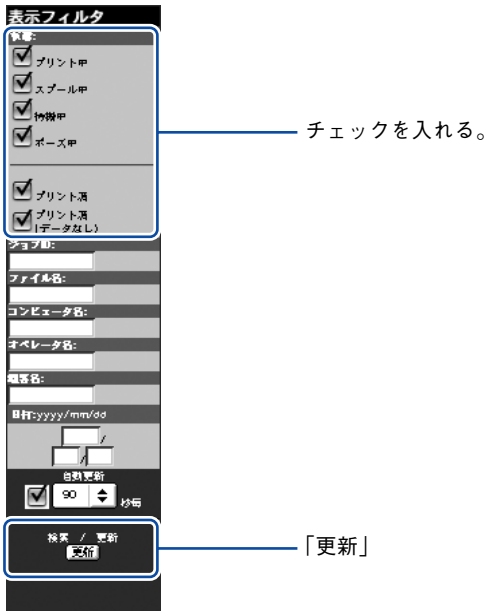
指定した状態のプリントジョブだけを検索して更新し、プリントジョブリストに表示できます。さらに「ジョブ ID」や「ファイル名」などの検索条件を詳細に指定して、プリントジョブを更新することもできます。

● 指定した状態のプリントジョブを更新する

指定した状態のプリントジョブだけを検索して更新し、プリントジョブリストに表示できます。

1 「表示フィルタ」エリアの「状態」のチェックボックスにチェック（✓印）を入れ、「更新」をクリックします。

チェック（✓ 印）を入れた項目が検索条件に含まれます。指定した状態にあるプリントジョブだけを検索して、プリントジョブリストが更新されます。



> ポイント
> 指定した「状態」の項目は保存され、変更しない限り同じ設定が適用されます。

「プリント済み」と「プリント済み（データなし）」について

- 初期設定では、「プリント済み」と「プリント済み（データなし）」は表示しない設定になっています（✓印が入っていません）。これらのプリントジョブを表示するときは、「ジョブ ID」や「ファイル名」などの入力ボックスに検索条件を入力し、表示するプリントジョブを絞り込んでください。入力ボックスで検索条件を指定しないと、大量のプリントジョブが表示される場合があります。
- 「プリント済み」と「プリント済み（データなし）」を表示させた場合など、プリントジョブが 50 件を超えたときは、ジョブリストの下に、「>>（次へ ...）」、「<<（ジョブリスト先頭に戻る）」が表示されます。「>>（次へ ...）」をクリックすると、次の 50 件が表示されます。「<<（ジョブリスト先頭に戻る）」をクリックすると、ジョブリストの先頭に戻ります。

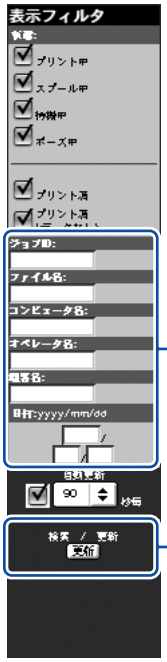
● 検索条件を詳細に指定してプリントジョブリストを更新する

「表示フィルタ」エリアの入力ボックスに検索条件を指定し、プリントジョブリストに表示するプリントジョブを絞り込みます。

> **注意** 検索条件を入力してプリントジョブを更新する操作は本体の LCD モニタ（EPPServer）ではできません。

1 「表示フィルタ」エリアの入力ボックスに必要な検索条件を半角英数字で入力し、「更新」をクリックします。

入力した条件を検索して、プリントジョブリストが更新されます。



> **ポイント**
> - 空白のボックスがあっても、入力された検索条件で検索できます。
> - 「日付」を指定しないと、検索条件を満たすすべてのプリントジョブが表示されます。

プリントジョブリストにジョブが表示されないときは

以下の原因が考えられます。

- プリントジョブリストが更新されていません。プリントジョブを表示するには、「表示フィルタ」エリアの「更新」をクリックするか、自動更新されるまで待ちます。
- 「表示フィルタ」エリアの「日付」に日付を入力するだけでは、指定した日付のプリントジョブは表示されません。必ず「更新」をクリックしてください。

「自動更新」の間隔を変更するには

「自動更新」の をクリックし、「60」、「90」、「120」（秒毎）から更新間隔を選択して、チェックボックスにチェック（✓印）を入れます。



ポイント

- 「自動更新」のチェックボックスにチェック（✓印）が入っているか確認してください。更新間隔を選択しただけでは自動更新されません。
- 「自動更新」の更新間隔は保存され、変更しない限り同じ設定が適用されます。

■ プリントジョブの設定を変更する

「設定変更」画面でプリントジョブの優先度、用紙種類、再プリント、一時停止、削除などの設定を変更できます。

ポイント
- プリント中のプリントジョブの設定は変更できません。
- 送信したプリントジョブの設定の変更は本体の LCD モニタ（EPPServer）でも操作できます。

注意
プリントジョブの設定は、設定に対する権限のないユーザーは操作できません。権限のないユーザーがログインすると、プリントジョブリストの「ジョブ ID」、「ページ」、「コピー」ボタンは表示されません（各数値は表示されます）。

1 EPPMonitor を起動します。

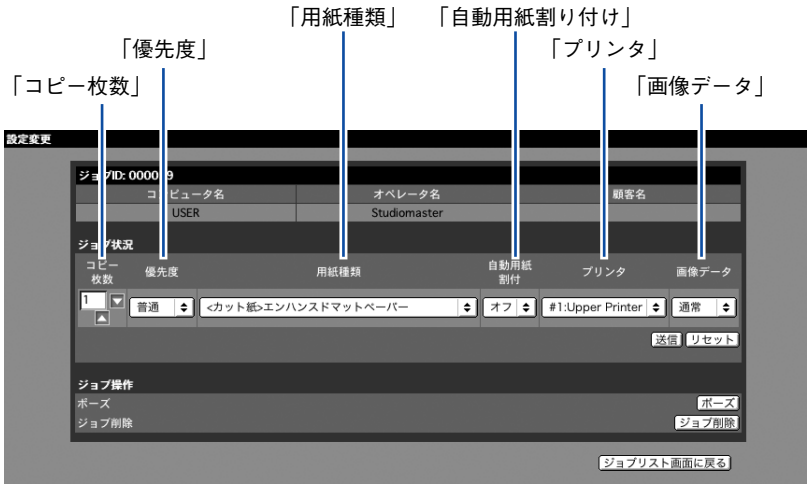
ジョブリスト画面が表示されます。



ポイント
EPPMonitor の起動方法については、「EPPMonitor を起動する」（223 ページ）をご覧ください。

2 プリントジョブの「ジョブ ID」、「ページ」または「コピー」をクリックします。

「設定変更」画面が表示されます。「ジョブ ID」をクリックするとプリントジョブ単位で、「ページ」をクリックするとページごとに、「コピー」をクリックするとコピーごとに設定を変更できます。



3 設定を変更します。

- **「コピー枚数」**：選択したプリントジョブのプリント部数を変更します。
- **「優先度」**：プリントジョブの優先度を変更します。「最優先」、「優先」、「普通」、「低優先」から選択します。
- **「用紙種類」**：プリントする用紙の種類を変更します。
- **「自動用紙割付」**：自動用紙割付のオン／オフを設定します。オンにすると、一枚の用紙にできるだけ多くの写真が配置されるよう自動的にレイアウトされます。
- **「プリンタ」**：プリンタを変更します。「自動選択」を選択すると、サーバがプリンタを選択します。
- **「画像データ」**：「ロック」を選択すると、削除しない限りプリントジョブがリストに保存されます。「通常」を選択すると、一定期間後にプリントジョブは削除されます。

> **注意** プリントジョブの状態によって、設定できる項目が異なります。

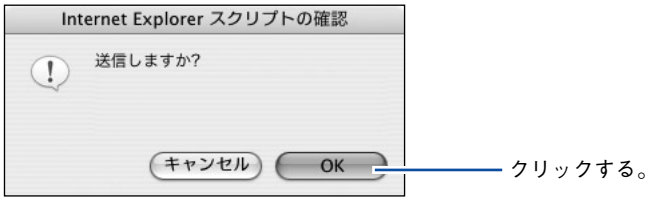
4 設定の変更が終わったら、「送信」をクリックします。



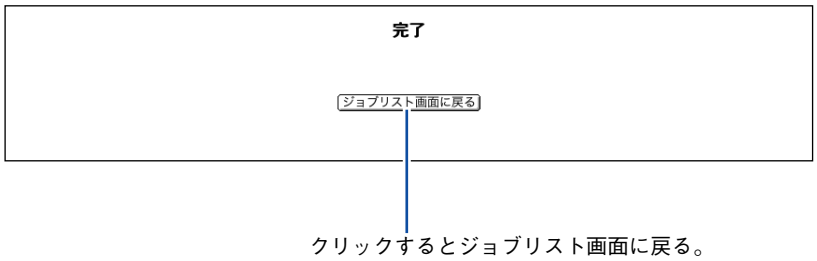
「Internet Explorer スクリプトの確認」画面が表示されます。



5 「OK」をクリックします。



「完了」画面が表示され、設定が変更されます。変更を取り消す場合は、「キャンセル」をクリックします。「設定変更」画面に戻ります。



ポイント

「完了」画面が表示されたあと、続けてほかのプリントジョブの設定を変更する場合は、「ジョブリスト画面に戻る」をクリックします。

● 待機中、またはスプール中のプリントジョブを一時停止するまたは一時停止を解除する

> 注意　プリント中のプリントジョブの一時停止はできません。

1 一時停止したいプリントジョブ、または一時停止を解除したいプリントジョブの「ジョブ ID」、「ページ」または「コピー」をクリックします。



「設定変更」画面が表示されます。



* 一時停止状態のプリントジョブを選択した場合は、「ポーズ解除」が表示されます。

2 一時停止する場合は「ポーズ」、一時停止を解除する場合は「ポーズ解除」をクリックします。

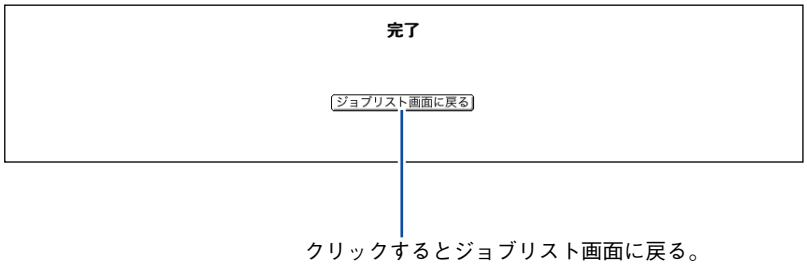
「Internet Explorer スクリプトの確認」画面が表示されます。



3 「OK」をクリックします。



「完了」画面が表示されます。送信をやめる場合は、「キャンセル」をクリックします。「設定変更」画面に戻ります。



ポイント

「完了」画面が表示されたあと、続けてほかのプリントジョブの設定を変更する場合は、「ジョブリスト画面に戻る」をクリックします。

注意

- オプションの EX-7000 でプリントしている場合は、プリント中の印刷ジョブを「印刷強制終了」ボタンにより、強制的に中止することができます。ただし、システム上は印刷完了と見なされますのでご注意ください。
- オプションの EX-7000 で印刷中のジョブを途中で中止した場合は、プリンタの状態が無効になります。次のジョブを印刷開始する前に、EPPServer 画面下にある「プリンタ状態」エリアの「状態／変更」で、プリンタを有効に戻してください。ただし、印刷不良などで中止した場合は、原因を解消してから有効に戻してください。



● プリントジョブを削除する

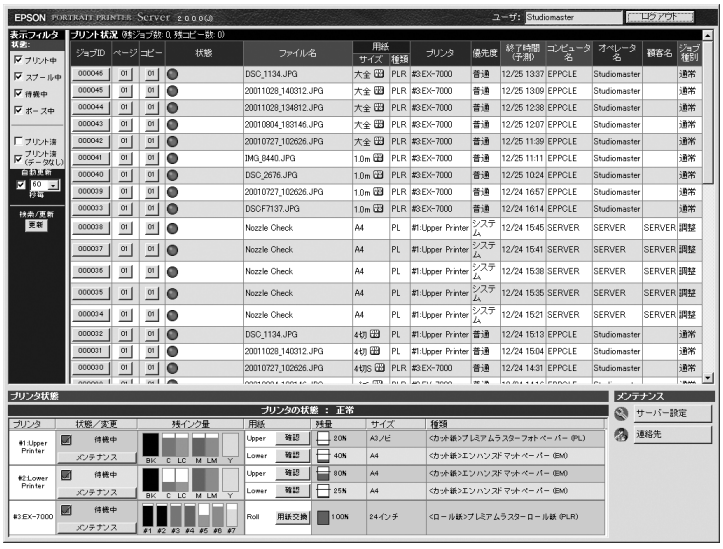
まだプリントが開始されていないプリントジョブ（待機中、スプール中、ポーズ中）を削除することができます。本体の LCD モニタ（EPPServer）とクライアントコンピュータの EPPMonitor を使って操作します。

> **注意**
>
> - 本体内蔵のプリンタでプリント中のプリントジョブを削除することはできません。プリントが終了するまでお待ちください。プリント中にプリントを中止させようとして、プリンタから用紙トレイを取り出したりしないでください。紙詰まりが起きたり、サーバへアクセスできなくなるおそれがあります。
> - **オプションの EX-7000 でプリントしている場合は、プリント中の印刷ジョブも中止して削除することができます。ただし、システム上は印刷完了と見なされますのでご注意ください。**
> - プリントジョブの削除を行うには、「プリンタ状態変更」の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。操作権限については、「EPPMonitor オンラインヘルプ」の「A-7.「ユーザ設定」画面」をご覧ください。

1 本体の LCD モニタで EPPServer にログインします。

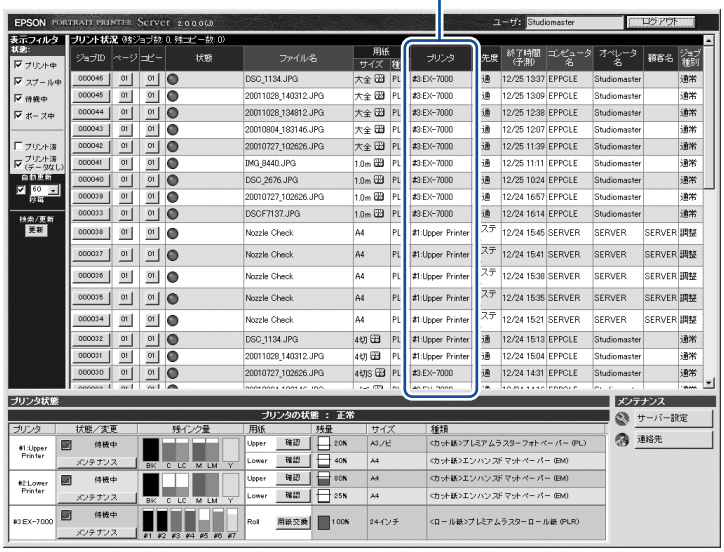
EPPServer にログインする方法については、「EPPServer にログインする」(269 ページ）をご覧ください。

ログイン後の EPPServer 画面が表示されます。



2 「プリント状況」エリアで削除したいプリントジョブのプリンタを確認します。

削除したいジョブのプリンタを確認する。

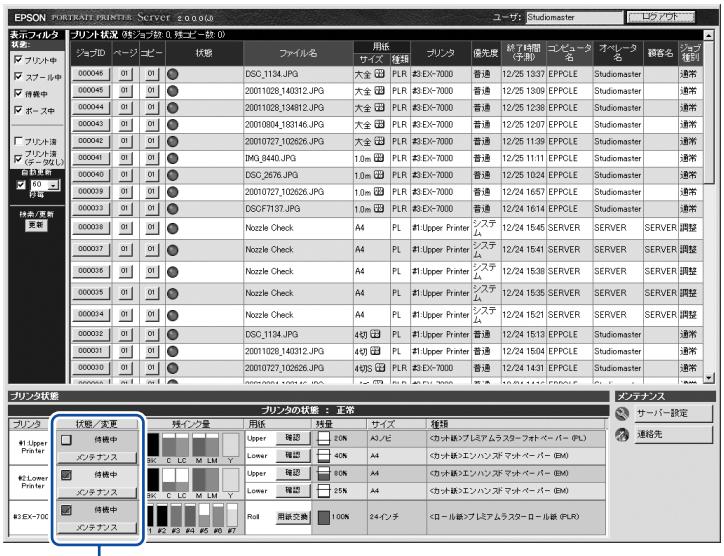


ポイント

待機中、スプール中、ポーズ中のプリントジョブを検索して確認できます（228ページ）。

3 EPPServer 画面下にある「プリンタ状態」エリアの「状態／変更」で、削除したいプリントジョブのプリンタのチェックボックスからチェック（✓印）を外して、プリンタを無効にします。

削除したいプリントジョブのプリンタがプリント中の場合は、プリント中のジョブが終了したあと指定したプリンタが無効になります。

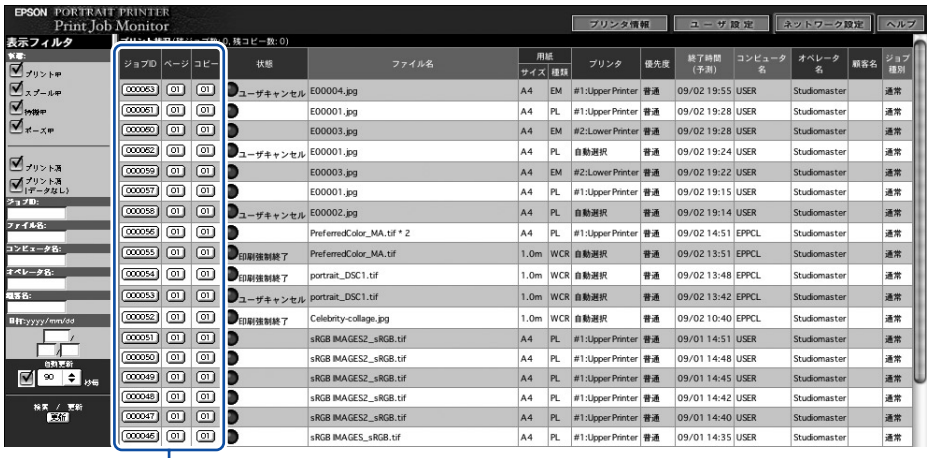


プリンタからチェック（✓印）を外す。

ポイント

EPPServer 画面を操作するには LCD モニタの下にあるマウスを使用します。

4 出力プリンタを無効にしたら、クライアントコンピュータで EPPMonitor を起動します。



> **ポイント**
> - EPPMonitor の起動方法については、「EPPMonitor を起動する」（223 ページ）をご覧ください。
> - EPPMonitor を起動しないでそのまま次に進んで EPPserver から直接プリント中の印刷ジョブを中止して削除することができます。

5 削除したいプリントジョブの「ジョブ ID」、「ページ」または「コピー」をクリックして「ジョブ削除」をクリックします。

「設定変更」画面が表示されます。

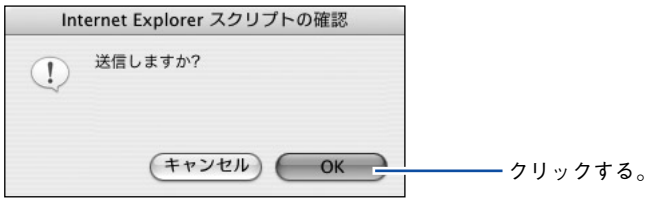


> **ポイント**
> オプションの EX-7000 の場合は、印刷中のジョブを削除できます。「ジョブ削除」の代わりに「印刷強制終了」ボタンが表示されます。

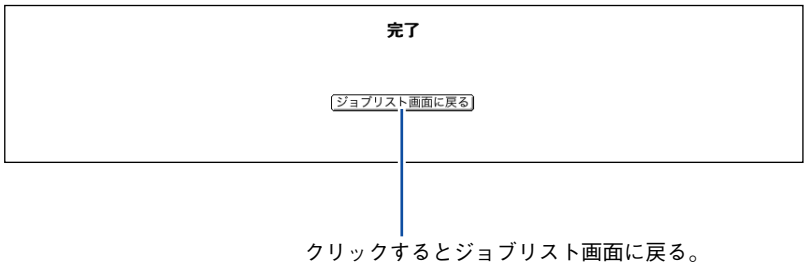
「Internet Explorer スクリプトの確認」画面が表示されます。



6「OK」をクリックします。



「完了」画面が表示され、選択したプリントジョブが削除されます。削除を取り消す場合は、「キャンセル」をクリックします。「設定変更」画面に戻ります。



ポイント

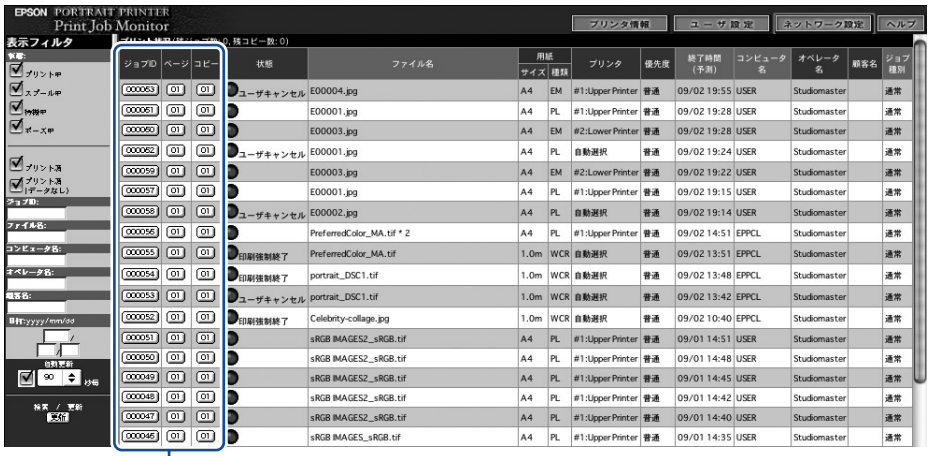
- 「完了」画面が表示されたあと、続けてほかのプリントジョブの設定を変更する場合は、「ジョブリスト画面に戻る」をクリックします。
- オプションの EX-7000 で印刷中のジョブを途中で中止した場合は、プリンタの状態が無効になります。次のジョブを印刷開始する前に、EPPServer 画面下にある「プリンタ状態」エリアの「状態／変更」で、プリンタを有効に戻してください。ただし、印刷不良などで中止した場合は、原因を解消してから有効に戻してください。

● プリントジョブを再プリントする

「状態」にプリント済（データあり）のマークが表示されているプリントジョブは、データを再送信しなくても再プリントすることができます。

> ポイント
> 画像データが自動削除されるのを防ぐために画像データをロックすることができます。ロックしたジョブのプリントが終了すると、「状態」にプリント済（データあり）のマークが表示されます。EPPLayout を使ってプリントジョブをロックする場合は、「「その他」のオプションを設定する」（215 ページ）をご覧ください。プリントデータを送信したあと、EPPMonitor でプリントジョブをロックしたい場合は、「プリントジョブの設定を変更する」（231 ページ）をご覧ください。

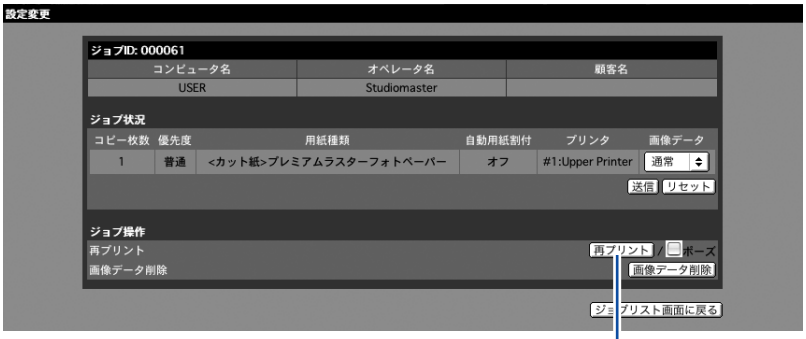
1 EPPMonitor を起動して、ジョブリスト画面を表示させます。



> ポイント
> EPPMonitor の起動方法については、「EPPMonitor を起動する」（223 ページ）をご覧ください。

2 「状態」にプリント済（データあり）のマークが表示されているプリントジョブの「ジョブ ID」、「ページ」または「コピー」をクリックして「再プリント」をクリックします。

「設定変更」画面が表示されます。



「再プリント」

「Internet Explorer スクリプトの確認」画面が表示されます。



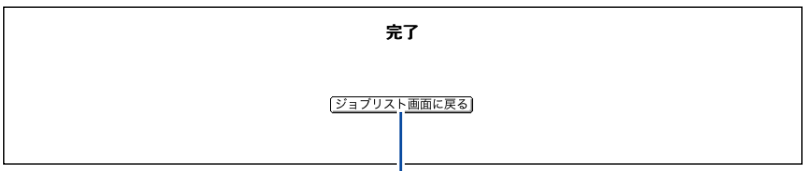
> **ポイント**
> 「再プリント」をクリックする前に「ポーズ」チェックボックスにチェック（✓印）を入れると、プリントジョブはポーズ状態でプリントジョブリストに追加されます。

3 「OK」をクリックします。



クリックする。

「完了」画面が表示され、選択したジョブが待機中のジョブとして、プリントジョブリストに追加されます。再プリントを取り消す場合は、「キャンセル」をクリックします。「設定変更」画面に戻ります。



クリックするとジョブリスト画面に戻る。

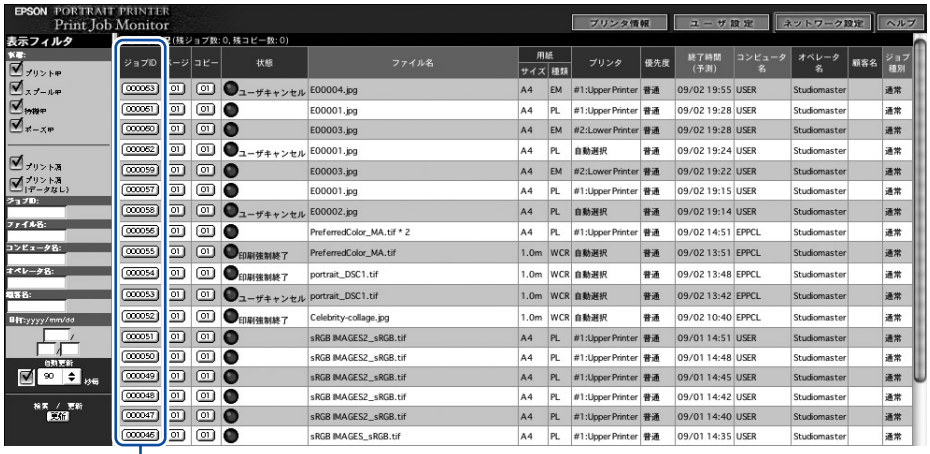
> **ポイント**
> 「完了」画面が表示されたあと、続けてほかのプリントジョブの設定を変更する場合は、「ジョブリスト画面に戻る」をクリックします。

● 画像データを削除する

プリントが終了したあと、ジョブリスト画面に表示されている“プリント済み（データあり）プリントジョブ”の画像データを削除できます。

> **注意**
> - EPPLayout や EPPMonitor でロックをかけたプリントジョブも削除されます。
> - プリント済み（データあり）の画像データを使って再プリントしたプリントジョブは、オリジナルの“プリント済み（データあり）プリントジョブ”の画像データが削除されると、再プリントしたプリントジョブの画像データも一緒に削除されます。ただし、再プリントが完了していない場合は、オリジナルの“プリント済み（データあり）プリントジョブ”の画像データは削除できません。

1 EPPMonitor を起動して、ジョブリスト画面を表示させます。



> **ポイント**
> EPPMonitor の起動方法については、「EPPMonitor を起動する」（223 ページ）をご覧ください。

2 画像データを削除したいプリントジョブの「ジョブ ID」をクリックして「画像データ削除」をクリックします。

「設定変更」画面が表示されます。

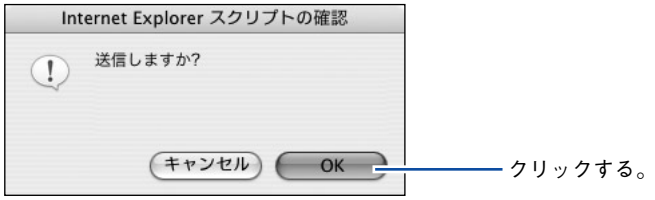


> **注意**
> 必ず「ジョブ ID」をクリックしてください。「ページ」や「コピー」をクリックすると、「画像データ削除」が表示されません。

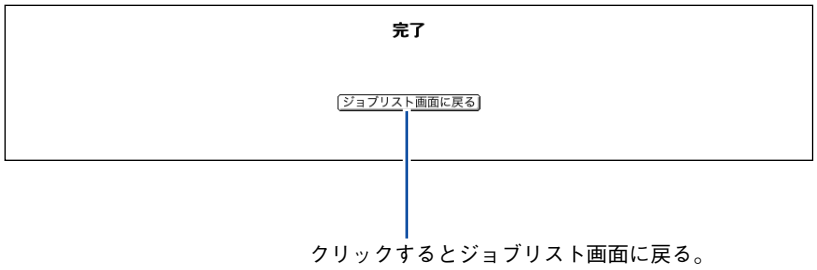
「Internet Explorer スクリプトの確認」画面が表示されます。



3 「OK」をクリックします。



「完了」画面が表示され、選択した画像データが削除されます。削除を取り消す場合は、「キャンセル」をクリックします。「設定変更」画面に戻ります。



ポイント

「完了」画面が表示されたあと、続けてほかのプリントジョブの設定を変更する場合は、「ジョブリスト画面に戻る」をクリックします。

■ プリンタの状態を確認する

EPPMonitor、EPPServer、EPPStatus でプリンタの状態や、インクカートリッジ、用紙の状態を確認することができます。

● EPPMonitor でプリンタの状態を確認する

EPPMonitor の「プリンタ情報」画面でプリンタ、用紙、インクカートリッジの状態、用紙のサイズと種類が確認できます。

1 EPPMonitor を起動してジョブリスト画面を表示させ、「プリンタ情報」をクリックします。

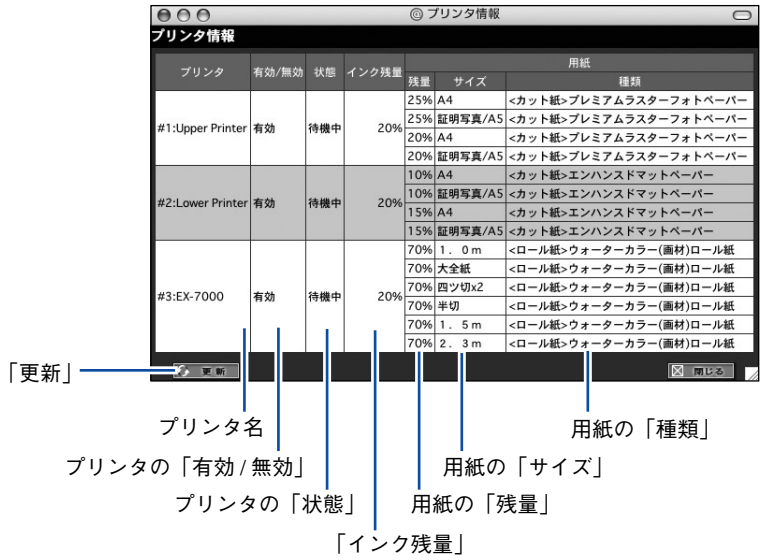


> **ポイント** EPPMonitor の起動方法については、「EPPMonitor を起動する」（223 ページ）をご覧ください。

「プリンタ情報」画面が表示されます。



2 「更新」をクリックして、各プリンタ、用紙やインクの最新の状態を確認します。



- **「プリンタ」**：プリンタ名を表示します。
- **「有効／無効」**：プリンタの有効／無効を表示します。
- **「状態」**：現在のプリンタの状態を表示します。
- **「インク残量」**：インクカートリッジのインク残量を表示します。
- **「用紙」の「残量」、「サイズ」、「種類」**：用紙トレイごとに用紙の「残量」、「サイズ」、「種類」を表示します。

> ポイント
> 用紙やインクがないときは「なし」と赤字で表示されます。その場合は、「用紙をセットする」（260 ページ）や「インクカートリッジを交換する」（295 ページ）を参照して、用紙またはインクカートリッジをセットしてください。

3 確認が終わったら、「閉じる」をクリックします。



● EPPStatus でプリンタの状態を確認する

プリンタや用紙、インクの状態を表示させるだけでなく、EPPStatus で、エラー、警告メッセージの表示を設定することができます。

1 EPPStatus を起動します。

- 【Macintosh】
  ソフトウェアが入っているフォルダを開き、EPPStatus のアイコン（ ）をダブルクリックします。
- 【Windows】
  「スタート」をクリックし、「プログラム」（Windows 2000）または「すべてのプログラム」（Windows XP）から「EPSON Portrait Printer」の「EPP Status」を選択します。

「プリントサーバ設定」画面が表示されます。



ポイント

- EPPLayout からも EPPStatus を起動することができます。
  【Macintosh】
  EPPLayout の「ファイル」メニューから「EPPStatus を起動」を選択します。
  【Windows】
  EPPLayout 画面右側にある「起動」をクリックして、「EPPStatus を起動」を選択します。
- Mac OS X の場合、EPPLayout の「ファイル」メニューに「EPPStatus を起動」が表示されない場合があります。その場合は、EPPStatus のアイコンをダブルクリックして直接起動してください。一度アイコンから起動した後は、EPPLayout の「ファイル」メニューから「EPPStatus を起動」を選択して起動できるようになります。

2 リストから使用するサーバを選択して「OK」をクリックします。または「EPPLayout の設定を使用する」をクリックします。

EPPStatus 画面が表示されます。

【Windows のみ】
EPPStatus が起動すると、タスクバーに EPPStatus のアイコンが表示されます。アイコンを右クリックすると、「ジョブモニタを起動」、「EPPStatus について」、「閉じる」が表示されます。また、アイコンにポインタを合わせると接続されているサーバの IP アドレスが表示されます。

3 EPPStatus 画面で、プリンタの状態を確認します。



プリント中のプリントジョブの状態が表示される。

ステータスメッセージの表示を設定する。

プリンタの状態が表示される。

以下の状態のときにメッセージが表示されます

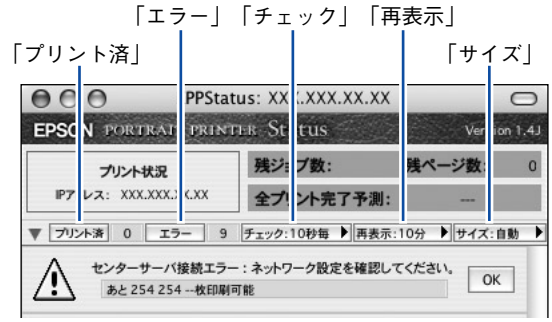
メッセージ	状態	アイコン
インクなし	インクカートリッジにインクが入っていない。	
インク残少ない	インクカートリッジの中で一番少ないインクが 20% 未満になった。	
用紙なし	用紙が入っていない。	
用紙残少ない	用紙トレイの用紙の残量が最大積載量の 20% 未満になった。	
用紙送りエラー	紙詰まりが起きた。	
カバーオープン	カバーが開いている。	
I/F 選択不可エラー	設定された用紙と用紙トレイの用紙が合っていない。	
用紙チェックエラー	設定された用紙と用紙の種類またはサイズが合っていない。	
メンテナンスリクエスト	メンテナンスが必要。	
プリンタエラー	致命的なエラーが起きた。	
ヘッド温度エラー	プリンタヘッドが熱くなっている。	
通信エラー	通信エラーが起きた。	

メッセージ	状態	アイコン
その他のエラー	そのほかのエラーが起きた。	
センターとの通信不可	プリントログをアップロードできない。	
サーバ強制停止	プリントログをアップロードせずに内蔵プリンタで 255 ページ（オプションの EX-7000 で 20 ページ）プリントした。	

エラーが解決されると、エラーメッセージは消えます。

> **ポイント**
> エラーを解決しないでメッセージ画面を消したいときは、画面の「OK」をクリックします。その後、問題が解決されていない場合、設定した時間間隔でもう一度エラーや警告メッセージが表示されます。

EPPStatus 画面でステータスメッセージの表示を設定する



- **「プリント済」**：右側にプリント済のジョブ件数が表示されます。「プリント済」をクリックすると、プリント終了時に、クライアントコンピュータの画面にプリント終了のメッセージが表示されます。（もう一度クリックすると、設定は解除されます。）
- **「エラー」**：右側にサーバから受信したエラーまたは警告メッセージ件数が表示されます。「エラー」をクリックすると、エラーまたは警告メッセージを受信するたびに、クライアントコンピュータの画面にエラーまたは警告メッセージが表示されます。（もう一度クリックすると、設定は解除されます。）
- **「チェック」**：アップデートをサーバに確認する間隔を秒単位で設定します。「チェック」をクリックしてプルダウンメニューから間隔を選択します。
- **「再表示」**：エラーまたは警告メッセージに対処したにもかかわらず問題が解決されていない場合、もう一度メッセージを表示させる間隔を分単位で設定します。「再表示」をクリックしてプルダウンメニューから間隔を選択します。
- **「サイズ」**：ステータスリストのサイズを設定します。「サイズ」をクリックしてプルダウンメニューからサイズを選択します。

EPPStatus を終了するには

【Macintosh】

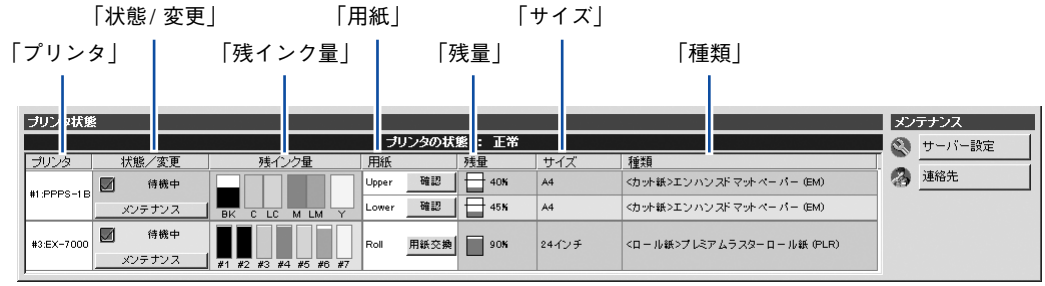
「EPPStatus」メニューから「終了」を選択します。

【Windows】

EPPStatus 画面右上の ☒ をクリックするか、タスクバーの EPPStatus アイコンを右クリックして、「閉じる」を選択します。

● 本体のLCDモニタ(EPPServer)でプリンタの状態を確認する

EPPServer 画面下の「プリンタ状態」エリアで、プリントジョブや用紙、インクの状態を確認することができます。



ポイント

- EPPServer 画面を操作するには LCD モニタの下にあるマウスを使用します。
- 「状態 / 変更」欄の「メンテナンス」をクリックすると、「プリンタ調整ツール」画面を表示します。詳しくは「メンテナンス」(257 ページ) をご覧ください。
- 「用紙」欄にある内蔵プリンタ用の「確認」をクリックすると、「プリンタ名」、「給紙経路」、「用紙サイズ」、「用紙種類」の一覧画面を表示します。「EPPServer で用紙設定を確認する」(272 ページ) をご覧ください。
- 「用紙」欄にあるオプション EX-7000 用の「用紙交換」をクリックすると、ロール紙の取り付け、取り外し、交換ができます。詳しくは「EPPServer でロール紙を設定する」(273 ページ) および本製品添付の「EX-7000 ユーザーズガイド」をご覧ください。

「プリンタ状態」エリアで、以下の状態を確認できます。

- **「プリンタ」**:プリンタ名が表示される。
- **「状態／変更」**:チェックボックスにチェック (✓印) を入れるとプリンタが有効になる。チェック (✓印) を外すと無効になる。詳しくは、「プリンタの有効／無効を設定する」(251 ページ) をご覧ください。
  チェックボックスの下に、プリンタ状態が表示されます。
  「待機中」:プリント待機中。
  「プリント中」:プリント中。
  「クリーニング中」:ヘッドクリーニング中。
  「用紙なし」:用紙トレイに用紙が入ってない。
  「インクなし」:インクカートリッジにインクが入っていない。
  「用紙づまり」:用紙が詰まっている。
  「プリンタ通信エラー」:プリンタの通信エラー、またはプリンタの電源が入っていない。
  「カバー開きエラー」:プリンタ背面の通紙経路カバーが開いている。
  「用紙サイズ・種類エラー」:用紙トレイの用紙サイズスライダと用紙種類スライダの設定がサーバの設定と合っていない。
  「クリスタリオキーエラー」:本製品に接続しているオプションの EX-7000 にクリスタリオキーが装着、設定されていません。
  「メンテナンス要求」:メンテナンスが必要。
  「プリンタエラー」:致命的なエラーが起きている。
  「ヘッド温度エラー」:プリンタヘッドの温度が非常に高くなっている。
  「トレイなしエラー」:上トレイがない。
  「用紙送りエラー」:用紙送りエラーが起きている。
  「不明のエラー」:原因不明のエラーが起きている。

- **「残インク量」**：プリンタの各インク残量を表示します。

内蔵プリンタ	
BK	ブラック
C	シアン
LC	ライトシアン
M	マゼンタ
LM	ライトマゼンタ
Y	イエロー

オプション EX-7000	
#1	ブラック
#2	グレー
#3	シアン
#4	マゼンタ
#5	ライトシアン
#6	ライトマゼンタ
#7	イエロー

- **「用紙」**：用紙トレイの位置を表示します。
- **「残量」**：用紙トレイにセットされている用紙の残量をグラフと数値で表示します。0%のときは「なし」、用紙の残量を認識できないときは「-----」が表示されます。グラフには用紙サイズと種類ごとに基準ラインがあり、基準ライン以下の部分は緑、基準ライン以上の部分は赤で表示されます。
- **「サイズ」**：用紙トレイにセットされている用紙のサイズを表示します。
- **「種類」**：用紙トレイにセットされている用紙の種類を表示します。

■ プリンタの有効／無効を設定する

プリント中に以下のような作業が必要になることがあります。
- 用紙トレイの用紙を変更、補充したい。
- 通紙経路、プリンタヘッドをクリーニングしたい。
- プリンタヘッドを調整したい。

このような場合は、一時的にプリンタを無効にしてプリントジョブを停止させ、必要に応じてほかの作業をすることができます。EPPServer 画面下にある「プリンタ状態」ウィンドウの「状態／変更」でプリンタの有効／無効を設定できます。作業が終わったら、もう一度プリンタを有効にします。

> **注意** プリンタの有効／無効を設定するには、「プリンタ状態変更」の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。操作権限については、「EPPMonitor オンラインヘルプ」の「A-7.「ユーザ設定」画面」をご覧ください。

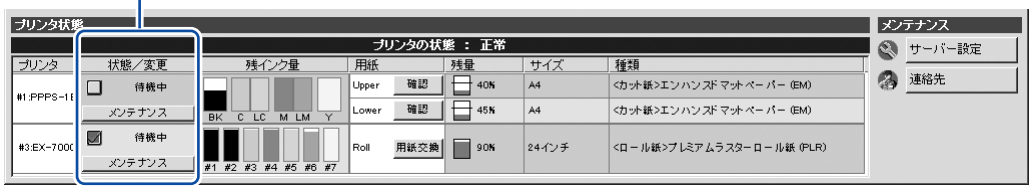
プリンタを無効にするには

無効にしたいプリンタの「状態／変更」チェックボックスからチェック（✓印）を外します。

プリンタを有効にするには

有効にしたいプリンタの「状態／変更」チェックボックスにチェック（✓印）を入れます。

チェックボックスにチェック（✓印）を入れると有効、外すと無効になる。



写真の取扱いと保管方法

ここでは写真の取り扱い方法や、保管方法について説明します。

■ 写真の取扱い 253
■ 写真を保管するときの注意 254
■ 写真を飾るときの注意 255
■ 写真の寿命について 256

■ 写真の取扱い

プリントが終了したら、以下の点に注意して写真を取り扱ってください。

- インクが完全に乾くまでは、写真の表面に絶対に手を触れないでください。
- ドライヤーを使って乾燥させないでください。
- 写真をきつく丸めたり、折り曲げたりしないでください。また、プリントのときに丸まってしまった写真を逆側に丸めないでください。
  写真の表面に亀裂が生じることがあります。プレミアムラスターフォトペーパー（Premium Luster Photo Paper）やプロフォトフィニッシュ用カット紙（Base paper for Pro-Photo finish）にプリントしたときは特にご注意ください。



オプションの EX-7000 用プレミアムラスターロール紙（Premium Luster Photo Paper（250））やプロフォト フィニッシュ用ロール紙（Base paper for Pro-Photo finish）の場合も、上記と同様の注意が必要です。

■ 写真を保管するときの注意

スタジオで写真を保管したり飾る場合は、以下の点にご注意ください。顧客からの保管や飾り方に関する問い合わせの参考としてもお役立てください。

● プリントした写真を保管するときの注意

- 写真を直射日光にさらさないでください。
- 暗室や、化学薬品のある場所に写真を放置しないでください。
- プリントしたあとは、写真が完全に乾いたのを確認してから写真を重ね、保管してください。
- 長期間保存する場合は、アルバムに保管して光や空気中のホコリや塵に触れないようにしてください。

プレミアムラスターフォトペーパー(Premium Luster Photo Paper)やプロフォトフィニッシュ用カット紙(Base paper for Pro-Photo finish)を使用したときの保管方法について

- インクが十分に乾くまで、印刷面に触れたり用紙を重ねたりしないでください。
- 印刷後、色が安定するまでに数時間程度かかります。このため、印刷直後と放置後では色味が若干異なる場合があります。インクが十分乾くまで（1 時間程度乾燥）、印刷面に触れたり、用紙を重ねたりしないでください。
- 用紙を重ねる場合、1 時間程度乾燥させた後、普通紙などの吸湿性のある用紙を印刷面に重ねてください。

> 注意 普通紙などを重ねる場合は、印刷面を完全に覆ってください。覆っていない部分があると、覆った部分との色目に変化が出ることがあります。

> ポイント オプションの EX-7000 用プレミアムラスターロール紙（Premium Luster Photo Paper（250））やプロフォト フィニッシュ用ロール紙（Base paper for Pro-Photo finish）の場合も、上記と同様の注意が必要です。

● 未使用の用紙を保管するときの注意

- 未使用の用紙は、お買い上げ時に用紙が入っていた袋に保管してください。
- 高温多湿を避け、強い光や直射日光の当たらない場所に保管してください。

■ 写真を飾るときの注意

- 写真は屋内に飾り、直射日光や強い光が当たらないようにしてください。色褪せ、にじみ、変色の原因になります。
- 高温多湿または乾燥しすぎる場所は避けてください。最適な気温と湿度は以下のとおりです。
  気温：15 ～ 30 ℃
  湿度：40 ～ 60%

エンハンスドマットペーパー（Enhanced Matte Paper）でプリントした写真を飾る場合

変色を防ぎ、いつまでも美しい色を保つために、写真はアルバムに保管してください。飾る場合は、ガラス付きの額に入れてください。

> ポイント
> オプションの EX-7000 用ウォーターカラー（画材）ロール紙（Watercolor Paper Radiant White）の場合も、上記と同様の注意が必要です。

プレミアムラスターフォトペーパー（Premium Luster Photo Paper）やプロフォトフィニッシュ用カット紙（Base paper for Pro-Photo finish）でプリントした写真を飾る場合

写真をガラス付きの額に入れるときは、ガラスが曇るのを防ぐため必ず以下の手順に従ってください。

- 印刷後は、一昼夜（24 時間）程度乾燥させるか、または 1 時間程度乾燥後、普通紙などの吸湿性のある用紙を印刷面に重ねてください。
- インクが十分乾くまで、印刷面に触れたり用紙を重ねたりしないでください。
- 印刷した用紙を保管する場合は、変色、色あせ、にじみを避けるために、普通紙などの吸湿性のある用紙を印刷面に重ね、クリアファイルなどに入れて、高温、高湿、直射日光を避けて暗所に保管することをお勧めします。

> 注意
> - 湿度の高い場所で写真を額に入れないでください。ガラスが曇ることがあります。
> - 写真を日常生活の場に飾る（例えば冷蔵庫の扉にマグネットで貼る）場合、環境によっては色褪せすることがあります。写真をガラス付きの額に入れない場合は、テレビ、パソコンのモニタ、空気清浄機のようなオゾンや高圧電気を発生させる機器から遠ざけてください。

> ポイント
> オプションの EX-7000 用プレミアムラスターロール紙（Premium Luster Photo Paper（250））やプロフォト フィニッシュ用ロール紙（Base paper for Pro-Photo finish）の場合も、上記と同様の注意が必要です。

■ 写真の寿命について

インクや用紙は時間とともに色褪せや劣化が生じます。写真の寿命は使用する用紙、インク、画像、飾る場所、保管の状態、光や湿度などの環境によって左右されます。写真をより長く楽しんでいただくためには、プレミアムラスターフォトペーパー（Premium Luster Photo Paper）にプリントし、飾る場合はガラス付きの額に入れ、適切な方法で保管してください。弊社では、写真の寿命について保証しておりません。



オプションの EX-7000 用プレミアムラスターロール紙（Premium Luster Photo Paper（250））も、上記と同様です。

メンテナンス

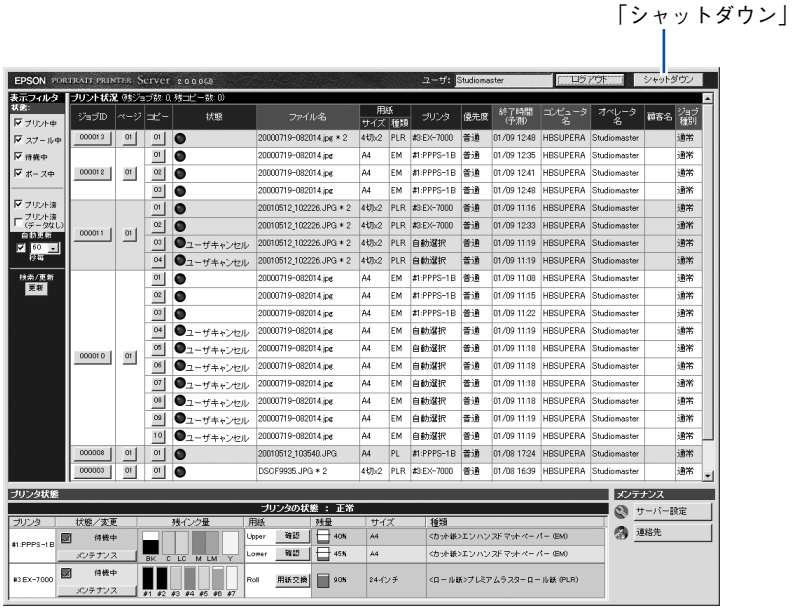
いつも良好なプリント画質を得るためには、定期的なプリンタのお手入れが必要です。また、本システム全体を維持・管理する EPPServer を常に最新な状態に保つことが、本システムでの作業の安定性につながります。
ここではプリンタの用紙設定やセット方法、インクカートリッジの交換方法などの日常的なメンテナンスのほか、プリンタの通紙経路のクリーニング、プリンタヘッドクリーニングなどの定期的なお手入れについて説明しています。また、常に最新の EPPServer のソフトウェアやデータを維持するために、EPPServer の更新方法やカスタムファイルのダウンロードの方法について説明しています。そのほかの項目もよくお読みいただき、本システムでの快適な作業にお役立てください。

■ システムの安定性を保つ（電源を切る）.....258
■ 用紙をセットする 260
■ EPPServer にログインする 269
■ EPPServer で用紙設定を確認する.....272
■ EPPServer でロール紙を設定する.....273
■ EPPServer でロール紙の切断方法を設定する 278
■ 通紙経路をクリーニングする.....280
■ ノズルチェックする 285
■ プリンタヘッドをクリーニングする 288
■ プリンタヘッドを調整する.....292
■ インクカートリッジを交換する 295
■ テストチャートをプリントする 298
■ 画質調整パターンをプリントする 302
■ カラープロファイルを更新する 306
■ プリントログをアップロードする 309
■ 再プリントデータを自動削除する 312
■ プリントジョブを整理する.....314
■ 自動用紙割付を設定する.....316
■ エラーメッセージを E メールで受信する.....319
■ 表示する用紙サイズや用紙種類を設定する 323
■ ネットワーク設定を保存する.....325
■ そのほかの設定をする 330
■ 本体を移動する 332
■ モニタのカラー補正を行う.....333
■ EPPServer のバージョンを確認する.....334
■ EPPServer のソフトウェアを更新する.....335
■ カスタムファイルをダウンロードする 337
■ 共通ファイルをダウンロードする 339

■ システムの安定性を保つ(電源を切る)

常に安定した状態で本システムを使うために週 1 回は電源を切ってください。電源を切るときは、すべてのプリントが終了し EPPLayout など本システムのソフトウェアの終了を確認してから以下の手順で電源を切ります。

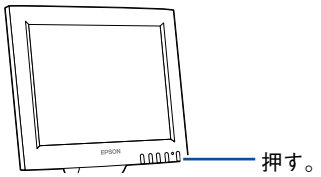
1 EPPServer の画面右上にある「シャットダウン」をクリックして、システムを終了します。



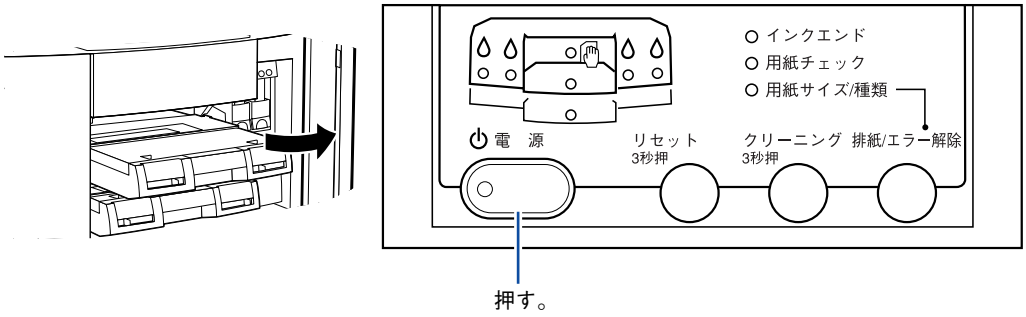
本体の LCD モニタにシャットダウン確認画面が表示されますので、「OK」をクリックすると EPPServer が終了して本体の電源が自動的に切れます。中止する場合は、「キャンセル」をクリックします。



2 本体の LCD モニタの「⏻電源」スイッチを押して電源を切ります。



3 キャビネットの右扉を開け、プリンタの「⏻電源」スイッチを押して電源を切ります。



4 キャビネットの右扉を閉じます。

5 オプションのEX-7000をお使いの場合は、EX-7000の電源を切ります。

> 注意　電源を切った後、約 1 分以内は、再び電源を入れないでください。

■ 用紙をセットする

プリンタには上下 2 つの用紙トレイがあり、A4 または A3 ノビサイズの用紙をセットすることができます。本プリンタには以下の EPSON 純正の用紙をお使いいただけます。

用紙種類	用紙サイズ	型番
エンハンスドマットペーパー（Enhanced Matte Paper）	A4	S041603
	A3 ノビ	S041605
プレミアムラスターフォトペーパー（Premium Luster Photo Paper）	A4	S041602
	A3 ノビ	S041604
プロフォト フィニッシュ用カット紙（Page paper for Pro-Photo finish）	A3 ノビ	S041791

注意 エンハンスドマットペーパー（Enhanced Matte Paper）からほかの種類の用紙に変更するときは、セットする前にクリーニングシートで通紙経路をクリーニングしてください。クリーニング方法については、「通紙経路をクリーニングする」（280 ページ）をご覧ください。

ポイント オプションのEX-7000にロール紙を取り付ける方法や使用できるロール紙については、本製品添付の取扱説明書「EX-7000 ユーザーズガイド」をご覧ください。

● 用紙トレイの最大積載量

用紙トレイにセットできる用紙の最大枚数は以下のとおりです。

用紙種類	用紙サイズ	用紙トレイ最大積載量
エンハンスドマットペーパー（Enhanced Matte Paper）	A4	50 枚
	A3 ノビ	20 枚
プレミアムラスターフォトペーパー（Premium Luster Photo Paper）	A4	20 枚
	A3 ノビ	
プロフォト フィニッシュ用カット紙（Page paper for Pro-Photo finish）	A3 ノビ	20 枚

用紙トレイに用紙をセットするときの注意

- プレミアムラスターフォトペーパー（Premium Luster Photo Paper）とプロフォト フィニッシュ用カット紙（Page paper for Pro-Photo finish）はよりつやのある面、エンハンスドマットペーパー（Enhanced Matte Paper）はより白い面がプリントする面です。
- プリントする面に手を触れないでください。指紋がつくとプリント画質が低下します。
- プリントする面は傷を付けないでください。
- 用紙を折ったり丸めたりしないでください。
- 用紙の取扱いに最適な気温と湿度は以下のとおりです。
  気温：15 ～ 30 ℃　　湿度：40 ～ 60%
- プリントする面を下向きにしてトレイにセットしてください。

注意 最大積載量以上の用紙をセットしないでください。用紙をセットしすぎると給紙エラーが発生しやすくなります。

● 用紙トレイに用紙をセットする

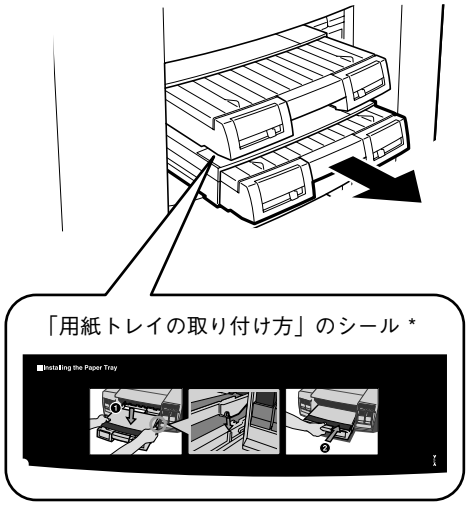
A4 サイズと A3 ノビサイズでは用紙を用紙トレイにセットする方法が異なります。用紙サイズに従って「A4 サイズをセットする場合」(261 ページ)、「A3 ノビサイズをセットする場合」(265 ページ) をご覧ください。

ポイント A3 ノビサイズの用紙をセットする場合は、用紙トレイの延長トレイカバーを引き出します。排紙された A3 ノビサイズの用紙を支える長さになり、用紙の落下を防ぎます。

注意
- A4 サイズの用紙を上トレイにセットしたときは、上トレイの延長トレイカバーを引き出さないでください。用紙ガイドローラが用紙を引き込むことができず、紙詰まりの原因になります。
- エンハンスドマットペーパー (Enhanced Matte Paper) からほかの種類の用紙に変更するときは、セットする前にクリーニングシートで通紙経路をクリーニングしてください。また、エンハンスドマットペーパー (Enhanced Matte Paper) で 50 枚プリントするごとに、クリーニングシートで通紙経路をクリーニングしてください。クリーニング方法については、「通紙経路をクリーニングする」(280 ページ) をご覧ください。

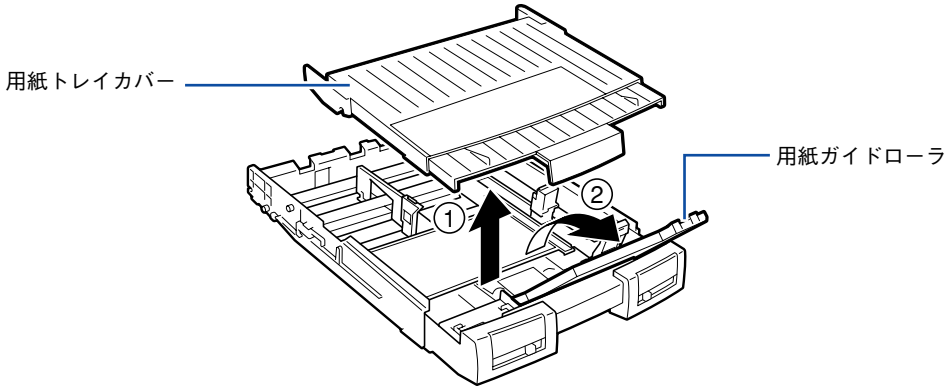
A4 サイズをセットする場合

1 上トレイまたは下トレイを引き出して、プリンタから取り外します。

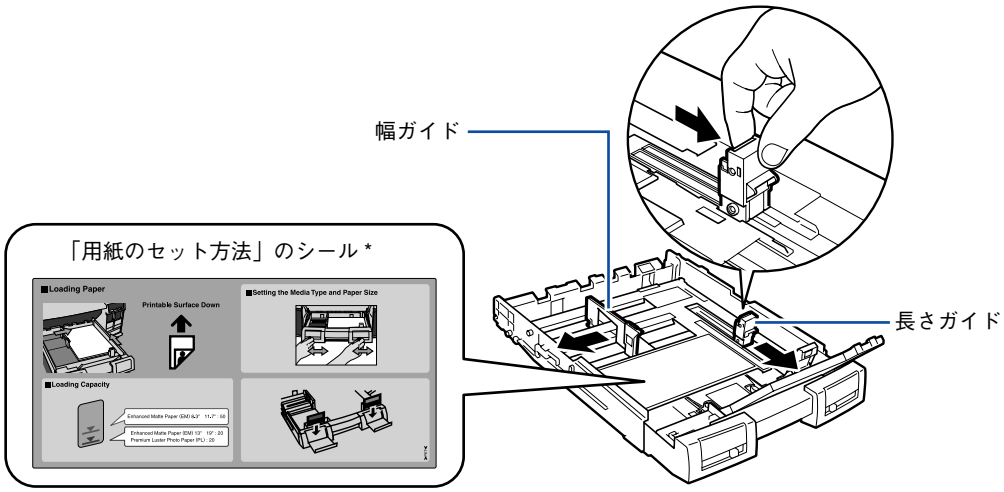


* シールの記載内容については、本製品添付の取扱説明書「安全にお使いいただくために」をご覧ください。

2 用紙トレイカバーを持ち上げて取り外し（①）、用紙ガイドローラを上に開きます（②）。



3 幅ガイドと長さガイドを矢印の方向へ突き当たるまでスライドします。

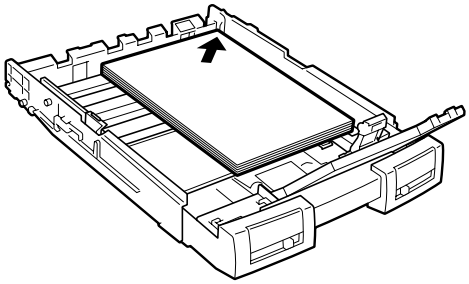


＊ シールの記載内容については、本製品添付の取扱説明書「安全にお使いいただくために」をご覧ください。

4 用紙をさばき、机などの平らな場所で用紙の端をそろえます。

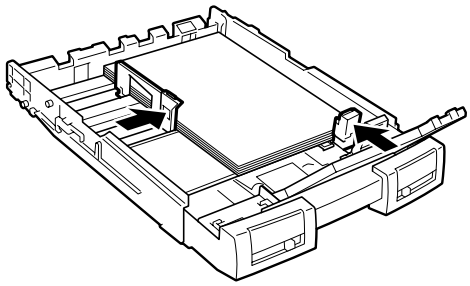
ポイント　用紙をさばいておくと用紙と用紙のあいだで発生する静電気が少なくなり、紙詰まりを防ぎます。

5 プリントする面を下にし、用紙を用紙トレイの右上角に合わせてセットします。



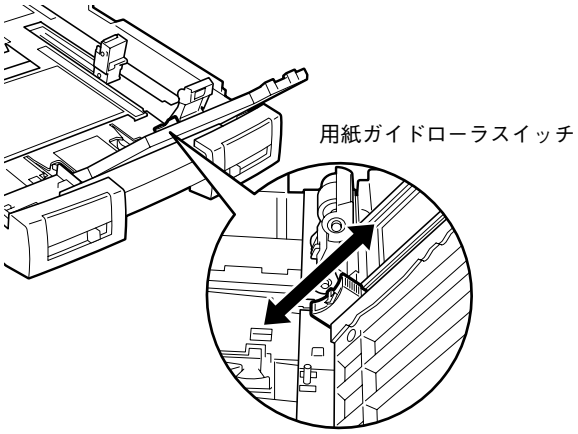
ポイント　プリントする面が下になっているか、用紙が平らになっているか確認してください。

6 幅ガイドと長さガイドを矢印の方向へスライドして、用紙の端に合わせます。



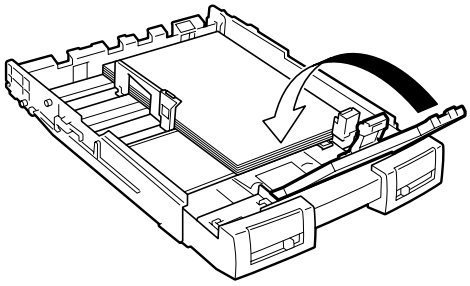
> 注意 幅ガイドと長さガイドは、用紙の端に正しく合わせてください。

7 用紙ガイドローラの位置が用紙のサイズに合うように、用紙ガイドローラスイッチをスライドします。



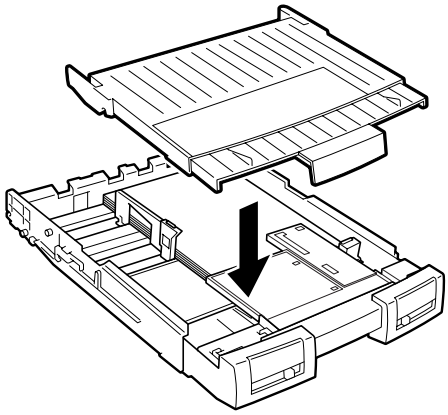
> 注意 用紙ガイドローラスイッチを用紙サイズに合わせて正しくセットしないと、紙詰まりの原因になります。

8 用紙ガイドローラを閉じます。



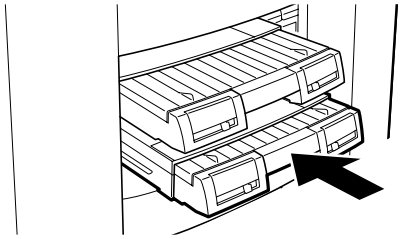
> 注意 用紙ガイドローラが用紙の上に乗るようにセットされているか確認してください。正しい位置にセットされていないと、紙詰まりの原因になります。

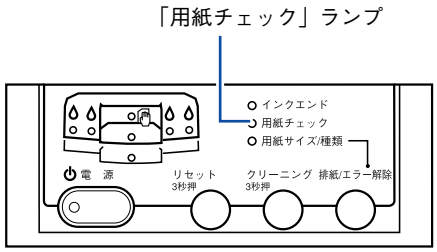
9 用紙トレイカバーを用紙トレイに取り付けます。



10 用紙トレイをプリンタの奥に突き当たるまで静かに差し込みます。

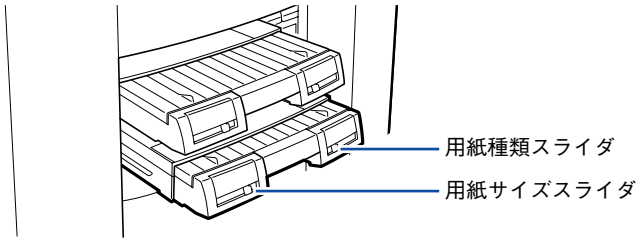
キャビネットの右扉を開け、コントロールパネルの「用紙チェック」ランプが消えていることを確認してください。





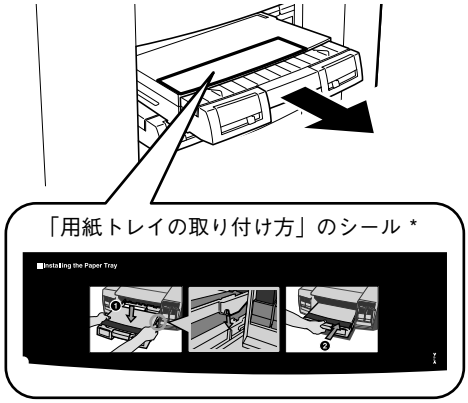
11 用紙サイズスライダと用紙種類スライダを用紙に合わせてセットします。

用紙サイズスライダと用紙種類スライダを正しくセットしないと、本体の LCD モニタ（EPPServer 画面）に「用紙サイズ・種類エラー」と表示され、プリントされません。用紙種類を変更した場合は、EPPServer で「用紙設定変更」を行ってください。詳しくは、「用紙種類スライダと用紙サイズスライダを設定する」（268 ページ）をご覧ください。



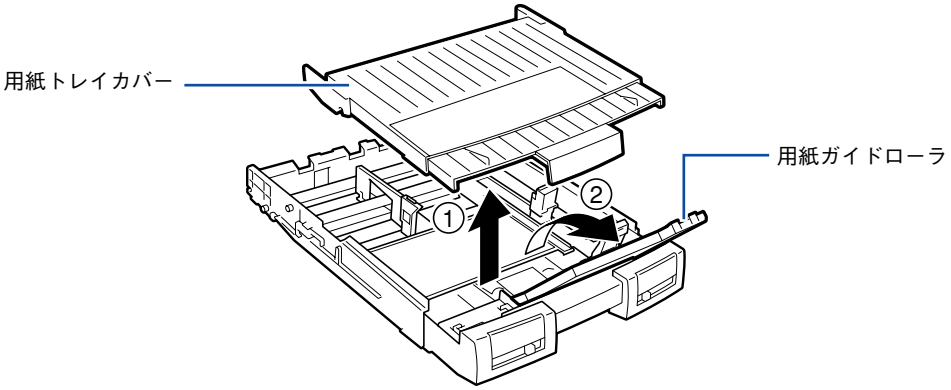
A3 ノビサイズをセットする場合

1 上トレイまたは下トレイを引き出して、プリンタから取り外します。

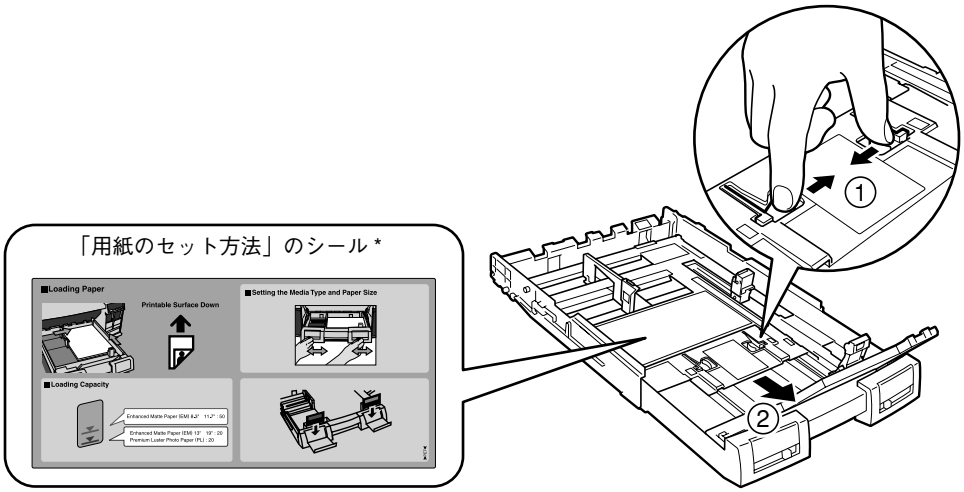


* シールの記載内容については、本製品添付の取扱説明書「安全にお使いいただくために」をご覧ください。

2 用紙トレイカバーを持ち上げて取り外し（①）、用紙ガイドローラを上に開きます（②）。

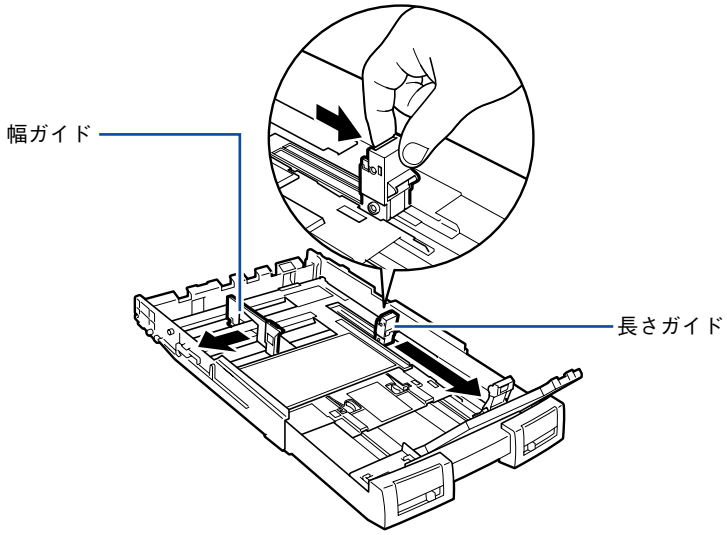


3 図のようにつまみを押してロックを解除し（①）、延長トレイを最後まで引き出します（②）。



* シールの記載内容については、本製品添付の取扱説明書「安全にお使いいただくために」をご覧ください。

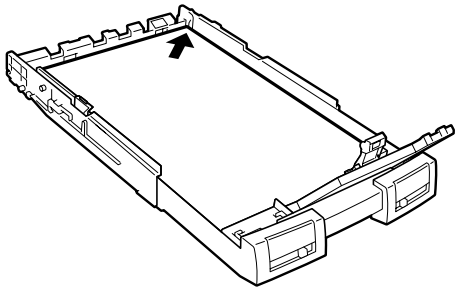
4 幅ガイドと長さガイドを矢印の方向へ突き当たるまでスライドします。



5 用紙をさばき、机などの平らな場所で用紙の端をそろえます。

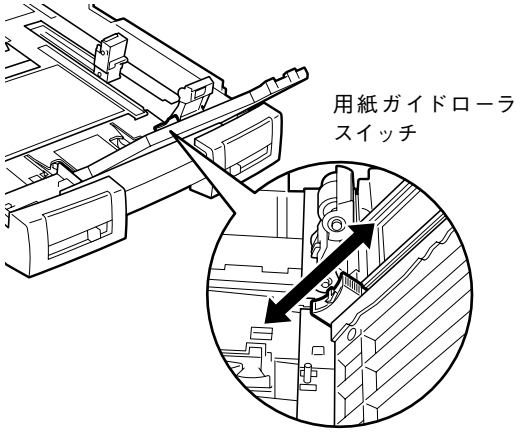
ポイント 用紙をさばいておくと用紙と用紙のあいだで発生する静電気が少なくなり、紙詰まりを防ぎます。

6 プリントする面を下にし、用紙を用紙トレイの右上角に合わせてセットします。



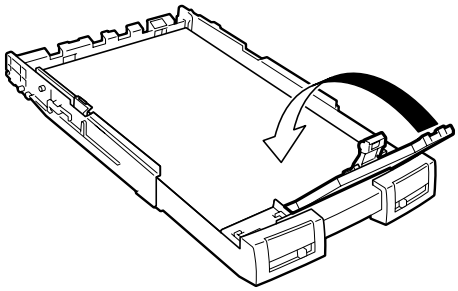
ポイント プリントする面が下になっているか、用紙が平らになっているか確認してください。

7 用紙ガイドローラの位置が用紙のサイズに合うように、用紙ガイドローラスイッチをスライドします。



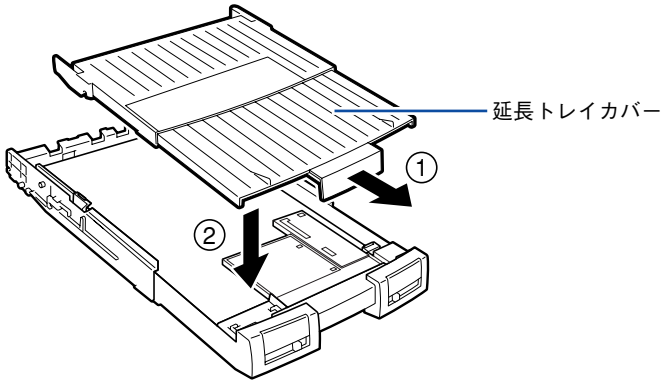
注意 用紙ガイドローラスイッチを用紙サイズに合わせて正しくセットしないと、紙詰まりの原因になります。

8 用紙ガイドローラを閉じます。



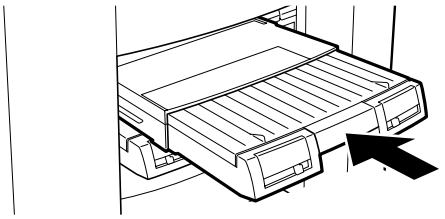
注意 用紙ガイドローラが用紙の上に乗るようにセットされているか確認してください。正しい位置にセットされていないと、紙詰まりの原因になります。

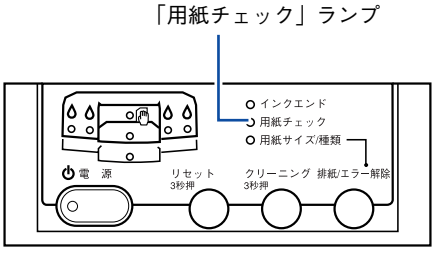
9 延長トレイカバーを矢印の方向へ引き出し（①）、用紙トレイに取り付けます（②）。



10 用紙トレイをプリンタの奥に突き当たるまで静かに差し込みます。

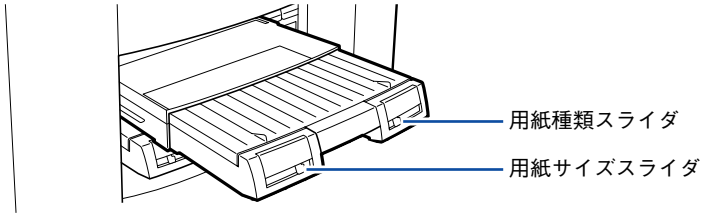
キャビネットの右扉を開け、コントロールパネルの「用紙チェック」ランプが消えていることを確認してください。





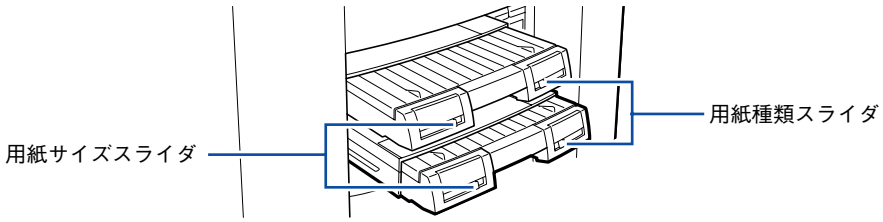
11 **用紙サイズスライダと用紙種類スライダを用紙に合わせてセットします。**

用紙サイズスライダと用紙種類スライダを正しくセットしないと、本体の LCD モニタ（EPPServer 画面）に「用紙サイズ・種類エラー」と表示され、プリントされません。用紙種類を変更した場合は、EPPServer で「用紙設定変更」を行ってください。詳しくは、「用紙種類スライダと用紙サイズスライダを設定する」（268 ページ）をご覧ください。



● 用紙種類スライダと用紙サイズスライダを設定する

用紙サイズスライダと用紙種類スライダを用紙に合わせて正しくセットしてください。EPPServer が用紙種類スライダと用紙サイズスライダの位置を認識し、用紙種類と用紙サイズを自動的に設定します。



用紙サイズスライダ設定

用紙サイズ	用紙サイズスライダの表示
A4	8.3" × 11.7"
A3 ノビ	13" × 19"

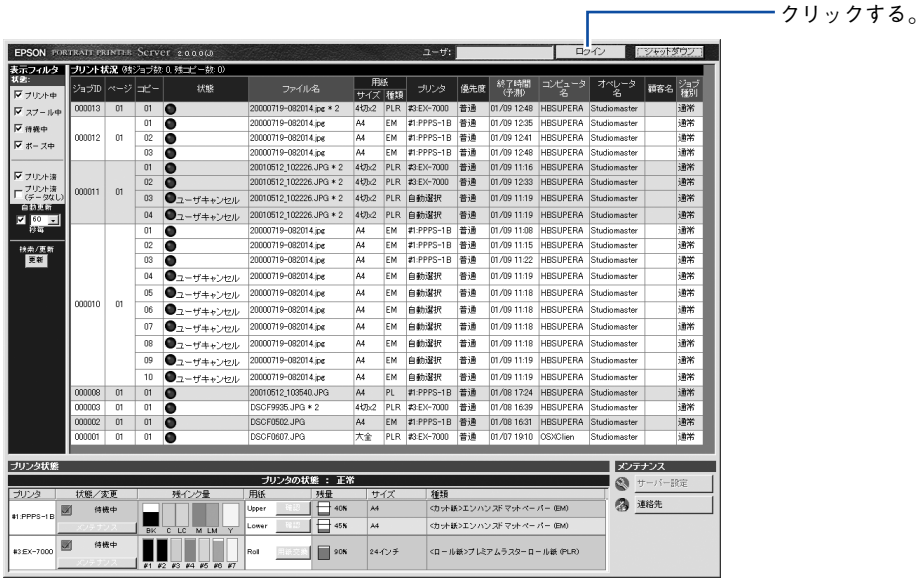
用紙種類スライダ設定

用紙種類	用紙種類スライダの表示
エンハンスドマットペーパー	Enhanced Matte Paper (EM)
プレミアムラスターフォトペーパー	Premium Luster Photo Paper (PL)
プロフォト　フィニッシュ用カット紙	Base paper for Pro-Photo finish (BP)

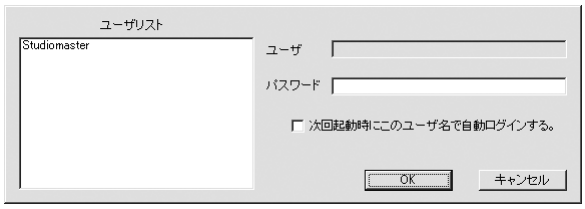
■ EPPServer にログインする

メンテナンス機能の多くは本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、設定します。ログインしたユーザーの操作権限に応じて、操作できる機能が異なります。操作権限は EPPMonitor の「ユーザ設定」で Studiomaster により設定できます。「ユーザ設定」については、「EPPMonitor オンラインヘルプ」の「A-7.「ユーザ設定」画面」をご覧ください。

1 EPPServer 画面右上の「ログイン」をクリックします。

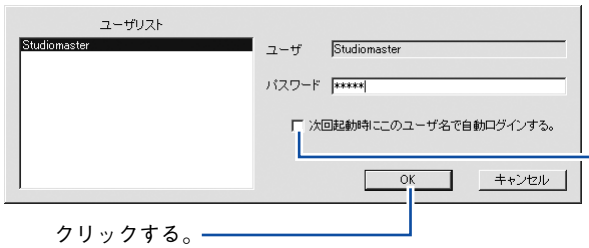


ログイン画面とソフトキーボードが表示されます。

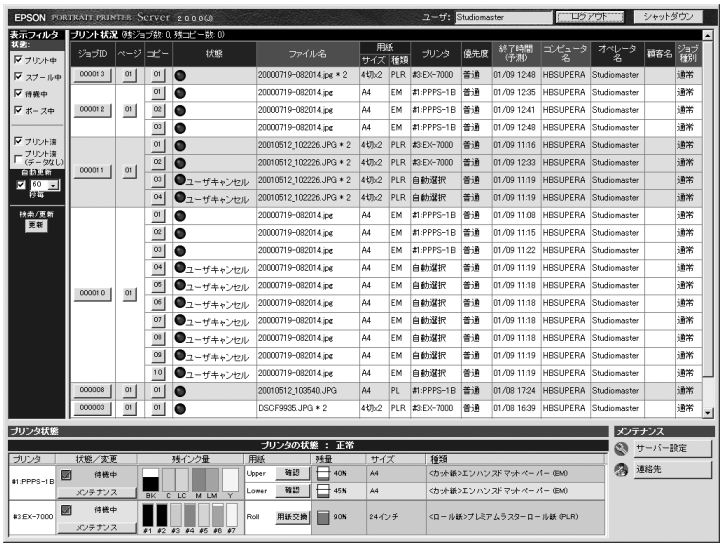


❷ ユーザー名を「ユーザリスト」から選択し、ソフトキーボードを使ってパスワードを入力して「OK」をクリックします。

ログインの設定を省く場合は、「次回起動時にこのユーザ名で自動ログインする」チェックボックスにチェック（✓ 印）を入れます。次回からログイン画面は表示されません。



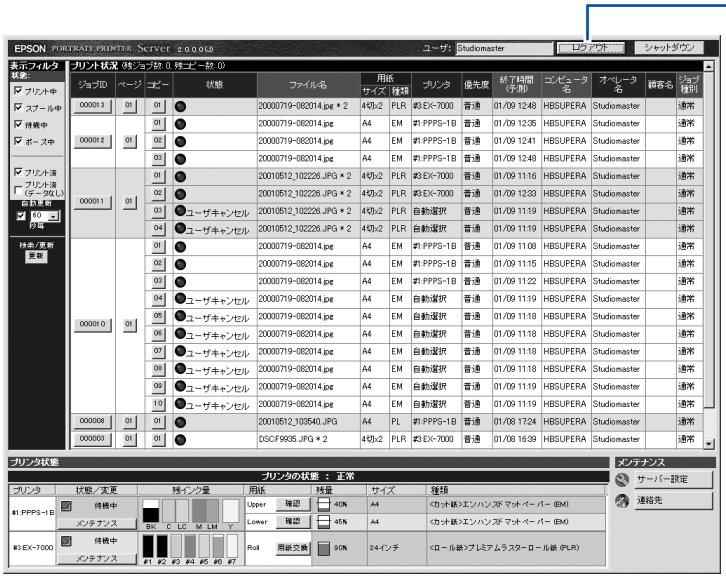
ログイン後の EPPServer 画面が表示されます。



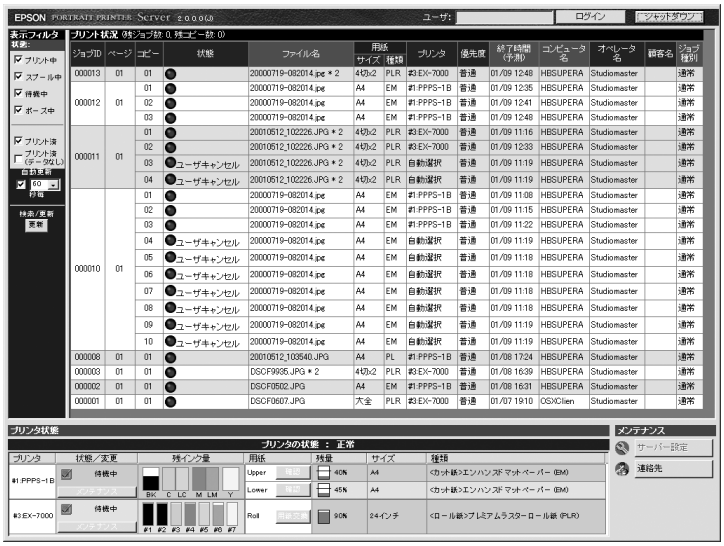
「プリンタ状態」エリアの「状態／変更」と「メンテナンス」エリアの項目が薄いグレーで表示されている場合は、ログインしたユーザーの「操作権限」では操作できないことを示します。

● EPPServer からログアウトするには

EPPServer 画面右上の「ログアウト」をクリックします。



ログアウト後の EPPServer 画面が表示されます。

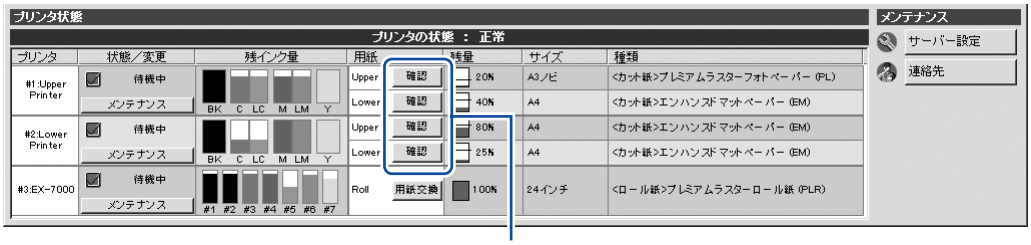


■ EPPServer で用紙設定を確認する

用紙トレイの用紙を変更した場合、EPPServer は用紙トレイの用紙種類スライダと用紙サイズスライダの位置を認識し、用紙種類と用紙サイズを自動的に設定します。本体の LCD モニタで EPPServer にログインすると、用紙の設定を確認できます。EPPServer にログインする方法については、「EPPServer にログインする」（269 ページ）をご覧ください。

> **注意**
> エンハンスドマットペーパー（Enhanced Matte Paper）からほかの種類の用紙に変更した場合は、セットする前にクリーニングシートで通紙経路をクリーニングしてください。クリーニング方法については、「通紙経路をクリーニングする」（280 ページ）をご覧ください。

1 EPPServer 画面下にある「プリンタ状態」エリアの「用紙」で、確認したい用紙トレイの「確認」をクリックします。



2 「用紙情報」画面を確認して「OK」をクリックします。



■ EPPServer でロール紙を設定する

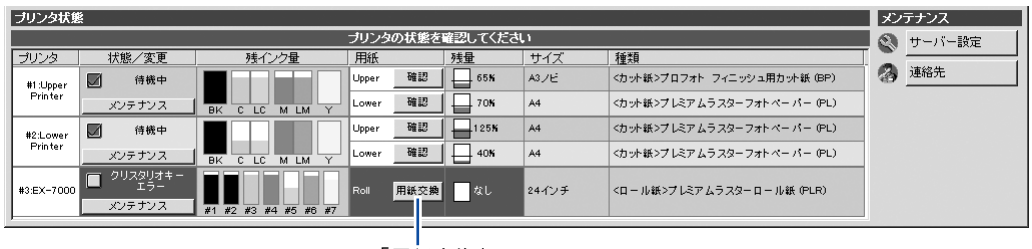
オプションの EX-7000 にロール紙を取り付ける場合、取り外す場合、また交換する場合は、本体の LCD モニタで EPPServer にログインして、ロール紙のクリスタリオキーを設定する必要があります。ここでは、EPPServer の設定方法を説明します。EPPServer にログインする方法については、「EPPServer にログインする」（269 ページ）をご覧ください。ロール紙の取り付け方法については、本製品添付の取扱説明書「EX-7000 ユーザーズガイド」をご覧ください。

> **ポイント**
> お買いあげいただいたロール紙には専用のクリスタリオキーが添付されています。このクリスタリオキーには、そのロール紙に関する情報（種類、サイズ、残量など）が記録されています。この情報を参照して、ロール紙への印刷を正しく行います。

● ロール紙を取り付ける場合

EX-7000 にロール紙を取り付ける場合は、以下の操作を行ってロール紙に添付されているクリスタリオキーを本体側のリーダーに取り付けてください。

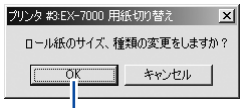
1 EPPServer 画面下にある「プリンタ状態」エリアの「用紙」で、EX-7000 の「用紙交換」をクリックします。



「用紙交換」

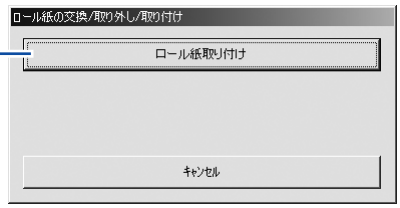
> **ポイント**
> クリスタリオキーがリーダーに未装着で EPPServer で設定されていない場合は、「状態 / 変更」に「クリスタリオキーエラー」と表示されます。

2 確認画面で「OK」をクリックします。

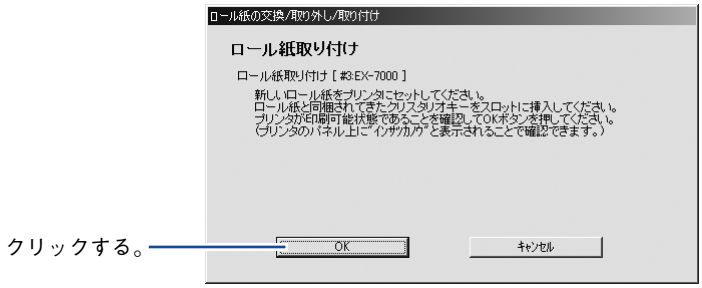


クリックする。

3 「ロール紙取り付け」をクリックします。

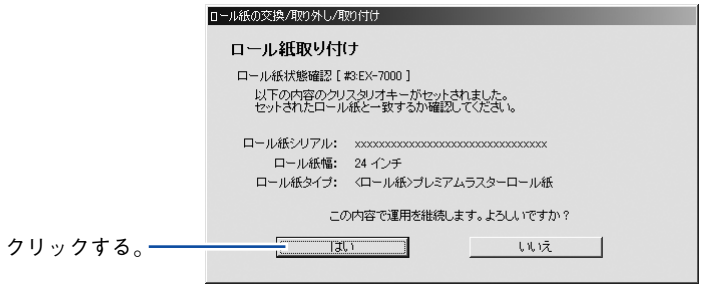


4 EX-7000 にロール紙を取り付け、ロール紙に添付されているクリスタリオキーを本体側のリーダーに取り付けてから、「OK」をクリックします。

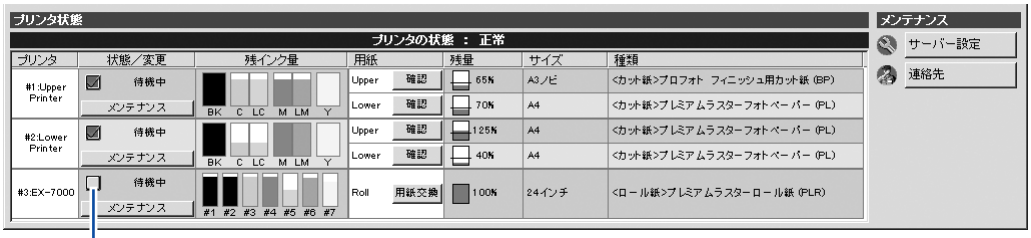


> **注意** 必ずロール紙に添付のクリスタリオキーを取り付けてください。別のクリスタリオキーを使用すると、用紙情報は正常に更新できません。

5 取り付けたロール紙の「ロール紙幅」と「ロール紙タイプ」を画面で確認してから「はい」をクリックします。



6 EX-7000の「状態/変更」で、チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。

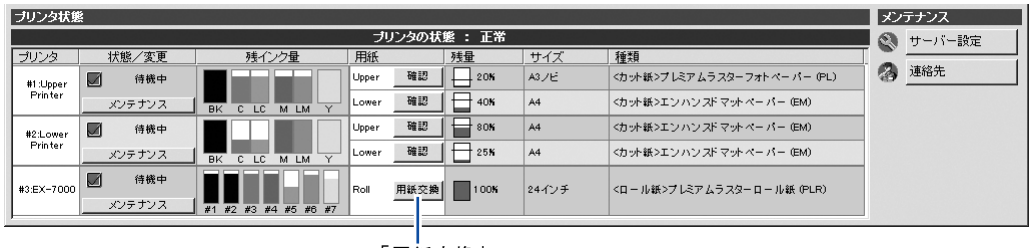


チェックボックスにチェック（✓印）を付ける。

● ロール紙を取り外す場合

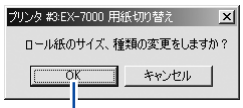
EX-7000 からロール紙を取り外して保管する場合は、以下の操作を行って本体側のリーダーからクリスタリオキーを取り外して、ロール紙と一緒に保管してください。

❶ EPPServer 画面下にある「プリンタ状態」エリアの「用紙」で、EX-7000 の「用紙交換」をクリックします。



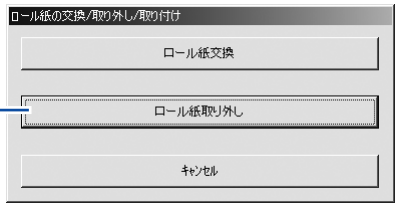
「用紙交換」

❷ 確認画面で「OK」をクリックします。



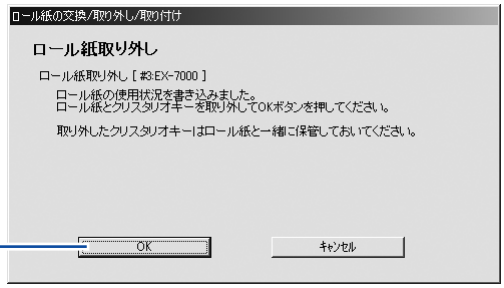
クリックする。

❸「ロール紙取り外し」をクリックします。



「ロール紙取り外し」

❹ EX-7000 からロール紙を取り外し、本体側のリーダーからクリスタリオキーを取り外してから、「OK」をクリックします。



クリックする。

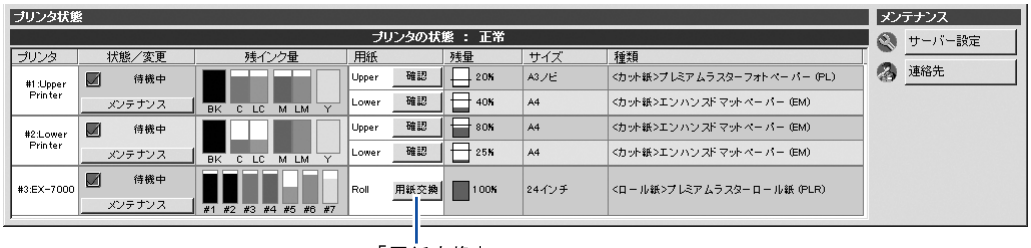
> **注意** 取り外したクリスタリオキーは、必ずロール紙と一緒に保管してください。後でロール紙を取り付ける際に別のクリスタリオキーを使用すると、用紙情報は正常に更新できません。

> **ポイント** EPPServer 画面下にある「プリンタ状態」エリアで、「クリスタリオキーエラー」を表示しますが、本体内蔵プリンタはそのままお使いいただけます。

● ロール紙を交換する場合

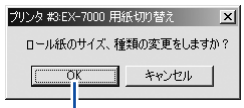
EX-7000 に取り付けているロール紙を交換する場合は、以下の操作を行ってそれぞれのロール紙に添付されているクリスタリオキーも必ず交換してください。

1 EPPServer 画面下にある「プリンタ状態」エリアの「用紙」で、EX-7000 の「用紙交換」をクリックします。



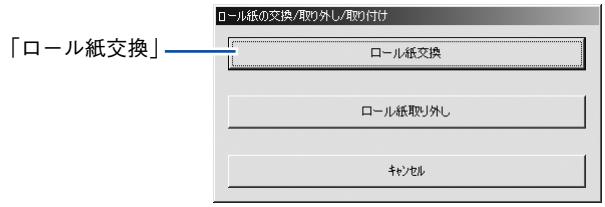
「用紙交換」

2 確認画面で「OK」をクリックします。

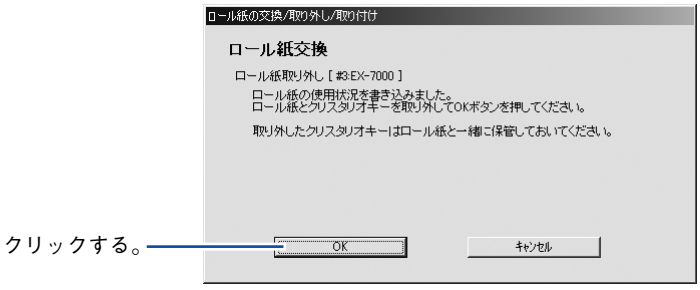


クリックする。

3 「ロール紙交換」をクリックします。



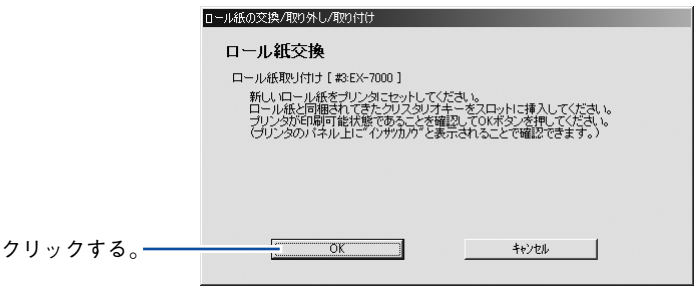
4 EX-7000 からロール紙を取り外し、本体側のリーダーからクリスタリオキーを取り外してから、「OK」をクリックします。



クリックする。

> **注意** 取り外したクリスタリオキーは、必ずロール紙と一緒に保管してください。後でロール紙を取り付ける際に別のクリスタリオキーを使用すると、用紙情報が正常に更新できなくなります。

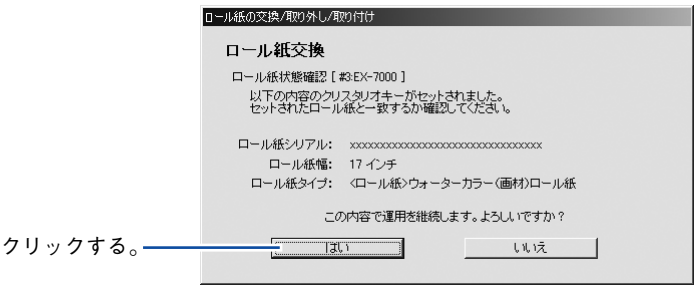
5 EX-7000 にロール紙を取り付け、ロール紙に添付されているクリスタリオキーを本体側のリーダーに取り付けてから、「OK」をクリックします。



> **注意** 必ずロール紙に添付のクリスタリオキーを取り付けてください。別のクリスタリオキーを使用すると、用紙情報は正常に更新できません。

> **ポイント** 交換前と同じクリスタリオキーをそのまま取り付けると確認画面が表示されます。
> - ロール紙を交換した場合は、「いいえ」をクリックして、交換するロール紙に添付されている正しいクリスタリオキーをリーダーに取り付けてから、再度「OK」をクリックします。
> - 何らかの理由で再度同じロール紙を取り付けた場合は、「はい」をクリックして次へ進みます。

6 取り付けたロール紙の「ロール紙幅」と「ロール紙タイプ」を画面で確認してから「はい」をクリックします。

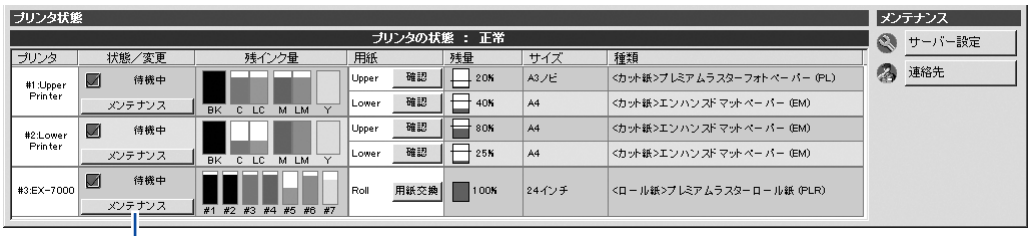


■ EPPServer でロール紙の切断方法を設定する

オプションの EX-7000 でプリントする場合、プリントしたページ毎にロール紙を EX-7000 の内蔵カッターでカットしたり、切り取り線を印刷することができます。ここでは、EPPServer の設定方法を説明します。EPPServer にログインする方法については、「EPPServer にログインする」（269 ページ）をご覧ください。

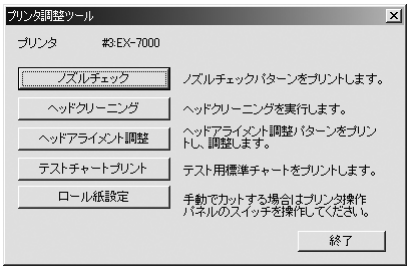
> **ポイント**
> EX-7000 の操作パネルから手動でロール紙をカットしたり、オプションのカッターユニットでロール紙をカットすることもできます。詳しくは、本製品添付の取扱説明書「EX-7000 ユーザーズガイド」をご覧ください。

1 EPPServer 画面下にある「プリンタの状態」エリアで、EX-7000 の「メンテナンス」をクリックします。



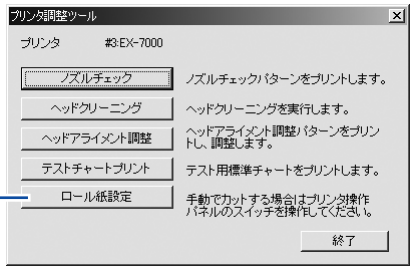
「メンテナンス」

「プリンタ調整ツール」画面が表示されます。



> **ポイント**
> EPPServer 画面を操作するには LCD モニタの下にあるマウスを使用します。

2 「ロール紙設定」をクリックします。



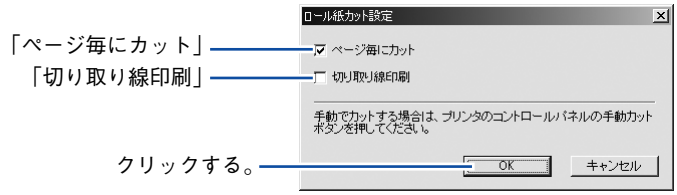
「ロール紙設定」

「ロール紙カット設定」画面が表示されます。



3 「ページ毎にカット」や「切り取り線印刷」を設定して、「OK」をクリックします。

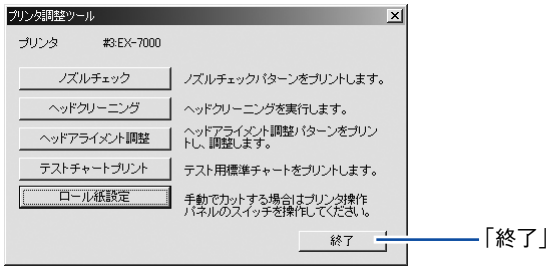
設定する機能のチェックボックスをクリックしてチェック（✓印）を入れます。



- **「ページ毎にカット」**：EX-7000 の内蔵カッターでプリントしたページ毎に自動的にロール紙をカットします。
- **「切り取り線印刷」**：プリントしたページ毎に切り取り線をロール紙に印刷します。

> **ポイント**
> - オプションのカッターユニットや市販のカッターでロール紙をカットする場合は、「ページ毎にカット」をオフにしてください。
> - カスタム用紙を使用した場合、「ページ毎にカット」は無効になります。

4 「終了」をクリックします。



■ 通紙経路をクリーニングする

給紙不良エラーが発生した場合は、クリーニングシートを使用して通紙経路（用紙が給紙または排紙される経路）をクリーニングする必要があります。また、エンハンスドマットペーパー（Enhanced Matte Paper）を使用している場合も状況によっては、クリーニングしてください。

ポイント

- クリーニングシートはエンハンスドマットペーパー（Enhanced Matte Paper）（A4）50 枚入りのパッケージに、1 枚付属しています。
- 通紙経路のクリーニングが必要なのは本体内蔵プリンタです。オプションの EX-7000 の場合は、ここでの説明通り通紙経路をクリーニングする必要はありません。

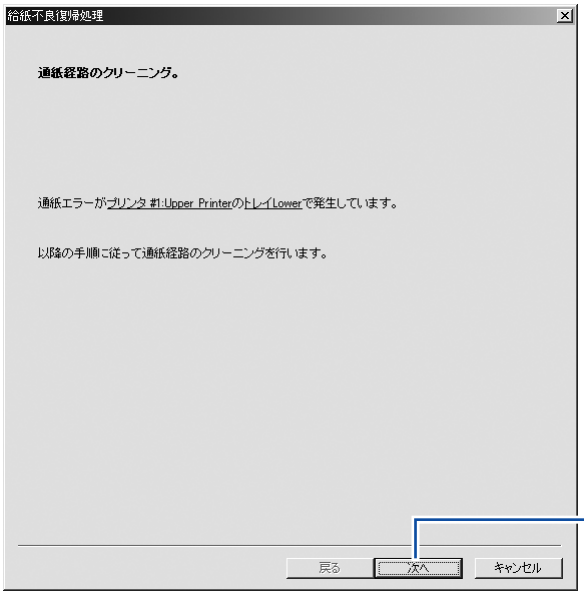
注意

- プリントが終了していることを確認してください。
- プリンタに待機中のプリントジョブが残っている場合は、クリーニングシートをセットする前に、一時的にプリンタを無効にします。「EPPServer」画面左下にある「プリンタ状態」エリアの「状態／変更」で、無効にするプリンタのチェックボックスからチェック（✓ 印）を外します。クリーニングが終わったら、チェックボックスにチェック（✓ 印）を入れてプリンタを有効にし、待機中のプリントジョブを再開します。「状態／変更」チェックボックスについては、「プリンタの有効／無効を設定する」（251 ページ）をご覧ください。
- 液体や布などで、通紙経路を清掃しないでください。

● 給紙不良エラーが発生した場合

給紙不良エラーが発生した場合は画面にメッセージを表示します。画面の説明に従って通紙経路をクリーニングし、もう一度プリントし直してください。

1 給紙不良が発生した用紙トレイを画面で確認して、「次へ」をクリックします。



❷ 給紙不良が発生したプリンタの電源を一度切ってから電源を入れ直してプリンタを初期化し、「次へ」をクリックします。



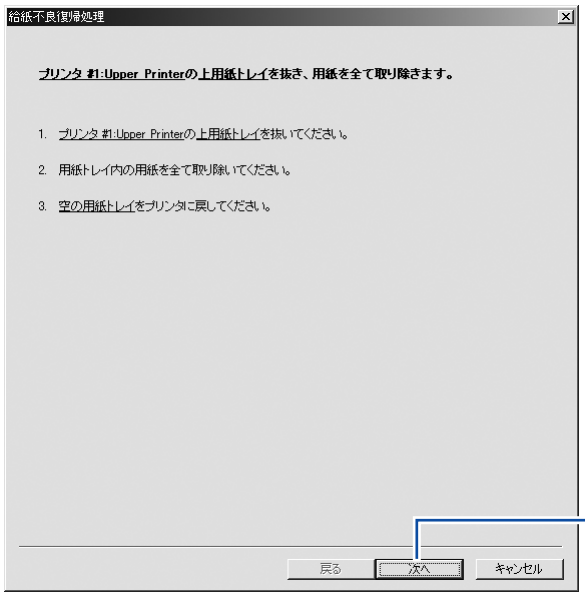
ポイント

- 「お待ちください。」画面が表示されたら、プリンタの初期化が終了するまでしばらくお待ちください。



- 上用紙トレイで給紙不良が発生した場合は、次の ❸ の画面は表示されません。❹ へ進んでください。

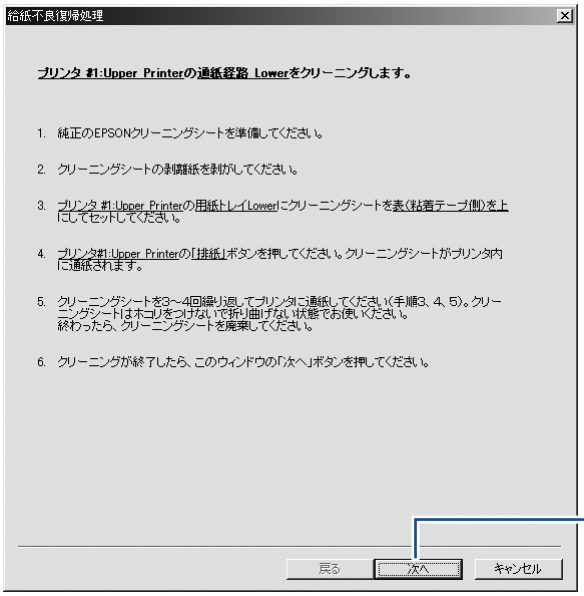
❸ プリンタの下用紙トレイで給紙不良が発生した場合は、上用紙トレイから用紙を取り除きます。



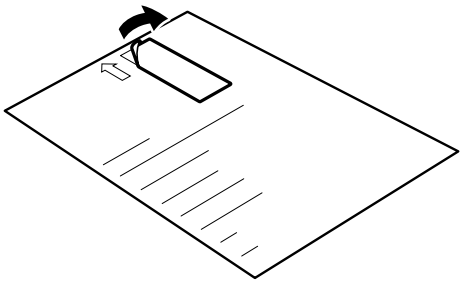
注意 上用紙トレイの用紙をすべて取り出しておかないと上用紙トレイから用紙が給紙され、下用紙トレイの給紙経路はクリーニングされません。

4 クリーニングシートを使って給紙経路を3～4回クリーニングして、「次へ」をクリックします。

画面の説明に従ってクリーニングします。

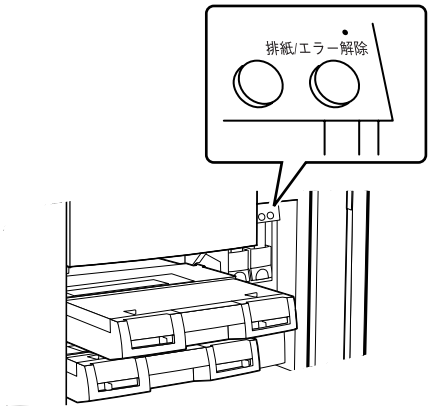


1 純正の EPSON クリーニングシートを準備します。
2 クリーニングシートのシールは以下のようにはがします。



> **注意** 汚れがついたり、折れたり曲がったりしたクリーニングシートは使わないでください。

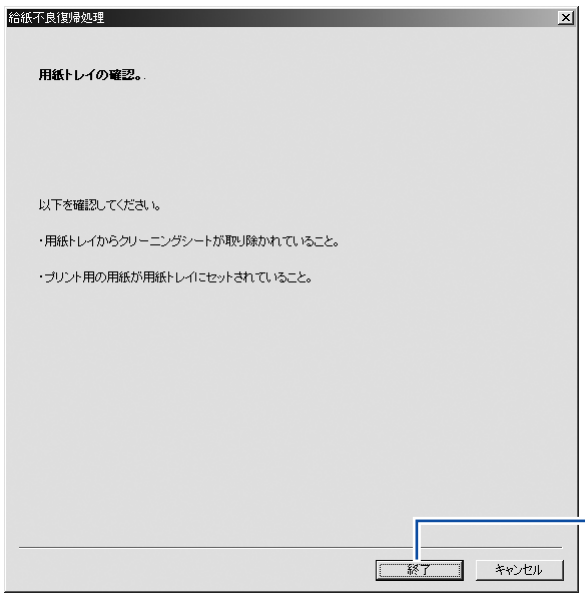
3 給紙不良が発生した用紙トレイに、粘着テープ側を上向きにしてクリーニングシートをセットします。
4 給紙不良が発生したプリンタの「排紙」を押します。



5 上記の手順を繰り返して、3～4 回クリーニングを行います。
6 クリーニングが終了したら、画面の「次へ」をクリックします。

5 **クリーニングシートを取り除いてから用紙をセットし直して、「終了」をクリックします。**

上用紙トレイから用紙を取り除いた場合は、上用紙トレイも用紙をセットし直します。



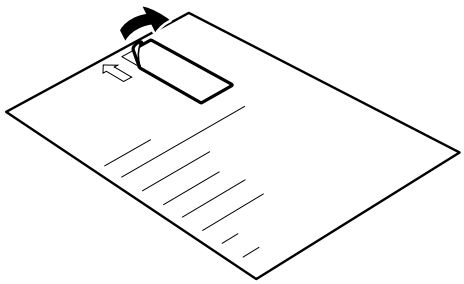
以上でクリーニングは終了です。もう一度プリントし直してください。

● エンハンスドマットペーパー(Enhanced Matte Paper)を使用している場合

エンハンスドマットペーパー（Enhanced Matte Paper）を使用している場合も以下の状況によっては、通紙経路をクリーニングしてください。

- エンハンスドマットペーパー（Enhanced Matte Paper）を 50 枚プリントするごとに通紙経路をクリーニングしてください。プレミアムラスターフォトペーパー（Premium Luster Photo Paper）を使用している場合は、用紙送りエラーが起こらない限り、クリーニングする必要はありません。
- セットする用紙をエンハンスドマットペーパー（Enhanced Matte Paper）からほかの種類の用紙に変更するときは、セットする前に通紙経路をクリーニングしてください。

1 **クリーニングシートのシールをはがします。**



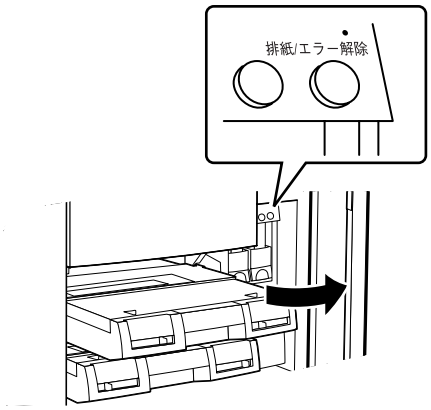
注意 汚れがついたり、折れたり曲がったりしたクリーニングシートは使わないでください。

2 上トレイの用紙をすべて取り出し、クリーニングシートの粘着テープ側を上向きにしてセットします。

> ポイント　詳しくは、「用紙トレイに用紙をセットする」（261 ページ）をご覧ください。

3 キャビネットの右の扉を開いて、プリンタの「排紙／エラー解除」を押します。

クリーニングシートがプリンタに給紙されます。



4 排紙されたクリーニングシートを使って、手順 2 ～ 3 を 3 ～ 5 回繰り返します。

> ポイント
> - 完全にクリーニングするためには 3 ～ 5 回操作してください。
> - 使用したシートは廃棄してください。
> - この操作を行っても、プリントジョブとしてカウントされることはありません。

5 必要に応じて下トレイからも同様にクリーニングします。

上トレイの用紙をすべて取り出してから、手順 1 ～ 4 に従い下トレイからクリーニングを行ってください。

> 注意　上トレイの用紙をすべて取り出しておかないと上トレイから用紙が給紙され、下トレイからはクリーニングされません。

■ ノズルチェックする

プリントした画像が薄かったり、かすれていたり白いスジが入る場合は、プリンタヘッドのノズルが詰まっている可能性があります。ノズルチェック機能を使って、ノズルが目詰まりしていないか確認してください。もし目詰まりしていた場合は、プリンタヘッドをクリーニングして目詰まりを取り除きます。本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、「EPPServer にログインする」（269 ページ）をご覧ください。

注意

- プリントが終了していることを確認してください。
- ノズルチェックするプリンタに待機中のプリントジョブが残っている場合は、一時的にプリンタを無効にします。EPPServer 画面左下にある「プリンタ状態」エリアの「状態／変更」で、無効にしたいプリンタのチェックボックスからチェック（✓印）を外します。ノズルチェックが終わったら、チェックボックスにチェック（✓印）を入れてプリンタを有効にし、待機中のプリントジョブを再開します。「状態／変更」チェックボックスについては、「プリンタの有効／無効を設定する」（251 ページ）をご覧ください。
- ノズルチェックを行うには、「プリンタ調整」の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。操作権限については、「EPPMonitor オンラインヘルプ」の「A-7.「ユーザ設定」画面」をご覧ください。

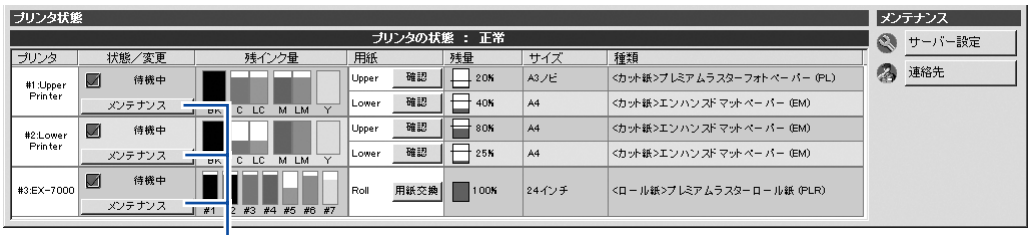
❶ プリンタのコントロールパネルの「インクエンド」ランプが点滅または点灯していないことを確認します。

- キャビネットの右扉を開き、コントロールパネルの「インクエンド」ランプを確認してください。「インクエンド」ランプが点滅または点灯している場合は、点滅または点灯しているインクのインクカートリッジを交換してください。詳しくは、「インクカートリッジを交換する」（295 ページ）をご覧ください。
- オプションの EX-7000 の場合は、操作パネルのインクエンドランプが点滅または点灯している場合は、点滅または点灯しているインクのインクカートリッジを交換してください。詳しくは、本製品添付の取扱説明書「EX-7000 ユーザーズガイド」をご覧ください。

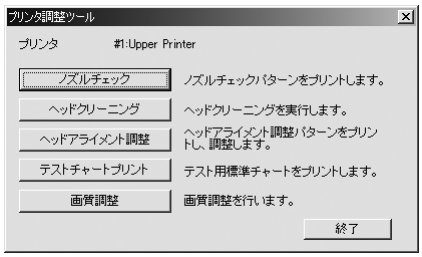
❷ プレミアムラスターフォトペーパー / ロール紙がプリンタにセットされていることを確認します。

- 本体内蔵プリンタの場合は、上、下どちらかの用紙トレイにプレミアムラスターフォトペーパー（Premium Luster Photo Paper）がセットされていることを確認します。
- オプションの EX-7000 の場合は、プレミアムラスターロール紙（Premium Luster Photo Paper （250））がセットされていることを確認します。

3 EPPServer 画面下にある「プリンタの状態」エリアで、ノズルチェックするプリンタの「メンテナンス」をクリックします。

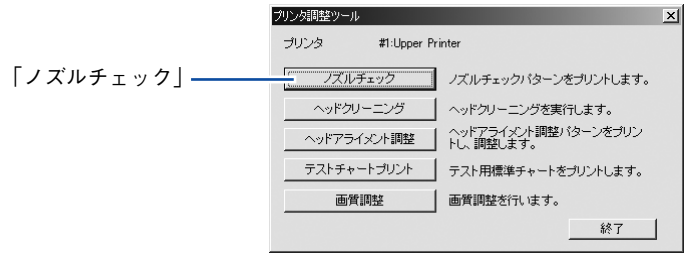


「プリンタ調整ツール」画面が表示されます。



> **ポイント**
> - EPPServer 画面を操作するには LCD モニタの下にあるマウスを使用します。
> - オプション EX-7000 の「プリンタ調整ツール」画面は、「画質調整」の代わりに「ロール紙設定」を表示します。

4 「ノズルチェック」をクリックします。



「ノズルチェック」画面が表示されます。



> **ポイント**
> オプションの EX-7000 の場合、これ以降画面表示が多少異なりますが基本的な操作手順は同じです。

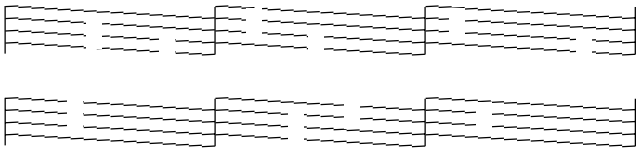
5 「プリント」をクリックし、画面の指示に従ってノズルチェックパターンをプリントします。



ポイント この操作を行っても、プリントジョブとしてカウントされることはありません。

6 プリントしたノズルチェックパターンを確認します。

ノズルチェックパターンに縦と横のラインのずれや、欠けがないか確認します。正常にプリントされている場合はプリンタヘッドをクリーニングする必要はありません。下のようにラインが欠けている場合は、プリンタヘッドのクリーニングを行ってください（288 ページ）。



ポイント 手順 3 ～ 5 の画面で「終了」をクリックすると設定が取り消され、「プリント状況」画面に戻ります。

■ プリンタヘッドをクリーニングする

プリントした画像が薄かったり、かすれていたり白いスジが入る場合は、プリンタヘッドのクリーニングが必要な可能性があります。プリンタヘッドのクリーニングを実行すると、目詰まりを取り除き、インクが正常に供給されるようになります。本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、「EPPServer にログインする」(269 ページ) をご覧ください。

注意

- プリントが終了していることを確認してください。
- ヘッドクリーニングするプリンタに待機中のプリントジョブが残っている場合は、一時的にプリンタを無効にします。EPPServer 画面左下にある「プリンタ状態」エリアの「状態／変更」で、無効にしたいプリンタのチェックボックスからチェック (✓ 印) を外します。ヘッドクリーニングが終わったら、チェックボックスにチェック (✓ 印) を入れてプリンタを有効にし、待機中のプリントジョブを再開します。「状態／変更」チェックボックスについては、「プリンタの有効／無効を設定する」(251 ページ) をご覧ください。
- プリンタヘッドのクリーニングはインクを消費します。プリント画質が悪い場合のみクリーニングを行ってください。
- クリーニング後はノズルチェックパターンをプリントし、チェックパターンが正常にプリントされない場合は、もう一度クリーニングを行ってください。
- プリンタヘッドのクリーニングを行うには、「プリンタ調整」の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。操作権限については、「EPPMonitor オンラインヘルプ」の「A-7.「ユーザ設定」画面」をご覧ください。

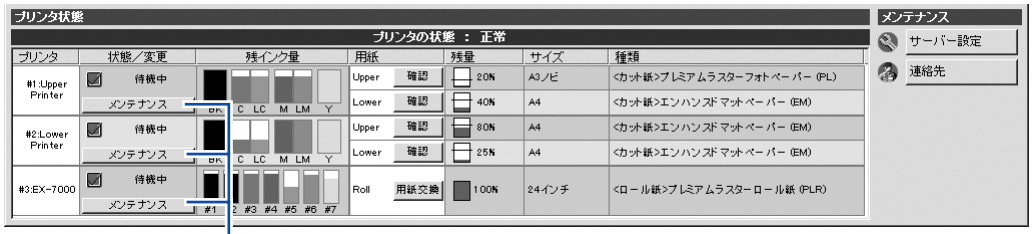
1 プリンタのコントロールパネルの「インクエンド」ランプが点滅または点灯していないことを確認します。

- キャビネットの右扉を開き、コントロールパネルの「インクエンド」ランプを確認してください。「インクエンド」ランプが点滅または点灯している場合は、点滅または点灯しているインクのインクカートリッジを交換してください。詳しくは、「インクカートリッジを交換する」(295 ページ) をご覧ください。
- オプションの EX-7000 の場合は、操作パネルのインクエンドランプが点滅または点灯している場合は、点滅または点灯しているインクのインクカートリッジを交換してください。詳しくは、本製品添付の取扱説明書「EX-7000 ユーザーズガイド」をご覧ください。

2 プレミアムラスターフォトペーパー / ロール紙がプリンタにセットされていることを確認します。

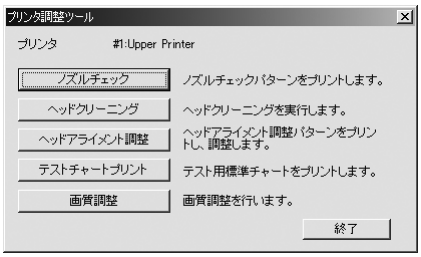
- 本体内蔵プリンタの場合は、上、下どちらかの用紙トレイにプレミアムラスターフォトペーパー (Premium Luster Photo Paper) がセットされていることを確認します。
- オプションの EX-7000 の場合は、プレミアムラスターロール紙 (Premium Luster Photo Paper (250)) がセットされていることを確認します。

3 EPPServer 画面下にある「プリンタの状態」エリアで、プリンタヘッドをクリーニングするプリンタの「メンテナンス」をクリックします。



「メンテナンス」

「プリンタ調整ツール」画面が表示されます。

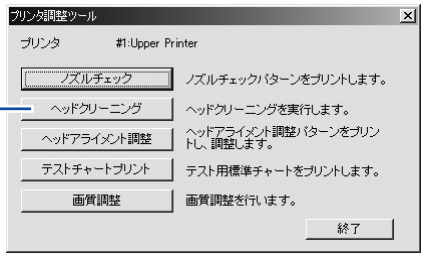


ポイント

- EPPServer 画面を操作するには LCD モニタの下にあるマウスを使用します。
- オプション EX-7000 の「プリンタ調整ツール」画面は、「画質調整」の代わりに「ロール紙設定」を表示します。

4 「ヘッドクリーニング」をクリックします。

「ヘッドクリーニング」



「ヘッドクリーニング」画面が表示されます。



注意

オプション EX-7000 のヘッドクリーニングを行うと、3 回目に「標準クリーニング」または「強力クリーニング」を選択する画面が表示されます。

- 「標準クリーニング」を選択した場合は、次回も「強力クリーニング」が選択できます。
- 「強力クリーニング」を選択した場合は、次の 3 回目にまた「強力クリーニング」が選択できます。

「強力クリーニング」はプリンタに大きな負担をかけるため、極力使用しないでください。

5 「開始」をクリックし、画面の指示に従ってプリンタヘッドをクリーニングします。

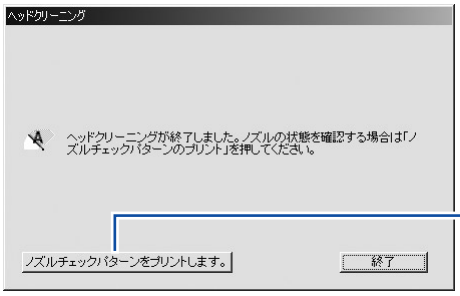


「キャンセル」をクリックするとクリーニングが取り消され、「プリンタ調整」画面に戻ります。「ノズルチェック」をクリックしてノズルチェックを行うこともできます。

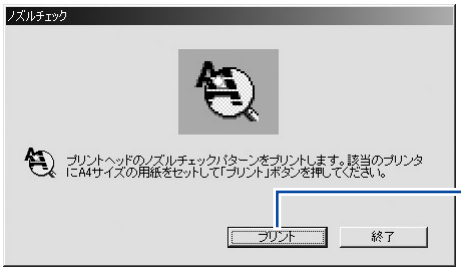
> ポイント
> プリンタヘッドのクリーニングには約 2 分かかり、その間はプリンタの「 電源」ランプが点滅します。

> 注意
> 「 電源」ランプの点滅中は絶対に電源を切らないでください。プリンタの故障の原因となります。

6 「 電源」ランプの点滅が点灯に変わったら「ノズルチェックパターンをプリントします。」をクリックします。



7 「プリント」をクリックし、画面の指示に従ってノズルチェックパターンをプリントします。



> ポイント
> - この操作を行っても、プリントジョブとしてカウントされることはありません。
> - オプションの EX-7000 の場合、これ以降画面表示が多少異なりますが基本的な操作手順は同じです。

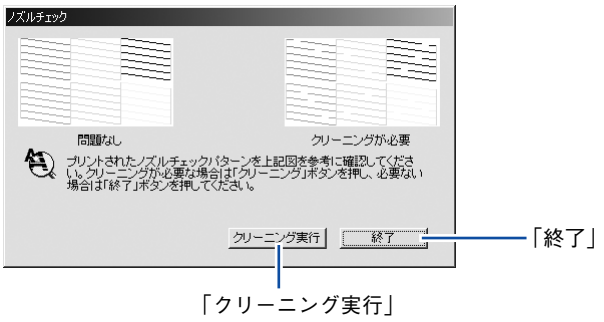
8 プリントしたノズルチェックパターンと画面に表示されているノズルチェックパターンを比較します。

正常にプリントされている場合

「終了」をクリックします。

クリーニングが必要な場合

「クリーニング実行」をクリックし、画面の指示に従ってもう一度プリンタヘッドをクリーニングします。



ポイント

プリンタヘッドのクリーニングを 3、4 回繰り返しても効果がない場合は、「プリント画質に関するトラブルと解決方法」（364 ページ）をご覧ください。

■ プリンタヘッドを調整する

プリントにスジが現れたり、縦の線がまっすぐにプリントされない場合は、専用ヘルプデスクにご相談の上、必要に応じてプリンタヘッドを調整してください。本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、「EPPServer にログインする」（269 ページ）をご覧ください。

注意

- プリントが終了していることを確認してください。
- プリンタヘッドを調整するプリンタに待機中のプリントジョブが残っている場合は、一時的にプリンタを無効にします。EPPServer 画面左下にある「プリンタ状態」エリアの「状態／変更」で、無効にしたいプリンタのチェックボックスからチェック（✓ 印）を外します。プリンタヘッドの調整が終わったら、チェックボックスにチェック（✓ 印）を入れてプリンタを有効にし、待機中のプリントジョブを再開します。「状態／変更」チェックボックスについては、「プリンタの有効／無効を設定する」（251 ページ）をご覧ください。
- プリンタヘッドの調整を行うには、「プリンタ調整」の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。操作権限については、「EPPMonitor オンラインヘルプ」の「A-7.「ユーザ設定」画面」をご覧ください。
- プリントヘッドを調整するとプリンタプロファイルの再作成が必要になります。プリントヘッドを調整する前に専用ヘルプデスクまでご相談ください。

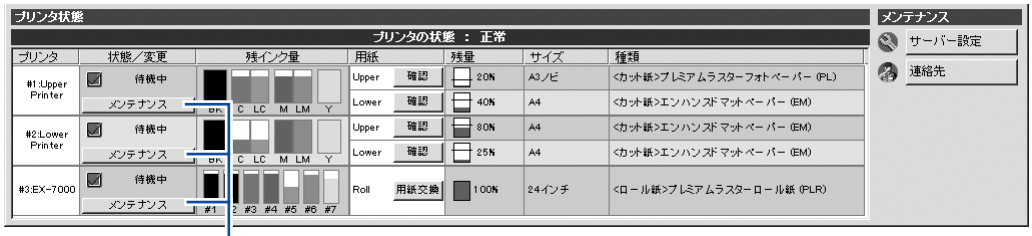
1 プリンタのコントロールパネルの「インクエンド」ランプが点滅または点灯していないことを確認します。

- キャビネットの右扉を開き、コントロールパネルの「インクエンド」ランプを確認してください。「インクエンド」ランプが点滅または点灯している場合は、点滅または点灯しているインクのインクカートリッジを交換してください。詳しくは、「インクカートリッジを交換する」（295 ページ）をご覧ください。
- オプションの EX-7000 の場合は、操作パネルのインクエンドランプが点滅または点灯している場合は、点滅または点灯しているインクのインクカートリッジを交換してください。詳しくは、本製品添付の取扱説明書「EX-7000 ユーザーズガイド」をご覧ください。

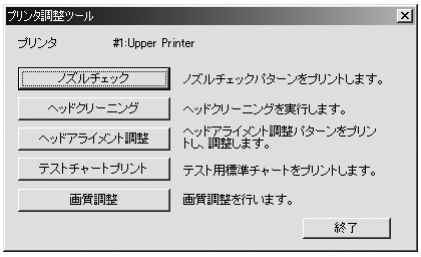
2 プレミアムラスターフォトペーパー / ロール紙がプリンタにセットされていることを確認します。

- 本体内蔵プリンタの場合は、上、下どちらかの用紙トレイにプレミアムラスターフォトペーパー（Premium Luster Photo Paper）がセットされていることを確認します。
- オプションの EX-7000 の場合は、プレミアムラスターロール紙（Premium Luster Photo Paper （250））がセットされていることを確認します。

3 EPPServer 画面下にある「プリンタの状態」エリアで、プリンタヘッドをクリーニングするプリンタの「メンテナンス」をクリックします。

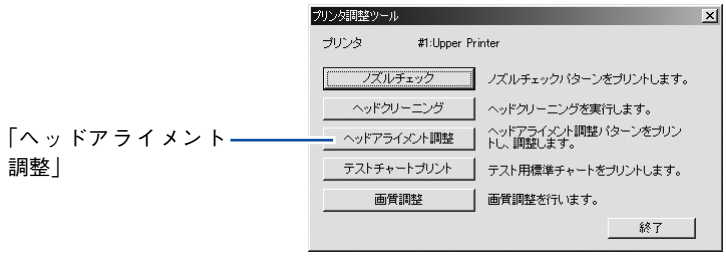


「プリンタ調整ツール」画面が表示されます。



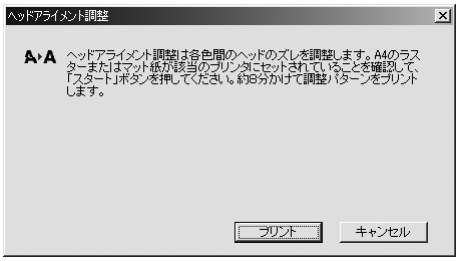
> **ポイント**
> - EPPServer 画面を操作するには LCD モニタの下にあるマウスを使用します。
> - オプション EX-7000 の「プリンタ調整ツール」画面は、「画質調整」の代わりに「ロール紙設定」を表示します。

4 「ヘッドアライメント調整」をクリックします。

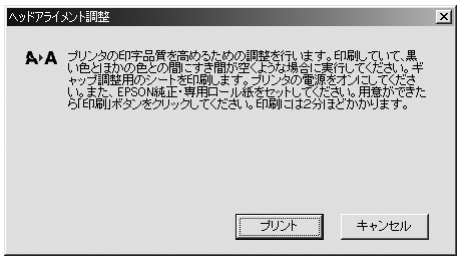


「ヘッドアライメント調整」画面が表示されます。

本体内蔵プリンタの場合



オプション EX-7000 の場合

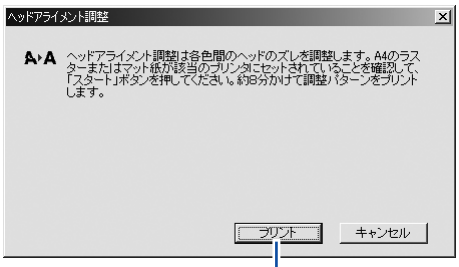


> **ポイント**
> オプションの EX-7000 の場合、これ以降画面表示が多少異なりますが基本的な操作手順は同じです。

5 「プリント」をクリックし、画面の指示に従ってテストページをプリントします。

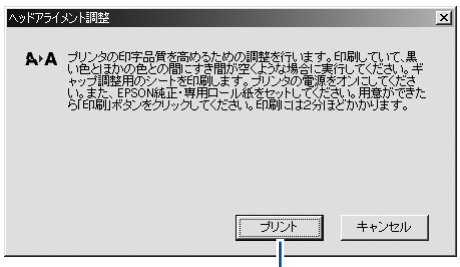
プリントには数分かかります。

本体内蔵プリンタの場合



「プリント」

オプション EX-7000 の場合

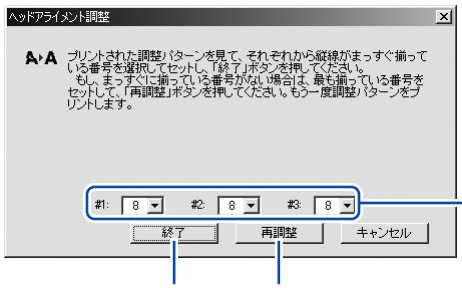


「プリント」

> **ポイント**
> この操作を行っても、プリントジョブとしてカウントされることはありません。

6 プリントされたテストページを確認し、各列（各色）で 2 本の縦線が最もまっすぐそろっているパターンの番号を選択します。

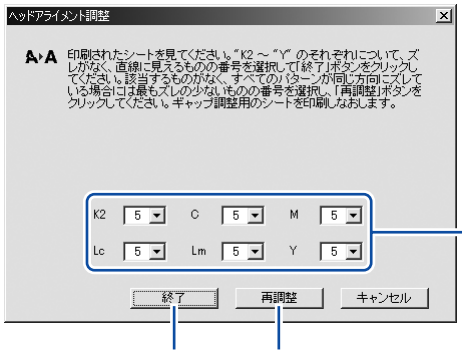
本体内蔵プリンタの場合



1～3の列で最もまっすぐ縦線がそろっているパターン番号を選択する。

「終了」 「再調整」

オプション EX-7000 の場合



各色で最もまっすぐ縦線がそろっているパターン番号を選択する。

「終了」 「再調整」

> **ポイント**
> - 調整パターンはルーペなどを使うと見やすくなります。
> - まっすぐにそろっているパターンがない場合は、最もそろっている番号を入力し、「再調整」をクリックしてもう一度テストページをプリントし、パターンを確認します。パターンの線がそろうまで、手順 5 と 6 を繰り返します。

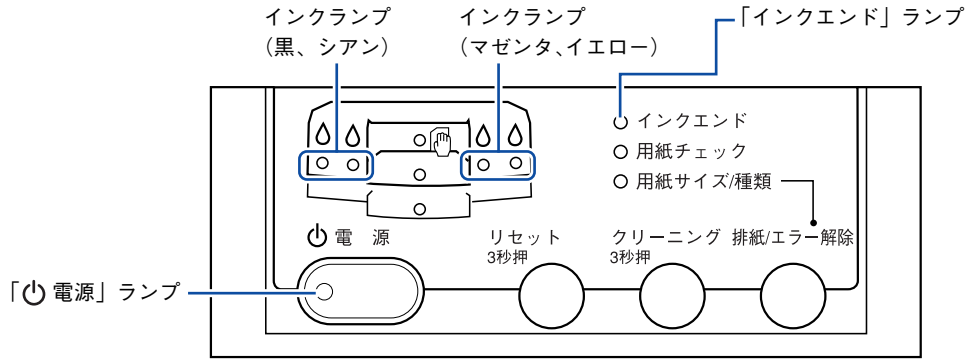
7 調整が終わったら、「終了」をクリックします。

■ インクカートリッジを交換する

インクカートリッジのインクが少なくなったり、なくなった場合は、クライアントコンピュータに警告のメッセージ画面が表示されます。新しいインクカートリッジと交換してください。インクの残量は EPPMonitor、EPPStatus または EPPServer から確認できます。詳しくは、「プリンタの状態を確認する」（244ページ）をご覧ください。

> **ポイント**
> ここでは本体に内蔵しているプリンタのインクカートリッジ交換手順を説明しています。オプションの EX-7000 にインクカートリッジを取り付ける方法や専用インクカートリッジの型番については、本製品添付の取扱説明書「EX-7000 ユーザーズガイド」をご覧ください。なお、必ず EX-7000 専用のインクカートリッジを使用してください。

プリンタ右側のコントロールパネルでも、インクカートリッジの残量を確認できます。キャビネットの右扉を開けてください。



「インクエンド」ランプが点滅している場合は、インクランプが点灯している色のインクカートリッジの残量が少なくなっています。新しいインクカートリッジを用意してください。

「インクエンド」ランプが点灯している場合は、インクランプが点灯している色のインクカートリッジの残量がありません。新しいインクカートリッジと交換してください。

> **注意**
> 新しいインクカートリッジと交換するとき以外はインクカートリッジを取り外さないでください。インクカウンタが正しく作動しなくなり、「インクエンド」ランプやインクランプの状態でインクの残量を判断できなくなります。

本プリンタで使用する EPSON 純正のインクカートリッジは以下のとおりです。

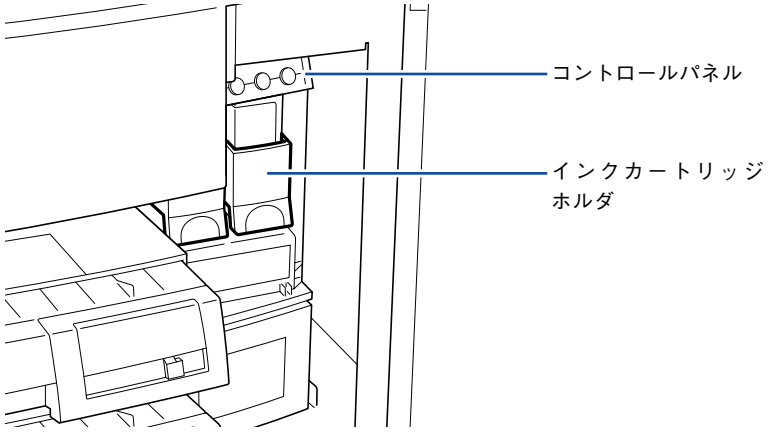
- ブラック：T5371
- シアン／ライトシアン：T5372
- マゼンタ／ライトマゼンタ：T5373
- イエロー：T5374

> **注意**
> - 新しいインクカートリッジに交換するまで空のインクカートリッジを取り外さず、プリンタ内にセットしたままにしてください。
> - プリント画質を保つために、EPSON 純正のインクカートリッジをお使いください。
> - インクカートリッジにインクを補充しないでください。
> - 上記の EPSON 純正のインクカートリッジは本プリンタ専用インクです。ほかのインクカートリッジを使用するとプリント画質を低下させ、システムに損傷を与えることがあります。弊社では、ほかのインクカートリッジを使用したことによるシステムの損傷については保証しておりません。

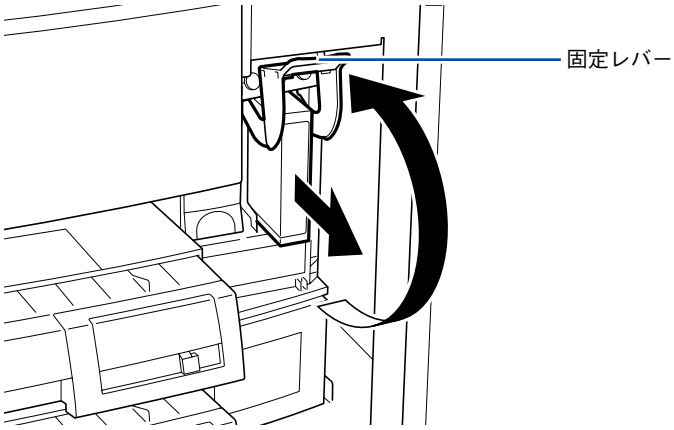
次の手順に従って、インクカートリッジを交換します。

1 キャビネットの右扉を開け、コントロールパネルの「⏻ 電源」ランプが点灯していることを確認します。

2 コントロールパネルの「インクエンド」ランプとインクランプの状態を確認し、交換が必要なインクカートリッジを用意します。
ブラックとシアンのインクカートリッジは、プリンタの向かって左側に、マゼンタとイエローのインクカートリッジは右側にあります。



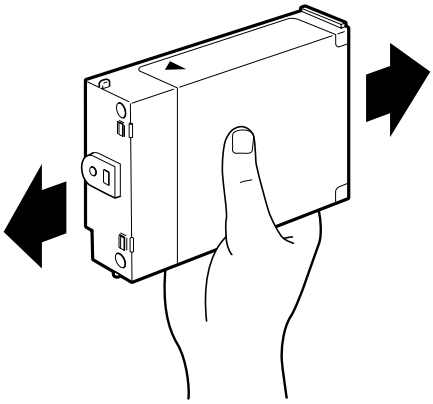
3 交換するインクカートリッジホルダの固定レバーを持ち上げ、インクカートリッジをまっすぐ引き出します。



注意
- インクが手についた場合は、石けんでよく洗ってください。
- インクが目に入った場合は、すぐに水で洗い流してください。
- インクカートリッジホルダの内部には触れないでください。けがをするおそれがあります。

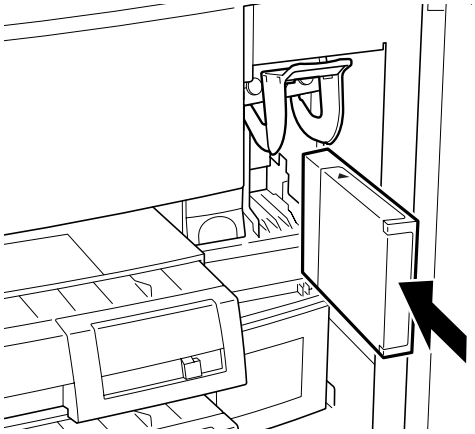
4 交換するインクカートリッジの色を確認し、新しいインクカートリッジを袋から取り出します。

5 新しいインクカートリッジをゆっくりと振ります。



> 注意 プリンタから取り外したインクカートリッジは振らないでください。インクが漏れるおそれがあります。

6 インクカートリッジの▲マークを上にし、矢印の方向に突き当たるまで差し込みます。



7 固定レバーを、カチッと音がするまで押し下げます。

8 交換したインクカートリッジのインクランプが消えたことを確認します。

> 注意 インクランプが消えない場合は、インクカートリッジが正しくセットされていません。インクカートリッジを取りはずして、もう一度セットし直してください。

9 キャビネットの扉を閉めます。

■ テストチャートをプリントする

プリンタヘッドのクリーニングやプリンタヘッドの調整などを行ってもプリントした画像がかすれたり、明らかに画像データと異なる色でプリントされる場合は、テストチャートをプリントし、画質調整パターン（302 ページ）と一緒に専用ヘルプデスクにお送りください。お使いのシステムの状態をそれらに基づいて検証し、システムにあったカラープロファイルを作成します。

作成されたカラープロファイルをセンターサーバからダウンロードしていただくだけでカラープロファイルが自動更新されます。カラープロファイルのダウンロードについては「カラープロファイルを更新する」（306 ページ）をご覧ください。

専用ヘルプデスクにテストチャートをお送りいただく際は、プリント終了後 1 時間以上乾燥させたあと、プリントした面に未使用のコピー用紙などを重ねるとともに、封筒には厚紙などを入れてテストチャートが折れないようにしてください。専用ヘルプデスクについては、「お問い合わせ先」（397 ページ）をご覧ください。

テストチャートのプリントは、本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、「EPPServer にログインする」（269 ページ）をご覧ください。

ポイント

- テストチャートをプリントする前に、最近プリントした画像にスジが入っていないか確認してください。スジが入っている場合は、「ノズルチェックする」（285 ページ）、「プリンタヘッドをクリーニングする」（288 ページ）、「プリンタヘッドを調整する」（292 ページ）、「画質調整パターンをプリントする」（302 ページ）の順に操作を行い、もう一度プリントして画質を確認してください。それでもスジが消えない場合は、テストチャートをプリントして専用ヘルプデスクにお送りください。
- プリントのスジが消えても、プリントされた色が明らかに画像データと異なる場合は、テストチャートをプリントして専用ヘルプデスクにお送りください。
- テストチャートをプリントしてもプリントジョブとしてカウントされることはありません。

注意

テストチャートのプリントを行うには、「プリンタ調整」の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。操作権限については、「EPPMonitor オンラインヘルプ」の「A-7.「ユーザ設定」画面」をご覧ください。

内蔵プリンタ（およびオプションの接続プリンタ）からテストチャートをプリントします。どのテストチャートをプリントするかは、専用ヘルプデスクにお問い合わせください。

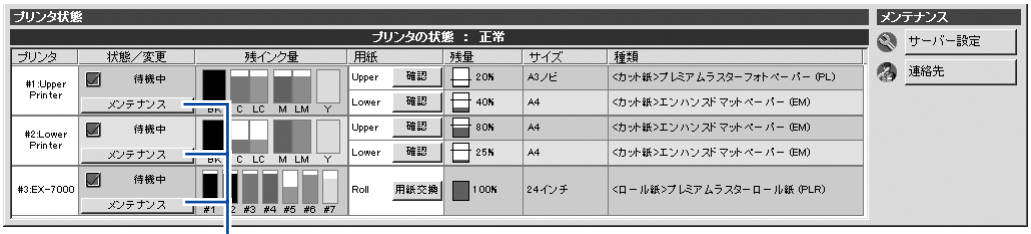
本体内蔵プリンタの場合

テスト チャート名	プリントする用紙の種類と枚数	合計プリント枚数と専用 ヘルプデスクへの送付枚数
PPPS-I Profile Chart 288	• エンハンスドマットペーパー（Enhanced Matte Paper）：1 枚 • プレミアムラスターフォトペーパー（Premium Luster Photo Paper）：1 枚 • プロフォト　フィニッシュ用カット紙（Base paper for Pro-Photo finish）：1 枚	合計 3 枚 全 3 枚を専用ヘルプデスクへ送付
PPPS-I Color Check Sheet	• プレミアムラスターフォトペーパー（Premium Luster Photo Paper）：2 枚 • プロフォト　フィニッシュ用カット紙（Base paper for Pro-Photo finish）：2 枚	合計 4 枚 2 枚を専用ヘルプデスクへ送付（残り 2 枚はお手元に保管）
PPPS-I Color Chart 288	• エンハンスドマットペーパー（Enhanced Matte Paper）：1 枚 • プレミアムラスターフォトペーパー（Premium Luster Photo Paper）：1 枚 • プロフォト　フィニッシュ用カット紙（Base paper for Pro-Photo finish）：1 枚	合計 3 枚 全 3 枚を専用ヘルプデスクへ送付
Alignment Check Pattern	• プレミアムラスターフォトペーパー（Premium Luster Photo Paper）：1 枚 • プロフォト　フィニッシュ用カット紙（Base paper for Pro-Photo finish）：1 枚	合計 2 枚 全 2 枚を専用ヘルプデスクへ送付

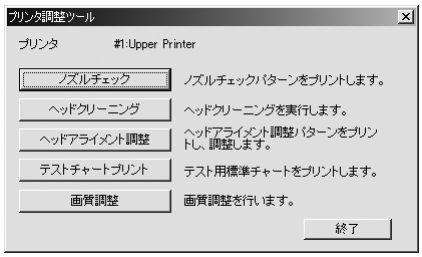
オプション EX-7000 の場合

テスト チャート名	プリントする用紙の種類と枚数	合計プリント枚数と専用 ヘルプデスクへの送付枚数
PPPS-I Profile Chart 918	• プレミアムラスターロール紙（Premium Luster Photo Paper（250））：1 枚 • ウォーターカラー（画材）ロール紙（Watercolor Paper for Radiant White）：1 枚 • プロフォト　フィニッシュ用ロール紙（Base paper for Pro-photo finish）：1 枚	合計 3 枚 全 3 枚を専用ヘルプデスクへ送付
PPPS-I Color Check Sheet	• プレミアムラスターロール紙（Premium Luster Photo Paper（250））：2 枚 • プロフォト　フィニッシュ用ロール紙（Base paper for Pro-photo finish）：2 枚	合計 4 枚 2 枚を専用ヘルプデスクへ送付（残り 2 枚はお手元に保管）
PPPS-I Color Chart 288	• プレミアムラスターロール紙（Premium Luster Photo Paper（250））：1 枚 • ウォーターカラー（画材）ロール紙（Watercolor Paper for Radiant White）：1 枚 • プロフォト　フィニッシュ用ロール紙（Base paper for Pro-photo finish）：1 枚	合計 3 枚 全 3 枚を専用ヘルプデスクへ送付
Alignment Check Pattern	• プレミアムラスターロール紙（Premium Luster Photo Paper（250））：1 枚 • プロフォト　フィニッシュ用ロール紙（Base paper for Pro-photo finish）：1 枚	合計 2 枚 全 2 枚を専用ヘルプデスクへ送付

1 EPPServer 画面下にある「プリンタの状態」エリアで、テストチャートをプリントするプリンタの「メンテナンス」をクリックします。

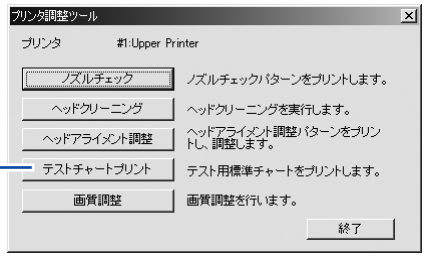


「プリンタ調整ツール」画面が表示されます。



> **ポイント**
> - EPPServer 画面を操作するには LCD モニタの下にあるマウスを使用します。
> - オプション EX-7000 の「プリンタ調整ツール」画面は、「画質調整」の代わりに「ロール紙設定」を表示します。

2 「テストチャートプリント」をクリックします。



「テストチャートプリント」画面が表示されます。



3 「チャート名」リストボックスからプリントするテストチャートを選択します。



4 「用紙種類」リストからテストページをプリントする用紙の種類を選択し、「プリント」をクリックします。



> **ポイント**
> オプションの EX-7000 の場合、選択する用紙種類の名称は内蔵プリンタの場合と異なります。

「チャートのプリント中です。終了するまでお待ちください。」のメッセージ画面が表示されます。「キャンセル」をクリックすると「プリンタ調整ツール」画面に戻ります。

5 手順 2 ～ 4 を繰り返し、「テストチャートプリント」画面から必要なテストチャートをプリントします。

> **ポイント**
> - テストチャートをプリントしたら約 1 時間乾燥させてください。
> - テストチャートを重ねる場合は、プリントした面の間に未使用のコピー用紙などをはさんで重ねてください。

■ 画質調整パターンをプリントする

本体に内蔵しているプリンタでプリントした画像に帯状のスジが出る場合は、画質調整パターンをプリントして画質を確認し、調整することができます。画質調整は、本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、「EPPServer にログインする」(269 ページ)をご覧ください。

> ポイント　オプションの EX-7000 の場合は、画質調整パターンをプリントしません。

カラープロファイルを更新するには、画質調整パターンをプリントし、テストチャートとともに専用ヘルプデスクにお送りください。詳しくは、「カラープロファイルを更新する」(306 ページ)をご覧ください。

> 注意　画質調整を行うには、「プリンタ調整」の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。操作権限については、「EPPMonitor オンラインヘルプ」の「A-7.「ユーザ設定」画面」をご覧ください。

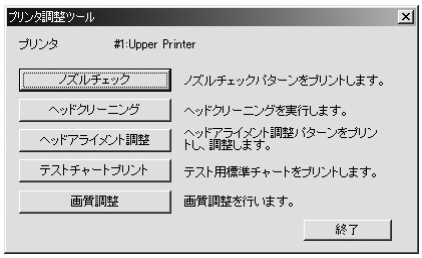
1 プリンタの上トレイに、A4 サイズのプレミアムラスターフォトペーパー（Premium Luster Photo Paper）をセットします。

画質調整パターンは 4 枚プリントされるので、最低 4 枚の用紙をセットしてください。用紙をセットする方法については「用紙をセットする」(260 ページ)をご覧ください。

2 EPPServer 画面下にある「プリンタの状態」エリアで、テストチャートをプリントするプリンタの「メンテナンス」をクリックします。

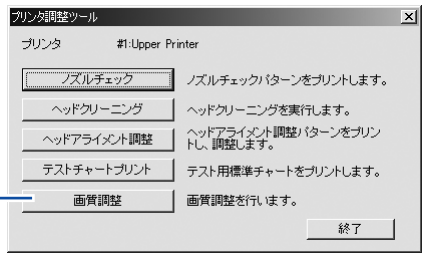


「プリンタ調整ツール」画面が表示されます。

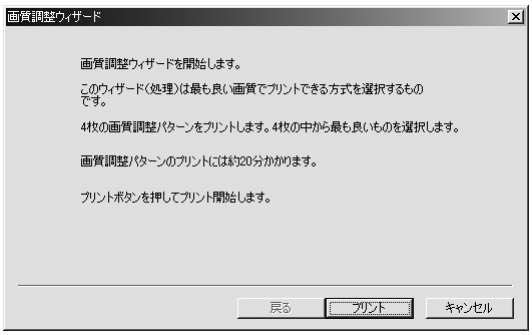


> ポイント　EPPServer 画面を操作するには LCD モニタの下にあるマウスを使用します。

3 「画質調整」をクリックします。

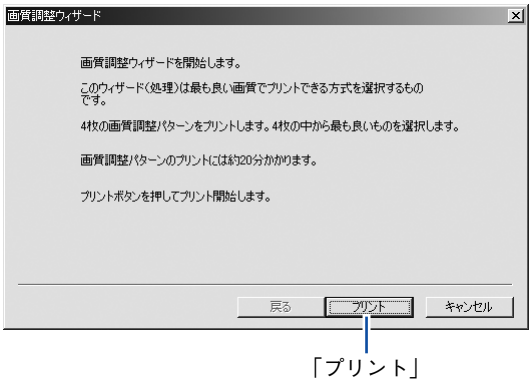


「画質調整ウィザード」画面が表示されます。



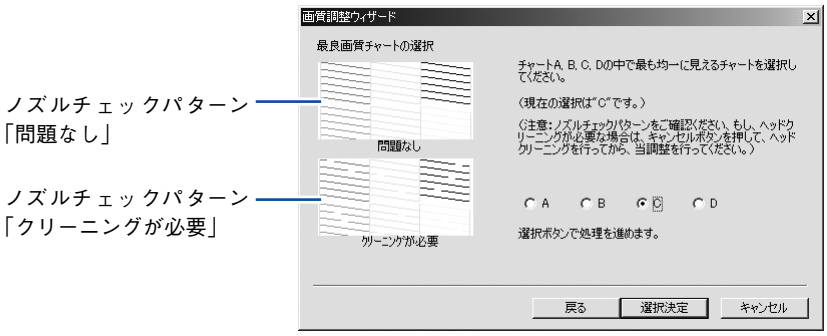
4 「プリント」をクリックします。

A、B、C、D の 4 種類の画質調整シートを 1 枚ずつ、合計 4 枚プリントされます。プリントには約 20 分かかります。



5 プリントされた画質調整パターンの画質を確認します。

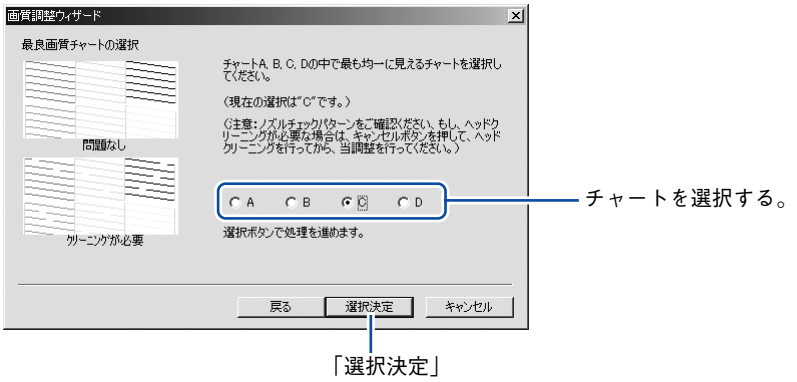
「画質調整ウィザード」画面に表示されている「問題なし」と「クリーニングが必要」のチャートを参考にして、画質を確認します。



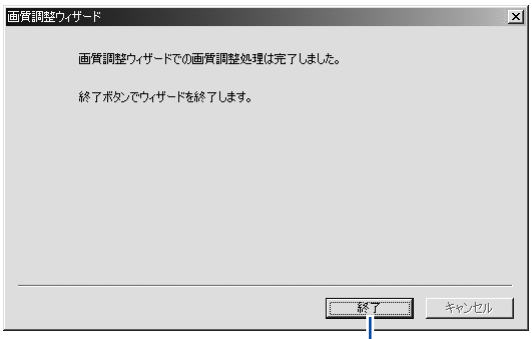
- **各チャート上部でノズルチェックパターンを確認する**
  欠けた部分がある場合は、ノズルが目詰まりを起こしています。「キャンセル」をクリックし、「プリンタヘッドをクリーニングする」（288 ページ）を参照して、プリンタヘッドをクリーニングしてください。クリーニングが終わったあと、もう一度画質調整パターンをプリントして、画質を確認してください。
- **各チャートのグラデーション部分とベタの部分を比較する**
  ノズルチェックパターンに問題がない場合は、プリントされた 4 枚のチャートの中から、最も横スジが少なく自然なグラデーションがでているチャートを探します。（縦スジがでていても、問題ありません。）通常、チャート A または B が最も自然な仕上がりになります。

> ポイント
> 「戻る」をクリックすると「画質調整ウィザード」画面に戻ります。

6 最も自然な仕上がりのチャートを選択し、「選択決定」をクリックします。



7 「終了」をクリックします。



プリントした画質調整パターンを専用ヘルプデスクに送る場合

手順 6 で選択したチャートを除いた残り３枚をテストチャートとともに送ってください。

■ カラープロファイルを更新する

プリンタヘッドのクリーニングやプリンタヘッドの調整などを行ってもプリントした画像がかすれたり、明らかに画像データと異なる色でプリントされる場合は、カラープロファイルを定期的に更新する必要があります。

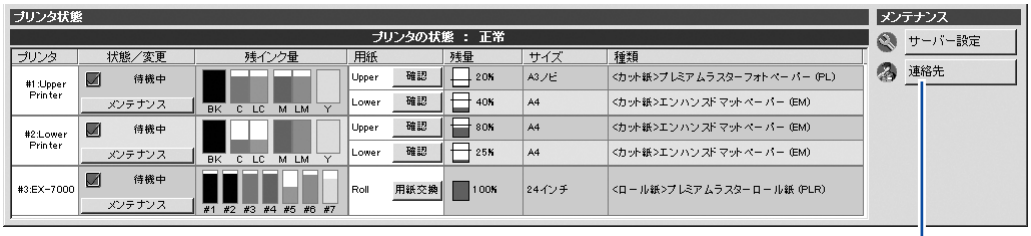
カラープロファイルを更新するには、テストチャートと画質調整パターンをプリントし、専用ヘルプデスクにお送りください。専用ヘルプデスクについては、「お問い合わせ先」（397 ページ）をご覧ください。

お使いのシステムの状態をそれらに基づいて検証し、システムに合ったカラープロファイルを作成します。作成されたカラープロファイルをセンターサーバからダウンロードしていただくだけでカラープロファイルが自動更新されます。ダウンロードは本体の LCD モニタに表示されている EPPServer 画面で操作します。

オプションの EX-7000 をお使いの場合は、テストチャートのみ印刷してください（画質調整パターンを印刷する必要はありません）。センターサーバーで EX-7000 を認識して必要なカラープロファイルを自動的にダウンロードします。

> ポイント
> テストチャートと画質調整パターンのプリントについては、「テストチャートをプリントする」（298 ページ）、「画質調整パターンをプリントする」（302 ページ）をご覧ください。

1 EPPServer 画面右下にある「メンテナンス」エリアの「連絡先」をクリックします。



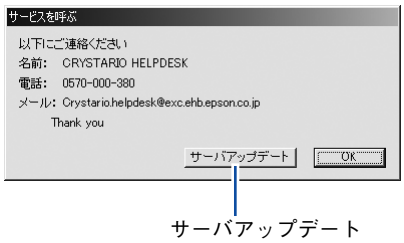
「連絡先」

「サービスを呼ぶ」画面が表示されます。

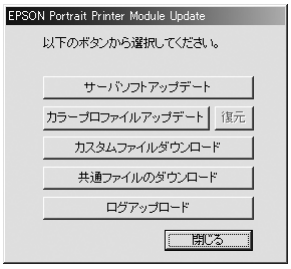


> ポイント
> EPPServer 画面を操作するには LCD モニタの下にあるマウスを使用します。

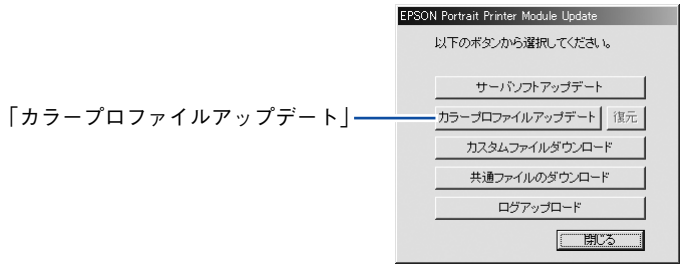
2 「サーバアップデート」をクリックします。



次の画面が表示されます。



3 「カラープロファイルアップデート」をクリックします。

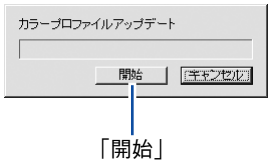


「カラープロファイルの更新」が表示されます。



> ポイント
> プリント中のときは「プリント中です。お待ちください。」のメッセージ画面が表示され、「閉じる」以外はクリックできません。プリントが終了するとプリンタが自動的に無効になり操作を続けることができます。

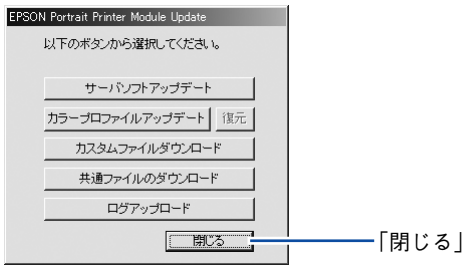
4 「開始」をクリックします。



カラープロファイルの更新（ダウンロード）が開始されます。

5 ダウンロードが完了すると更新結果の画面が表示されます。「OK」をクリックします。

6 「閉じる」をクリックします。



ポイント

カラープロファイルを更新したら、テストチャートや、画質調整パターンをプリントして、プリント画質を確認してください。詳しくは、「テストチャートをプリントする」（298 ページ）、「画質調整パターンをプリントする」（302 ページ）をご覧ください。

カラープロファイルを元に戻すには

更新前のカラープロファイルに戻すことができます。

1 手順 3 で「カラープロファイルアップデート」右の「復帰」をクリックします。
「カラープロファイルの復帰」画面が表示されます。
2 手順 4 を行います。
3 カラープロファイルの復帰が完了すると「カラープロファイルは元に戻りました。」の画面が表示されます。「OK」をクリックします。
4 手順 6 を行います。

■ プリントログをアップロードする

本体の電源を入れるとプリントログがセンターサーバにアップロードされます。電源を入れたときだけでなく、プリントログは定期的にセンターサーバにアップロードされますが、本システムの安定性を保つために週一回は本体の電源を入／切してください。通常は電源の入／切で対応できますが、短期間に大量のプリントを行う場合は、プリントログをアップロードしてください。アップロードは本体のLCD モニタに表示されているEPPServer 画面で操作します。

> **ポイント** アップロードのエラーメッセージ画面が表示される場合は、インターネットの接続を確認してください。詳しくは、「EPPServer に関するトラブルと解決方法」（370 ページ）をご覧ください。

> **注意** プリントログをアップロードしないまま内蔵プリンタで 255 ページ（オプションの EX-7000 で 20 ページ）プリントすると、EPPServer は強制停止してプリントできなくなり、エラーメッセージ画面が表示されます。プリントログをアップロードすれば、EPPServer の強制停止は解除されます。

❶ EPPServer 画面右下にある「メンテナンス」エリアの、「連絡先」をクリックします。

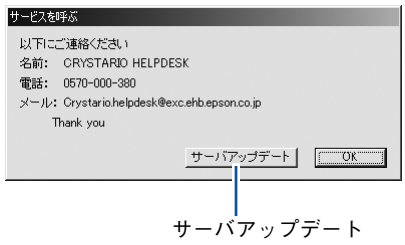


「サービスを呼ぶ」画面が表示されます。

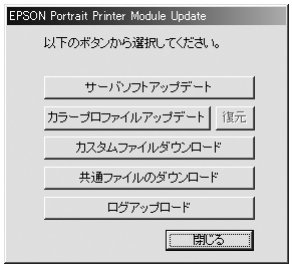


> **ポイント** EPPServer 画面を操作するには LCD モニタの下にあるマウスを使用します。

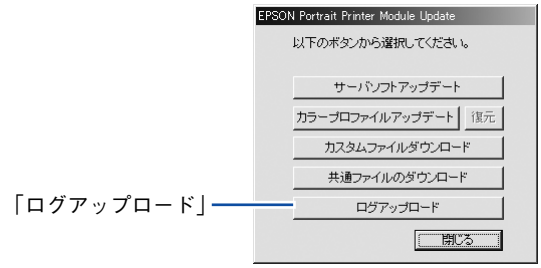
2 「サーバアップデート」をクリックします。



次の画面が表示されます。



3 「ログアップロード」をクリックします。

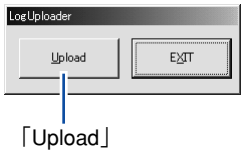


「LogUploader」画面が表示されます。



> **ポイント**
> プリント中のときは「プリント中です。お待ちください。」のメッセージ画面が表示され、「閉じる」以外はクリックできません。プリントが終了するとプリンタが自動的に無効になり操作を続けることができます。

4 「Upload」をクリックします。

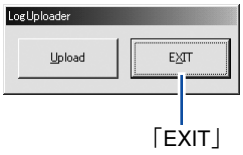


5 アップロード完了のメッセージ画面が表示されたら、「OK」をクリックします。

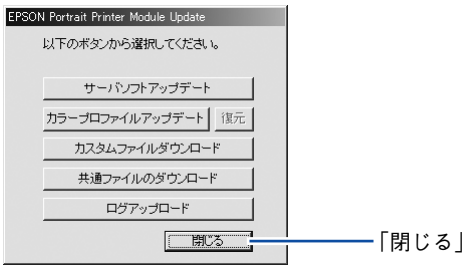
もう一度「LogUploader」画面が表示されます。



6 「EXIT」をクリックします。



7 「閉じる」をクリックします。



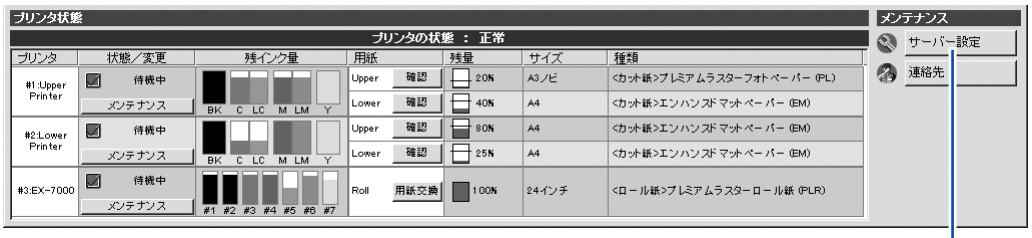
■ 再プリントデータを自動削除する

EPPServer や EPPMonitor のプリントジョブリストに表示されているプリント済（データあり）のプリントジョブは再プリントすることができますが、プリントジョブを削除しない限りサーバに保存されます。「再プリント設定」画面で自動削除する条件を設定しておくと、条件が一つでも満たされた場合にプリントジョブがサーバから自動削除されます。「再プリント設定」は本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、「EPPServer にログインする」（269 ページ）をご覧ください。

注意

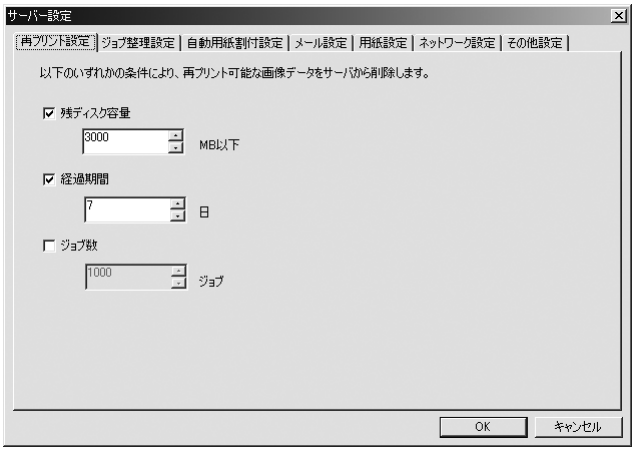
- EPPLayout や EPPMonitor でロックをかけたプリントジョブは自動削除されません。
- 再プリントデータの自動削除を設定するには、「サーバ設定」の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。操作権限については、「EPPMonitor オンラインヘルプ」の「A-7.「ユーザ設定」画面」をご覧ください。

1 EPPServer 画面右下にある「メンテナンス」エリアの「サーバ設定」をクリックします。



「サーバ設定」

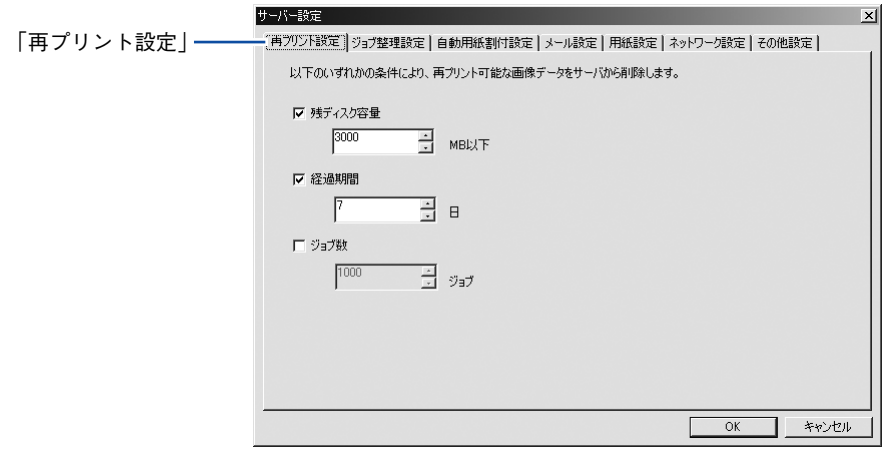
「サーバ設定」画面が表示されます。



ポイント

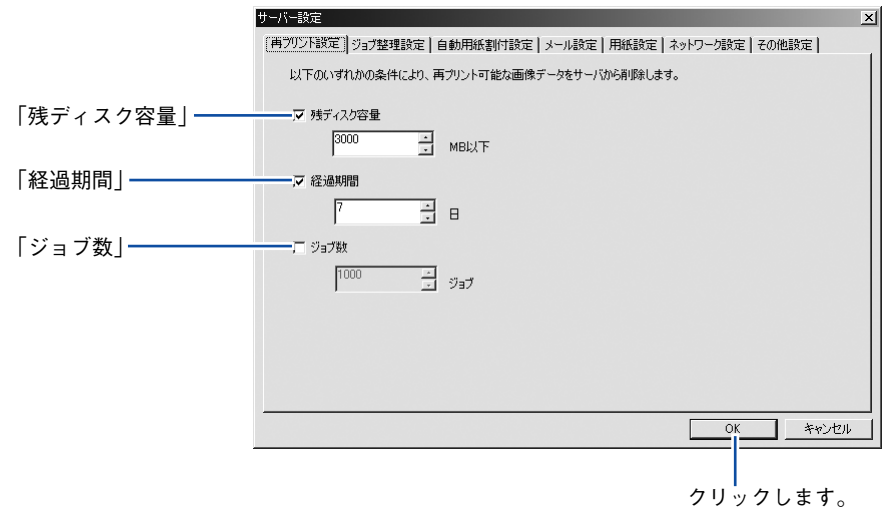
EPPServer 画面を操作するには LCD モニタの下にあるマウスを使用します。

2 「再プリント設定」タブをクリックします。



3 各項目のチェックボックスにチェック（✓ 印）を入れて、条件を設定して「OK」をクリックします。

- **「残ディスク容量」**：ディスクの空き容量が設定した容量以下になると、自動削除します。2000 ～ 20000MB の範囲で設定でき、初期設定は 3000MB です。このチェックボックスからチェックを外すことはできません。
- **「経過期間」**：再プリント可能期間を設定します。設定した期間を超えると自動削除します。1 ～ 365 日の範囲で設定でき、初期設定は 7 日です。
- **「ジョブ数」**：プリントジョブが設定した数を超えると、自動削除します。100 ～ 10000 の範囲で設定でき、初期設定は 1000 です。



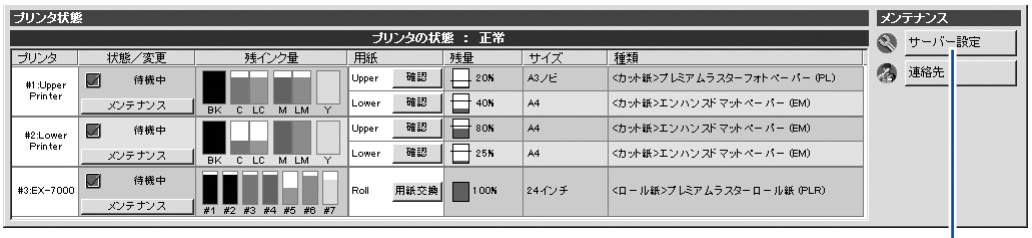
設定を変更しない場合は、「キャンセル」をクリックします。

■ プリントジョブを整理する

用紙サイズと用紙種類の組み合わせ間違いでプリントされないジョブや一時停止（ポーズ）したジョブは、削除しない限りサーバに残ります。「ジョブ整理設定」画面でシステム起動時に自動削除する条件を設定しておくと、条件が満たされたプリントジョブがサーバから自動削除されます。「ジョブ整理設定」は本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、「EPPServer にログインする」（269 ページ）をご覧ください。

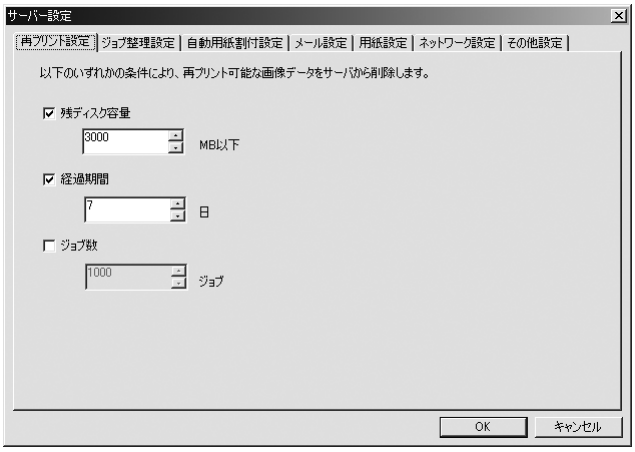
> **注意**
> - EPPLayout や EPPMonitor でロックをかけたプリントジョブは自動削除されません。
> - 再プリントデータの自動削除を設定するには、「サーバ設定」の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。操作権限については、「EPPMonitor オンラインヘルプ」の「A-7.「ユーザ設定」画面」をご覧ください。

1 EPPServer 画面右下にある「メンテナンス」エリアの「サーバ設定」をクリックします。



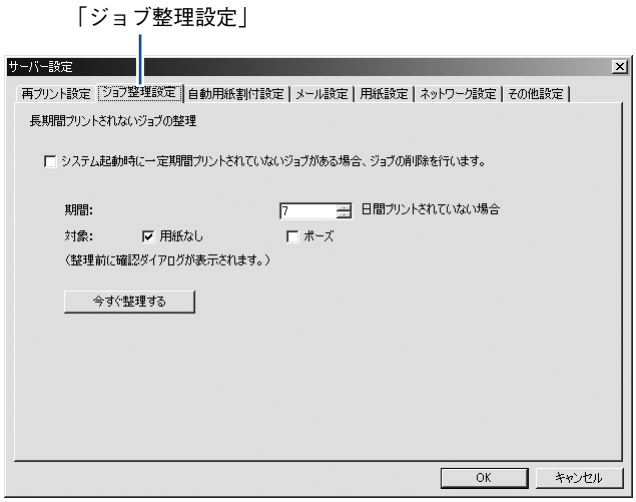
「サーバ設定」

「サーバ設定」画面が表示されます。



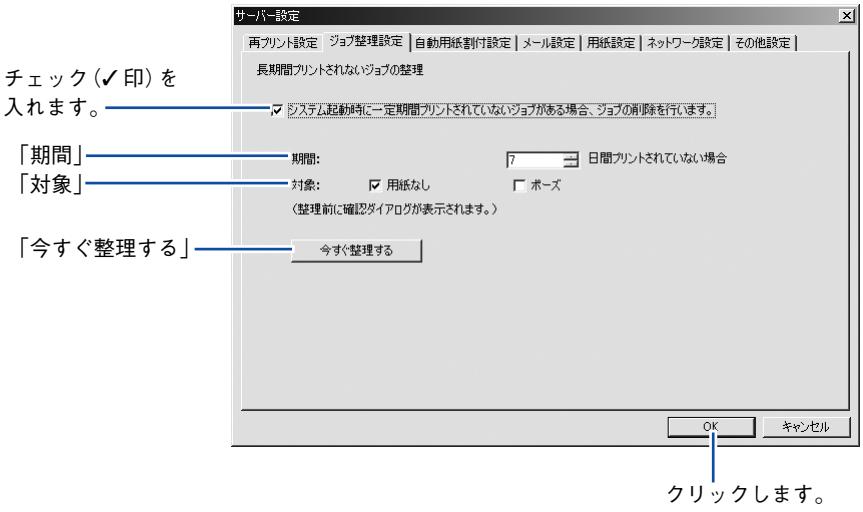
> **ポイント**
> EPPServer 画面を操作するには LCD モニタの下にあるマウスを使用します。

2 「ジョブ整理設定」タブをクリックします。



3 「システム起動時に一定期間プリントされなていないジョブがある場合は、ジョブの削除を行います。」チェックボックスにチェック（✓ 印）を入れて、条件を設定して「OK」をクリックします。

- **「期間」**：整理対象のジョブが何日間プリントされない場合に削除するかを指定します。
- **「対象」**：整理対象のジョブ状態をチェックマーク（✓ 印）を付けて選択します。
  「用紙なし」：用紙サイズと用紙種類の組み合わせエラーでプリントされないジョブが削除されます。
  「ポーズ」：一時停止中のジョブが削除されます。
- **「今すぐ整理する」**：すぐにジョブを削除する場合にクリックします。



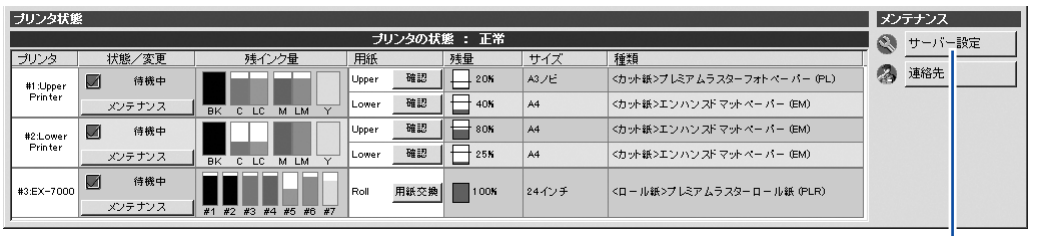
設定を変更しない場合は、「キャンセル」をクリックします。

■ 自動用紙割付を設定する

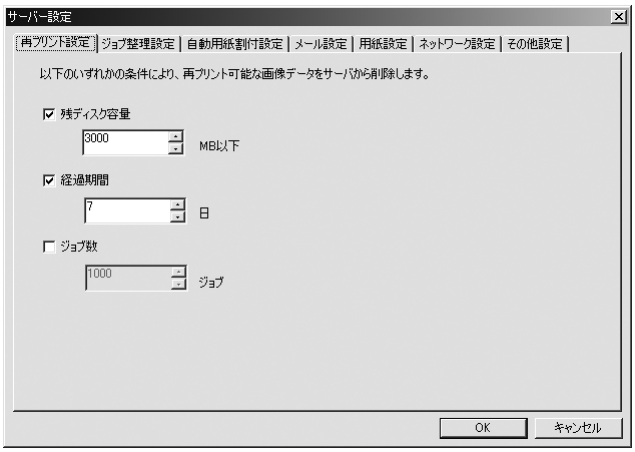
EPPLayout で「自動用紙割付を許可」が設定され用紙サイズに A4 が指定されているプリントジョブを A3 ノビの用紙サイズでプリントした場合、用紙の余白ができるだけ少なくなるように、複数のプリントジョブが 1 枚の用紙に自動的に割り付けられます。「自動用紙割付設定」ではプリントジョブの優先度と用紙使用率のどちらを優先するかを設定します。「自動用紙割付設定」は本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、「EPPServer にログインする」（269 ページ）をご覧ください。

> **注意** 自動用紙割付の設定を行うには、「サーバ設定」の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。操作権限については、「EPPMonitor オンラインヘルプ」の「A-7.「ユーザ設定」画面」をご覧ください。

1 「EPPServer」画面右下にある「メンテナンス」エリアの「サーバ設定」をクリックします。



「サーバ設定」画面が表示されます。



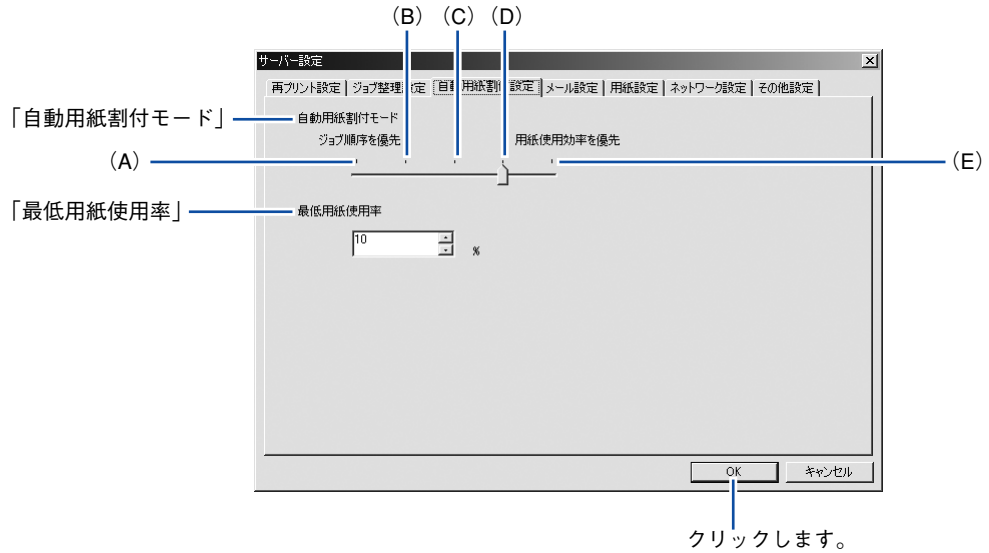
> **ポイント** EPPServer 画面を操作するには LCD モニタの下にあるマウスを使用します。

2「自動用紙割付設定」タブをクリックします。



3 自動用紙割付の割付け優先度を設定して「OK」をクリックします。

「自動用紙割付モード」のスライドバーをドラッグして選択します。「用紙使用効率を優先」を選択した場合は、「最低用紙使用率」も設定します。「最低用紙使用率」を設定すると、用紙全体に対する用紙の使用率が設定値に達するまでプリントを開始しません。「自動用紙割付モード」のスライドバーの位置によりプリントジョブの優先度と「用紙使用率」の優先度が変わります。



- **(A)「ジョブ順序を優先」**：プリントジョブの優先度とプリントジョブリストの順序を優先して割り付けます。
- **(B) ジョブ待ち順優先**：プリントジョブの優先度が「低優先」の場合のみ、「最低用紙使用率」を優先して割り付けます。「最低用紙使用率」の%を指定してください。それ以外の優先度の場合はプリントジョブリストの順序を優先して割り付けます。
- **(C) 標準設定**：プリントジョブの優先度が「低優先」か「普通」の場合は「最低用紙使用率」を優先して割り付けます。「最低用紙使用率」の%を指定してください。それ以外の優先度の場合はプリントジョブリストの順序を優先して割り付けます。
- **(D) 用紙使用率優先**：プリントジョブの優先度が「最優先」の場合はプリントジョブリストの順序を優先して割り付けます。それ以外の優先度の場合は「最低用紙使用率」を優先して割り付けます。「最低用紙使用率」の%を指定してください。
- **(E)「用紙使用効率を優先」**：プリントジョブの優先度に関係なく、「最低用紙使用率」が優先されます。「最低用紙使用率」の%を指定してください。

設定を変更しない場合は、「キャンセル」をクリックします。

■ エラーメッセージを E メールで受信する

本システムでエラーが起こった場合、E メールでエラーメッセージを受信できます。E メールはインターネットのメールや双方向ポケットベル、携帯電話でも受信できます。以下の手順に従って、エラーメッセージを E メールで受信する設定をしてください。E メールの設定は本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、「EPPServer にログインする」（269 ページ）をご覧ください。

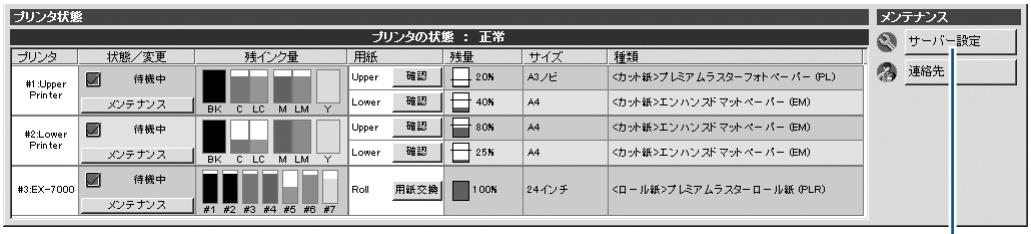
> **注意** E メールの設定を行うには、「サーバ設定」の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。操作権限については、「EPPMonitor オンラインヘルプ」の「A-7.「ユーザ設定」画面」をご覧ください。

エラーメッセージ一覧

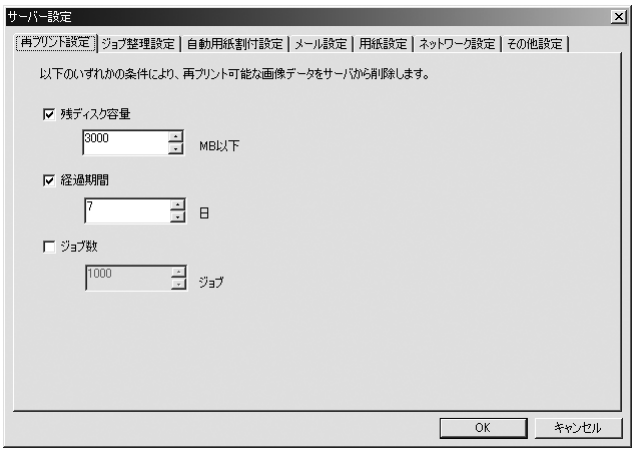
エラー内容	送信メッセージ（例 *）
用紙なし	用紙切れです。#X:XXXXX (Tray: YYYYY)
インクなし	インク切れです。#X:XXXXX
用紙つまり	紙つまりが発生しました。プリンタ #X:XXXXX.
センターサーバーエラー （この項目は選択できません。）	ー （メッセージは送られません。）
プリンタ通信エラー	プリンタとの通信ができません。プリンタ #X:XXXXX.
その他のエラー	その他のエラーです。プリンタ #X:XXXXX.
印刷可能なジョブがなくなり、「用紙なし」のジョブが残っている時	印刷可能なジョブがなくなりましたが、用紙交換することで印刷できる可能性があるジョブがまだ残っています。

* #X:XXXXX はプリンタ名を表示します。また、YYYYY は本体内蔵プリンタの用紙トレイ上下位置を表示します。

1 EPPServer　画面右下にある「メンテナンス」エリアの「サーバ設定」をクリックします。



「サーバ設定」画面が表示されます。



> **ポイント**　EPPServer 画面を操作するには LCD モニタの下にあるマウスを使用します。

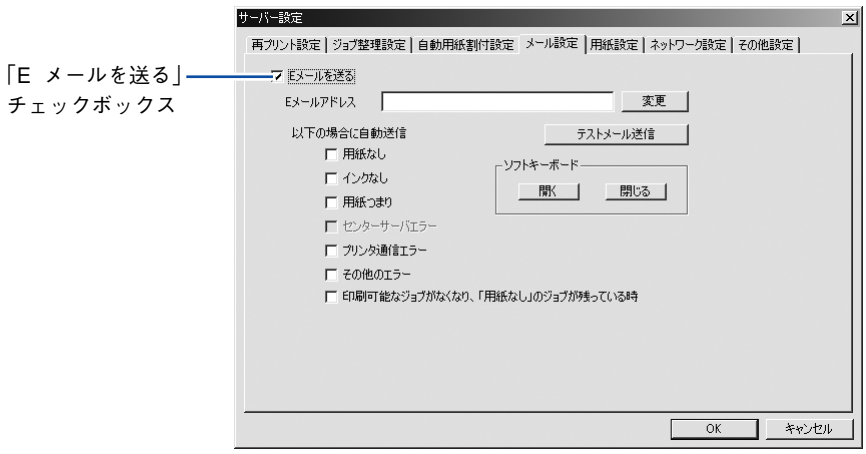
2 「メール設定」タブをクリックします。

「メール設定」が表示されます。



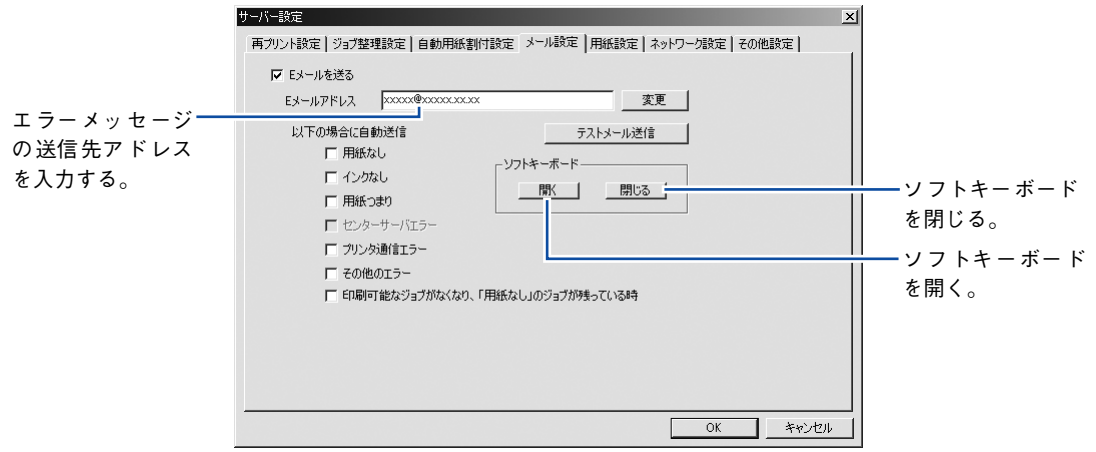
3 「E メールを送る」チェックボックスにチェック（✓ 印）を入れます。

✓ 印を入れると、E メールの設定ができます。



4 「ソフトキーボード」の「開く」をクリックし、「E メールアドレス」ボックスにエラーメッセージの送信先アドレスを入力します。

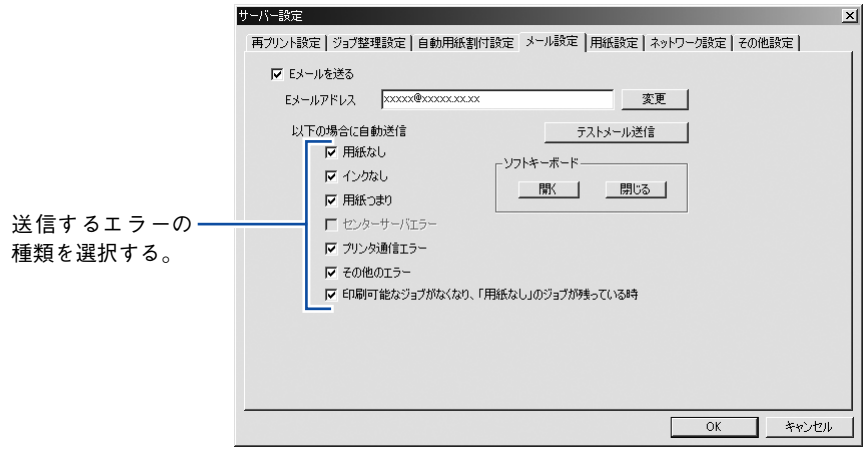
入力が終わったら、「ソフトキーボード」の「閉じる」をクリックしてソフトキーボードを閉じます。



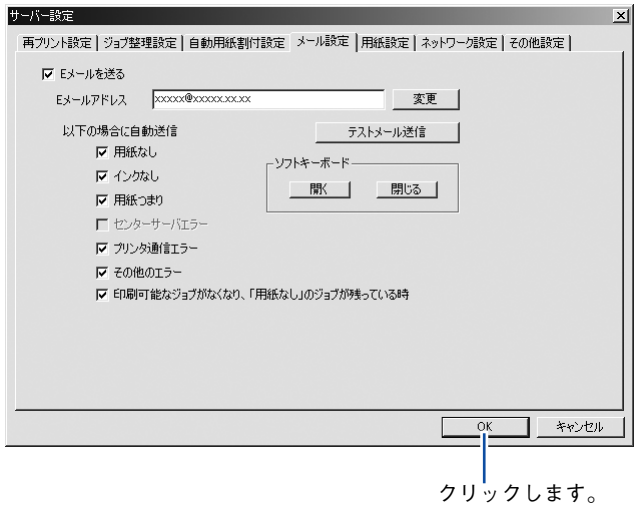
ポイント

複数の E メールアドレスをカンマで区切って登録することもできます。

5 「以下の場合に自動送信」の項目のチェックボックスにチェック（✓ 印）を入れて、送信するエラーの種類を選択します。



6 設定が終わったら、「OK」をクリックします。



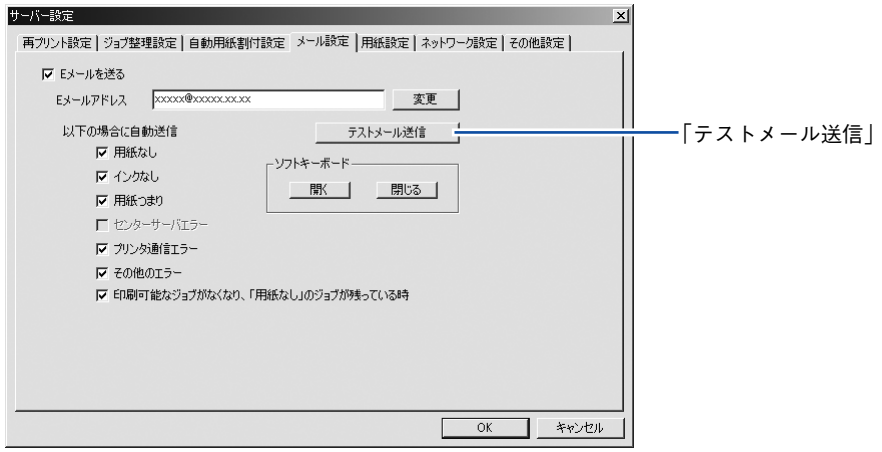
設定を変更しない場合は、「キャンセル」をクリックします。

E メールアドレスを変更するには

手順 4 で「変更」をクリックするとソフトキーボードが表示され、アドレスを変更できます。

テストメールを送信するには

設定が終わったら、「テストメール送信」をクリックします。



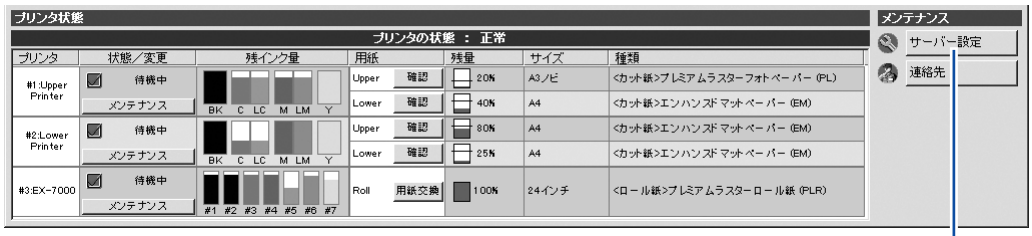
指定したアドレスにテストメールが送信されます。送信が完了したら「テストメールが送信されました。」のメッセージ画面が表示されます。
メールアドレスが未設定または正しいアドレスが入力されていない場合は、「メール送信エラーです。(メールアドレスが不正)」のメッセージ画面が表示されます。正しい送信先アドレスを入力してください。送信テストでエラー(Code=xx)が起きると、「メール送信エラーです。(Code=xx)」のメッセージ画面が表示されます。

■ 表示する用紙サイズや用紙種類を設定する

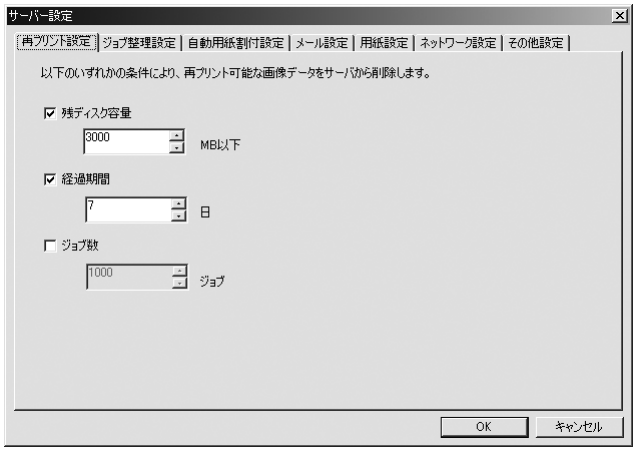
使用する用紙サイズや用紙種類を指定して、使用しない用紙サイズや用紙種類を表示しないようにできます。「用紙設定」画面で設定しておくと、設定された用紙サイズや用紙種類だけが表示されます。「用紙設定」は本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、「EPPServer にログインする」（269 ページ）をご覧ください。

> **注意** 用紙設定を行うには、「サーバ設定」の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。操作権限については、「EPPMonitor オンラインヘルプ」の「A-7.「ユーザ設定」画面」をご覧ください。

1 EPPServer 画面右下にある「メンテナンス」エリアの「サーバ設定」をクリックします。

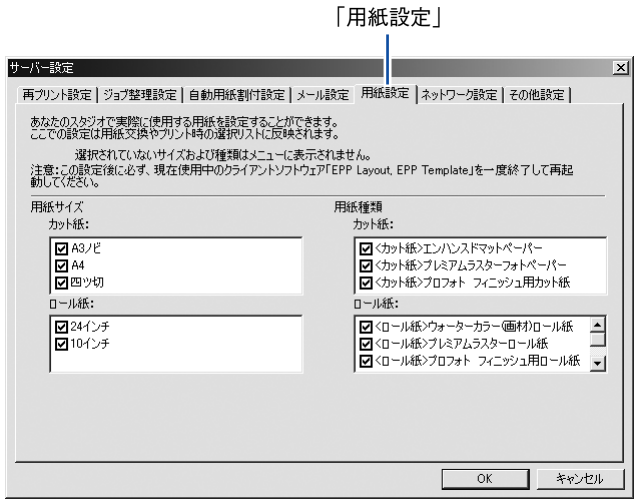


「サーバ設定」画面が表示されます。



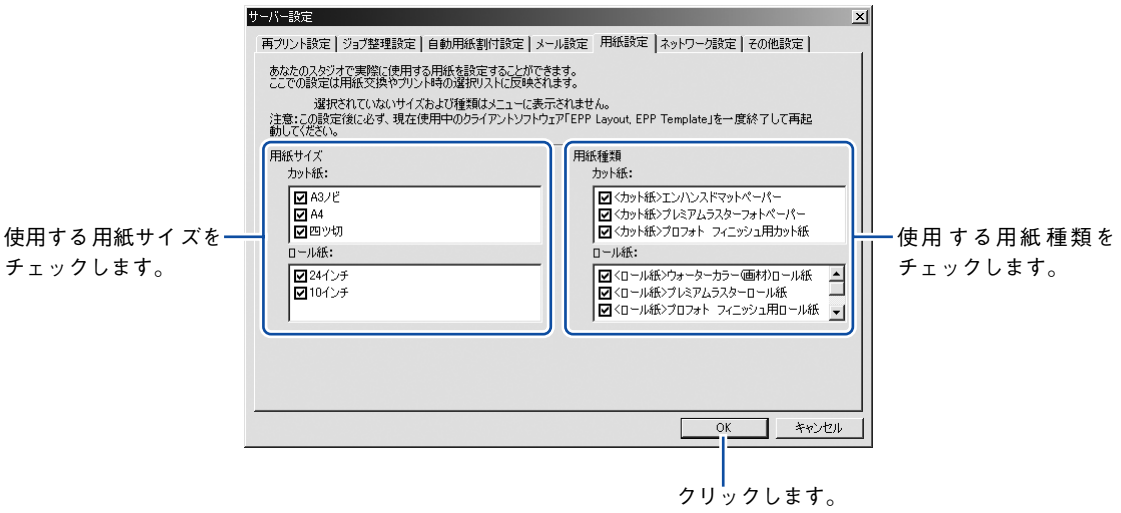
> **ポイント** EPPServer 画面を操作するには LCD モニタの下にあるマウスを使用します。

2 「用紙設定」タブをクリックします。



3 使用する「用紙サイズ」と「用紙種類」のチェックボックスにチェック（✓印）を入れて、「OK」をクリックします。

カット紙、ロール紙それぞれに設定できます。



設定を変更しない場合は、「キャンセル」をクリックします。

> ポイント
> 「用紙設定」を変更した場合は、EPPLayout や EPPTemplate を一度終了して再起動してください。再起動後に設定が有効となります。

■ ネットワーク設定を保存する

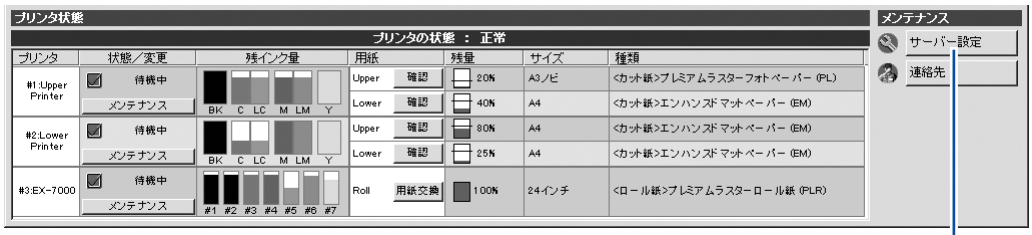
EPPMonitor で設定したネットワークの設定内容を確認して、保存できます。また、現在設定しているネットワーク設定を保存されている設定に戻すこともできます。ネットワーク設定の保存は本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、「EPPServer にログインする」（269 ページ）をご覧ください。

> ポイント
> EPPMonitor でネットワーク設定を行うことができます。詳しくは、「EPPMonitor オンラインヘルプ」の「A-8.「ネットワーク設定」画面」をご覧ください。

> 注意
> ネットワークの設定を行うには、「サーバ設定」の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。操作権限については、「EPPMonitor オンラインヘルプ」の「A-7.「ユーザ設定」画面」をご覧ください。

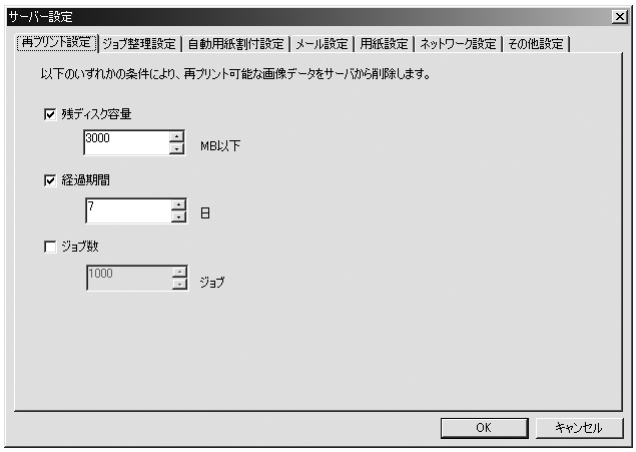
● ネットワーク設定を保存する

❶ EPPServer 画面右下にある「メンテナンス」エリアの「サーバ設定」をクリックします。



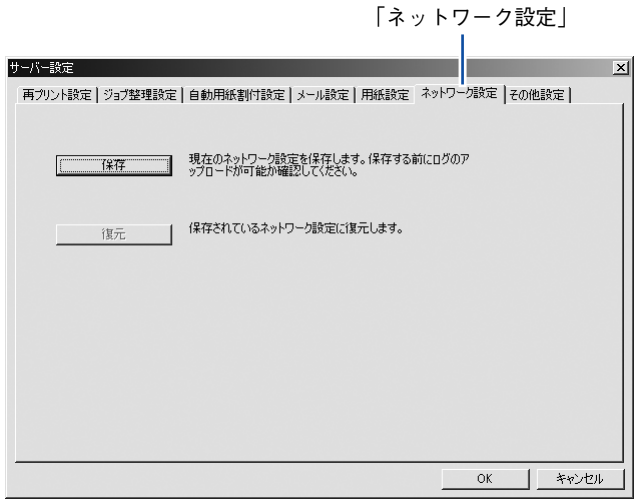
「サーバ設定」

「サーバ設定」画面が表示されます。

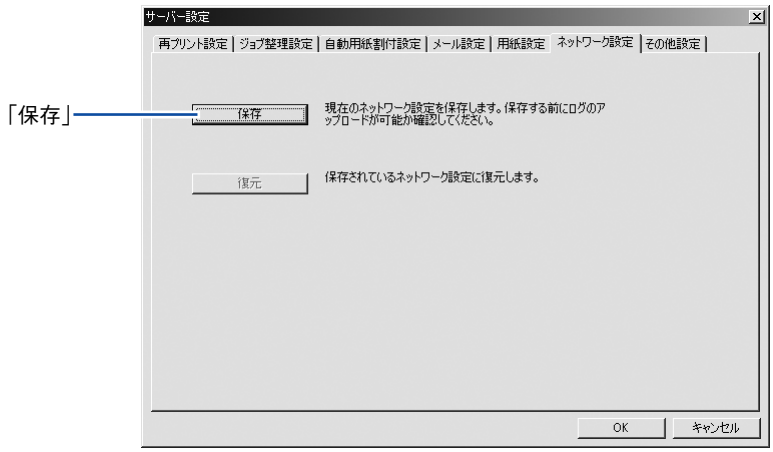


> ポイント
> EPPServer 画面を操作するには LCD モニタの下にあるマウスを使用します。

2 「ネットワーク設定」タブをクリックします。

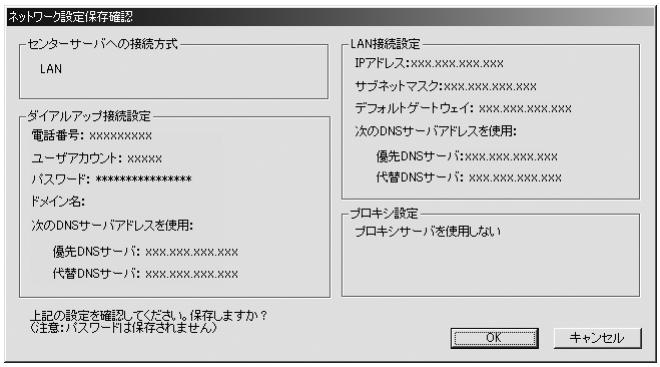


3 「保存」をクリックします。



「ネットワーク設定保存確認」画面が表示されます。

4 保存するネットワークの設定内容を確認します。



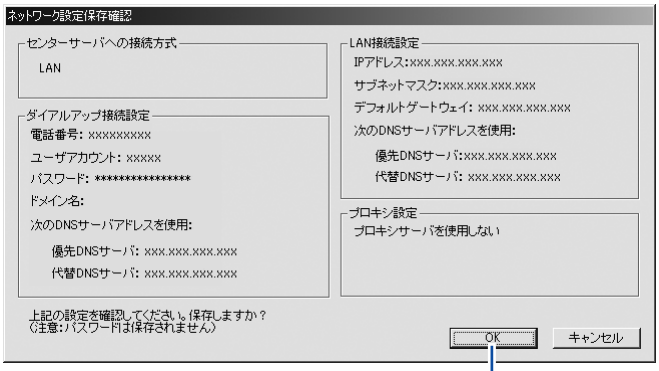
> **ポイント**
> 本書に掲載する「ネットワーク設定保存確認」画面は設定例を表示していますので、実際とは異なります。

以下の設定内容を確認できます。

- **「センターサーバへの接続方式」**
  センターサーバとの接続方法を表示します。
- **「ダイアルアップ接続設定」**
  センターサーバに接続するためのダイアルアップ設定を表示します。
  「電話番号」：接続電話番号を表示します。
  「ユーザアカウント」：アカウント名を表示します。
  「パスワード」：パスワードを表示します。
  「ドメイン名」：ドメイン名を表示します。
  「次の DNS サーバアドレスを使用」：優先 DNS サーバと代替 DNS サーバを表示します。
- **「LAN 接続設定」**
  LAN 設定を表示します。
  「IP アドレス」：IP アドレスを表示します。
  「サブネットマスク」：サブネットマスクを表示します。
  「デフォルトゲートウェイ」：デフォルトゲートウェイを表示します。
  「次の DNS サーバアドレスを使用」:DNS を自動取得する設定の場合は、「DNS サーバを自動取得」が表示されます。DNS を指定している場合は、優先 DNS サーバと代替 DNS サーバが表示されます。
- **「プロキシ設定」ボックス**：センターサーバに接続するためのプロキシサーバの使用、不使用を表示します。プロキシサーバを使用している場合は、サーバの IP アドレスまたはドメイン名と使用するポート番号が表示されます。

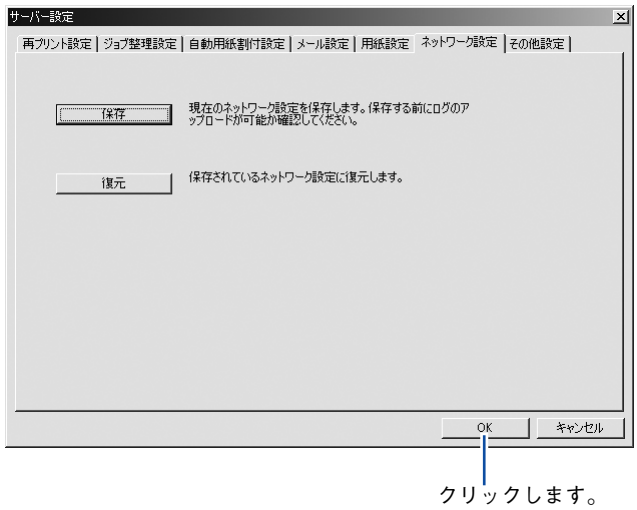
> **注意** センターサーバに接続するダイアルアップエントリーが登録されていない場合は、「ダイアルアップ接続設定」には何も表示されません。

5 「OK」クリックします。



ネットワーク設定が保存されます。「キャンセル」をクリックすると設定が取り消され「ネットワーク設定」画面に戻ります。

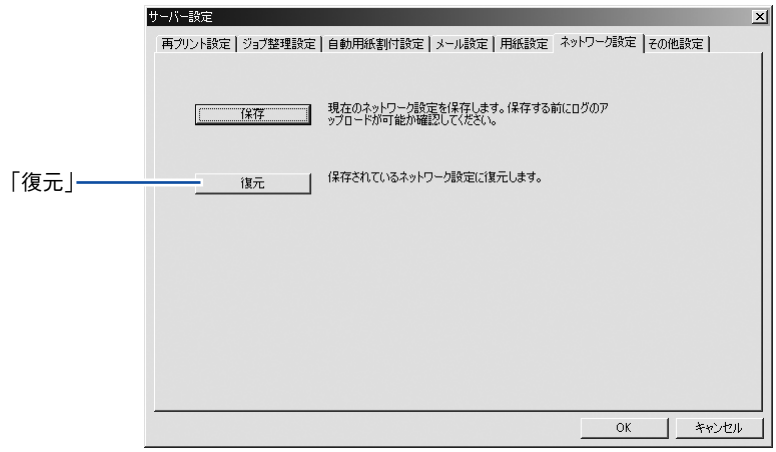
6 「OK」クリックします。



● ネットワーク設定を保存されている設定に戻すには

1 「ネットワーク設定を保存する」(325 ページ) の手順 1 と 2 を行います。

2 「復元」をクリックします。

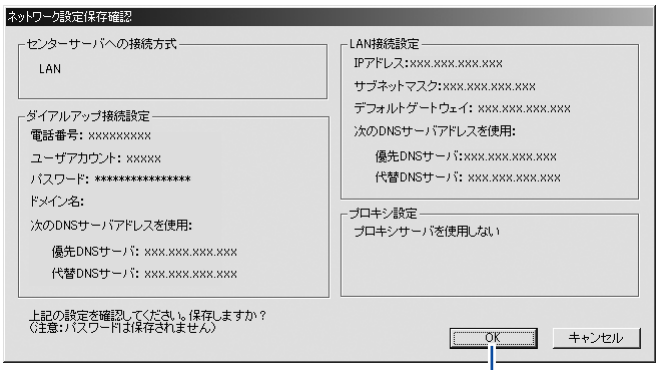


> **注意** 保存されているネットワーク設定がない場合は、「復元」はクリックできません。

「ネットワーク設定保存確認」画面が表示されます。

❸ ネットワークの設定内容を確認して、「OK」をクリックします。

確認できる設定内容は「保存」をクリックしたときと同じです。



クリックします。

> **ポイント** 本書に掲載する「ネットワーク設定保存確認」画面は設定例を表示していますので、実際とは異なります。

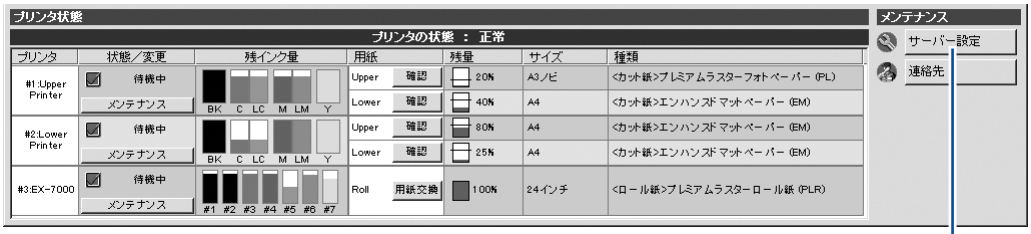
保存されているネットワーク設定に戻ります。「ネットワーク設定保存確認」画面が閉じ、システムが再起動されます。「キャンセル」をクリックすると「復元」の設定は取り消され「ネットワーク設定」画面に戻ります。

■ そのほかの設定をする

サーバ ID を確認したり、スタジオ名を設定できます。また、本体の LCD モニタにキーボードを表示させることができます。EPPServer を操作するときに便利です。これらの設定は本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、「EPPServer にログインする」（269 ページ）をご覧ください。

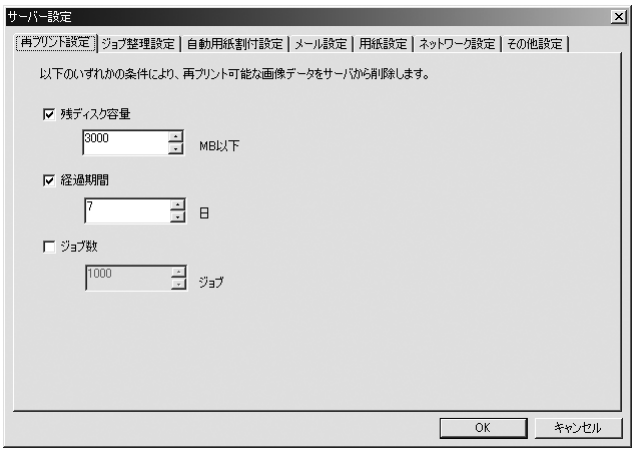
> **注意** これらの設定を行うには、「サーバ設定」の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。
> 操作権限については、「EPPMonitor オンラインヘルプ」の「A-7.「ユーザ設定」画面」をご覧ください。

❶ EPPServer 画面右下にある「メンテナンス」エリアの「サーバ設定」をクリックします。



「サーバ設定」

「サーバ設定」画面が表示されます。



> **ポイント** EPPServer 画面を操作するには LCD モニタの下にあるマウスを使用します。

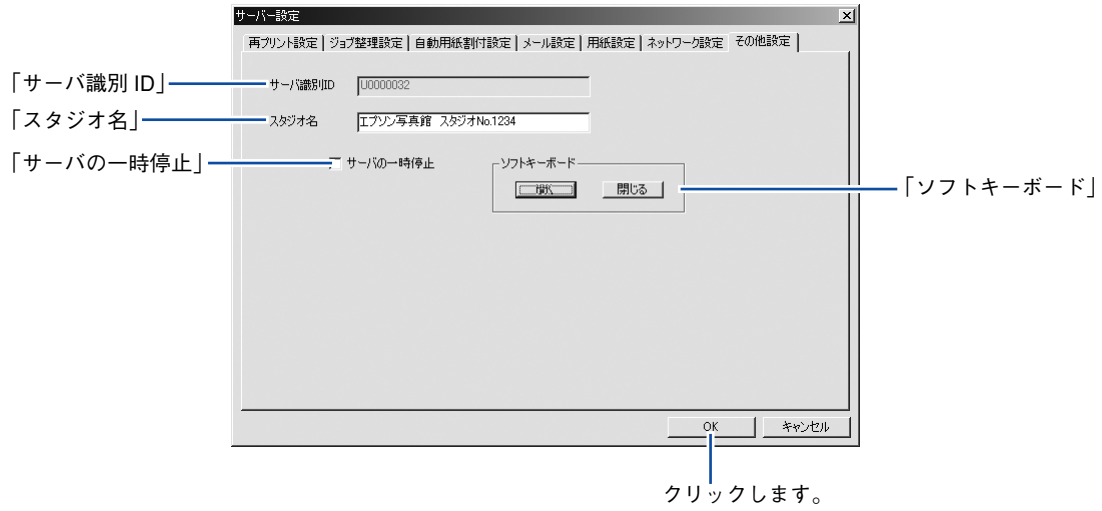
2 「その他設定」タブをクリックします。



3 必要な項目を設定して「OK」をクリックします。

以下の設定ができます。

- **「サーバ識別 ID」**：サーバ ID が表示されます。サーバ ID を変更することはできません。
- **「スタジオ名」**：スタジオ名を入力します。「スタジオ名」ボックスをクリックすると、ソフトキーボードが表示されます。ソフトキーボードを使って、スタジオ名を入力します。入力が終わったら、「ソフトキーボード」の「閉じる」をクリックしてソフトキーボードを閉じます。
- **「サーバの一時停止」**：弊社のサービスマンのみ操作可能です。ユーザーご自身では操作できません。
- **「ソフトキーボード」**：「開く」をクリックすると、本体の LCD モニタにキーボードが表示されます。「閉じる」をクリックすると、キーボードが閉じます。



設定を変更しない場合は、「キャンセル」をクリックします。

■ 本体を移動する

本体を移動すると機器の落下等により破損につながる可能性がありますので、お客様ご自身による本体の移動は行わないでください。



本体は大変重いので移動する場合や持ち運ぶ場合は、販売店または専用ヘルプデスクにご相談ください。

■ モニタのカラー補正を行う

モニタに表示される色をプリントされる色にできるだけ近づけるために、クライアントコンピュータのモニタのカラー補正を行ってください。
モニタのカラー補正に次のソフトウェアを使用することをお薦めします。

- Monaco Systems™ MonacoSENSOR™ colorimeter with MonacoEZcolor™ software
- X-Rite® Monitor Optimizer calibration instrument with ColorShop Basic software
- ColorVision Monitor Spyder™ with PhotoCAL® software

どのソフトウェアを使用する場合でも、コンピュータ付属の取扱説明書に従って次のように設定してください。

- モニタ：ガンマ 1.8
- ColorSync プロファイル：D50

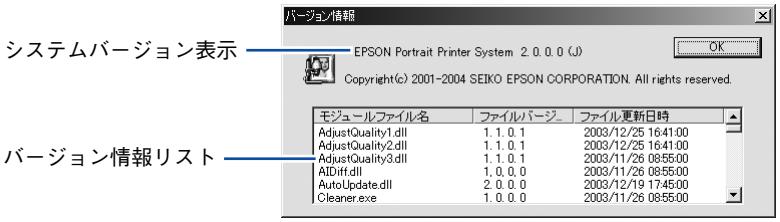
■ EPPServer のバージョンを確認する

EPPServer のバージョンを確認できます。本体の LCD モニタに表示されている EPPServer 画面で操作します。

❶ EPPServer 画面上にあるタイトルバーの「EPSON PORTRAIT PRINTER Server」直後のバージョン表記部分をクリックします。

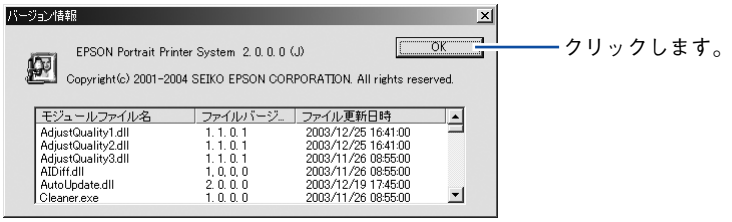


「バージョン情報」画面が表示されます。



- **「モジュールファイル名」**：モジュールのファイル名が表示されます。
- **「ファイルバージョン」**：モジュールのファイルバージョンが表示されます。
- **「ファイル更新日時」**：モジュールのファイルの更新日時が表示されます。

❷「OK」をクリックして「バージョン情報」画面を閉じます。



■ EPPServer のソフトウェアを更新する

EPPServer のソフトウェアのバージョンがセンターサーバで更新された場合はアップデートファイルをダウンロードしてソフトウェアのバージョンを更新してください。アップデートファイルをダウンロードすると自動更新されます。ダウンロードは本体の LCD モニタに表示されている EPPServer 画面で操作します。

❶ EPPServer 画面右下にある「メンテナンス」エリアの「連絡先」をクリックします。



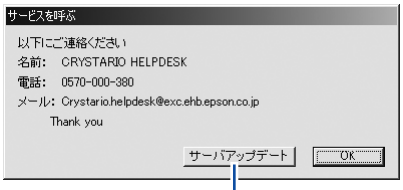
「連絡先」

「サービスを呼ぶ」画面が表示されます。



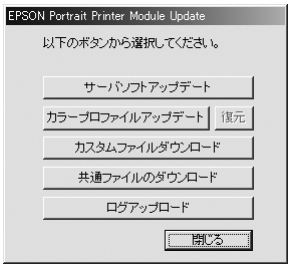
> **ポイント** EPPServer 画面を操作するには LCD モニタの下にあるマウスを使用します。

❷「サーバアップデート」をクリックします。

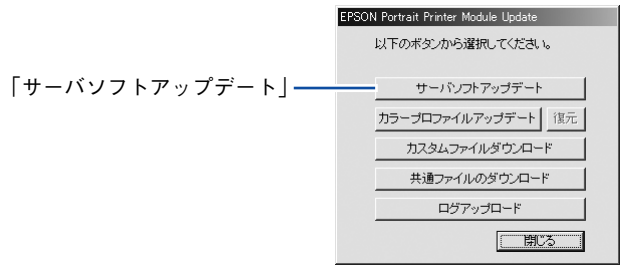


サーバアップデート

次の画面が表示されます。



3 「サーバソフトアップデート」をクリックします。



4 ダウンロードが完了すると、ダウンロード完了のメッセージ画面が表示されます。「OK」をクリックします。
本機が自動的に再起動します。

■ カスタムファイルをダウンロードする

新しいテンプレートファイルなど、センターサーバからカスタムファイルをダウンロードできます。カスタムファイルをダウンロードすると自動更新されます。ダウンロードは本体の LCD モニタに表示されている EPPServer 画面で操作します。

❶ EPPServer 画面右下にある「メンテナンス」エリアの「連絡先」をクリックします。



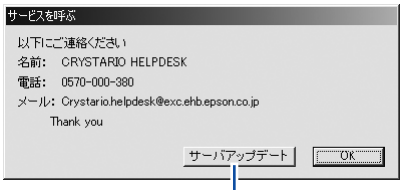
「連絡先」

「サービスを呼ぶ」画面が表示されます。



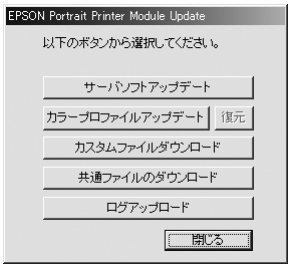
> **ポイント** EPPServer 画面を操作するには LCD モニタの下にあるマウスを使用します。

❷「サーバアップデート」をクリックします。

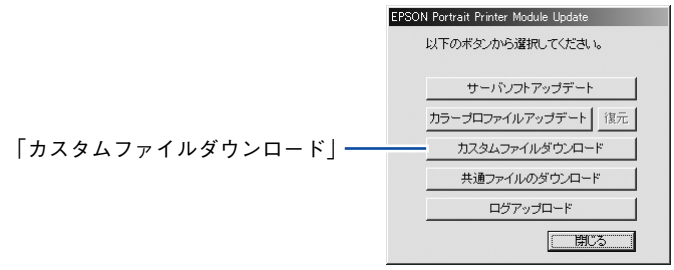


サーバアップデート

次の画面が表示されます。



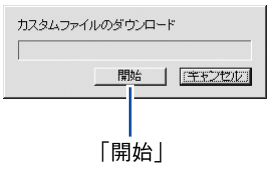
3 「カスタムファイルダウンロード」をクリックします。



「カスタムファイルのダウンロード」画面が表示されます。

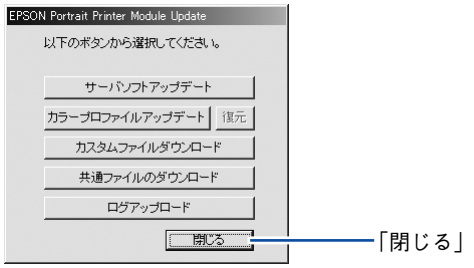


4 「開始」をクリックします。



5 ダウンロードが完了すると、ダウンロード完了のメッセージ画面が表示されます。「OK」をクリックします。

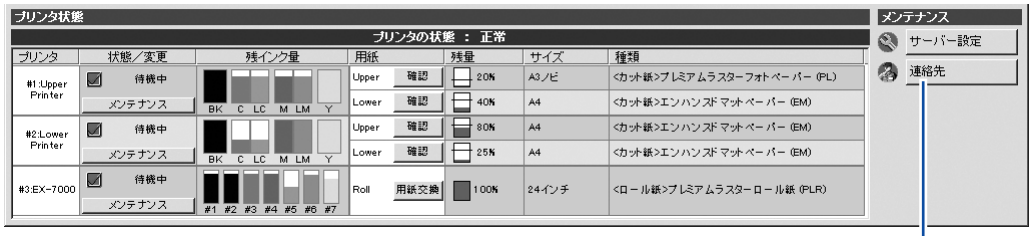
6 「閉じる」をクリックします。



■ 共通ファイルをダウンロードする

本製品に必要な新しい共通ファイルをセンターサーバからダウンロードできます。共通ファイルをダウンロードすると自動更新されます。ダウンロードは本体の LCD モニタに表示されている EPPServer 画面で操作します。

❶ EPPServer 画面右下にある「メンテナンス」エリアの「連絡先」をクリックします。



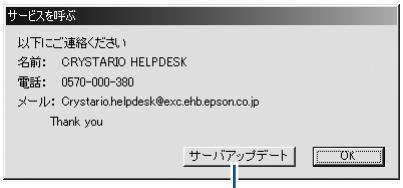
「連絡先」

「サービスを呼ぶ」画面が表示されます。



> **ポイント** EPPServer 画面を操作するには LCD モニタの下にあるマウスを使用します。

❷「サーバアップデート」をクリックします。

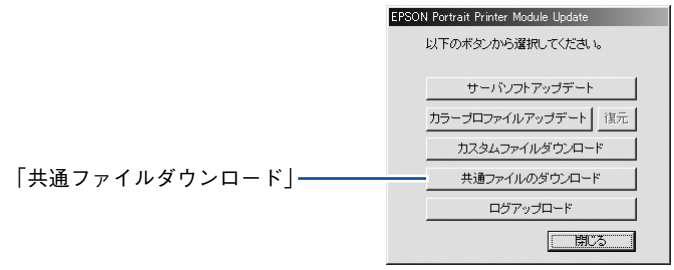


サーバアップデート

次の画面が表示されます。



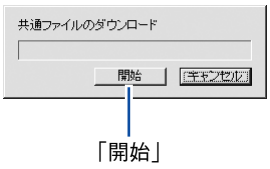
3 「共通ファイルのダウンロード」をクリックします。



「共通ファイルのダウンロード」画面が表示されます。

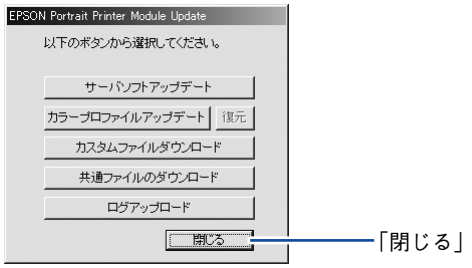


4 「開始」をクリックします。



5 ダウンロードが完了すると、ダウンロード完了のメッセージ画面が表示されます。「OK」をクリックします。

6 「閉じる」をクリックします。



ユーザーやクライアントコンピュータを追加する

ここでは、新しくユーザーを追加する場合の登録方法、Studiomaster のパスワードを登録する方法、クライアントコンピュータの追加方法について説明しています。

■ 新しいユーザーを追加する.....342
■ Studiomaster のパスワードを登録する.....350
■ クライアントコンピュータを追加する 352

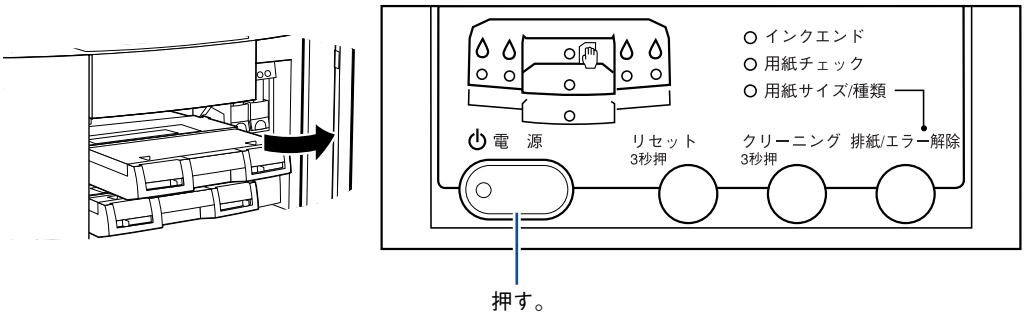
■ 新しいユーザーを追加する

新しくユーザーを追加する場合は、EPPMonitor の「ユーザ設定」を行います。ユーザー設定すると、本システムのソフトウェアで表示される「ログイン」画面の「オペレータリスト」に追加したユーザー名が表示されソフトウェアを起動することができます。また、「ユーザ設定」画面で各ユーザーに対する操作権限の有無を設定してユーザーの作業を管理ことができます。

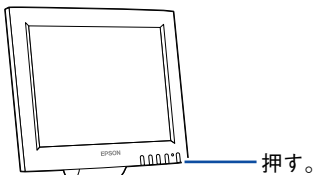
❶ オプションのEX-7000をお使いの場合は、EX-7000の電源を入れます。

> **注意**
> オプションの EX-7000 をお使いの場合は、本体より先に EX-7000 の電源を入れます。本体の電源を入れる前に、オプションの EX-7000 にプリンタエラーが発生していないか必ず確認してください。エラーが発生していると本体の起動に時間がかかります。

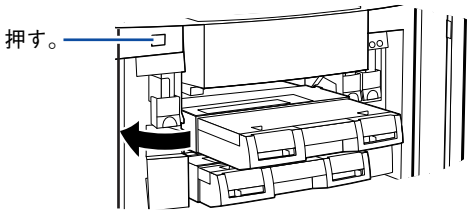
❷ キャビネットの右扉を開け、プリンタの「⏻ 電源」スイッチを押して電源を入れます。



❸ 本体の LCD モニタの「⏻ 電源」スイッチを押して電源を入れます。



❹ キャビネットの左扉を開け、本体の電源スイッチを押します。



本体の LCD モニタに接続プリンタの電源確認画面が表示されますので、プリンタ（オプション EX-7000 接続時は EX-7000 を含む）の電源が入っていることを確認して「OK」をクリックすると、EPPServer が起動します。

❺ キャビネットの左右の扉を閉じます。

❻ クライアントコンピュータを起動します。

7 EPPLayout を起動します。

- 【Macintosh】
  ソフトウェアが入っているフォルダを開き、EPPLayout のアイコン（ ）をダブルクリックします。
- 【Windows】
  「スタート」をクリックし、「プログラム」（Windows 2000）または「すべてのプログラム」（Windows XP）から「EPSON Portrait Printer」の「EPP Layout」を選択します。

「ログイン」画面が表示されます。



8 「Studiomaster」をオペレータリストから選択し、パスワードを入力し、「OK」をクリックします。



ポイント

- 「ユーザ設定」画面での設定は Studiomaster が行ってください。
- EPPLayout の起動方法については、「EPPLayout を起動する」（176 ページ）をご覧ください。

9 EPPMonitor を起動します。

- 【Macintosh】
  EPPLayout の「ファイル」メニューから「ジョブモニタを起動」を選択します。
- 【Windows】
  EPPLayout 画面右上にある「起動」をクリックして、「ジョブモニタを起動」を選択します。

【Macintosh】



【Windows】



ブラウザソフトが起動し、ログイン画面が表示されます。



10 ユーザー名に「Studiomaster」と入力し、パスワードを入力して「OK」をクリックします。

次回からパスワードの入力を省略するには、「パスワードを保存する」チェックボックスにチェック（✓印）を入れます。



EPPMonitor にログインすると、ジョブリスト画面が表示されます。



⓫「ユーザ設定」をクリックします。



「ユーザ設定」画面が表示されます。



⓬ 追加するユーザー名を入力します。

「ユーザ（オペレータ名）」の「NewUser」ボックスをダブルクリックし、半角英数字で入力します。31 文字まで入力できます。



⓭ パスワードを入力します。

「パスワード」のボックスにカーソルを置き、半角英数字で入力します。21 文字まで入力できます。



⑭「操作権限」の ⇕ をクリックして「無効」または「許可」を設定します。

それぞれの作業項目について追加するユーザーが作業できる権限を設定します。設定内容については、「EPPMonitor オンラインヘルプ」の「A-7.「ユーザ設定」画面」をご覧ください。



「無効」または「許可」を設定する。

⑮ 設定が終わったら「新規作成」をクリックします。



「新規作成」

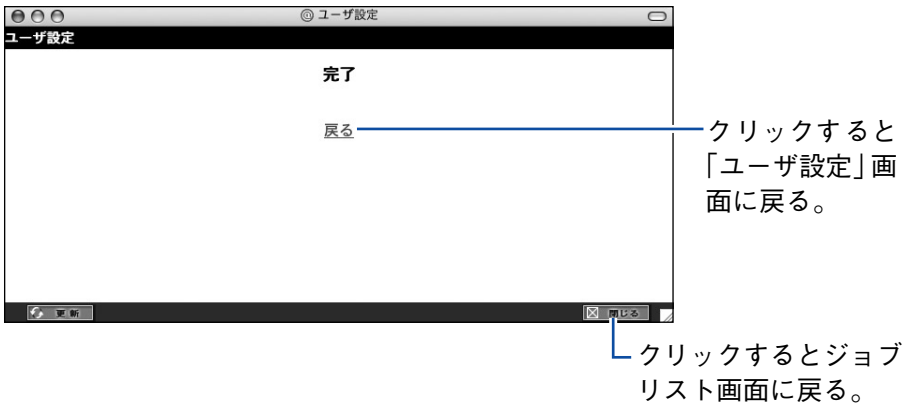
「Internet Explorer スクリプトの確認」画面が表示されます。



16 「OK」をクリックします。



「完了」が表示され、設定が登録されます。設定を取り消す場合は「キャンセル」をクリックします。



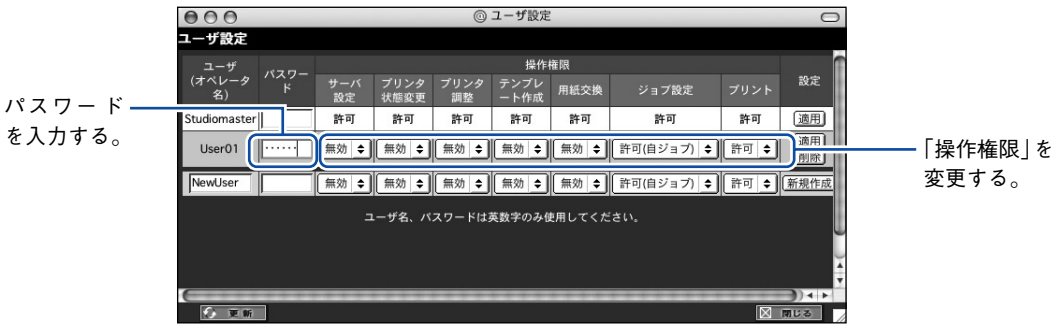
「完了」画面が表示されたあと、続けて「ユーザ設定」を操作する場合は「戻る」をクリックします。「閉じる」をクリックするとジョブリスト画面に戻ります。

● 登録されているユーザーのパスワードや「操作権限」の設定を変更するには

1 「新しいユーザーを追加する」(342 ページ)の手順 1 ～ 7 の操作を行います。

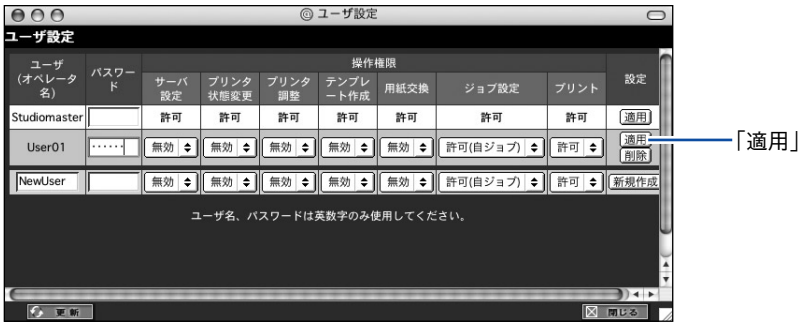
2 パスワードまたは操作権限を変更します。

- **パスワードを変更するには**
  パスワードを変更したいユーザーの「パスワード」のボックスをダブルクリックし、新しいパスワードを半角英数字で入力します。21 文字まで入力できます。
- **操作権限を変更するには**
  設定を変更したいユーザーの「操作権限」の ⇕ をクリックして「無効」または「許可」を変更します。「操作権限」の設定内容については、「EPPMonitor オンラインヘルプ」の「A-7.「ユーザ設定」画面」をご覧ください。



注意 「Studiomaster」の「操作権限」を変更することはできません。

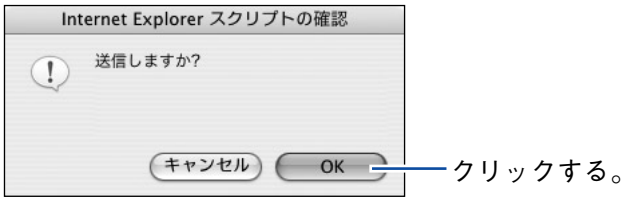
3 設定の変更が終わったら、「適用」をクリックします。



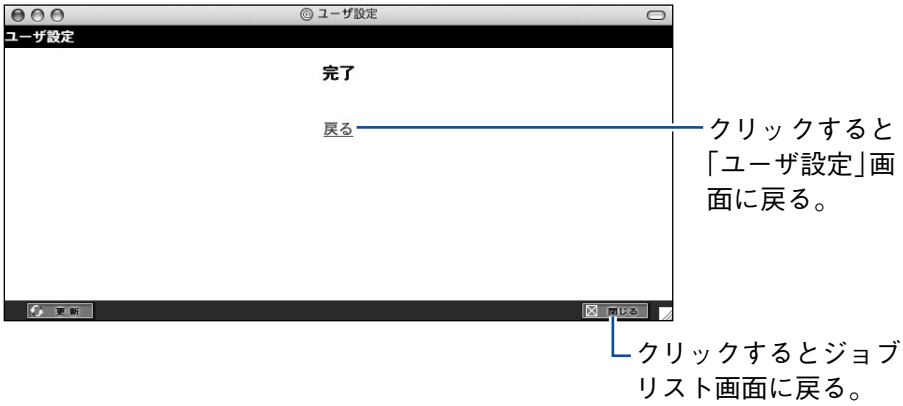
「Internet Explorer スクリプトの確認」画面が表示されます。



4 「OK」をクリックします。



「完了」が表示され、設定が変更されます。設定を取り消す場合は「キャンセル」をクリックします。



「完了」画面が表示されたあと、続けて「ユーザ設定」を操作する場合は「戻る」をクリックします。「閉じる」をクリックするとジョブリスト画面に戻ります。

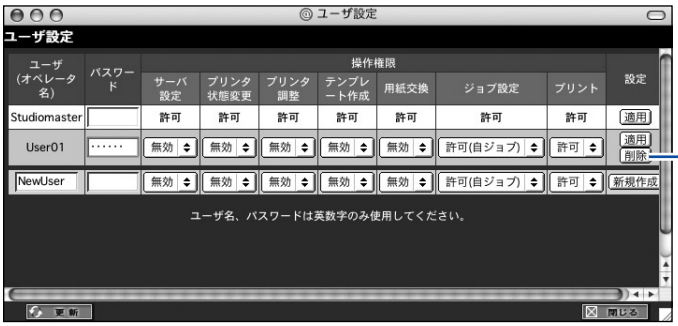
Studiomaster 以外でログインすると

ログインしたユーザーのパスワードのみ変更することができます。

● ユーザー登録を削除するには

1 「新しいユーザーを追加する」(342 ページ)の手順 1 ～ 7 の操作を行います。

2 「ユーザ設定」画面で、削除したいユーザーの欄にある「削除」をクリックします。



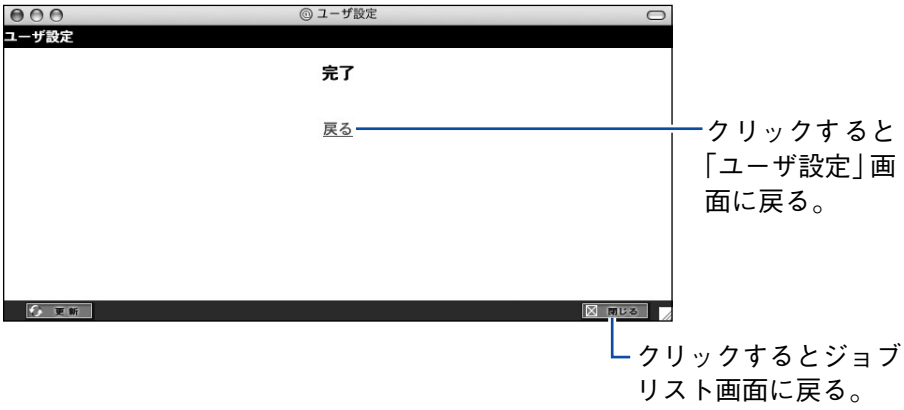
「Internet Explorer スクリプトの確認」画面が表示されます。



3 「OK」をクリックします。



「完了」が表示され、選択したユーザーが「ユーザ設定」から削除されます。削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックします。



「完了」画面が表示されたあと、続けて「ユーザ設定」を操作する場合は「戻る」をクリックします。「閉じる」をクリックした場合は、ジョブリスト画面に戻ります。

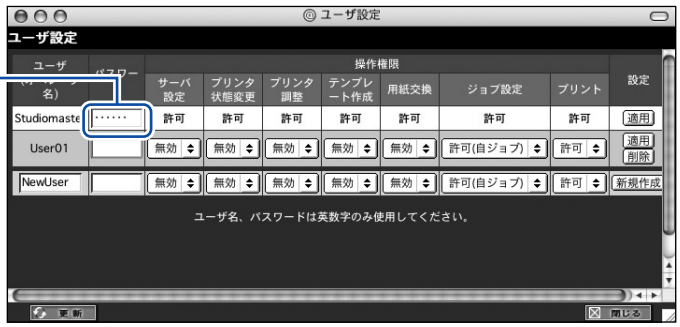
■ Studiomaster のパスワードを登録する

「ユーザ設定」画面で Studiomaster パスワードを登録できます。

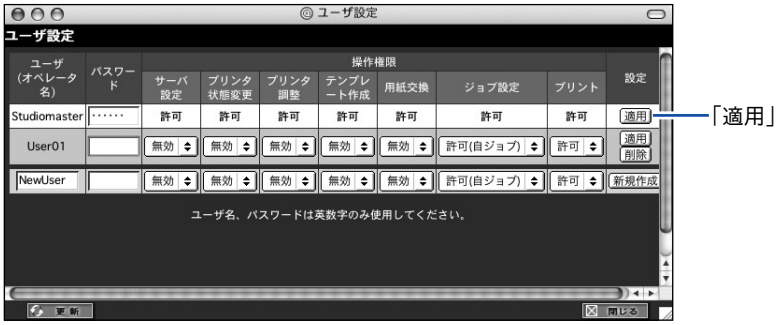
❶「新しいユーザーを追加する」(342 ページ) の手順 ❶ ～ ❼ の操作を行います。

❷「ユーザ設定」画面で Studiomaster の欄の「パスワード」に登録するパスワードを入力します。

Studiomaster の「パスワード」のボックスにカーソルを置いて、半角英数字で入力します。21 文字まで入力できます。



❸ 設定の変更が終わったら「適用」をクリックします。



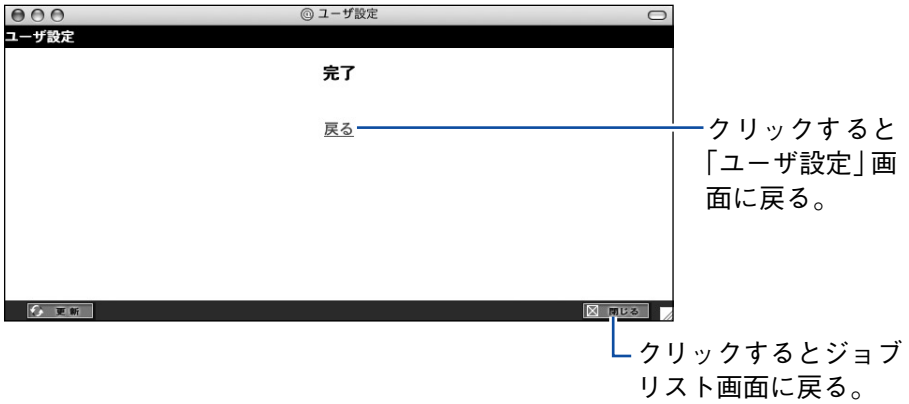
「Internet Explorer スクリプトの確認」画面が表示されます。



4 「OK」をクリックします。



「完了」が表示され、設定が変更されます。



「完了」画面が表示されたあと、続けて「ユーザ設定」を操作する場合は「戻る」をクリックします。「閉じる」をクリックするとジョブリスト画面に戻ります。

● 登録されている Studiomaster のパスワードを変更するには

「Studiomaster のパスワードを登録する」（350 ページ）の手順 2 で Studiomaster の「パスワード」のボックスをダブルクリックし、新しいパスワードを入力します。

■ クライアントコンピュータを追加する

クライアントコンピュータを追加する場合は、クライアントコンピュータをネットワークに接続し、本システムに付属の「クライアントソフトウェア CD」からソフトウェアをインストールし、モニタのカラー補正を行います。

> ポイント　スタジオのシステム管理者がクライアントソフトウェアをインストールすることをお奨めします。

● クライアントコンピュータのソフトウェアをインストールする前に

ネットワークとクライアントコンピュータの環境が以下の条件を満たしているか確認します。

- クライアントコンピュータがネットワークルータまたはハブに接続されている。
- クライアントコンピュータのシステムが以下の条件を満たしている。

【Macintosh】

CPU	G3/G4 450MHz 以上および G5
OS	Mac OS X v10.2（10.2.8 推奨）および Mac OS X v10.3（10.3.5 以降推奨） （Mac OS X の Classic には対応していません）
メモリ	256MB 以上
ColorSync	Ver. 3.0.3 以上
ネットワーク環境	10BASE-T/100BASE-TX
モニタサイズ	1024 × 768 ピクセル以上

【Windows】

CPU	1GHz 以上
OS	Windows 2000 Professional（SP4）、 Windows XP Professional Edition（SP1 以降）、 Windows XP Home Edition（SP1 以降） （Windows 2000、Windows XP の動作が保証されているシステム環境）
メモリ	256MB 以上
ネットワーク環境	10BASE-T/100BASE-TX
モニタサイズ	1024 × 768 ピクセル以上

● クライアントコンピュータにソフトウェアをインストールする

本システムに付属の「クライアントソフトウェア CD」からソフトウェアをインストールするには、次の手順に従ってください。

> **注意** 前バージョンのソフトウェアがインストールされている場合は、先にアンインストールしてから新しいソフトウェアをインストールしてください。アンインストールの方法は、「クライアントコンピュータからソフトウェアをアンインストールする」（354 ページ）をご覧ください。

【Macintosh】

1. 「クライアントソフトウェア CD」を CD-ROM または DVD ドライブに挿入します。
2. 「クライアントソフトウェア CD」の中の「Setup」アイコンをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールを行います。
3. インストールが終了したら、「クライアントソフトウェア CD」をドライブから取り出します。
4. 正常にコピーされたかを検証するため、それぞれのソフトウェアを起動させます。
   - 「EPPLayout を起動する」（176 ページ）をご覧ください。
   - 「EPPTemplate を起動する」（86 ページ）をご覧ください。
   - 「EPPWorks を起動する」（51 ページ）をご覧ください。
   - EPPStatus を起動するには、「EPPStatus でプリンタの状態を確認する」（246 ページ）をご覧ください。

【Windows】

1. 「クライアントソフトウェア CD」を CD-ROM または DVD ドライブに挿入します。
2. 「クライアントソフトウェア CD」の中の「Setup.exe」をダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールを行います。
3. インストールが終了したら「クライアントソフトウェア CD」をドライブから取り出します。

4 正常にインストールされたかを検証するため、それぞれのソフトウェアを起動させます。

- 「EPPLayout を起動する」（176 ページ）をご覧ください。
- 「EPPStatus」を起動させるには、「EPPStatus でプリンタの状態を確認する」（246 ページ）をご覧ください。

注意 Windows 版のクライアントソフトウェアを使用する場合は、以下の使用権限で使用してください。

OS	インストール時	アプリケーション実行時
Windows 2000 Professional	アドミニストレーター	アドミニストレーター／ Power User
Windows XP Professional Edition	アドミニストレーター	アドミニストレーター
Windows XP Home Edition	アドミニストレーター	アドミニストレーター

● クライアントコンピュータからソフトウェアをアンインストールする

クライアントコンピュータからソフトウェア（EPPLayout、EPPTemplate、EPPWorks、EPPStatus）を削除（アンインストール）するには、以下の手順に従ってください。

注意 古いバージョンと新しいバージョンのソフトウェアを入れ替える場合は、先に古いバージョンのソフトウェアをアンインストールしてから新しいソフトウェアをインストールしてください。インストールの方法は、「クライアントコンピュータにソフトウェアをインストールする」（353 ページ）をご覧ください。

【Macintosh】

1 起動しているすべてのソフトウェアを終了します。

2 「クライアントソフトウェア CD」を CD-ROM または DVD ドライブに挿入します。

3 「クライアントソフトウェア CD」の中の「Setup」アイコンをダブルクリックし、画面の指示に従いインストーラ画面まで進みます。

4 インストーラ画面が表示されたら、画面左上にあるメニューからアンインストール選択して実行し、さらに画面の指示に従ってアンインストールを行います。

5 アンインストールが終了したら、「クライアントソフトウェア　CD」をドライブから取り出します。

【Windows】

1. 起動しているすべてのソフトウェアを終了します。
2. Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。
   - Windows XP
     ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。
   - Windows 2000
     ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［コントロールパネル］をクリックします。
3. ［プログラムの追加と削除］（Windows XP）/［アプリケーションの追加と削除］（Windows 2000）を開きます。
4. ［プログラムの変更と削除］をクリックしてから、削除したいソフトウェアを選択して［変更と削除］または［削除］をクリックします。
5. 画面の指示に従ってアンインストールを行います。

● モニタのカラー補正を行う

モニタに表示される色をプリントされる色に近づけるために、クライアントコンピュータのモニタのカラー補正を行います。詳しくは、「モニタのカラー補正を行う」（333 ページ）をご覧ください。

仕様

● プリンタ部

プリンタユニット数	1 台
プリント用紙サイズ	A4：210.8 × 297 mm
	A3 ノビ：330 × 483 mm
プリント用紙種類	プレミアムラスターフォトペーパー（Premium Luster Photo Paper）
	エンハンスドマットペーパー（Enhanced Matte Paper）
	プロフォト　フィニッシュ用カット紙（Page paper for Pro-Photo finish）
用紙トレイ数	2 個
用紙トレイ最大積載量	• プレミアムラスターフォトペーパー（Premium Luster Photo Paper） A4：20 枚 A3 ノビ：20 枚 • エンハンスドマットペーパー（Enhanced Matte Paper） A4：50 枚 A3 ノビ：20 枚 • プロフォト　フィニッシュ用カット紙（Page paper for Pro-Photo finish） A3 ノビ：20 枚
スタック容量	40 枚
プリントスピード	約 7 分／枚（A4 に 8 × 10 インチの写真をレイアウト時）
平均プリントアウトスピード	約 7 分／ A4
寿命	約 6500 枚 （A4 に 8 × 10 インチの写真をレイアウト時）

● 外部インタフェース

クライアントコンピュータ・サーバ間接続

イーサネット	10BASE-T/100BASE-TX
通信プロトコル	Http 準拠、EPPTransfer プロトコル（弊社独自）

● 動作環境

	操作温度	操作湿度（非結露）	保存温度	保存湿度（非結露）
本機全体	10 ～ 30 ℃ *1	20 ～ 80%*2	-15 ～ 40 ℃	20 ～ 80%
プリンタユニット	10 ～ 30 ℃	20 ～ 80%	-20 ～ 40 ℃	20 ～ 80%
サーバ	10 ～ 30 ℃	20 ～ 80%	-40 ～ 65 ℃	20 ～ 80%
LCD モニタ	0 ～ 40 ℃	10 ～ 90%	-20 ～ 65 ℃	10 ～ 90%

*1 画質保証範囲は 15 ～ 30 ℃です。
*2 画質保証範囲は 40 ～ 60%（非結露）です。

● 寸法および重量

（参考値）

幅 x 奥行 x 高さ	約 750 × 500 × 874 mm（モニター含む）
重量	約 64 kg

● 電気部

定格電圧	AC 100 V
定格周波数	50 ～ 60 Hz ± 3 Hz
消費電力	PC 部：通常消費電力約 58.5W
	プリンタ部：約 26W（動作時）/15W 以下（待機時）
	モニタ部：36W（最大）/3W（省電力時）

MEMO

困ったときには

トラブルが起こると、ユーザーのコンピュータ画面に警告やエラーメッセージが表示されます。画面の指示にしたがってトラブルを処理してください。それでもトラブルを解決できないときは、「プリンタのトラブルを解決する」や「ソフトウェアのトラブルを解決する」をご覧になり、対処してください。

はじめに

“エラーメッセージが表示される”、“思うように操作できない”、“紙が詰まる”などのトラブルの解決方法について説明します。専用ヘルプデスクにお問い合わせいただく前に、ここに記載されている原因と解決方法を確認し、対処してください。それでもトラブルを解決できないときは専用ヘルプデスクにお問い合わせください。専用ヘルプデスクについては、「お問い合わせ先」（397 ページ）をご覧ください。

■ エラーや警告メッセージに対処する

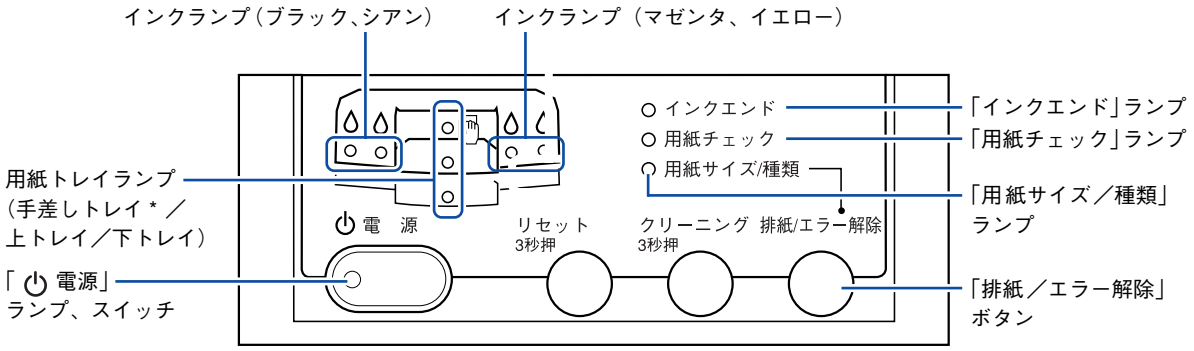
トラブルが起きると、エラーや警告メッセージ画面がクライアントコンピュータのモニタに表示されます。画面の指示に従ってトラブルを解決してください。プリントデータをサーバに送信したら、EPPStatus を起動しておくことをおすすめします。EPPStatus がトラブルの状況と解決方法をモニタに表示するので、迅速に対処できます。

モニタにエラーや警告メッセージ画面が表示されない場合でも“プリントができない”などのトラブルが起きたときには、プリンタのコントロールパネルのランプを確認し、対処してください。

プリンタのトラブルを解決する

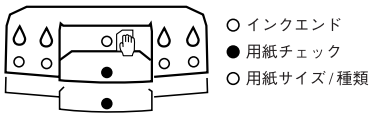
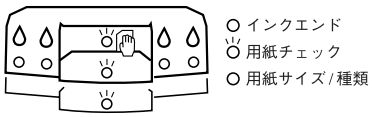
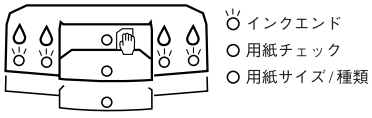
ここでは本体内蔵プリンタに発生する可能性のあるトラブルについて説明しています。

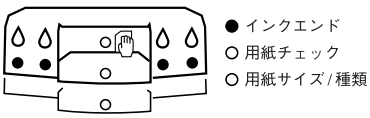
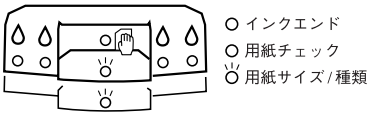
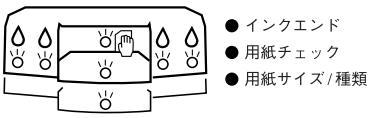
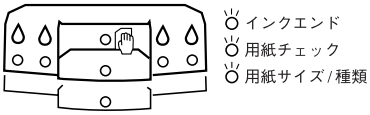
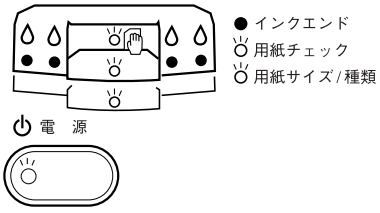
■ コントロールパネルのランプの状態と解決方法

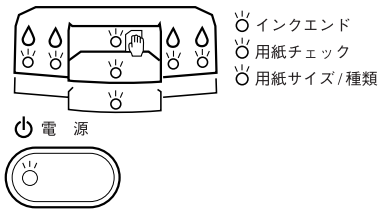


＊ 本機には手差しトレイは装備されていませんが、手差しトレイランプは点灯・点滅することがあります。故障ではありません。

プリンタのコントロールパネルのランプの点灯／点滅により、どんなトラブルが発生したか確認できます。以下のイラストでは、●は点灯、◌́ は点滅、○はランプが消えていることを示します。

トラブル こんなことが起きたら	シューティング このように処理してください
「用紙チェック」ランプと上または下トレイの用紙トレイランプが点灯している。  	• **用紙がない、または用紙が正しくセットされていない。** ランプが点灯したトレイに用紙をセットしてください。また、用紙がセットされているか確認してください（260 ページ）。 • **用紙トレイがセットされていない、または正しくセットされていない。** ランプが点灯しているトレイが正しくセットされているか確認してください（260 ページ）。
「用紙チェック」ランプとすべての用紙トレイランプが点滅している。  	• **用紙が詰まっている。** 「電源」スイッチを押してプリンタの電源を切り、詰まった用紙を取り除いてください（368 ページ）。 • **通紙経路カバーが開いている。** 通紙経路カバーを閉じてください（369 ページ）。
「インクエンド」ランプとインクランプが点滅している。  	• **インクの残量が少なくなっている。** インクランプが点滅しているインクカートリッジを新しいものと交換してください（295 ページ）。

トラブル こんなことが起きたら	シューティング このように処理してください
「インクエンド」ランプとインクランプが点灯している。  	• **インクがなくなっている、またはインクカートリッジが正しくセットされていない。** インクランプが点灯しているインクカートリッジを新しいものと交換してください。また、インクカートリッジが正しくセットされているか確認してください（295 ページ）。
「用紙サイズ／種類」ランプと上または下トレイの用紙トレイランプが点滅している。  	• **用紙のサイズや種類の設定が、用紙トレイにセットされている用紙と合っていない。** EPPLayout で設定した用紙サイズと種類（180 ページ）が用紙トレイにセットされている用紙と合っているか、用紙トレイの用紙サイズスライダと用紙種類スライダが正しくセットされているか（268 ページ）確認してください。なお、EPPServer の「EPPServer で用紙設定を確認する」（272 ページ）で用紙サイズと種類の設定を確認できます。 プリントを始めるには、「排紙／エラー解除」ボタンを押してください。
「インクエンド」ランプと「用紙チェック」ランプ、「用紙サイズ／種類」ランプが点灯し、すべての用紙トレイランプとインクランプが点滅している。  	• **プリンタヘッドが加熱しすぎている。** 「⏻ 電源」スイッチを押してプリンタの電源を切り、約 15 分たってから、もう一度「⏻ 電源」スイッチを押して電源を入れてください。 ノズルチェックを行いノズルが目詰まりしていないか確認し、プリンタヘッドをクリーニングしてください（288 ページ）。
「インクエンド」ランプ、「用紙チェック」ランプ、「用紙サイズ／種類」ランプが点滅している。  	• **お客様ご自身では解決できないトラブルが起きている。** 「⏻ 電源」スイッチを押してプリンタの電源を切り、専用ヘルプデスクにお問い合わせください。
「用紙チェック」ランプ、「用紙サイズ／種類」ランプ、「⏻ 電源」ランプ、すべての用紙トレイランプが点滅し、「インクエンド」ランプとすべてのインクランプが点灯している。  	• **お客様ご自身では解決できないトラブルが起きている。** 「⏻ 電源」スイッチを押してプリンタの電源を切り、専用ヘルプデスクにお問い合わせください。

トラブル こんなことが起きたら	シューティング このように処理してください
コントロールパネル上のすべてのランプが点滅している。  	• **原因不明のエラーが起きた。** 「⏻電源」スイッチを押してプリンタの電源を切り、もう一度「⏻電源」スイッチを押して電源を入れてから、プリントしてください。 それでもランプが点滅する場合は、「プリントログをアップロードする」（309 ページ）を参照してプリントログをセンターサーバにアップロードしてください。プリントログをアップロードせずに内蔵プリンタで 255 ページ（オプションの EX-7000 で 20 ページ）プリントすると、EPPServer は強制停止します。 • **プリンタヘッドが動かない。** 「⏻電源」スイッチを押してプリンタの電源を切り、プリンタヘッドの動きを妨げる用紙などが誤って入っていないか確認してください。 そのあと、もう一度「⏻電源」スイッチを押してプリンタの電源を入れてください。 それでもランプが点滅する場合は、「⏻電源」スイッチを押してプリンタの電源を切り、専用ヘルプデスクにお問い合わせください。

■ プリント画質に関するトラブルと解決方法

常に最良のプリント画質を維持するために、定期的に以下の操作や確認を行ってください。

- プリンタヘッドをクリーニングしてください（288 ページ）。
- プリンタヘッドを正しく調整してください（292 ページ）。
- 用紙トレイにセットした用紙に合わせて、用紙トレイの用紙サイズスライダや用紙種類スライダの位置が正しくセットされていることを確認してください（268 ページ）。
- EPPLayout で選択した用紙が用紙トレイにセットされているか確認してください（260 ページ）。

トラブル こんなことが起きたら	シューティング このように処理してください
プリントに縦または横のスジが入る。	• **セットされている用紙のプリントする面が上向きになっている。** プリントする面を下向きにして用紙トレイにセットしてください。プリントする面については、用紙の取扱説明書をご覧ください。 • **用紙設定が正しくない。** 用紙トレイにセットした用紙、用紙トレイの用紙サイズスライダと用紙種類スライダの位置が、EPPLayout で選択した用紙サイズと種類に合っているか確認してください。 • **プリンタヘッドのノズルが詰まっている。** 「ノズルチェックする」（285 ページ）を行い、プリンタヘッドのノズルが目詰まりを起こしていないか確認してください。目詰まりを起こしている場合は、プリンタヘッドをクリーニングしてください（288 ページ）。 プリンタヘッドのクリーニングが終わったら、もう一度、ノズルチェックを行い、画質の状態を確認してください。 • **プリンタヘッドが正しく調整されていない。** プリンタヘッドを正しく調整してください（292 ページ）。 • **インクの残量が少ない。** プリンタのコントロールパネルのインクランプが点滅または点灯していないか確認し、点滅または点灯している場合は新しいインクカートリッジと交換してください（295 ページ）。 • **画質が正しく調整されていない。** 「画質調整」を使って画質を調整してください（302 ページ）。

トラブル こんなことが起きたら	シューティング このように処理してください
プリントが薄い、不鮮明、粒子が粗い。	• **用紙設定が正しくない。** 用紙トレイにセットした用紙、用紙トレイの用紙サイズスライダと用紙種類スライダの位置が、EPPLayout で選択した用紙サイズと種類に合っているか確認してください。 • **セットされている用紙のプリントする面が上向きになっている。** プリントする面を下向きにして用紙トレイに正しくセットしてください。プリントする面については、用紙の取扱説明書をご覧ください。 • **用紙の状態が悪い。** 用紙が湿っていたり、傷がついていないか確認してください。 • **本機を高温多湿の場所で使用している。** 「仕様」（356 ページ）に記載されている環境で、本機が使用されているか確認してください。 • **プリンタヘッドのノズルが詰まっている。** 「ノズルチェックする」（285 ページ）を行い、プリンタヘッドのノズルが目詰まりを起こしていないか確認してください。目詰まりを起こしている場合は、プリンタヘッドをクリーニングしてください（288 ページ）。 プリンタヘッドのクリーニングが終わったら、もう一度、ノズルチェックを行い、画質の状態を確認してください。 • **インクの残量が少ない。** プリンタのコントロールパネルのインクランプが点滅または点灯していないか確認し、点滅または点灯している場合は新しいインクカートリッジと交換してください（295 ページ）。 • **プリンタヘッドが正しく調整されていない。** プリンタヘッドを調整してください（292 ページ）。

トラブル こんなことが起きたら	シューティング このように処理してください
プリントされた色が画像データと異なる、または色が出ない。	• **用紙設定が正しくない。** 用紙トレイにセットした用紙、用紙トレイの用紙サイズスライダと用紙種類スライダの位置が、EPPLayout で選択した用紙サイズと種類に合っているか確認してください。 • **セットされている用紙のプリントする面が上向きになっている。** プリントする面を下向きにして用紙トレイに正しくセットしてください。プリントする面については、用紙の取扱説明書をご覧ください。 • **用紙の状態が悪い。** 用紙が湿っていたり、傷がついていないか確認してください。 • **プリンタヘッドのノズルが詰まっている。** 「ノズルチェックする」（285 ページ）を行い、プリンタヘッドのノズルが目詰まりを起こしていないか確認してください。目詰まりを起こしている場合は、プリンタヘッドをクリーニングしてください（288 ページ）。 プリンタヘッドのクリーニングが終わったら、もう一度、ノズルチェックを行い、画質の状態を確認してください。 • **インクの残量が少ない。** プリンタのコントロールパネルのインクランプが点滅または点灯していないか確認し、点滅または点灯している場合は新しいインクカートリッジと交換してください（295 ページ）。 • **プリンタヘッドが正しく調整されていない。** プリンタヘッドを調整してください（292 ページ）。 • **クライアントコンピュータのモニタのカラー補正が行われていない。** クライアントコンピュータのモニタのカラー補正を行ってください（333 ページ）。 • **カラープロファイルの更新が必要。** プリントされた色が画像データとまったく異なる場合はテストチャートと画質調整パターンをプリントし（298 ページ、302 ページ）、専用ヘルプデスクまでお送りください。お使いのシステムの状態をそれらに基づいて検証し、システムにあったカラープロファイルを作成します。作成されたカラープロファイルをセンターサーバからダウンロードしてカラープロファイルを更新してください（306 ページ）。
用紙の端から写真までの余白がEPPLayoutでの設定と異なる。	• **用紙トレイの幅ガイドと長さガイドが正しくセットされていない。** 用紙トレイの幅ガイドと長さガイドを正しくセットしてください（262 ページ、266 ページ）。
写真をこすると、インクが簡単にはがれてしまう。	• **写真が乾いていない。** プリントした用紙を十分に乾燥させてください（253 ページ）。

■ 用紙に関するトラブルと解決方法

用紙に関するトラブルを防ぐには、指定された用紙を使用し、定期的に通紙経路をクリーニングしてください（280 ページ）。用紙の保管状態についても確認してください。

- エンハンスドマットペーパー（Enhanced Matte Paper）、プレミアムラスターフォトペーパー（Premium Luster Photo Paper）、プロフォト フィニッシュ用カット紙（Base paper for Pro-Photo finish）などの本機専用紙を使用してください。
- セットする前に用紙が湿っていないか、カールしていないか確認してください。

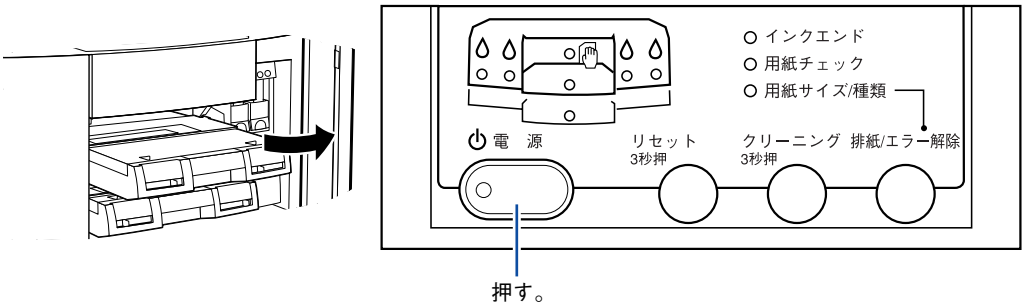
トラブル こんなことが起きたら	シューティング このように処理してください
用紙が正しく給紙されない、または一度に複数枚の用紙が給紙される。	• **用紙がカールしている、または折れ曲がっている。** 保管状態の悪い用紙を使っていると、用紙がカールしたり、折れたりします。湿気の多い場所を避け、購入したときの包装紙に入れて保管してください（254 ページ）。 • **最大積載量を超えた用紙が用紙トレイにセットされている。** 用紙トレイの最大積載量を確認し、セットし直してください（260 ページ）。 • **静電気で、用紙と用紙がくっついている。** 用紙をさばいてから用紙の端をそろえ、用紙トレイにセットしてください。用紙をさばくと、用紙と用紙のあいだで発生する静電気が少なくなり、紙詰まりを防ぎます。 • **プリンタに用紙が詰まっている。** 用紙が詰まると、コントロールパネルの「用紙チェック」ランプが点滅します（361 ページ）。用紙を取り除いてください（368 ページ）。
プリントした用紙がしわになっている。	• **用紙が湿っている。** 湿気の多い場所を避け、購入したときの包装紙に包んで保管してください。 • **用紙がまっすぐに給紙されていない。** 用紙トレイの用紙ガイドローラ、幅ガイドや長さガイドが正しい位置にセットされているか確認してください（262 ページ、263 ページ、266 ページ、266 ページ）。
用紙の途中までしか排紙されない。	• **用紙設定が正しくない。** コントロールパネルの「排紙／エラー解除」ボタンを押して、用紙を完全に排紙させます。 用紙トレイにセットした用紙、用紙トレイの用紙サイズスライダと用紙種類スライダの位置が、EPPLayout で選択した用紙サイズと種類に合っているか確認してください。
ロール紙にローラー跡が残る。	• **オプションの EX-7000 にロール紙をセットしたままにしている。** オプションの EX-7000 にロール紙をセットしたままにすると、ロール紙に跡がつき、印刷品質が低下します。長時間印刷しない場合はロール紙を一旦取り外してください。

■ 用紙が詰まったとき

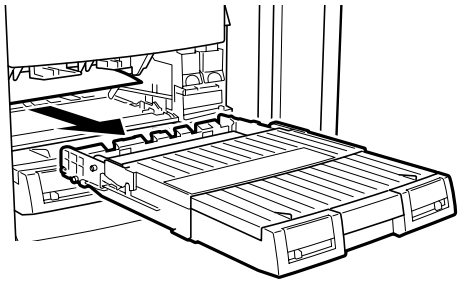
プリンタに用紙が詰まると、プリンタのコントロールパネルの「用紙チェック」ランプと用紙トレイランプが点滅します。次の手順に従って詰まった用紙を取り除いてください。

> 注意 プリンタの電源が入っているときは、絶対にプリンタ内部に触れないでください。プリンタ内部から詰まった用紙を取り除く場合は、必ず「⏻電源」スイッチを押して、プリンタの電源を切ってください。

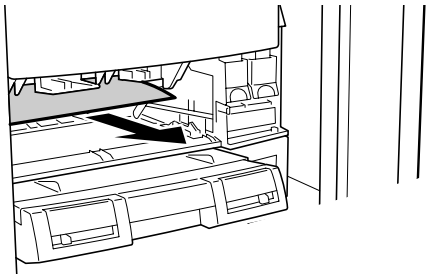
1 キャビネットの右扉を開き、用紙が詰まっているプリンタの「⏻電源」スイッチを押し、電源を切ります。



2 上トレイを取り外します。



3 詰まった用紙をていねいに取り除きます。

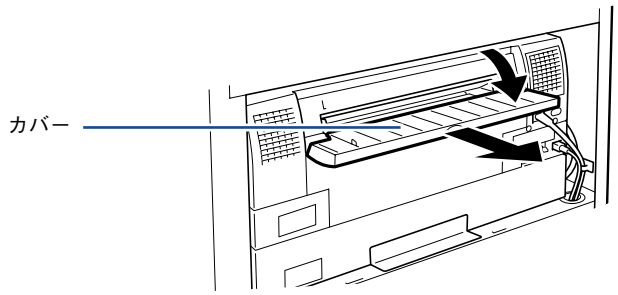


> ポイント
> - 用紙を取り除いたら、用紙トレイをセットし、コントロールパネルの「⏻電源」スイッチを押して電源を入れます。「排紙／エラー解除」ボタンを押して、用紙が正しく給紙されるか確認してください。
> - 用紙を取り除くことができない場合は、次の手順に進みます。

4 下トレイを取り外し、詰まった用紙を取り除きます。

> ポイント プリンタの奥に用紙が詰まっている場合は、プリンタ背面の通紙経路カバーを開いてから取り除きます。次の手順に進んでください。

5 プリンタ背面のカバーを開き、引き出します。



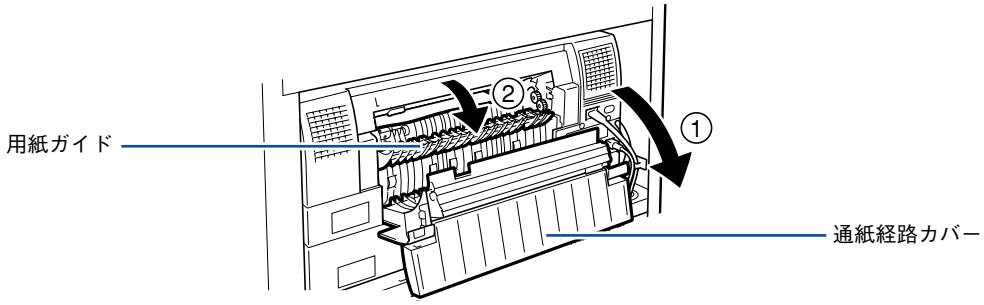
ポイント

カバーがテープで固定されている場合は、取り除いてからカバーを引き出してください。紙詰まりの処理が終わったらカバーを閉じてテープで固定してください。

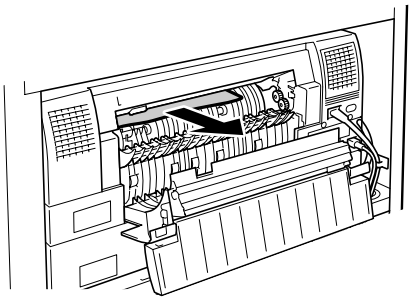
注意

詰まった用紙を取り除くときに、キャビネットからプリンタを取り出さないでください。

6 通紙経路カバーを開きます。その際、ケーブル類にご注意ください。必要であれば、用紙ガイドも開きます。



7 詰まった用紙をていねいに取り除き、用紙ガイド、通紙経路カバー、プリンタ背面のカバーをしっかりと閉じます。その際、ケーブル類を挟み込まないようにご注意ください。



ポイント

用紙を取り除いたら、用紙トレイをセットし直し、コントロールパネルの「⏻電源」スイッチを押して電源を入れます。次に、「排紙／エラー解除」ボタンを押して、用紙が正しく給紙されるか確認してください。

ソフトウェアのトラブルを解決する

■ EPPServer に関するトラブルと解決方法

トラブル こんなことが起きたら	シューティング このように処理してください
本体の LCD モニタの表示が明るすぎる、または暗すぎる。	• **本体の LCD モニタの輝度、コントラストが正しく調整されていない。** 1. LCD モニタ調整ボタンの「MENU」ボタン（左側）を押し、オンスクリーンメニューを表示させます。 2.「AUTO/SELECT」ボタンを押して「Graphic Control」メニューを選択し、「＋」または「－」ボタンを押します。 3.「AUTO/SELECT」ボタンを押して「Contrast」（コントラスト）、「Brightness」（明るさ）などの項目を選択し、「＋」または「－」ボタンを押して調整します。 4. 調整が終わったら、「AUTO/SELECT」ボタンを押して「Exit」を選択し、「＋」または「－」ボタンを押します。
EPPServerが正しく働いているのに、プリントされない。	• **プリンタと用紙が正しく設定されていない。インクの残量が少ない、またはインクが残っていない。** EPPServer 画面の下部にある「プリンタ状態」ウィンドウでプリンタと用紙、インクの状態を確認してください。「状態／変更」チェックボックスからチェック（✓ 印）が外れている場合は、チェック（✓ 印）を入れてプリンタを有効にしてください（251 ページ）。
EPPServer 画面に「センターサーバに接続できませんでした」などのアップロードエラーのメッセージが表示された。	• **本体がハブやルータに接続されていない。** クライアントコンピュータからインターネットに接続できない場合は、本体がハブやルータに正しく接続されているか確認してください。 • **ハブやルータが正しく接続されていない、または正常に動作していない。** ハブやルータのリンクランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合は、ケーブルに問題があります。ケーブルが破損していないか確認し、インターネットに接続し直してください。また、ハブやルータが正常に動作していない場合は、正常に動作するように対処してください。それでも解決しない場合は、専用ヘルプデスクにお問い合わせください。

■ EPPLayout に関するトラブルと解決方法

トラブル こんなことが起きたら	シューティング このように処理してください
フォルダを選択してもサムネイルが表示されない。	• **画像ファイルのファイル形式が、JPEG または TIFF ではない。** RGB モードの JPEG または TIFF* 形式のファイルか、画像ファイルのサイズが 48MB 以下であるかを確認してください（47 ページ）。 * EPPLayout は LZW 圧縮された TIFF 画像ファイルを読み込むことができます。
サムネイルが表示されるまでに時間がかかる。	• **フォルダに入っている画像ファイルの数が多すぎる、または画像ファイルのサイズが大きすぎる。** フォルダの中に非常に多くの画像ファイル入っていたり、画像ファイルのサイズが大きい場合は、表示や編集に時間がかかります。お使いのコンピュータの処理スピードや容量にもよりますが、1 つの画像ファイルのサイズを 48MB 以下にし、フォルダに入れるファイルの数を 100 個以内（フォルダのサイズが 500MB 以下）になるようにしてください。
サムネイルの色が正しく表示されない。	• **トラブルではありません。** サムネイルは正しい色で表示されないことがあります。
EPPLayoutからプリントデータを送信したときに、プリントされないプリントデータがある。	• **送信したプリントデータに 48MB を超える画像ファイルや、サイズの大きい複数の画像ファイル（例えば、47MB の画像ファイルが 8 個）が含まれている。** 写真の解像度を落としてもう一度プリントしてください。EPPLayout の「環境設定」で解像度を落としたファイルを自動的に作成するように設定することもできます。詳しくは、「EPPLayout オンラインヘルプ」の「A-5.「環境設定」を行う」をご覧ください。 • **サーバの空き容量（送信データ容量＋サーバ安定動作容量＝約 2GB）が少なくなっている。** ジョブモニタを起動し、不要なプリントジョブを削除してもう一度プリントしてください。または、ほかのプリントジョブが終了するのを待ち、サーバに十分な空き容量を確保してからプリントしてください。 ジョブモニタを起動するには、「EPPMonitor を起動する」（223 ページ）をご覧ください。
テンプレートを作成しサーバにアップしたが、EPPLayout ではエラー表示となって使用できない。	• **テンプレートで使用されている写真枠数が 500 個を越えています。** 最大写真枠数が 500 個に収まるようテンプレートを修正してください。

トラブル こんなことが起きたら	シューティング このように処理してください
EPPLayoutが起動を一時停止し、サーバに接続できないというエラーメッセージ画面が表示される。	• **本体の電源が入っていない。** メッセージ画面の「OK」をクリックし、本体の電源が入っているか確認してください。本体の電源がすでに入っている場合は、一旦 EPPServer をシャットダウンします。システムが終了して電源が完全に切れて約 1 分以上待って、電源を入れ直します。EPPServer 画面が表示されたら、クライアントコンピュータからもう一度 EPPLayout を起動してください。 この方法で解決しない場合は、クライアントコンピュータと本体が正しく接続されているか、ケーブルやハブ、ルータの接続を確認してください。本体背面の左下にある白いインターフェイスコネクタにケーブルが正しく接続されているか確認してください。 【Macintosh のみ】 • **クライアントコンピュータのMacintoshのTCP/IPが正しく設定されていない。** クライアントコンピュータの TCP/IP で「経由先」が「Ethernet」に設定されているか、正しい IP アドレスを使用しているか確認してください。
写真を写真枠にドラッグしたとき自動的に回転しない。	• **「回転」が「手動」になっている。** 「自動右」または「自動左」を選択してください。 縦長の写真を縦長の写真枠に、または横長の写真を横長の写真枠にドラッグしたときは、「自動右」や「自動左」が設定されていても回転しません。
ページを追加できない。	• **200 ページを超えるページを追加しようとしている。** 「ページ」に 200 が表示されていないか確認してください。追加する場合は、不要なページを削除し、ページ数を減らしてからページを追加してください。
「ページ」に表示されている総ページが 200 未満なのにページを追加できない。	• **ページを追加すると実際の総ページ数が200ページを超えてしまう。** EPPLayout で作成できるページ数は 200 ページですが、パッケージに“複数ページのテンプレート”が含まれていても、1 パッケージを 1 ページとカウントし「ページ」に表示します。パッケージ内のページも含めて、実際の総ページ数が 200 を超えない範囲で追加してください。
写真を用紙の中央に配置できない。（「フリーレイアウト」モードのとき）	• **写真サイズが画像プリント領域を超えている。** 写真サイズを小さくすると中央に配置できます。「解像度」または「サイズ」をクリックして、プリント品質領域に収まるように写真サイズを小さくすると、写真を中央に配置できます。 写真サイズを変更したくない場合は、画像プリント領域を拡張します。「環境設定」をクリックし、「環境設定」画面で「画像プリント領域を拡張する」のチェックボックスにチェック（✓印）を入れます。画像プリント領域が拡張され、写真を中央に配置できます。ただし、プリント品質領域外の部分は画質が低下することがあります。 • **画像プリント領域を拡張しても中央に配置できない。** 写真サイズを小さくするしかありません。「解像度」または「サイズ」をクリックして、画像プリント領域に収まるように写真サイズを小さくすると、写真を中央に配置できます。

■ EPPTemplate に関するトラブルと解決方法

トラブル こんなことが起きたら	シューティング このように処理してください
パッケージに入っていたテンプレートがなくなっている。	• **テンプレートが「使用中テンプレート」から削除されている。** テンプレートを削除すると、そのテンプレートが入っていたすべてのパッケージから削除されます（169 ページ）。
「パッケージ管理」画面でパッケージを削除したのに、中に入っていたテンプレートが削除されない。	「パッケージ管理」画面でパッケージを削除しても、中に入っていたテンプレートは削除されません。テンプレートを削除する場合は、「「使用中テンプレート」からテンプレートやパッケージファイルを削除する」（169 ページ）。
パッケージをローカルフォルダに保存できない。	パッケージはローカルフォルダに保存できません。テンプレートだけを保存できます（165 ページ）。
ほかのユーザーがロックしたファイルを解除できない。	• **ユーザーが Studiomaster ではない。** Studiomasterはほかのユーザーがロックしたファイルを解除できます。

■ EPPWorks に関するトラブルと解決方法

トラブル こんなことが起きたら	シューティング このように処理してください
フォルダを選択してもサムネイルが表示されない。	• **画像のファイル形式が JPEG または TIFF ではない。** RGB モードの JPEG または TIFF* 形式のファイルを使用してください（47 ページ）。 * EPPWorks は LZW 圧縮された TIFF 画像ファイルを読み込むことができます。
画像ファイルを開くと「画像のプロファイルの指定」画面が表示される。	• **画像ファイルに ICC プロファイルが添付されていない。** 「画像のプロファイルの指定」画面で使用する色空間を指定してください。 「EPPWorks オンラインヘルプ」の「I. 環境設定」をご覧ください。
「一覧」モードからほかのモードへ切り替えると「プロファイル変換」画面が表示される。	• **カラーマネージメント設定の「画像読み込み時に色空間の変換の確認を行う」のチェックボックスにチェック（✓ 印）が入っている。** チェック（✓ 印）を外すと「プロファイル変換」の画面は表示されません。 「EPPWorks オンラインヘルプ」の「I. 環境設定」をご覧ください。

■ EPPMonitor に関するトラブルと解決方法

トラブル こんなことが起きたら	シューティング このように処理してください
EPPMonitorを起動できない。	• **「既に本ソフトウェアが起動しているか、他の TCP/IP アプリケーションが指定ポートを使用中です。ポート：####」のメッセージ画面が表示される。** ネットワークエラーが起きています。専用ヘルプデスクにお問い合わせください。 • **「ジョブデータベースが開けません。」が表示される。** プリント履歴などを管理するジョブデータベースに異常があります。専用ヘルプデスクにお問い合わせください。
「プリント状況」画面に何も表示されない。	• **プリントジョブリストが更新されていない。** 「更新」をクリックしてプリントジョブリストの更新を行ってください（228 ページ）。

MEMO

オンラインヘルプについて

ここでは、本システムのソフトウェア EPPLayout、EPPWorks、EPPMonitor に用意されているオンラインヘルプの使い方を説明しています。オンラインヘルプを使用する前にご覧ください。

オンラインヘルプの使い方

EPPWorks、EPPLayout および EPPMonitor は、それぞれのオンラインヘルプを備えています。オンラインヘルプでは知りたい項目をクリックするだけで、使い方や機能の説明を瞬時に表示させることができます。EPPWorks、EPPLayout および EPPMonitor を十分にお使いいただけるように「ユーザーズガイド」で説明していますが、オンラインヘルプではさらに詳しい機能や使い方をご覧いただけます。

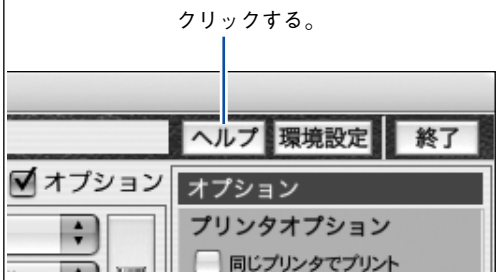
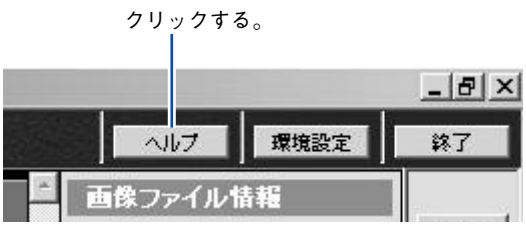
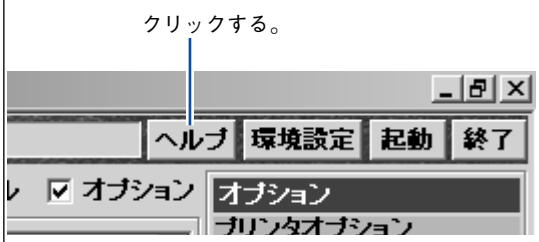
ポイント

PPPS-1B をご使用いただいている場合は、以下の点をご理解の上、ヘルプをご覧ください。

- 各ヘルプには PPPS-1/PPPS-1J が接続されている場合の画面を掲載していますので、プリンタ名の表示などが一部異なります。
- PPPS-1B が内蔵しているプリンタは 1 台ですので、「C-3. プリンタを選択する」や「E-2-1. プリント画質にバラつきが出ないようする」で説明する EPPLayout の「同じプリンタでプリント」機能はありません。

■ オンラインヘルプを起動する

オンラインヘルプを起動するには、EPPWorks、EPPLayout および EPPMonitor の画面右上の「ヘルプ」をクリックします。

<table>
<tr><th>EPPWorks</th><th>EPPLayout</th></tr>
<tr><td>【Macintosh】
 
</td><td>【Macintosh】
 
</td></tr>
<tr><td>【Windows】
 
</td><td>【Windows】
 
</td></tr>
<tr><td colspan="2">EPPMonitor
 
</td></tr>
</table>

Microsoft Internet Explorer または Netscape Navigator が起動し、「オンラインヘルプ」画面が表示されます。左側の目次画面と右側のメイン画面で構成されています。



> **注意** Microsoft Internet Explorer 5.0 以上または Netscape Navigator 4.7 以上がインストールされているか確認してください。これ以下のバージョンではオンラインヘルプが正確に表示されないことがあります。

■ 知りたい説明を表示する

オンラインヘルプ起動後の最初の画面には、ソフトウェアの操作画面が表示されます。各エリアや枠内の操作手順をクリックすると、メイン画面が、その部分を説明するページに切り替わります。



エリアをクリックする。

手順をクリックする。

ポイント

画面に表示される文字が小さくて読みにくい場合には、Internet Explorer や Netscape Navigator の「表示」メニューで文字の大きさを変更することができます。

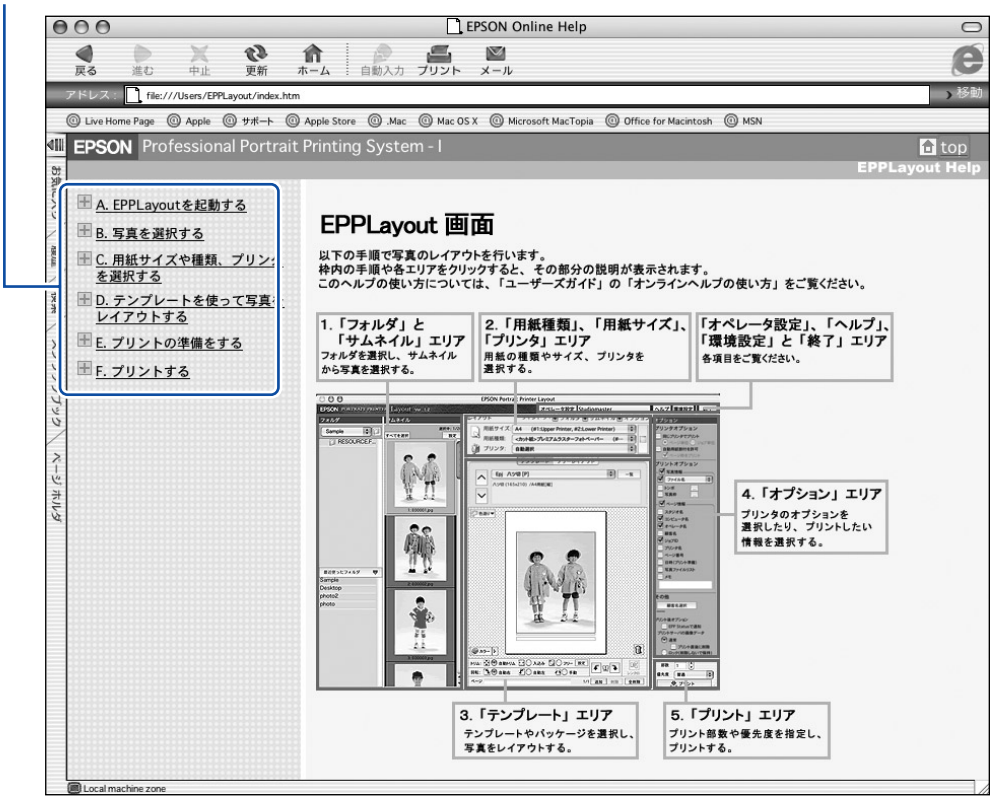
● 目次を利用する

目次画面を使って知りたい項目を探したり、表示されているページを確認することができます。目次のタイトルはレベルの上から順に“1 番目のタイトル”、“2 番目のタイトル”、“3 番目のタイトル”となっています。アルファベット（A、B、C...）が付いているタイトルは“1番目のタイトル”、アルファベットと数字1つ（A-1、A-2...）が付いているタイトルは“2番目のタイトル”、アルファベットと数字2つ(A-1-1、A-2-1...)が付いているタイトルは“3番目のタイトル”です。

❶ “1 番目のタイトル” をクリックします。

タイトル左の「＋」が「－」に変わり、“2 番目のタイトル” が青字で表示されます。

“1 番目のタイトル”



“2 番目のタイトル”（青字）

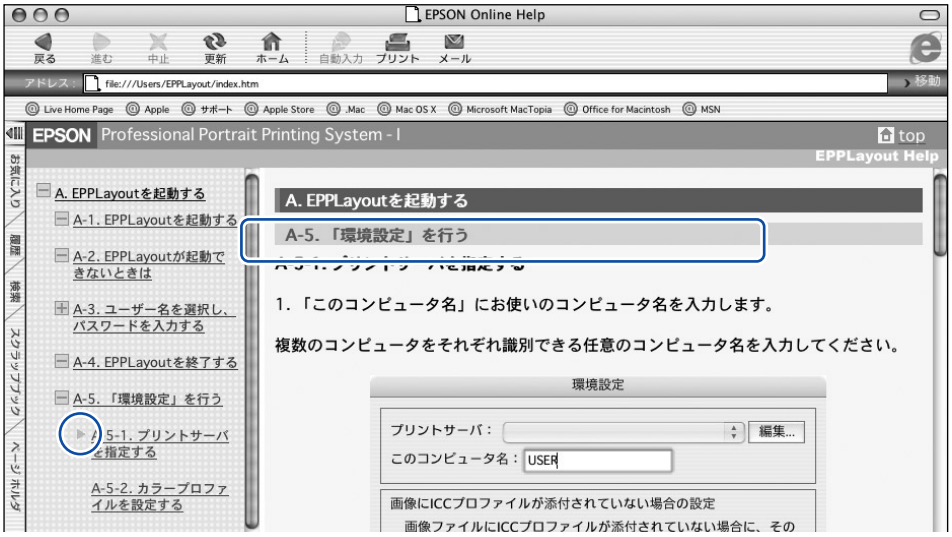


❷ 説明を表示したい“2 番目のタイトル”をクリックします。

メイン画面に選択したタイトルのページが表示されます。
「＋」の付いた“2 番目のタイトル”をクリックすると、「＋」が「－」に変わり、目次画面に“3 番目のタイトル”が緑字で表示されます。また、メイン画面の先頭にも“3 番目のタイトル”が表示されます。
目次画面とメイン画面のどちらのタイトルをクリックしても、選択したタイトルのページが表示されます。
はじめから「－」が付いている“2 番目のタイトル”には“3 番目のタイトル”はありません。



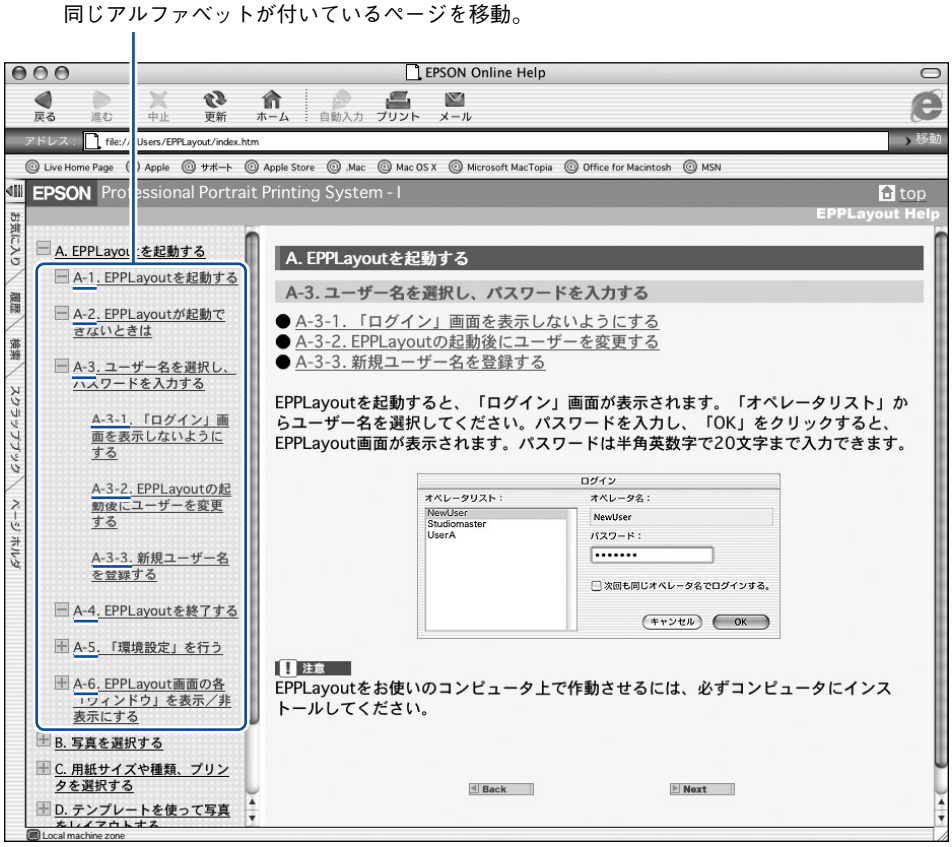
“3 番目のタイトル”をクリックし、説明が表示されると、目次のタイトル左に「▶」が点滅します。オンラインヘルプ全体のどの部分を表示しているか確認できます。



● ページ間の移動について

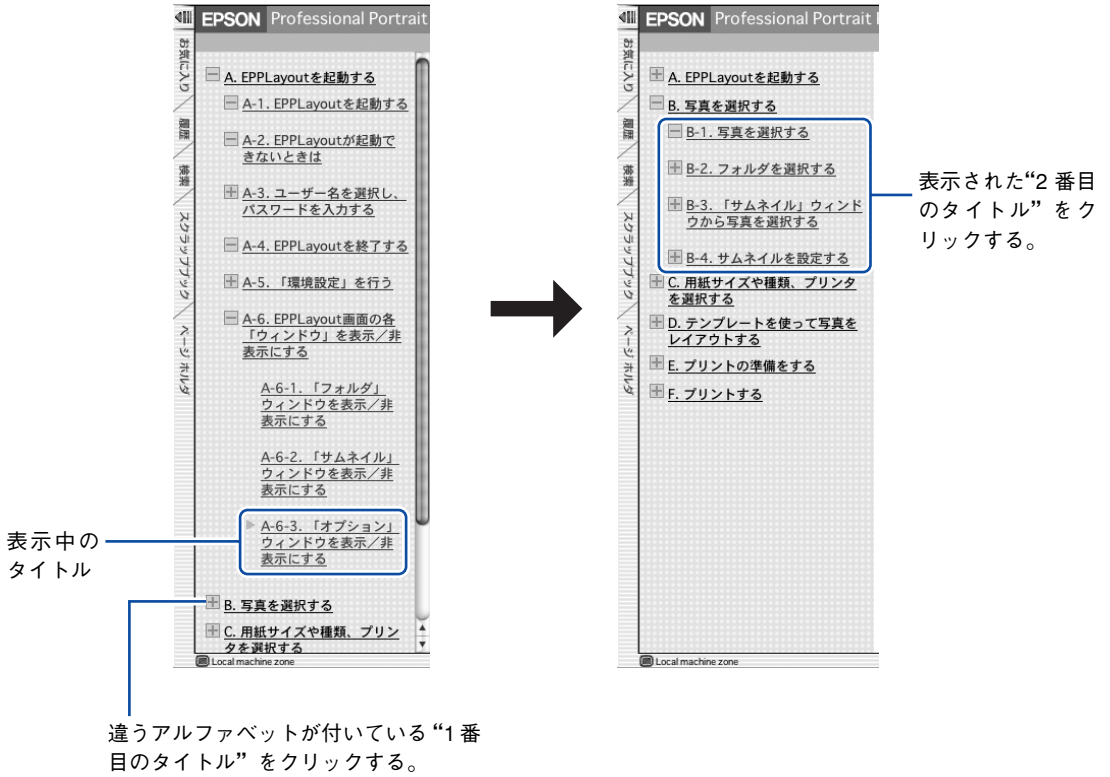
同じアルファベットが付いているタイトルのページ間を移動するには Next や Back を使うこともできます。

ページの最後にある Next や Back をクリックすると、同じアルファベットが付いている“2 番目のタイトル”と“3 番目のタイトル”のページを順番に移動できます。



今、画面には「A-3. ユーザー名を選択し、パスワードを入力する」というページが表示されています。目次に注目してください。ここで Next をクリックすると、次の“3 番目のタイトル”の「A-3-1. 「ログイン」画面を表示しないようにする」のページへ進みます。Back をクリックすると、前の“2 番目のタイトル”の「A-2. EPPLayout が起動できないときは」のページへ戻ります。

異なるアルファベットが付いているタイトルのページへ移動するときは、目次画面で“1 番目のタイトル”をクリックし、移動先の“2 番目のタイトル”や“3 番目のタイトル”を表示させます。ご覧になりたいタイトルをクリックすると、メイン画面に説明が表示され、Next や Back を使って同じアルファベット内のページを移動できます。



■ ページの構成



注意	制限事項や本ソフトウェアを正常に機能させるために守っていただきたいことを示しています。必ずお読みください。
ポイント	本ソフトウェアについての大切な情報や操作のヒントです。よくお読みください。

索引

数字

「2 項目調整」（EPPWorks） 74

A

A3 ノビサイズをセットする 265
A4 サイズをセットする 261

E

Egg ファイル（EPPWorks） 81
「Egg ファイルに画像編集記録を保存」（EPPWorks） 80, 82
EPPLayout 43, 173
EPPMonitor 43, 222, 244
EPPServer 4, 43, 222, 249, 257
EPPServer からログアウトする 271
EPPServer にログインする 269
EPPServer のソフトウェア 335
EPPServer のバージョン 334
EPPStatus 43, 222, 246, 360
「EPP Status で通知」（EPPLayout） 215
EPPTemplate 43, 83
EPPWorks 43, 46
「EPSON サンプルテンプレート」（EPPTemplate） 158
「E メールを送る」（EPPServer） 321

H

helpdesk 397

I

ICC プロファイル 48

J

JPEG 47
「JPEG ファイルに書き出し」（EPPWorks） 80

L

「LAN 接続設定」（EPPServer） 327

S

Studiomaster のパスワード（EPPMonitor） 350

T

TIFF 47
「TIFF ファイルに書き出し」（EPPWorks） ...80

あ

「明るさ」（EPPLayout） 200
「明るさ」（EPPWorks） 78
新しいテンプレート（EPPServer） 337
アップデートファイル（EPPServer） 335

い

「位置」（EPPLayout） 208
「一覧」モード（EPPWorks） 52
移動 332
「入れ込み」（EPPLayout） 189, 195, 206
「入込み」（EPPLayout） 189, 195, 206
色褪せ 256
「色造り」（EPPLayout） 199
「インクエンド」ランプ 295
インクカートリッジ 295
インクカートリッジの交換 295
インクカートリッジの残量 295
インク残量を表示（EPPServer） 250
「インテリチューン（自動画像調整）」フィルタ（EPPWorks） 70

う

ウィンドウを非表示（EPPLayout） ...184, 203
ウィンドウを表示（EPPLayout） 184, 203
美しい色を保つには 255

え

エラー 360
「エラー」（EPPStatus） 248
エラーメッセージ（EPPLayout） 220
エラーメッセージ（EPPServer） 319
エラーメッセージをＥメールで受信する
（EPPServer） 319
延長トレイ 265
延長トレイカバー 267

お

お問い合わせいただく前に 360
「同じプリンタでプリント」
（EPPLayout） 211
「オペレータ名」（EPPLayout） 214
「オペレータ名」（EPPMonitor） 226
オンラインヘルプ 378

か

「解像度」（EPPLayout） 207
解像度を落とす（EPPLayout） 217
「回転」
（EPPLayout） 189, 190, 197, 206, 207
「回転」を一括設定する（EPPLayout） 198
ガイド（EPPTemplate） 99
ガイドライン（EPPTemplate） 132
「ガイドを表示」（EPPTemplate） 98
書き出しツール（EPPWorks） 68
「書出保存」（EPPTemplate） 168
「書き出し」モード（EPPWorks） 80
「拡大ズーム」（EPPTemplate） 97
「確認」（EPPServer） 272
確認する間隔（EPPStatus） 248
「画質調整」（EPPServer） 303
画質調整パターン（EPPServer） 302
「カスタムトリミング比率設定」
（EPPWorks） 62
「カスタムファイルダウンロード」
（EPPServer） 338
カスタムファイルをダウンロード
（EPPServer） 337
「画像情報」（EPPWorks） 80
「画像データ」（EPPMonitor） 232
画像データをサーバから削除する
（EPPLayout） 216
画像データをサーバに登録する
（EPPLayout） 216
「画像データ削除」（EPPMonitor） 242
画像ファイル 47
「画像ファイル情報」エリア（EPPWorks） ..54
「画像ファイルの解像度情報を使用」
（EPPLayout） 207
「カット」（EPPTemplate） 97
「カラー」（EPPLayout） 200
「カラー」ツールバー（EPPLayout） 201
カラー／トーンツール（EPPWorks） 68
「カラー／トーン」モード（EPPWorks） 69
「カラーバランス」（EPPLayout） 200
「カラープロファイルアップデート」
（EPPServer） 307
カラープロファイルを更新する
（EPPServer） 306
カラープロファイルを元に戻す
（EPPServer） 308
カラー補正 333
「カラーマネージメント設定」
（EPPWorks） 58
「簡易色調整」画面（EPPLayout） 200
「簡易色調整」を適用する（EPPLayout） .. 200
「簡易色調整」を保存する（EPPLayout） .. 200
「間隔」（EPPTemplate） 112
「環境設定」画面（EPPLayout） 178

き

「記憶色補整」（EPPWorks） 79
起動（EPPLayout） 176, 343
起動（EPPMonitor） 223, 344
起動（EPPServer） 85, 175
起動（EPPStatus） 246
起動（EPPTemplate） 86
起動（EPPWorks） 51
起動（オンラインヘルプ） 379
「吸着オプション」（EPPTemplate） 123
吸着機能（EPPTemplate） 123
共通ファイル（EPPServer） 339
「共通ファイルのダウンロード」
（EPPServer） 340
「切り取り線印刷」（EPPServer） 279
切り取り線を印刷する（EPPServer） 278

く

クライアントコンピュータ 352
クリーニング 280, 288
クリーニングシート 280
クリスタリオキー 273
グリッド（EPPTemplate） 99
グリッドの間隔（EPPTemplate） 124
「グリッド表示」（EPPWorks） 64
「グリッドを表示」（EPPTemplate） 98

「グループ」（EPPTemplate）.....114
「グレーバランス」（EPPWorks）.....78

け

「経過期間」（EPPServer）.....313
警告メッセージ 360
警告メッセージ（EPPStatus）.....248
権限（EPPMonitor）.....346

こ

「効果ツール」（EPPWorks）.....66
「更新」（EPPMonitor）.....228
更新間隔（EPPMonitor）.....230
「顧客名」（EPPLayout）.....214
「顧客名」（EPPMonitor）.....226
「顧客名選択」（EPPLayout）.....215
異なる写真用のテンプレートに写真を割り付ける（EPPLayout）.....190
「コピー」（EPPMonitor）.....226
「コピー」（EPPTemplate）.....97
「コピー枚数」（EPPMonitor）.....232
困ったとき 359
「コントラスト」（EPPLayout）.....200
「コントラスト」（EPPWorks）.....78
コントロールパネル（プリンタ）.....361
「コンピュータ名」（EPPLayout）.....214
「コンピュータ名」（EPPMonitor）.....226
コンピュータを追加する 352

さ

サーバ 4
サーバ ID（EPPServer）.....330
「サーバ設定」（EPPServer）.....312
「サーバアップデート」（EPPServer）.....307, 310, 335, 337, 339
サーバーに画像データを登録する（EPPLayout）.....216
サーバから画像データを削除する（EPPLayout）.....216
「サーバからダウンロード」（EPPTemplate）.....91
サーバからテンプレートをダウンロード（EPPTemplate）.....87
「サーバ識別 ID」（EPPServer）.....331
「サーバ設定」（EPPServer）...314, 316, 320, 323, 325, 330
「サーバソフトアップデート」（EPPServer）.....336
「サーバにアップロード」（EPPTemplate）.....145
「サーバの一時停止」（EPPServer）.....331
「最近使ったフォルダ」（EPPWorks）.....52
「サイズ」（EPPLayout）.....207
「サイズ」（EPPWorks）.....57
「最低用紙使用率」（EPPServer）.....318
「彩度」（EPPWorks）.....78
「再表示」（EPPStatus）.....248
「再プリント」（EPPMonitor）.....241
「再プリント設定」タブ（EPPServer）.....313
「削除」（EPPLayout）.....194
「削除」（EPPTemplate）.....97
削除（EPPMonitor）.....242
サムネイル（EPPWorks）.....54
「サムネイル」ウィンドウ（EPPLayout）.....184, 203
サムネイルツール（EPPWorks）.....57
サムネイルに写真情報を表示する（EPPLayout）.....186, 205
サムネイルにファイルマークを付ける（EPPLayout）.....185, 204
サムネイルの回転（EPPWorks）.....56
サムネイルのサイズを変更する（EPPLayout）.....186, 205
サムネイルの表示方法を設定する（EPPLayout）.....185, 204
「残ディスク容量」（EPPServer）.....313
「サンプル数」（EPPWorks）.....74

し

色調（EPPWorks）.....69
システム動作環境（Macintosh）.....44, 352
システム動作環境（Windows）.....44, 352
「自然なコントラストに（プリント時の白飛び防止）」（EPPWorks）.....80
「自動更新」（EPPMonitor）.....230
自動削除（EPPServer）.....312
自動削除する条件を設定する（EPPServer）.....314
「自動選択」（EPPLayout）.....211, 218
「自動トリム」（EPPLayout）.....189, 195, 206
「自動左」回転（EPPLayout）... 190, 197, 207
「自動右」回転（EPPLayout）... 190, 197, 207
「自動用紙割付」（EPPMonitor）.....232
「自動用紙割付設定」タブ（EPPServer）....317
「自動用紙割付を許可」（EPPLayout）.....212, 316
「シャープネス」（EPPWorks）.....78
写真 47
写真ガイドライン（EPPLayout）.....188

写真ガイドライン（EPPTemplate）.....99, 132
「写真ガイドライン設定」
（EPPTemplate）.....132
写真サイズ（EPPLayout）.....207
「写真情報」（EPPLayout）.....212
写真情報表示（EPPWorks）.....64, 68
「写真情報枠」（EPPTemplate）.....114
写真情報枠（EPPTemplate）.....99, 134
「写真情報枠設定」画面（EPPTemplate）... 115
写真情報枠の位置やサイズを変更する
（EPPTemplate）.....134
写真情報枠を削除する（EPPTemplate）..... 136
写真情報枠を付ける（EPPTemplate）.....136
写真情報をサムネイルに表示する
（EPPLayout）.....186, 205
写真の扱い.....253
写真の寿命.....256
写真の取り扱い.....253
写真の保管.....254
写真の割り付けを中止する
（EPPLayout）.....191
「写真ファイルリスト」（EPPLayout）.....214
「写真枠」（EPPLayout）.....213
写真枠（EPPTemplate）.....96, 99
「写真枠」エリア（EPPTemplate）.....101
「写真枠間隔」（EPPTemplate）.....112
写真枠サイズを追加
（EPPTemplate）.....102, 108
写真枠サイズを変更（EPPTemplate）.....117
「写真枠の追加」（EPPTemplate）.....104
写真枠のアルファベット
（EPPTemplate）.....99, 129
写真枠のアルファベットを変更する
（EPPTemplate）.....129
写真枠の位置（EPPTemplate）.....105, 111
「写真枠の一括追加」（EPPTemplate）.....106
写真枠の数（EPPTemplate）.....110
写真枠番号（EPPTemplate）.....99, 113, 125
「写真枠番号順次指定」（EPPTemplate）..... 127
写真枠番号を 1 から付け直す
（EPPTemplate）.....127
写真枠番号をひとつずつ変更する
（EPPTemplate）.....125
写真枠を移動（EPPTemplate）.....117
写真枠を削除（EPPTemplate）.....105, 117
写真枠を整列（EPPTemplate）.....120
「写真枠番号設定」（EPPTemplate）.....125
写真を移動する（EPPLayout）.....192
写真を置き換える（EPPLayout）.....192
写真を飾る.....255
写真を削除する（EPPLayout）.....193
写真を割り付ける（EPPLayout）.....190, 209
「シャットダウン」.....258
「写真情報枠付き」（EPPTemplate）.....103
終了（EPPLayout）.....179
終了（EPPMonitor）.....224
終了（EPPServer）.....258
終了（EPPStatus）.....248
終了（EPPTemplate）.....88
終了（EPPWorks）.....51
重量.....357
「終了時間（予測）」（EPPMonitor）.....226
終了メッセージ（EPPLayout）.....215
「縮小ズーム」（EPPTemplate）.....97
「手動」（EPPLayout）.....197
「手動」回転（EPPLayout）.....190, 207
仕様.....356
定規（EPPTemplate）.....99
「詳細に設定」（EPPWorks）.....58
「状態」（EPPMonitor）.....226
「状態」に表示されるマーク
（EPPMonitor）.....227
「使用中テンプレート」（EPPTemplate）..... 158
「情報」（EPPWorks）.....57
「初期化」（EPPWorks）.....63
「ジョブ ID」（EPPLayout）.....214
「ジョブ ID」（EPPMonitor）.....226
「ジョブ削除」（EPPMonitor）.....238
「ジョブ種別」（EPPMonitor）.....226
「ジョブ順序を優先」（EPPServer）.....318
「ジョブ数」（EPPServer）.....313
「ジョブ整理設定」タブ（EPPServer）.....315
「ジョブ単位」（EPPLayout）.....211
「ジョブモニタを起動」（EPPMonitor）.....223
ジョブリスト（EPPMonitor）.....225
「新規テンプレート」（EPPTemplate）.....89
新規テンプレート（EPPTemplate）.....87
「シンクロ」（EPPLayout）.....196

す

「ズーム」（EPPTemplate）.....97
「ズーム」（EPPWorks）.....68
「スクローラ」（EPPWorks）.....68
スタジオ名（EPPServer）.....330
「スタジオ名」（EPPLayout）.....214
「スタジオ名」（EPPServer）.....331
ステータスメッセージ（EPPStatus）.....248
「ステップ」（EPPWorks）.....74
すべての写真枠を同じアルファベットに
変更する（EPPTemplate）.....130
すべての写真枠を異なるアルファベットに
変更する（EPPTemplate）.....131

「全ての写真枠を同写真に」（EPPTemplate）.....130
「全ての写真枠を別写真に」（EPPTemplate）.....131
すべてのページと写真を削除する（EPPLayout）.....194
「スライド台」（EPPWorks）.....60, 65, 70
寸法 357

せ

「整列対象」（EPPTemplate）.....120
「設定」（EPPWorks）.....74
「設定変更」画面（EPPMonitor）.....231
「全削除」（EPPLayout）.....194
「センターサーバへの接続方式」（EPPServer）.....327
「全体表示」（EPPTemplate）.....98
専用消耗品受注センター 397
専用ヘルプデスク 397

そ

「操作権限」（EPPMonitor）.....346
操作権限を変更する（EPPMonitor）.....347
「ソート順」（EPPWorks）.....57
「その他設定」タブ（EPPServer）.....331
ソフトウェア 43
ソフトウェアをインストールする 353

た

「ダイアルアップ接続設定」（EPPServer）..327
「単位」（EPPTemplate）.....98

ち

「チェック」（EPPStatus）.....248
「中止」（EPPLayout）.....220

つ

「追加」（EPPLayout）.....193
通紙経路をクリーニングする 280
「ツール」ウィンドウ（EPPTemplate）.....96
ツールバー（EPPTemplate）.....96, 97
詰まった用紙 368

て

「適用量」（EPPWorks）.....66
テストチャート（EPPServer）.....298
「テストチャートプリント」（EPPServer）..300
「テストプリント用に TIFF で保存」（EPPWorks）.....76
「テストメール送信」（EPPServer）.....322
電源を入れる 84, 174
電源を切る 258
テンプレート（EPPLayout）.....188
テンプレート（EPPTemplate）.....83
テンプレートウィンドウ（EPPTemplate）....96
テンプレートからページを削除する（EPPLayout）.....194
「テンプレート管理」（EPPTemplate）.....158
「テンプレート情報」（EPPTemplate）.....139
「テンプレート」タブ（EPPLayout）.....186
テンプレートにページを追加する（EPPLayout）.....193
テンプレートの名称（EPPTemplate）.....139
テンプレートのロックを解除する（EPPTemplate）.....171
テンプレート編集画面（EPPTemplate）.....96
「テンプレート」モード（EPPLayout）.....182
テンプレートやパッケージを選択する（EPPLayout）.....187
テンプレートをアップロードする（EPPTemplate）.....145
テンプレートを上書き保存する（EPPTemplate）.....143
テンプレートを書き出し保存する（EPPTemplate）.....165
テンプレートをコピーする（EPPTemplate）.....159
テンプレートを削除する（EPPTemplate）.....169
テンプレートを選択するには（EPPTemplate）.....92
テンプレートを別名で保存する（EPPTemplate）.....143
テンプレートを変更する（EPPLayout）.....192
テンプレートを保存する（EPPTemplate）.....142

と

問い合わせ先 397
同一写真用のテンプレートに写真を割り付ける（EPPLayout）.....190
動作環境 357
「同写真」（EPPTemplate）.....114
「トーンカーブ表示」（EPPWorks）.....78
「特定色調整」（EPPWorks）.....79
トラブル 360
トラブル（EPPLayout）.....371

トラブル（EPPMonitor）..... 375
トラブル（EPPServer）..... 370
トラブル（EPPTemplate）..... 373
トラブル（EPPWorks）..... 374
トラブル（プリンタ）..... 361
トラブル（プリント画質）..... 364
トラブル（用紙）..... 367
「取り消し」（EPPTemplate）.....97
「取り消し」（EPPWorks）.....63
トリミング（EPPLayout）..... 195
トリミング時の回転（EPPWorks）.....61
トリミングツール（EPPWorks）.....64
「トリミング比率」（EPPWorks）.....61
「トリミング」モード（EPPWorks）.....60
「トリム」（EPPLayout）..... 189, 195, 206
「トリム」を一括設定する（EPPLayout）... 196
「トンボ」（EPPLayout）..... 212

な

長さガイド 262, 266
何もしない（EPPTemplate）.....87

に

「日時（プリント準備）」（EPPLayout）..... 214

ね

「ネットワーク設定」タブ（EPPServer）.... 326
ネットワークの設定を保存する
（EPPServer）..... 325

の

ノズルチェック 285
「ノズルチェック」（EPPServer）..... 286
ノズルチェックパターン（EPPServer）..... 287

は

背景色（EPPTemplate）..... 140
通紙経路カバー 369
パスワード（EPPMonitor）..... 345
パスワードを変更する（EPPMonitor）..... 347
パッケージ（EPPLayout）..... 188
パッケージ（EPPTemplate）..... 148
パッケージからテンプレートを削除する
（EPPTemplate）..... 150, 154
「パッケージ管理」（EPPTemplate）..... 148
パッケージにテンプレートを追加する
（EPPTemplate）..... 154
パッケージの新規作成（EPPTemplate）..... 149
パッケージのテンプレートを並びかえる
（EPPTemplate）..... 150, 154
パッケージをコピーする
（EPPTemplate）..... 159
パッケージを削除する
（EPPTemplate）..... 156, 169
パッケージを選択する（EPPLayout）..... 187
パッケージを選択するには
（EPPTemplate）.....93
パッケージを編集する（EPPTemplate）..... 153
幅ガイド 262, 266
パラメータ（EPPWorks）.....74
「バリエーション」シート（EPPWorks）.....69
「バリエーション」タブ（EPPWorks）.....73
「番号」（EPPTemplate）..... 113
「ハンドツール」（EPPWorks）.....68

ひ

ヒストグラム（EPPWorks）.....79
「左上の位置」（EPPTemplate）..... 111
「ピッチ」（EPPTemplate）..... 112
評価のファイルマーク
（EPPLayout）..... 185, 204
「表示」（EPPWorks）.....57, 64, 68
表示順序（EPPLayout）..... 186, 205
「表示設定」（EPPWorks）..... 64, 68
「表示フィルタ」エリア（EPPMonitor）..... 228
「表示方式」（EPPWorks）.....57

ふ

ファイル 47
ファイルの送信を中止（EPPLayout）..... 220
ファイルマークを付ける
（EPPLayout）..... 185, 204
「ファイル名」（EPPLayout）..... 212
「ファイル名」（EPPMonitor）..... 226
フィルム 47
「フォルダ」ウィンドウ
（EPPLayout）..... 184, 203
「フォルダ選択」（EPPWorks）.....53
「フォルダ選択」ウィンドウ（EPPWorks）..52
「フォルダ / ファイル名」（EPPLayout）.... 212
「付随情報」（EPPTemplate）..... 113
「附随情報」（EPPTemplate）..... 114
「部数」（EPPLayout）..... 218
ブラウザの設定（EPPMonitor）..... 223
「ブラウズ時のバック色」
（EPPTemplate）..... 140
「ブラシ設定」（EPPWorks）.....67

「フリー」（EPPLayout）.....195
「フリーサイズ」（EPPLayout）.....207
「フリーレイアウト」タブ（EPPLayout）...205
「フリーレイアウト」モード
（EPPLayout）.....182
「プリセット」シート（EPPWorks）.....69
「プリセット」タブ（EPPWorks）.....70
「プリンタ」（EPPLayout）.....218
「プリンタ」（EPPMonitor）.....226, 232
「プリンタ状態」エリア（EPPServer）.....249
「プリンタ情報」（EPPMonitor）.....244
プリンタの状態（EPPMonitor）.....227
プリンタヘッドのクリーニング.....288
プリンタヘッドを調整する.....292
「プリンタ名」（EPPLayout）.....214
プリンタを無効にする（EPPServer）.....251
プリンタを有効にする（EPPServer）.....251
「プリント」（EPPLayout）.....219
プリント可能領域（EPPTemplate）.....98
「プリント可能領域の表示」
（EPPTemplate）.....98
プリントサーバ.....4
「プリントサーバの画像データ」
（EPPLayout）.....216
プリントしたあと.....254
プリント終了のメッセージ（EPPStatus）..248
プリント終了メッセージ（EPPLayout）.....215
「プリント状況」エリア（EPPMonitor）.....225
プリントジョブの一時停止を解除する
（EPPMonitor）.....234
プリントジョブの削除（EPPMonitor）.....242
プリントジョブの自動削除（EPPServer）..314
プリントジョブリスト（EPPMonitor）.....225
プリントジョブを一時停止する
（EPPMonitor）.....234
プリントジョブを検索して更新する
（EPPMonitor）.....228, 229
プリントジョブを再プリントする
（EPPMonitor）.....240
プリントジョブを削除する
（EPPMonitor）.....236
プリントジョブを自動削除する
（EPPServer）.....312
「プリント済み」（EPPMonitor）.....228
「プリント済」（EPPStatus）.....248
「プリント済み（データなし）」
（EPPMonitor）.....228
プリント品質領域（EPPTemplate）.....99
「プリント品質領域の表示」
（EPPTemplate）.....98
プリント部数（EPPLayout）.....218
プリントログのアップロード
（EPPServer）.....309
プリントを中止（EPPLayout）.....220
フレーム（EPPLayout）.....188
フレーム（EPPTemplate）.....96
フレームから写真を削除する
（EPPLayout）.....193
フレームの位置（EPPLayout）.....208
「プロキシ設定」（EPPServer）.....327
「プロパティ」ウィンドウ（EPPTemplate）..96

へ

「ペイントツール」（EPPWorks）.....66
「ページ」（EPPLayout）.....214
「ページ」（EPPMonitor）.....226
「ページ毎にカット」（EPPServer）.....279
「ページ情報」（EPPLayout）.....214
ページ情報枠（EPPLayout）.....214
ページ情報枠（EPPTemplate）.....99, 137
「ページ情報枠付き」
（EPPTemplate）.....104, 137
ページ情報枠のサイズや位置を変更する
（EPPTemplate）.....137
ページ情報枠を削除する
（EPPTemplate）.....137
「ページ単位」（EPPLayout）.....211
「ページ番号」（EPPLayout）.....214
ページ枠（EPPLayout）.....189, 206
「ページ枠をプリント」（EPPLayout）.....212
ページを削除（EPPLayout）.....194
ページを追加する（EPPLayout）.....193
「ペースト」（EPPTemplate）.....97
「別写真」（EPPTemplate）.....114
「ヘッドアライメント調整」（EPPServer）..293
「ヘッドクリーニング」（EPPServer）.....289
ヘッドのクリーニング.....288
ヘッドを調整.....292
「別名でローカルフォルダに保存」
（EPPTemplate）.....143
ヘルプ.....377
ヘルプデスク.....397
変色を防ぐには.....255

ほ

「ポーズ」（EPPMonitor）.....234
「ポーズ解除」（EPPMonitor）.....234
保管.....254
保存（EPPWorks）.....80
「ポリシー A」（EPPWorks）.....58
「ポリシー B」（EPPWorks）.....58

「ポリシーC」（EPPWorks）.....58

ま

「マーク」（EPPWorks）.....55
「マニュアル」シート（EPPWorks）.....69
「マニュアル」タブ（EPPWorks）.....77

み

未使用の用紙 254

め

「メール設定」タブ（EPPServer）.....320
メッセージ（EPPStatus）.....247
「メモ」（EPPLayout）.....214
「メンテナンス」.....302
「メンテナンス」
（EPPServer）.....278, 286, 289, 293, 300

も

モニタのカラー補正 333
「モノトーン化」（EPPWorks）.....78

や

「やり直し」（EPPTemplate）.....97
「やり直し」（EPPWorks）.....63

ゆ

ユーザーが作業できる権限
（EPPMonitor）.....346
ユーザーを追加する（EPPMonitor）.....342
ユーザーを削除する（EPPMonitor）.....349
「ユーザ設定」（EPPMonitor）.....345
「優先度」（EPPLayout）.....219
「優先度」（EPPMonitor）.....226, 232

よ

用紙ガイド 369
用紙ガイドローラ 262, 265
用紙ガイドローラスイッチ 263, 266
用紙が詰まる 368
「用紙交換」（EPPServer）.....273, 275, 276
「用紙サイズ」（EPPLayout）.....180, 181
「用紙サイズ」（EPPMonitor）.....226
「用紙サイズ」（EPPServer）.....324
用紙サイズ 260, 268
用紙サイズスライダ 264, 268
用紙サイズを指定する（EPPServer）.....323
「用紙種類」（EPPLayout）.....180, 181
「用紙種類」（EPPMonitor）.....226, 232
「用紙種類」（EPPServer）.....324
用紙種類 260, 268
用紙種類スライダ 264, 268
用紙種類（EPPServer）.....323
「用紙使用効率を優先」（EPPServer）.....318
「用紙設定」タブ（EPPServer）.....324
用紙トレイ 260, 261
用紙トレイカバー 262, 265
用紙トレイ最大積載量 260
用紙の型番 260
用紙のサイズを表示（EPPServer）.....250
用紙の最大枚数 260
用紙の残量を表示（EPPServer）.....250
用紙の種類を表示（EPPServer）.....250
用紙の設定を確認する（EPPServer）.....272
用紙の節約（EPPLayout）.....212
「用紙の中央」（EPPTemplate）.....111
用紙をセットする 261

ら

ランプ（プリンタ）.....361

れ

レイアウト（EPPLayout）.....173, 182
「レイアウト」ウィンドウ（EPPLayout）..181
レタッチツール（EPPWorks）.....68
「レタッチ」モード（EPPWorks）.....65
劣化 256
「連絡先」
（EPPServer）.....306, 309, 335, 337, 339

ろ

「ローカルファイルから開く」
（EPPTemplate）.....94
ローカルフォルダからファイルを開く
（EPPTemplate）.....87
「ローカルフォルダに保存」
（EPPTemplate）.....97, 142
ロール紙に切り取り線を印刷する
（EPPServer）.....278
ロール紙をカットする（EPPServer）.....278
ロール紙を交換する（EPPServer）.....276
ロール紙を設定する（EPPServer）.....273
ロール紙を取り付ける（EPPServer）.....273
ロール紙を取り外す（EPPServer）.....275

「ログアウト」（EPPServer）.....271
「ログアップロード」（EPPServer）.....310
「ログイン」（EPPServer）.....269
ロック（EPPTemplate）.....92
「ロック（削除しないで保持）」
（EPPLayout）.....216
ロックされているプリントジョブ
（EPPLayout）.....216

わ

割り付け（EPPServer）.....316
割り付けた写真を回転する
（EPPLayout）.....197
割付け優先度（EPPServer）.....318
割り付ける（EPPLayout）..... 190, 209
割り付けを中止する（EPPLayout）.....191

商標およびご注意

Apple の名称、Macintosh、iMac は Apple Computer,Inc. の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版、Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版の表記について本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 2000、Windows XP と表記しています。
また、Windows 2000、Windows XP を総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は、「Windows 2000/XP」のように Windows の表記を省略することがあります。
Panorama Boutique は三洋電機株式会社の登録商標です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用目的および使用方法の如何によっては、法律に違反し、罰せられます。（関連法律）

刑法	第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法	第 1 条、第 2 条　など

著作権について

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について　- 注意 -

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

瞬時電圧低下について

本装置およびオプションの EX-7000 は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策 ガイドラインに基づく表示）

ご注意

（1）　本書の内容の一部または全部を無断転載することを固くお断りします。

（2）　本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

（3）　本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。

（4）　運用した結果の影響については、（3）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

（5）　本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修正・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

（6）　エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

© セイコーエプソン株式会社　2004

お問い合わせ先

◆クリスタリオ専用消耗品受注センター◆

●消耗品（インクカートリッジ、用紙）のご注文は販売店様ではなく、下記のいずれかにご注文ください。

TEL:03-5321-9726

FAX:03-5321-9727

メールアドレス:ppps@exc.ehb.epson.co.jp

ご注文いただいてから、納品まで数日かかります。お早めにご注文いただくようお願い致します。

◆クリスタリオ専用 helpdesk◆

●製品使用上のお問い合わせは、下記にご連絡ください。

TEL:0570-000-380〈ナビダイヤル※〉

※ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ（株）のサービスです。新電電各社をご利用なさっている場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。このような場合はご契約の新電電各社へナビダイヤルを使えるようにご依頼ください。携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけません。

メールアドレス：

Crystario.helpdesk@exc.ehb.epson.co.jp

●消耗品受注センターおよびhelpdesk受付時間　平日9:00～17:30 (土･日･祝日除く)

MEMO

MEMO

CRYSTARIO

EPSON Professional Portrait Printing System